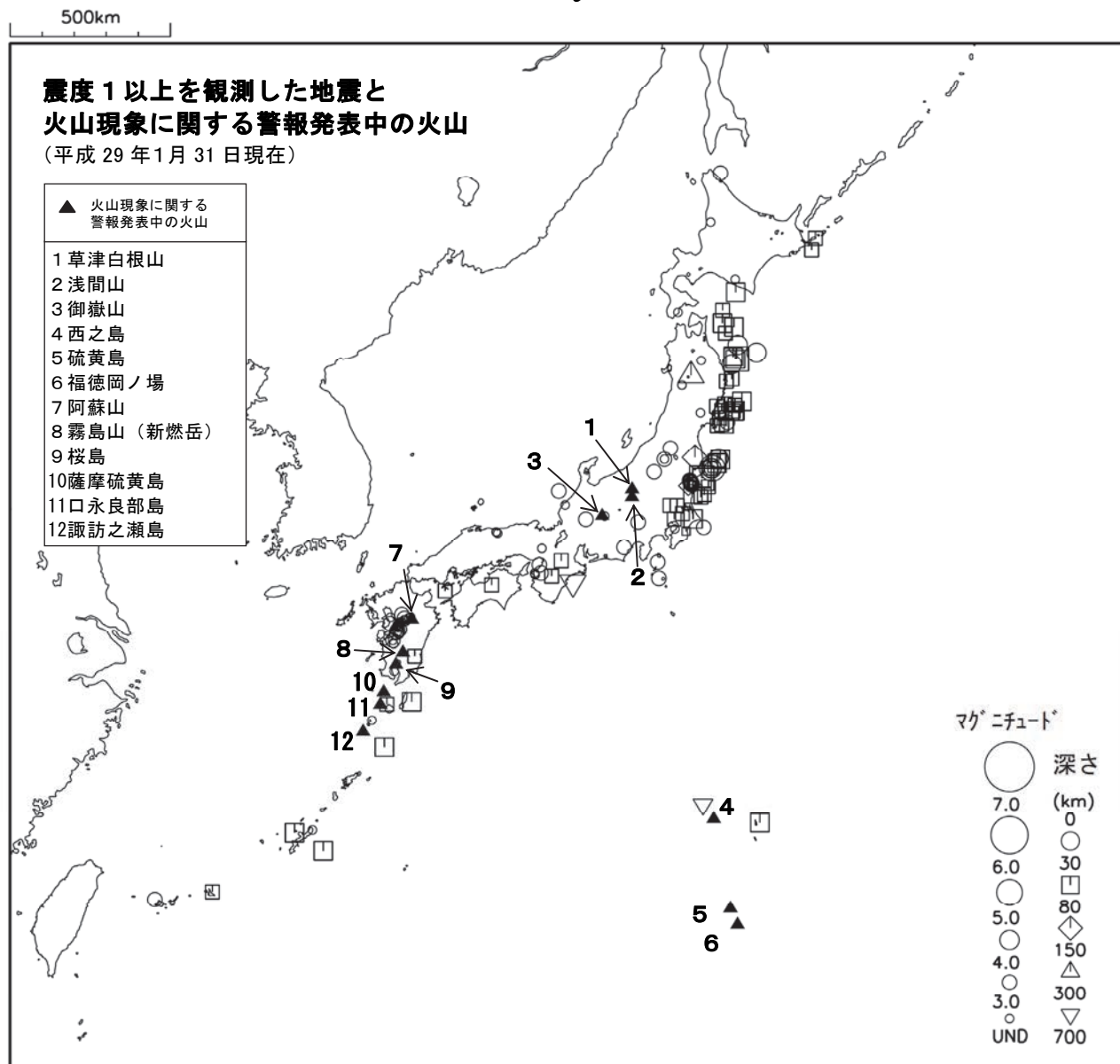


平成 29 年 1 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

January 2017



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 平成 29 年 1 月 31 日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の 47 都道府県、8 政令指定都市。

注** 平成 29 年 1 月 31 日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016 年熊本地震緊急観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸）

T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1 月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016 年 4 月 1 日以降の震源では、M の小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイド（破壊の重心）の深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・本書で使用了地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	6
東北地方の地震活動	7
関東・中部地方の地震活動	12
近畿・中国・四国地方の地震活動	16
九州地方の地震活動	17
沖縄地方の地震活動	20
その他の地域の地震活動	21
● 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果	22
● 日本の主な火山活動	38
北海道地方	41
東北地方	41
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	41
九州地方及び南西諸島	44
資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ	47
● 世界の主な地震	51
● 世界の主な火山活動	55
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	56
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	79
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	80
4. 緊急地震速報の提供状況	81
5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	82
6. 地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名	84
● 正誤表	89

●日本及びその周辺での主な地震活動

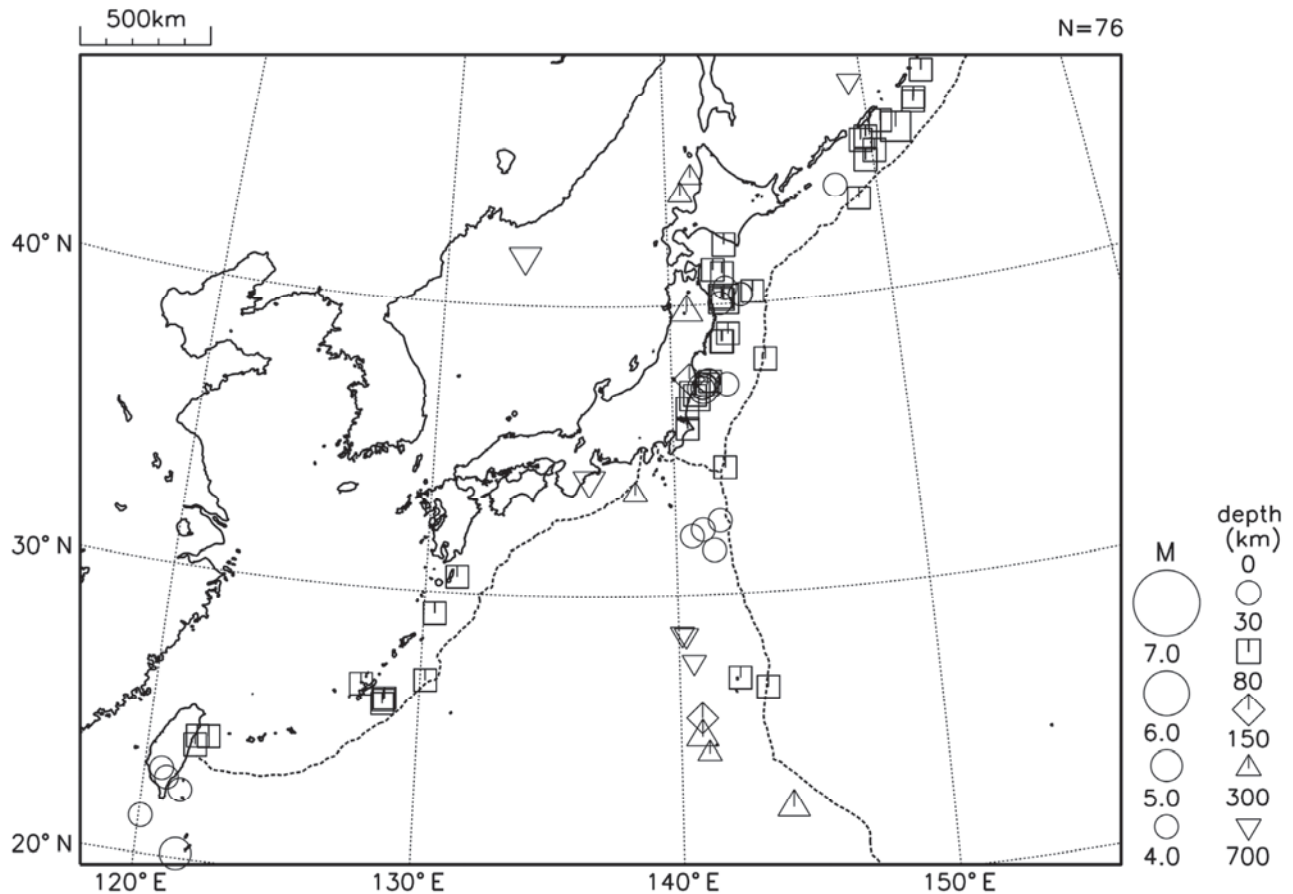


図 1 平成 29 年 1 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

平成 29 年（2017 年）1 月に日本国内で震度 4 以上を観測した地震の回数は 4 回（12 月は 5 回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 76 回（12 月は 99 回）であった。

1 月中に発生した主な地震を表 1（次ページ）に示す。1 月中に震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（12 月は震度 5 弱以上を観測した地震は 1 回、津波を観測した地震はなかった）。

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動は、全体として引き続き減衰傾向がみられる。今回の一連の地震活動により、死者 193 人、負傷者 2,717 人、住家全壊 8,414 棟などの被害が発生した（平成 29 年 2 月 1 日現在、総務省消防庁による）。

表 1 平成 29 年 1 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M (注 3)	M _w (注 3)	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等（注 5）	掲載 ページ
1	12/28～	茨城県北部				震度 1 以上を観測する地震が 13 回（震度 2：4 回、震度 1：9 回）発生し、このうち最大規模の地震は、1 月 1 日 07 時 07 分に発生した M3.7 の地震（最大震度 2） 被害：軽傷 2 人、住家一部破損 5 棟など （平成 29 年 1 月 5 日現在）	4、13
2	1 5 0 43	福島県沖	5.3	5.1	・ ・ S ・	4：福島県 田村市大越町＊ 茨城県 日立市助川小学校＊ など 2 県 22 地点	4、8
3	1 5 2 53	福島県沖	5.6	5.3	・ ・ S ・	4：福島県 いわき市錦町＊ いわき市小名浜 茨城県 高萩市下手綱＊ など 2 県 5 地点	4、9
4	1 11 19 11	熊本県熊本地方	3.4	—	・ ・ S ・	4：熊本県 菊池市旭志＊	4、 18～19
5	1 13 12 25	千葉県北東部	4.9	5.1	・ ・ ・ ・	3：千葉県 旭市南堀之内＊ 茨城県 神栖市溝口＊ など 2 県 17 地点	5、14
6	1 18 17 19	茨城県沖	4.2	4.3	・ ・ S ・	4：茨城県 東海村東海＊	5、15
7	1 26 17 6	岩手県沖	5.2	5.1	・ ・ ・ ・	3：岩手県 普代村銅屋＊ 盛岡市藪川＊	5、10
8	1 28 22 40	秋田県内陸南部	5.0	4.9	・ ・ ・ ・	3：岩手県 釜石市中妻町＊ 青森県 階上町道仏＊ 宮城県 気仙沼市唐桑町＊ など 3 県 22 地点	5、11

（注 1）主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

（注 2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注 3）M_w 欄の「—」は M_w が求められていないことを示す。また、空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない。

（注 4）M H S T の各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度 4 以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注 5）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

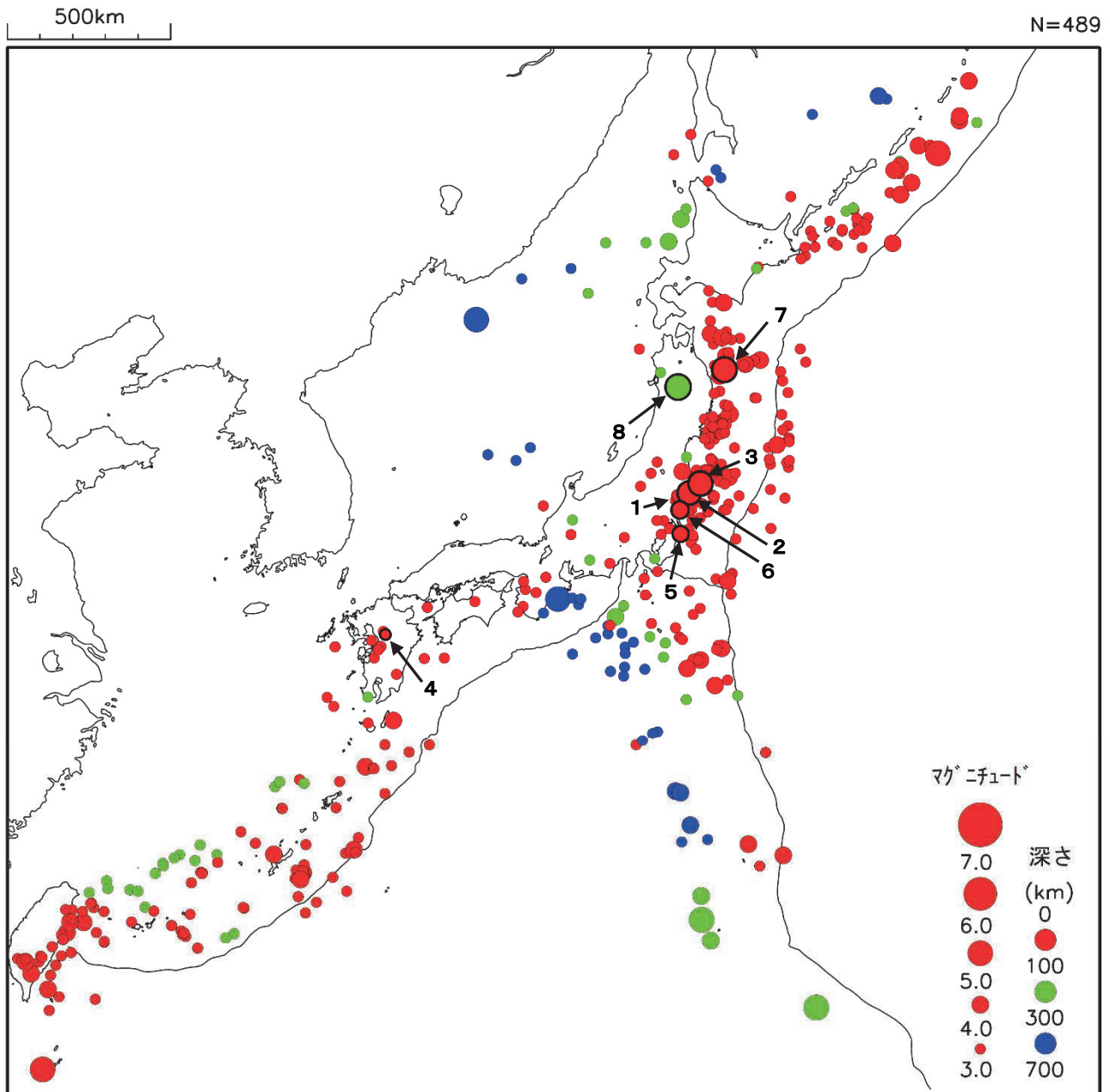
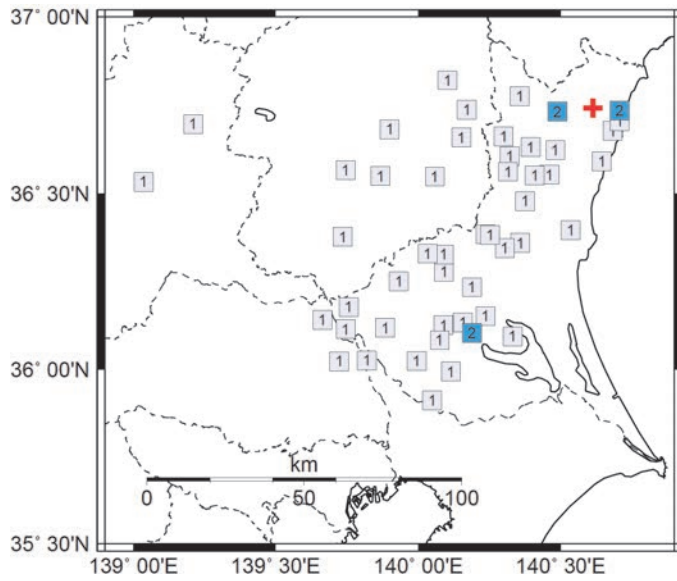
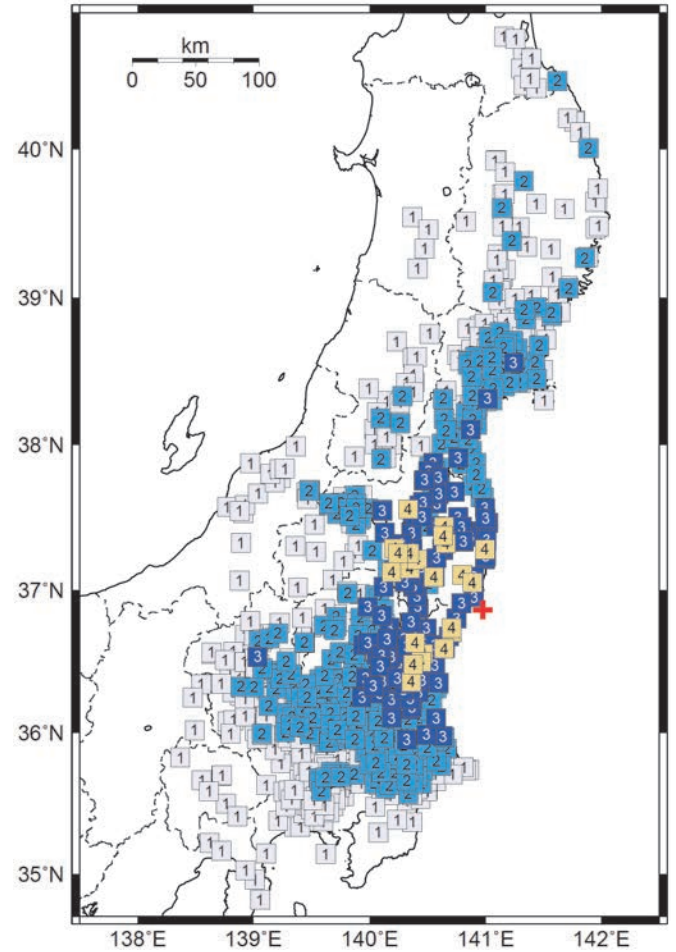


図 2 平成 29 年 1 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
(図中の数字は表 1 の番号に対応)

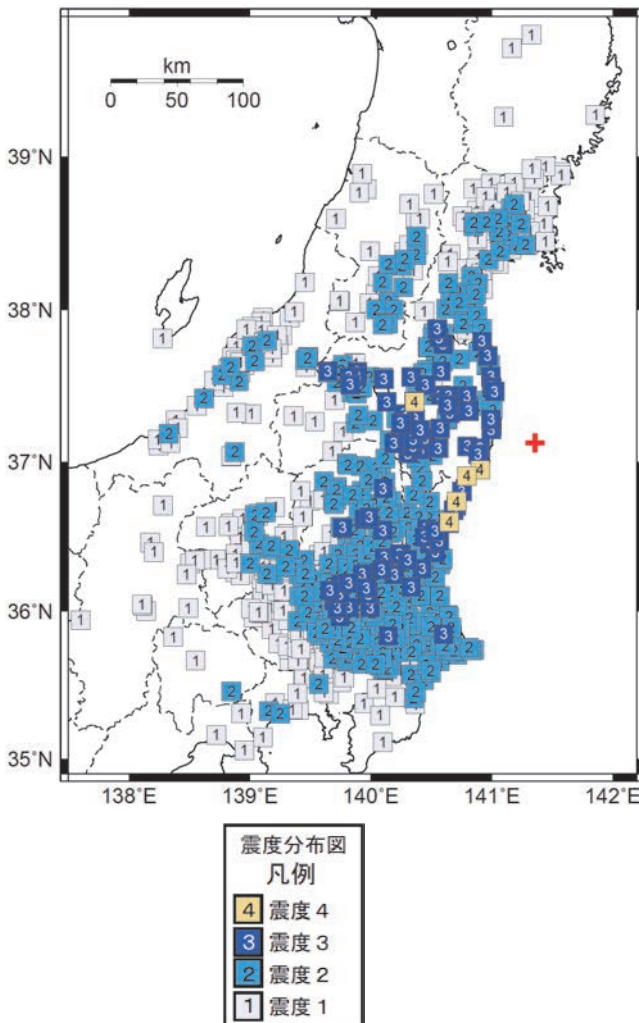
- 1 1 月 1 日 07 時 07 分 茨城県北部
(M3.7、深さ 7 km、最大震度 2)
※12 月 28 日からの茨城県北部の地震活動のうち 1 月
の最大規模の地震の震度分布を表示



- 2 1 月 5 日 00 時 43 分 福島県沖
(M5.3、深さ 56 km、最大震度 4)



- 3 1 月 5 日 02 時 53 分 福島県沖
(M5.6、最大震度 4)



- 4 1 月 11 日 19 時 11 分 熊本県熊本地方
(M3.4、深さ 9 km、最大震度 4)
※「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の活動のうち
1 月の最大震度を観測した地震の震度分布を表示

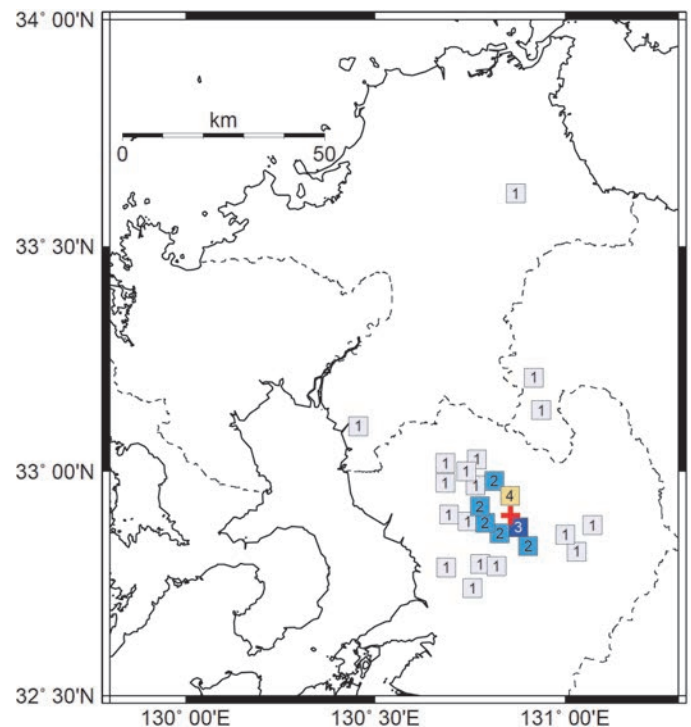
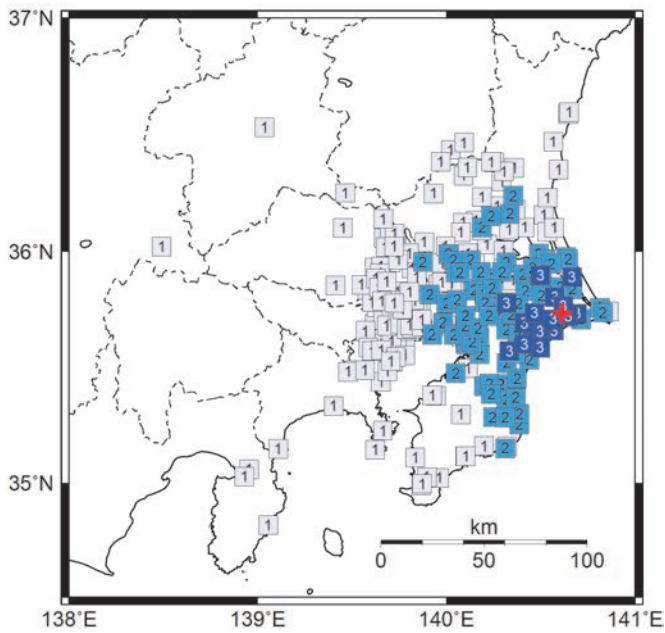
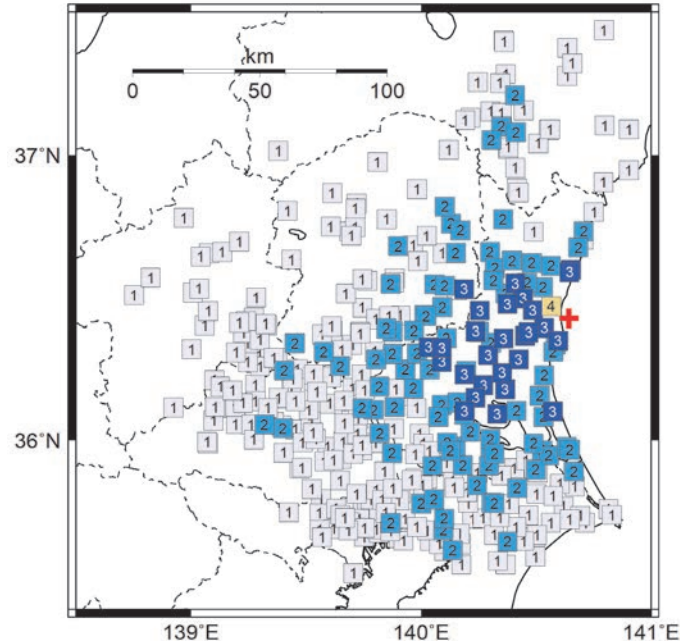


図 3 - 1 震度分布図（各図の左上の数字は表 1、図 2 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

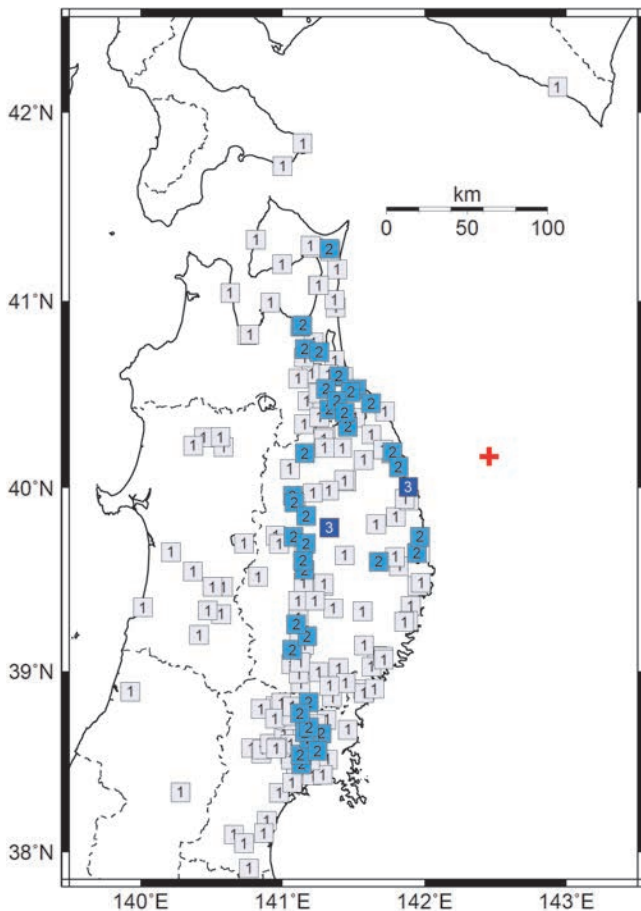
5 1月13日12時25分 千葉県北東部
(M4.9、深さ50km、最大震度3)



6 1月18日17時19分 茨城県沖
(M4.2、深さ53km、最大震度4)



7 1月26日17時06分 岩手県沖
(M5.2、深さ36km、最大震度3)



8 1月28日22時40分 秋田県内陸南部
(M5.0、深さ151km、最大震度3)

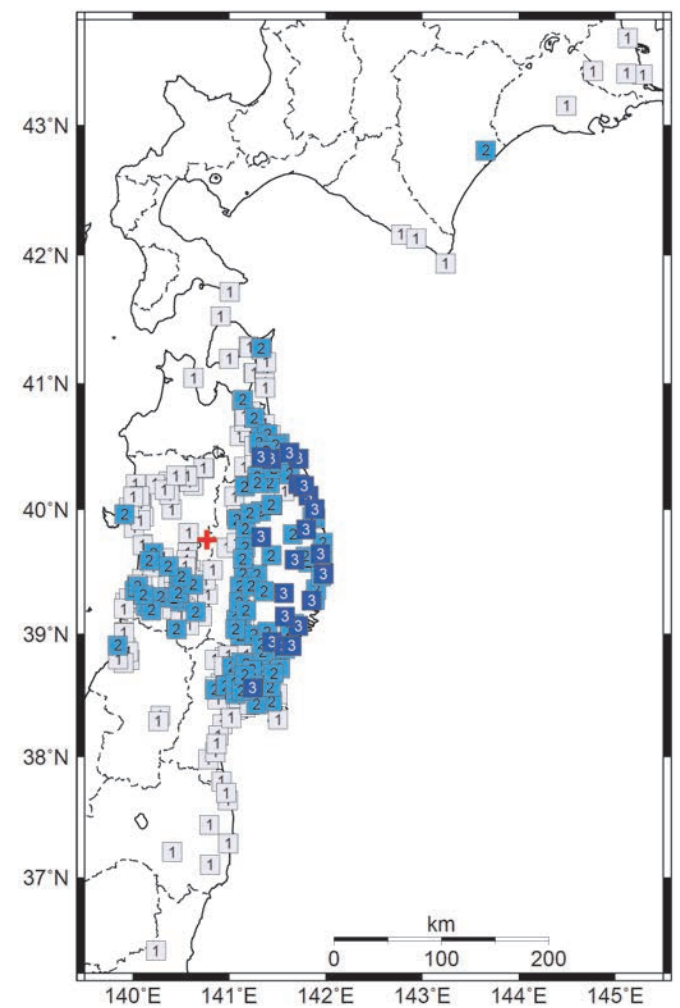


図3-2 震度分布図（各図の左上の数字は表1、図2の番号に対応する。+印は震央を示す。）

○北海道地方の地震活動

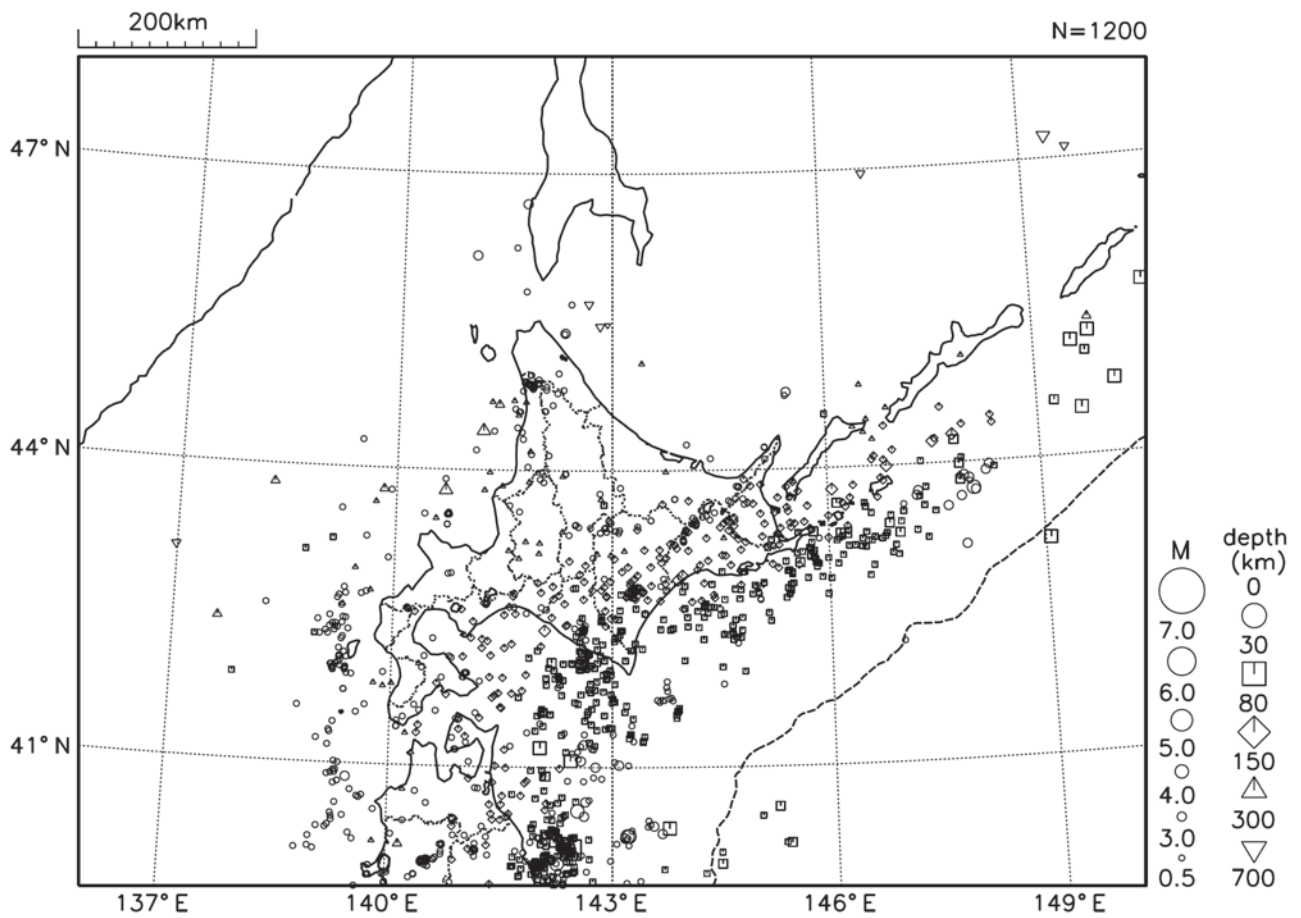


図4 北海道地方の震央分布図（2017年1月1日～1月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

1月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は14回（2016年12月は17回）であった。
1月中、特に目立った活動はなかった。

○東北地方の地震活動

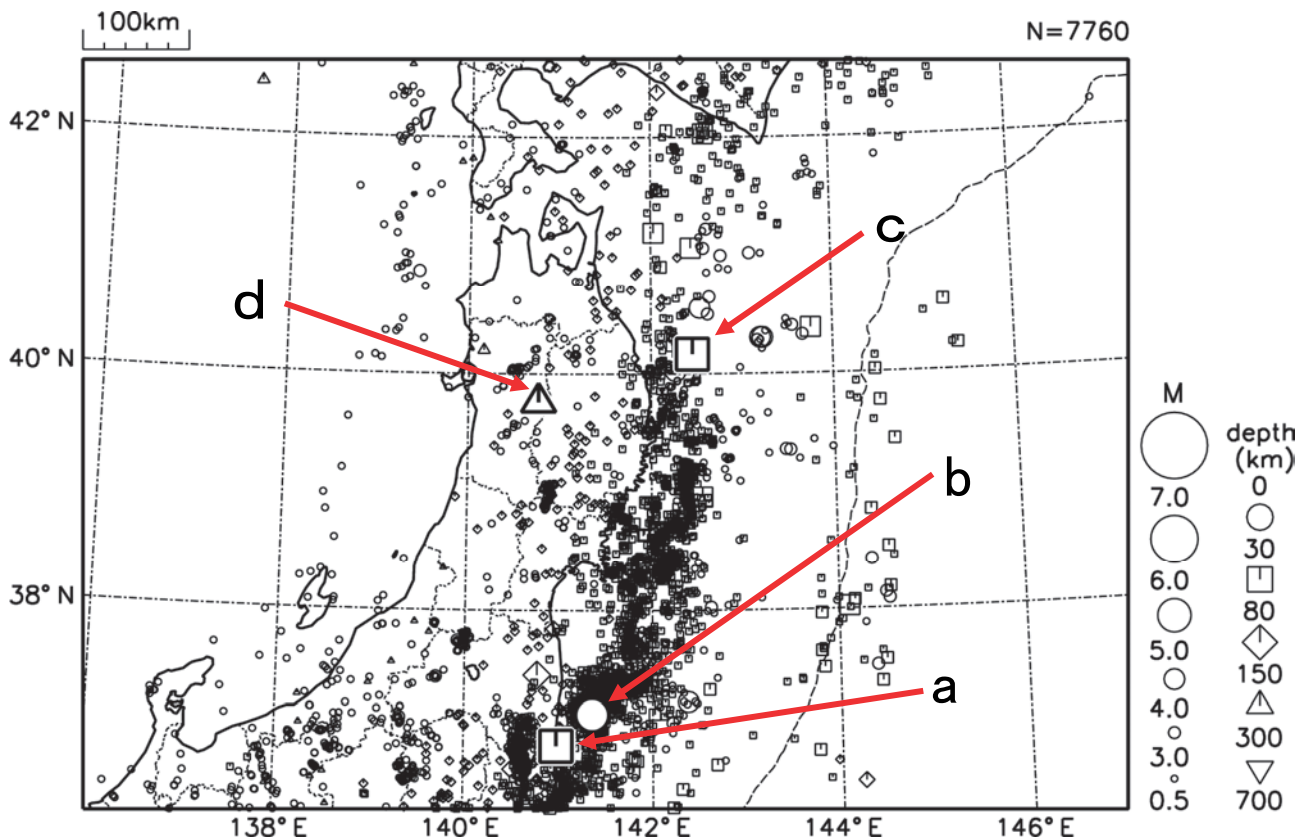


図5 東北地方の震央分布図（2017年1月1日～1月31日、 $M \geq 0.5$ ）

〔概況〕

1月に東北地方で震度1以上を観測した地震は54回（2016年12月は86回）であった。
1月中の主な活動は次のとおりである。

5日00時43分に福島県沖の深さ56kmでM5.3の地震（図5中のa）が発生し、福島県と茨城県で震度4を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度3～1を観測した（p. 4、8参照）。

5日02時53分に福島県沖でM5.6の地震（図5中のb）が発生し、福島県と茨城県で震度4を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度3～1を観測した。この地震の震源付近では、2016年11月22日05時59分に福島県沖の深さ12km（CMT解による）でM7.4の地震が発生して以降、地震活動が活発な状態で推移しており、1月中に震度1以上を観測した地震が10回発生している（p. 4、9参照）。

26日17時06分に岩手県沖の深さ36kmでM5.2の地震（図5中のc）が発生し、岩手県で最大震度3を観測したほか、北海道と東北地方で震度2～1を観測した（p. 5、10参照）。

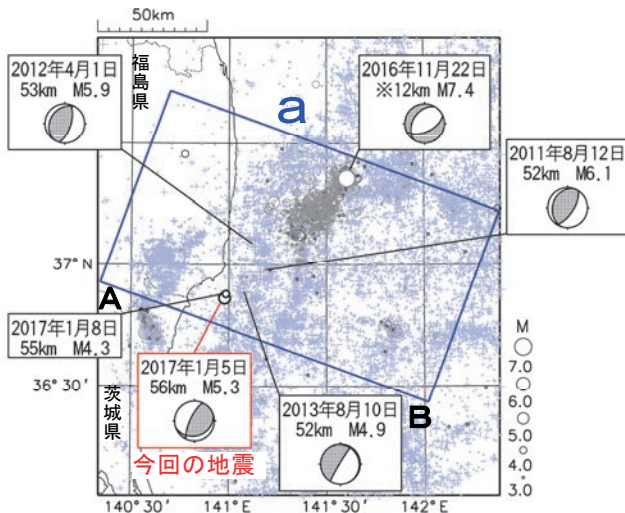
28日22時40分に秋田県内陸南部の深さ151kmでM5.0の地震（図5中のd）が発生し、青森県、岩手県及び宮城県で震度3を観測したほか、北海道から関東地方にかけて震度2～1を観測した（p. 5、11参照）。

1 月 5 日 00 時 43 分 福島県沖の地震

震央分布図

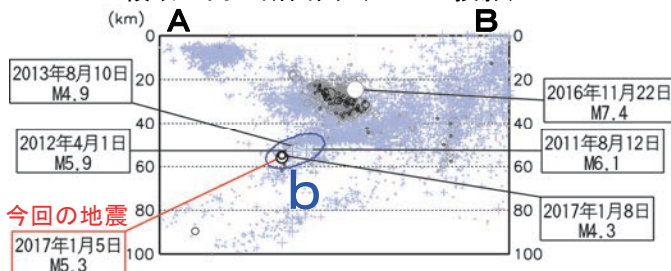
(1997 年 10 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 3.0$)

2016 年 11 月 22 日以前に発生した地震を+、
2016 年 11 月 22 日以降に発生した地震を薄い○、
2017 年 1 月以降に発生した地震を濃い○で表示
図中の発震機構は CMT 解



※2016 年 11 月 22 日の地震 (M7.4) の深さは CMT 解による。また、この地震の発生直後には、未処理の地震が存在している。

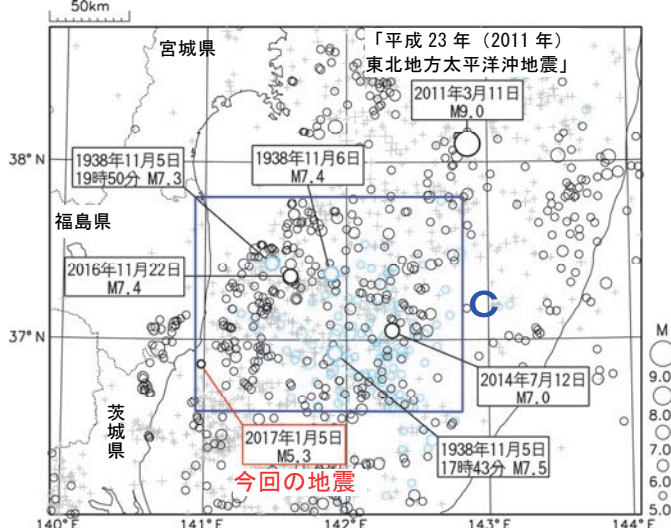
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938 年 11 月 1 日～12 月 31 日に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い○、
それ以外を薄い+で表示

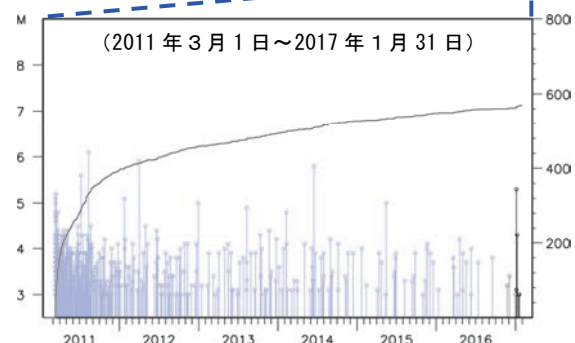
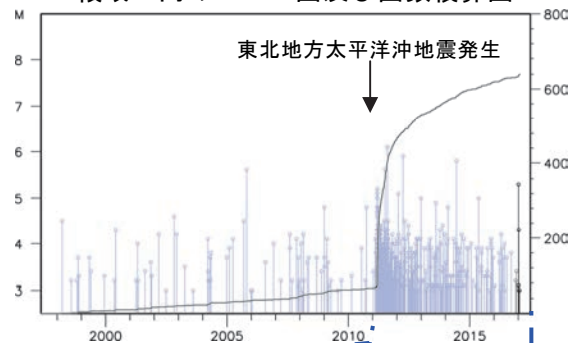


2017 年 1 月 5 日 00 時 43 分に福島県沖の深さ 56km で M5.3 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は発震機構 (CMT 解) が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界付近で発生した。

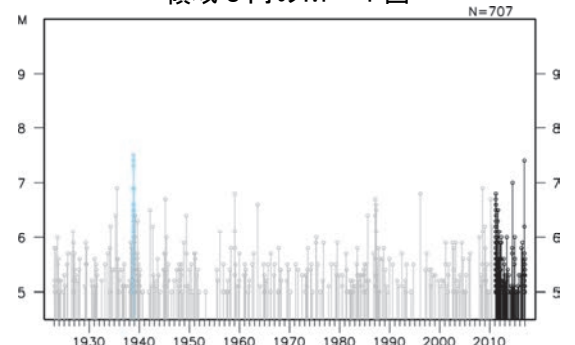
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M5.0 を超える地震が発生するなど、普段から地震活動がみられ、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発化している。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、1938 年 11 月 5 日 17 時 43 分に M7.5 の地震が発生した。この地震により、宮城県花巻で 113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年 11 月 30 日までに M6.0 以上の地震が 25 回発生していた。これらの地震により、死者 1 人、負傷者 9 人、住家全壊 4 棟、半壊 29 棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図

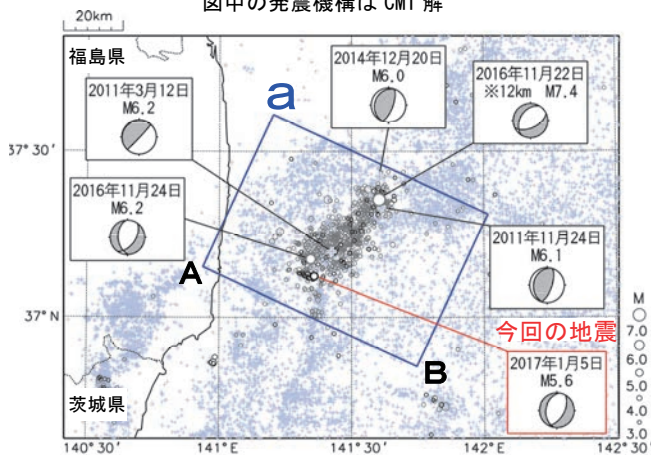


1 月 5 日 02 時 53 分 福島県沖の地震

震央分布図

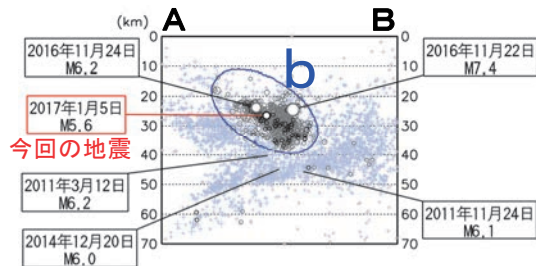
（1997 年 10 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、
深さ 0～70km、 $M \geq 3.0$ ）

2016 年 11 月 21 日以前に発生した地震を+、
2016 年 11 月 22 日以降に発生した地震を薄い○、
2017 年 1 月以降に発生した地震を濃い○で表示
図中の発震機構は CMT 解



※2016 年 11 月 22 日の地震（M7.4）の深さは CMT 解による。また、この地震の発生直後には、未処理の地震が存在している。

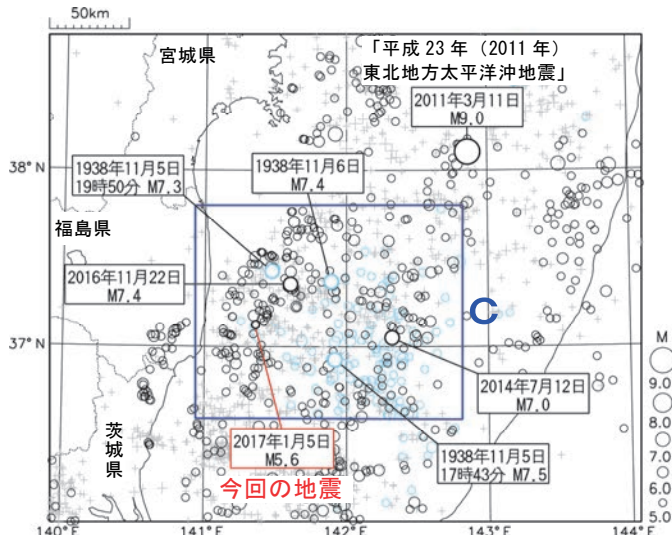
領域 a 内の断面図（A－B 投影）



震央分布図

（1923 年 1 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$ ）

1938 年 11 月 1 日～12 月 31 日に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い○、
それ以外を薄い+で表示

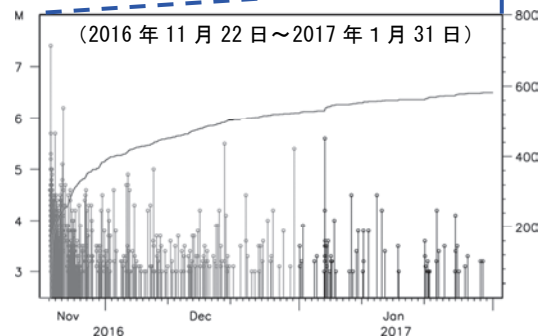
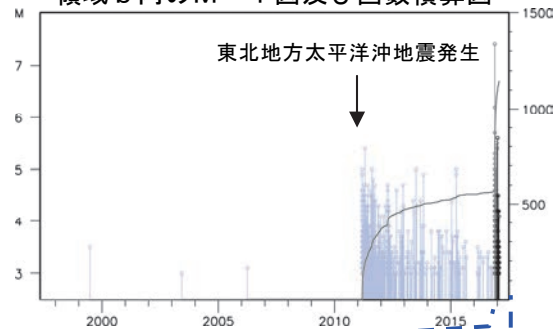


2017 年 1 月 5 日 02 時 53 分に福島県沖で M5.6 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震は発震機構（CMT 解）が西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、陸のプレートの地殻内で発生した。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域 b）では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発化した。地震活動が減衰傾向にあった中で、2016 年 11 月 22 日に M7.4 の地震が発生し、地震活動がさらに活発化し、本地震を含み 1 月 31 日までに M5.0 以上の地震が 14 回発生している。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、1938 年 11 月 5 日に M7.5 の地震が発生した。この地震により、宮城県花巻で 113cm（全振幅）の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年 11 月 30 日までに M6.0 以上の地震が 25 回発生していた。これらの地震により、死者 1 人、負傷者 9 人、住家全壊 4 棟、半壊 29 棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



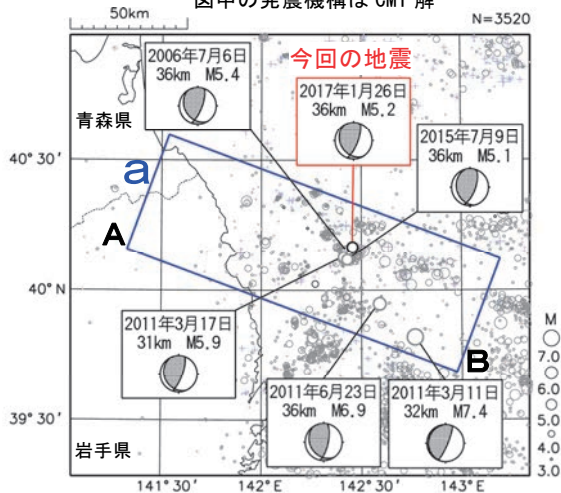
1 月 26 日 岩手県沖の地震

震央分布図
(1997 年 10 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、
深さ 0～70km、 $M \geq 3.0$)

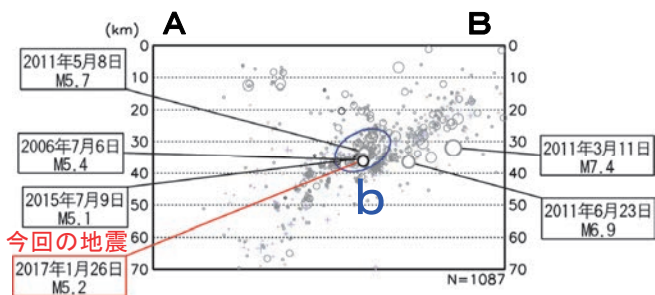
東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○

2017 年 1 月の地震を濃い○で表示

図中の発震機構は CMT 解

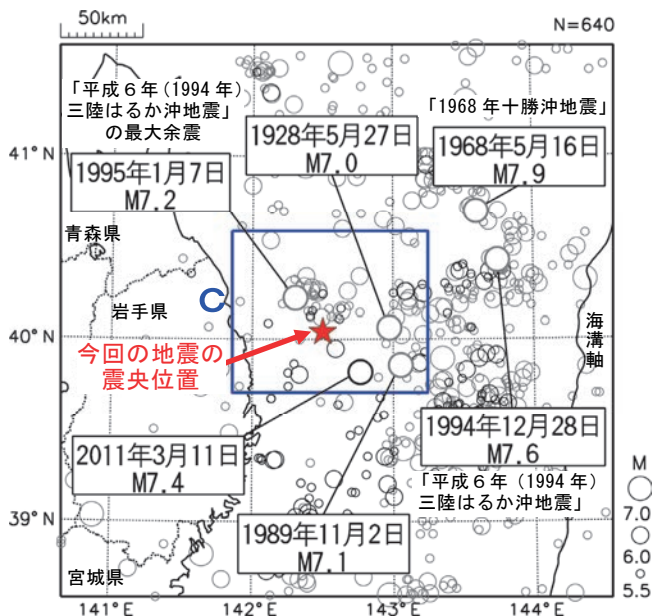


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図
(1923 年 1 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.5$)

東北地方太平洋沖地震発生以降の地震を濃く表示

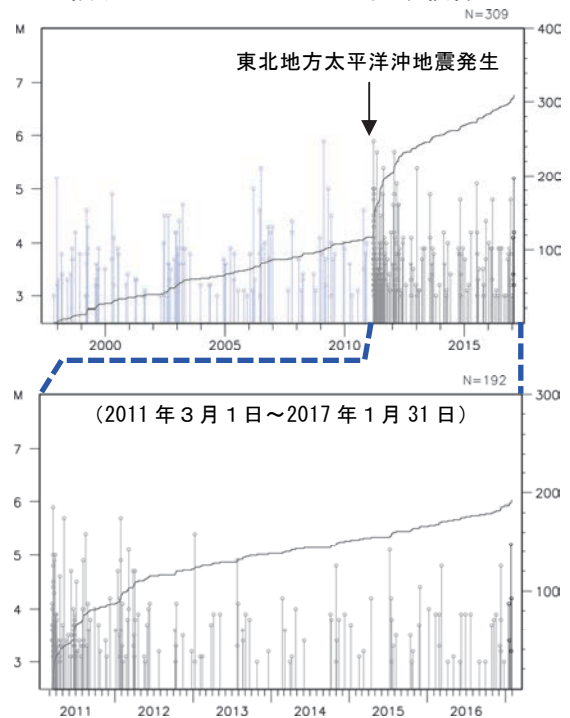


2017 年 1 月 26 日 17 時 06 分に岩手県沖の深さ 36km で M5.2 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は発震機構 (CMT 解) が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

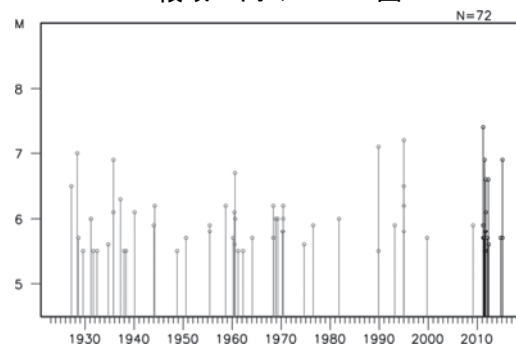
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M5.0 以上の地震が時々発生しており、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動がより活発化している。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、1995 年 1 月 7 日に「平成 6 年 (1994 年) 三陸はるか沖地震」の最大余震 (M7.2、最大震度 5) が発生しているほか、M7.0 を超える地震が時々発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



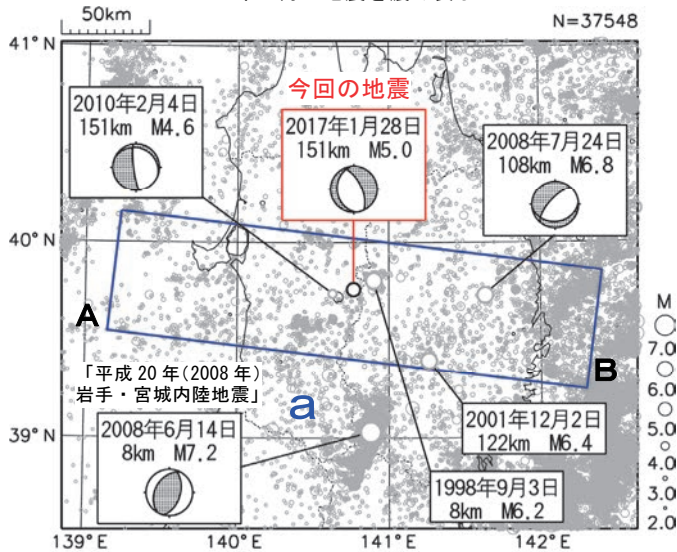
領域 c 内の M-T 図



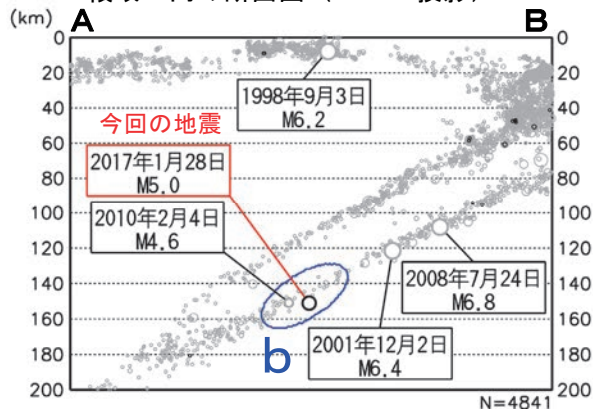
1 月 28 日 秋田県内陸南部の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、
深さ 0～200km、 $M \geq 2.0$)
2017 年 1 月の地震を濃く表示



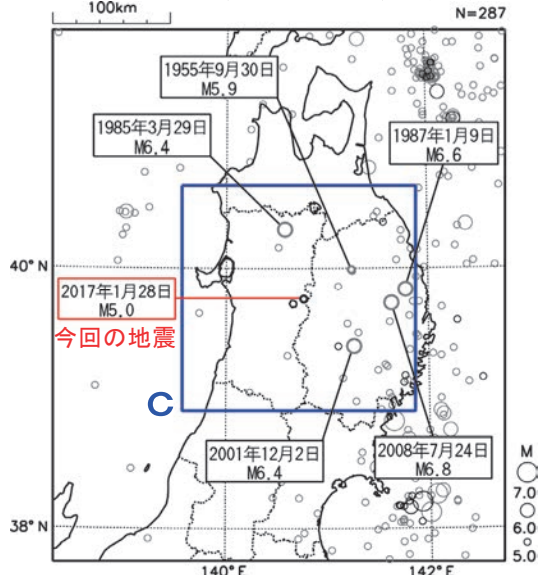
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、
深さ 50～200km、 $M \geq 5.0$)

東北地方太平洋沖地震発生以降の地震を濃く表示

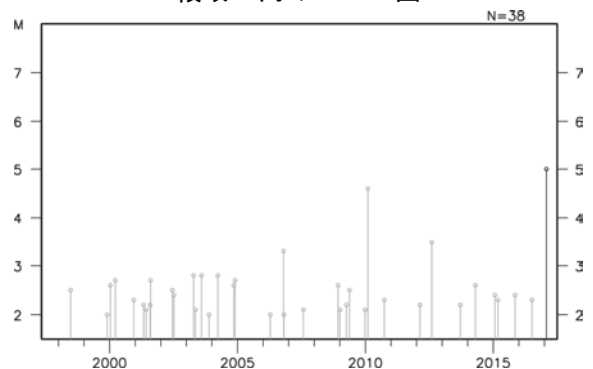


2017 年 1 月 28 日 22 時 40 分に秋田県内陸南部の深さ 151km で $M 5.0$ の地震（最大震度 3）が発生した。この地震は太平洋プレート内部（二重地震面の下面）で発生したもので、発震機構が東北東－西南西方向に張力軸を持つ型である。

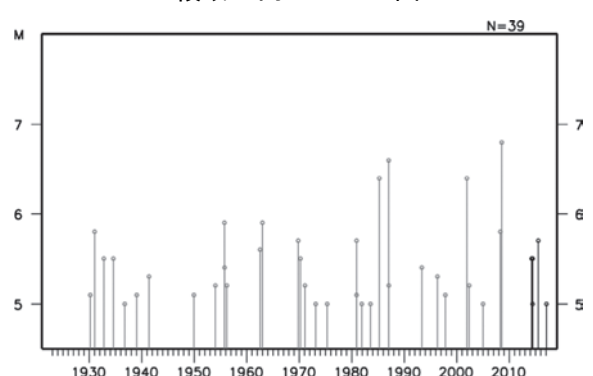
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域 b）では、 $M 4.0$ を超える地震は 2010 年 2 月 4 日に発生した $M 4.6$ の地震（最大震度 2）のみであった。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の震央周辺（領域 c）では、太平洋プレート内部で $M 6.0$ 程度の地震が時々発生している。2008 年 7 月 24 日に $M 6.8$ の地震（最大震度 6 弱）が発生し、死者 1 名、負傷者 211 名、住家全壊 1 棟、住家一部破損 379 棟などの被害が生じた。また、2001 年 12 月 2 日に $M 6.4$ の地震（最大震度 5 弱）が発生し、住家一部破損 2 棟、文教施設 8 棟などの被害が生じている。（被害は総務省消防庁による）

領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図



○関東・中部地方の地震活動

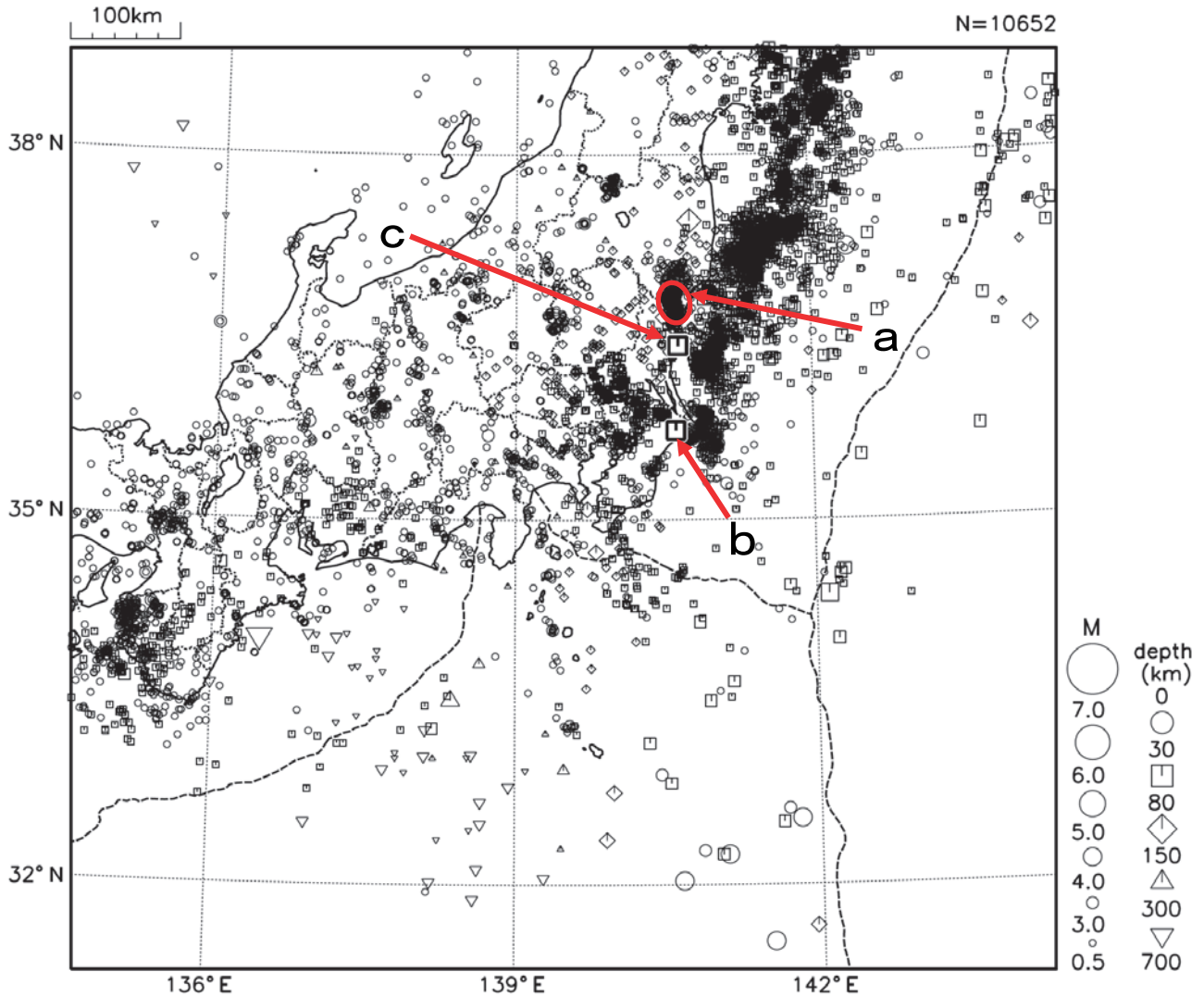


図 6 関東・中部地方の震央分布図（2017 年 1 月 1 日～1 月 31 日、 $M \geq 0.5$ ）

〔概況〕

1 月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度 1 以上を観測した地震は 43 回（2016 年 12 月は 81 回）であった。

1 月中の主な地震活動は次のとおりである。

2017 年 1 月における 2016 年 12 月 28 日からの茨城県北部の地震活動（図 6 中の領域 a）は、減衰しつつも継続しており、1 月 31 日までに震度 1 以上を観測する地震が 13 回発生した。最大規模の地震は、1 月 1 日に発生した M3.7 の地震（最大震度 2、深さ 7km）であった。（p. 4、13 参照）

13 日 12 時 25 分に千葉県北東部の深さ 50km で M4.9 の地震（図 6 中の b）が発生し、茨城県、千葉県で震度 3 を観測したほか、関東地方と中部地方の一部で震度 2～1 を観測した。（p 5、14 参照）。

18 日 17 時 19 分に茨城県沖の深さ 53km で M4.2 の地震（図 6 中の c）が発生し、茨城県東海村で震度 4 を観測したほか、福島県と関東地方で震度 3～1 を観測した。（p 5、15 参照）。

2016 年 12 月 28 日からの茨城県北部の地震活動

2017 年 1 月中の最大規模の地震は、1 月 1 日に発生した M3.7 の地震（最大震度 2、深さ 7 km）であった。この地震の発震機構は、東北東－西南西方向に張力軸を持つ正断層型である。また、1 月中に震度 1 以上を観測した地震は 13 回（最大震度 2：4 回、最大震度 1：9 回）発生した。

2016 年 12 月 28 日からの茨城県北部の地震活動は減衰しつつも、北北西－南南東方向に延びる長さ約 15km の領域で継続している。

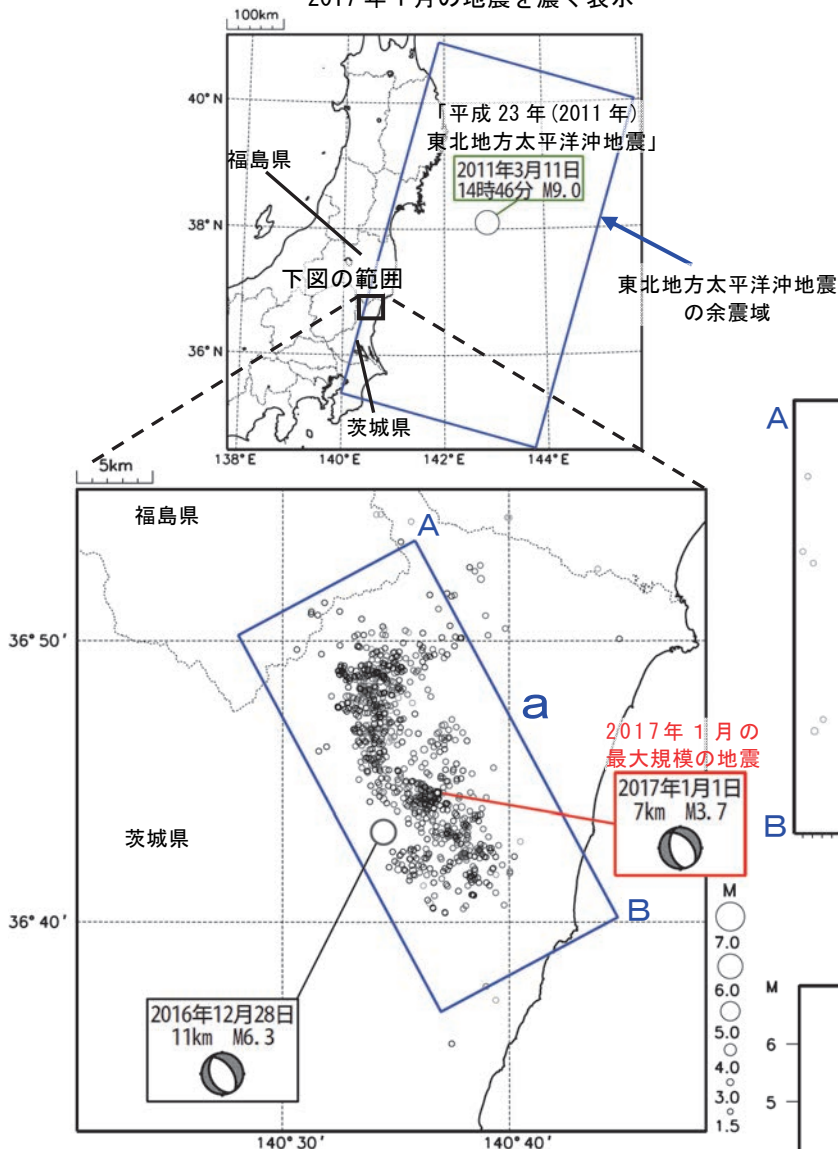
震央分布図

（2016 年 12 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、深さ 0～20km、 $M \geq 1.5$ ）

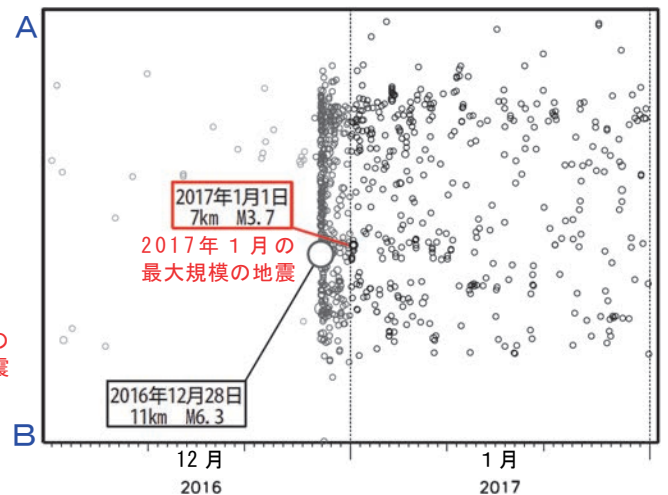
2016 年 12 月 27 日までの地震を薄く表示

2016 年 12 月 28 日から 12 月 31 日の地震をやや濃く表示

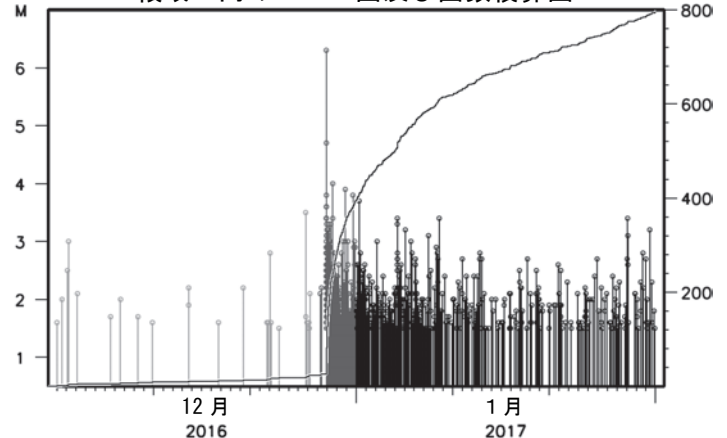
2017 年 1 月の地震を濃く表示



領域 a 内の時空間分布図（A－B 投影）



領域 a 内の M－T 図及び回数積算図



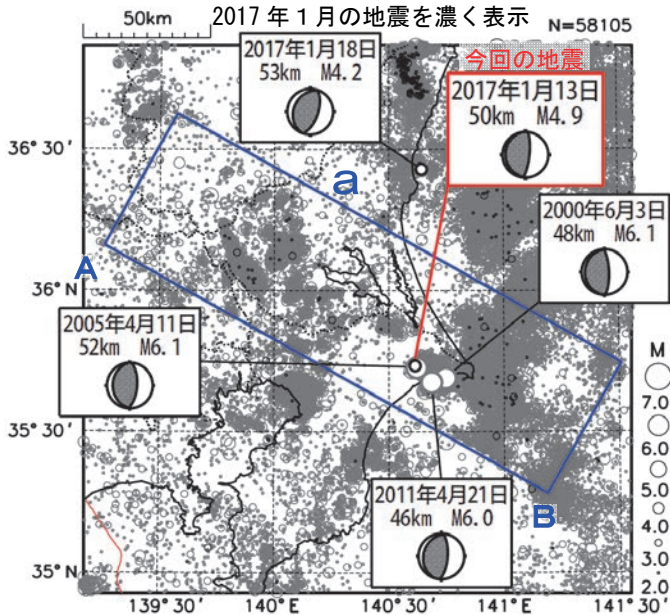
※12 月 28 日の地震発生後には、未処理の地震が存在している。

1 月 13 日 千葉県北東部の地震

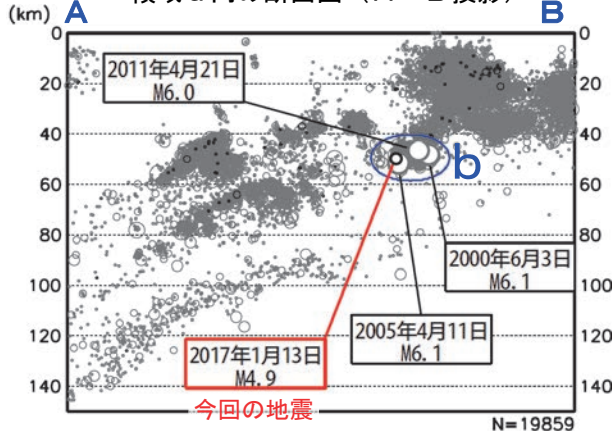
震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 2.0$)

2017 年 1 月の地震を濃く表示

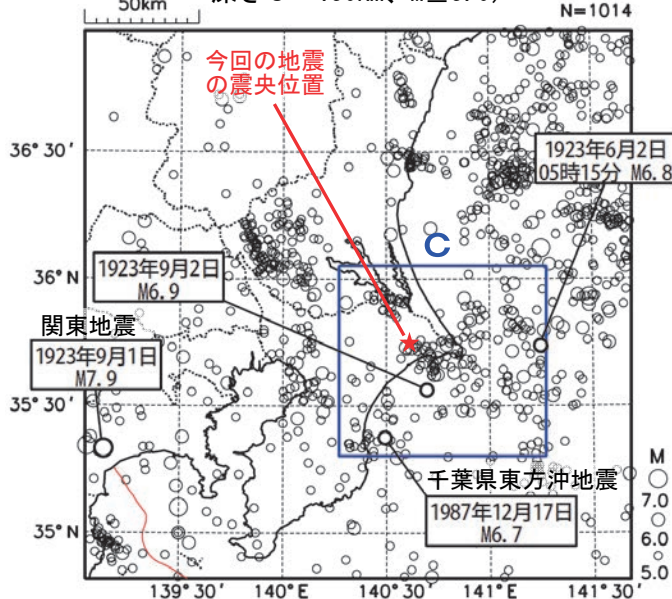


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

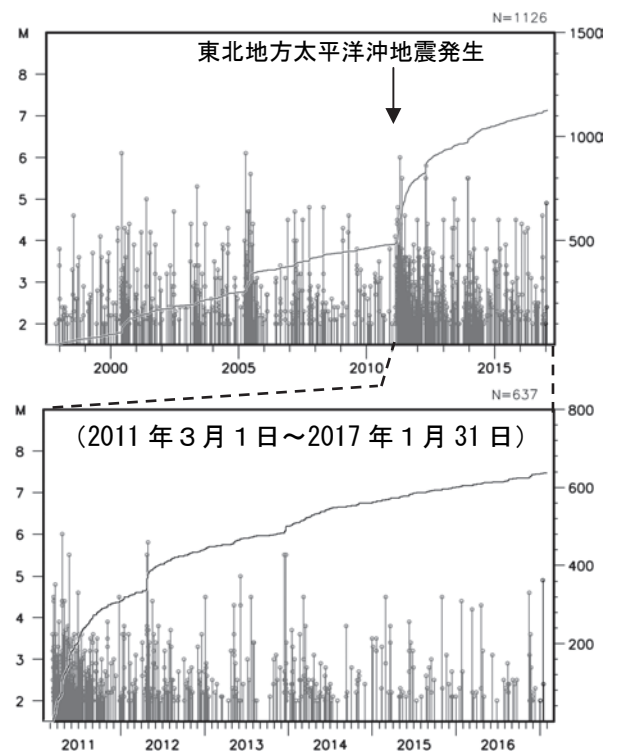
(1923 年 1 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)



2017 年 1 月 13 日 12 時 25 分に千葉県北東部の深さ 50km で M4.9 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

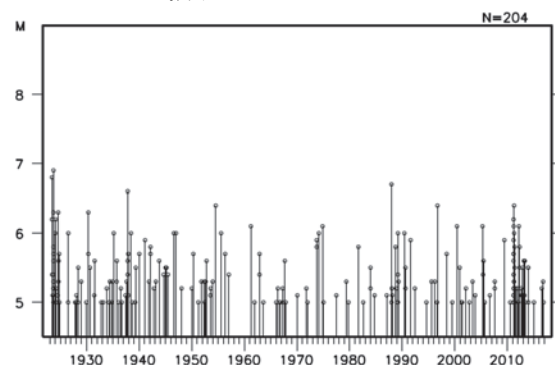
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) は、M6 程度の地震が時々発生している。「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動がより活発になっていたが、その後、徐々に減衰している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M6.0 程度の地震が時々発生している。1987 年 12 月 17 日にフィリピン海プレート内部で発生した千葉県東方沖地震 (最大震度 5) では、死者 2 人、負傷者 161 人、住家全壊 16 棟、住家半壊 102 棟、住家一部破損 72,580 棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

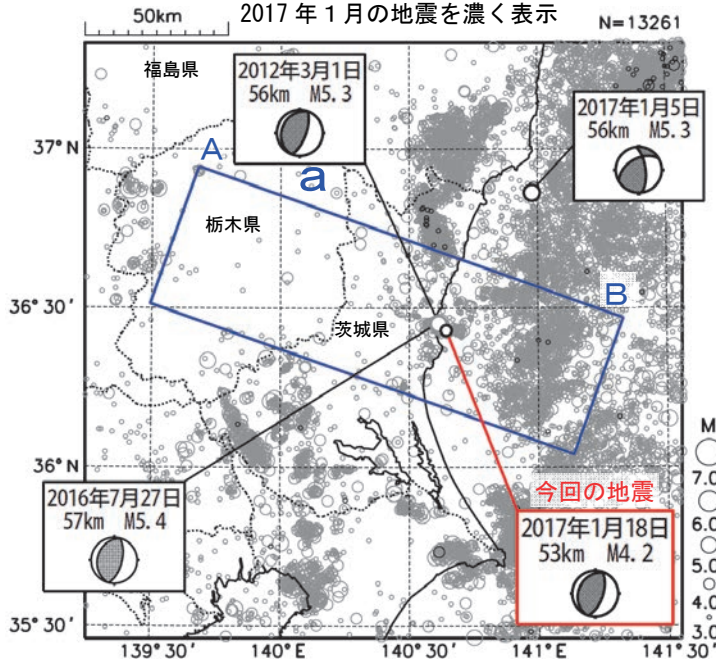
領域 c 内の M-T 図



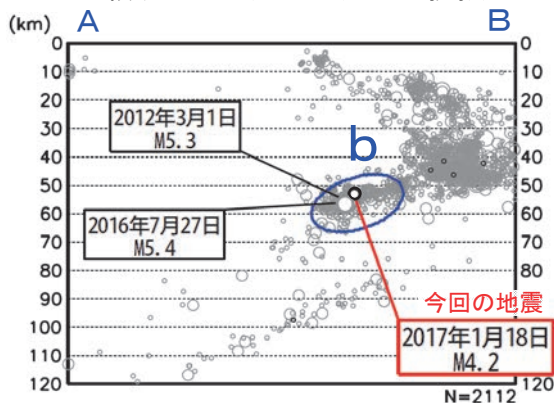
1 月 18 日 茨城県沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、
深さ 0～120km、 $M \geq 3.0$)
2017 年 1 月の地震を濃く表示

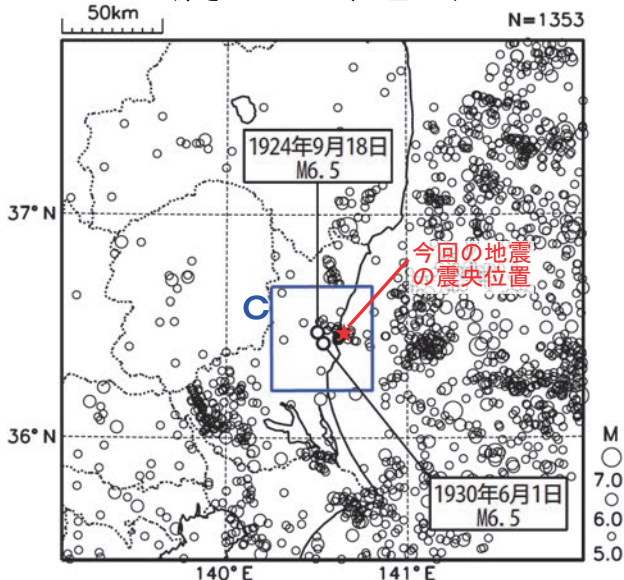


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)

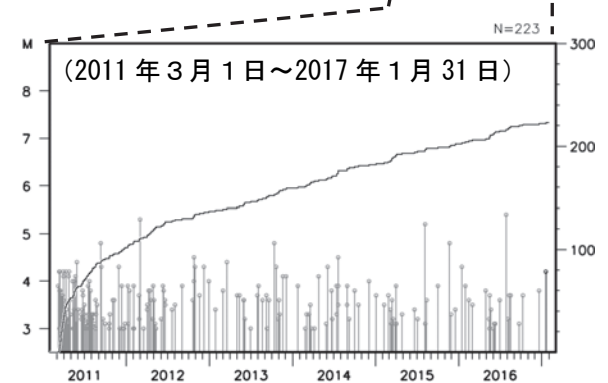
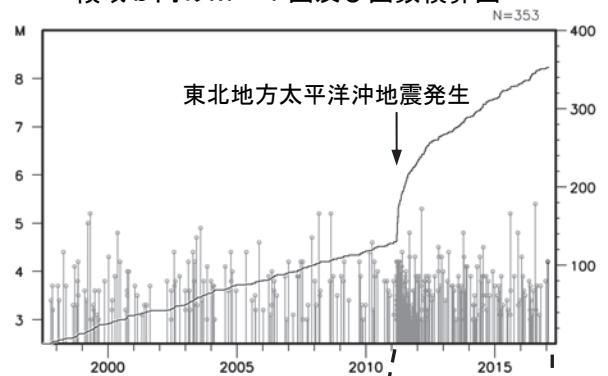


2017 年 1 月 18 日 17 時 19 分に茨城県沖の深さ 53km で $M 4.2$ の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

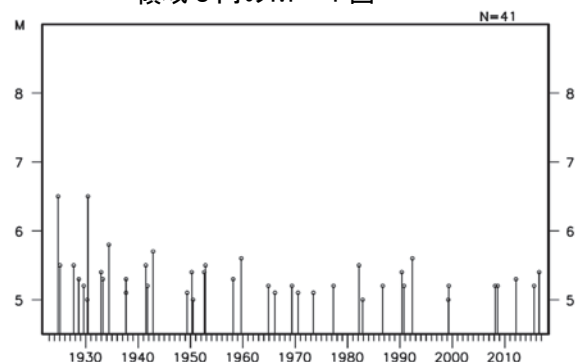
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) は、 $M 5$ 程度の地震が時々発生している。「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、活動がより活発になっており、2012 年 3 月 1 日には $M 5.3$ の地震、2016 年 7 月 27 日には $M 5.4$ の地震 (ともに最大震度 5 弱) が発生している。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域 c) では、 $M 5.0$ 以上の地震が度々発生しており、このうち、1930 年 6 月 1 日に発生した $M 6.5$ の地震 (最大震度 5) では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図



○ 近畿・中国・四国地方の地震活動

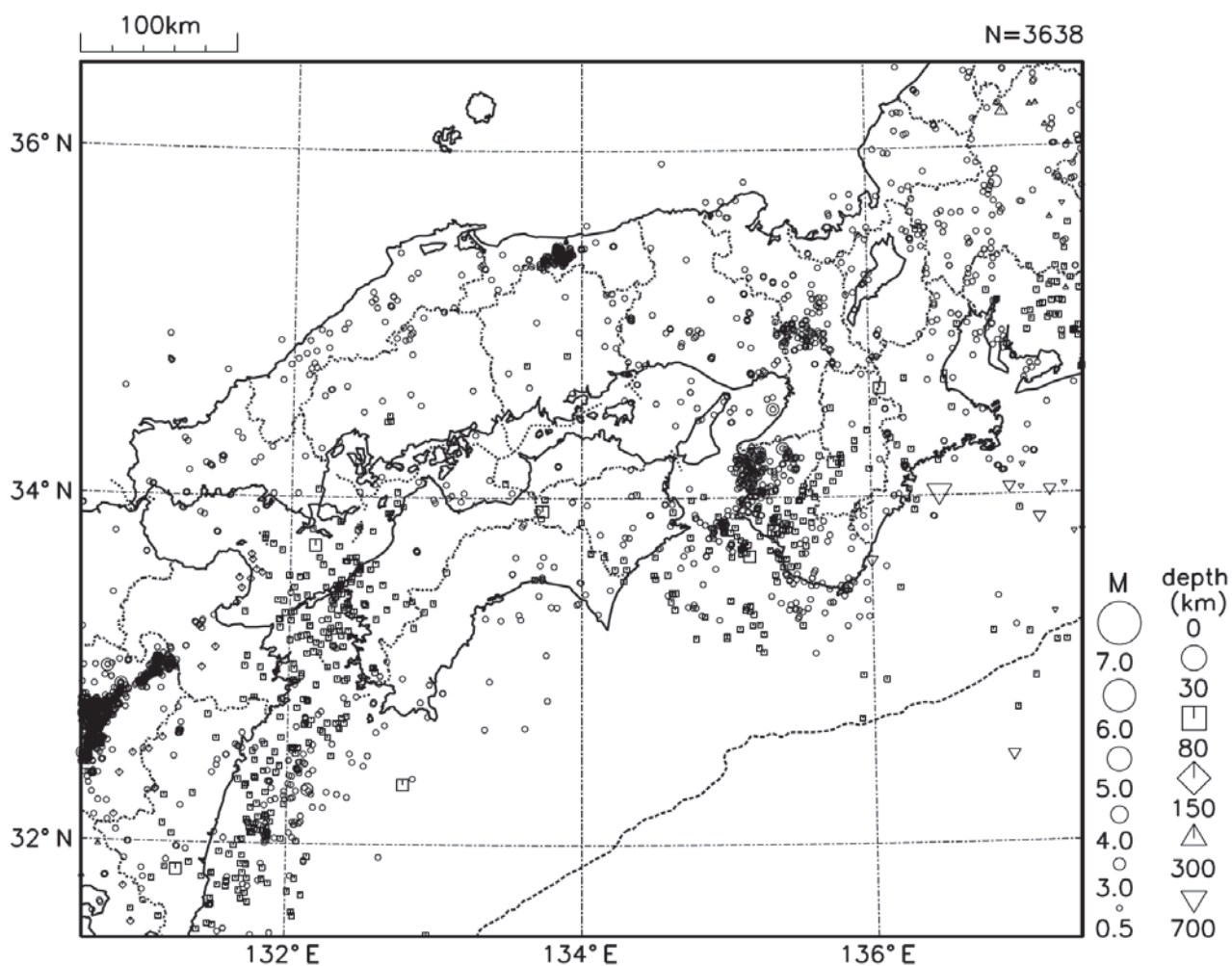


図 7 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2017 年 1 月 1 日～1 月 31 日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

1 月に近畿・中国・四国地方で震度 1 以上を観測した地震は 14 回（2016 年 12 月は 33 回）であった。

1 月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

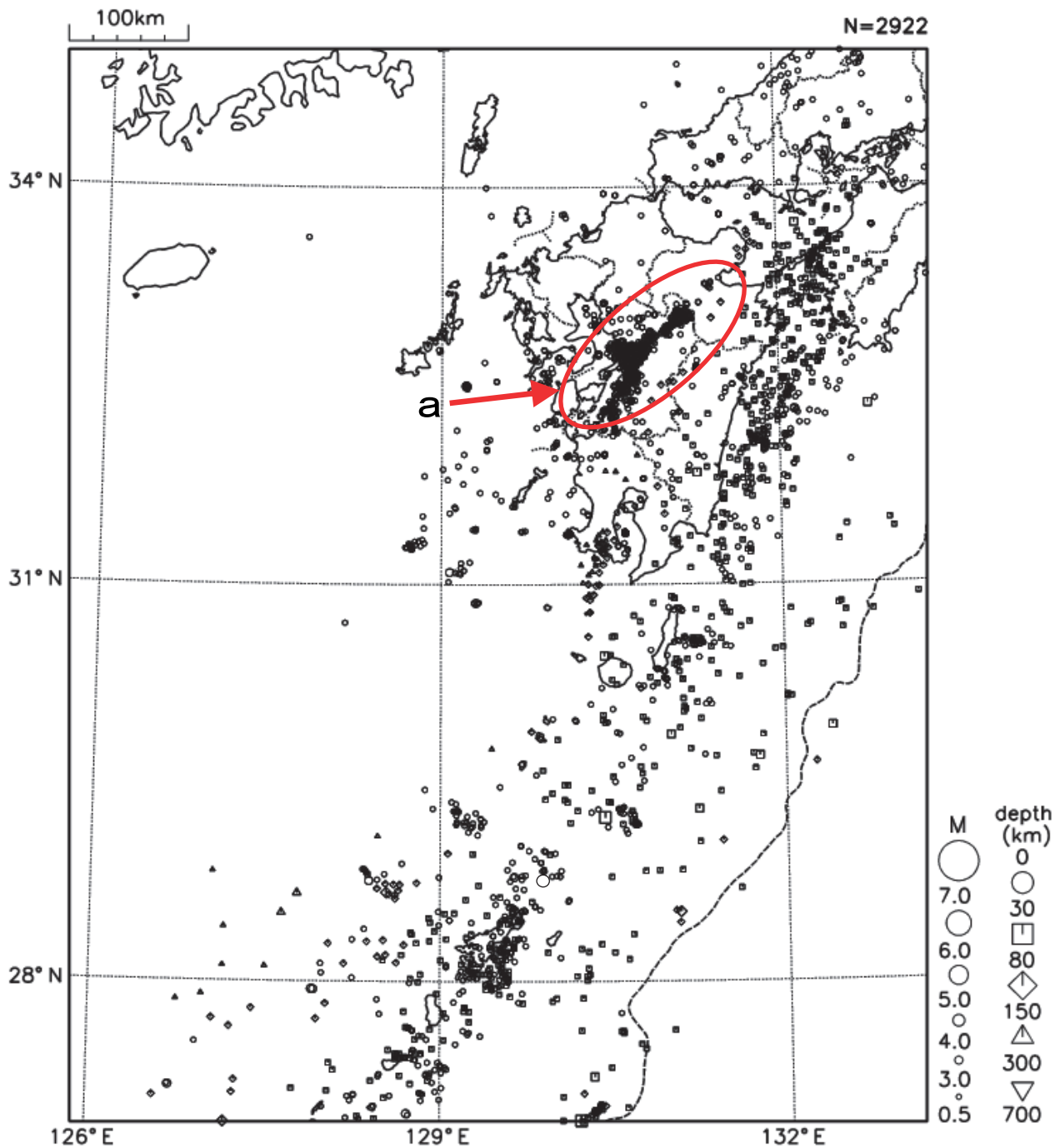


図8 九州地方の震央分布図（2017年1月1日～1月31日、 $M \geq 0.5$ ）

〔概況〕

1月に九州地方で震度1以上を観測した地震は40回（2016年12月は113回）であった。
1月中の主な活動は次のとおりである。

2017年1月の「平成28年（2016年）熊本地震」（図8中の領域a）は、熊本県熊本地方と阿蘇地方において、全体として引き続き減衰しつつも、活動は継続しており、1月31日までに最大震度4を観測した地震が1回発生した。最大規模の地震は、1月26日23時34分に熊本県熊本地方で発生したM3.9の地震（最大震度3、深さ9km）である（p4、18～19参照）。

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」

1 月 11 日 19 時 11 分に、熊本県熊本地方で M3.4 の地震（最大震度 4、深さ 9 km）が発生した。発震機構は、北北西－南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。1 月中の最大規模の地震は、1 月 26 日 23 時 34 分に熊本県熊本地方で発生した M3.9（最大震度 3、深さ 9 km）の地震で、発震機構は、北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

熊本県熊本地方（領域 a 3）及び阿蘇地方（領域 a 2）における「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも、活動は継続している。大分県中部（領域 a 1）の活動は低下した。

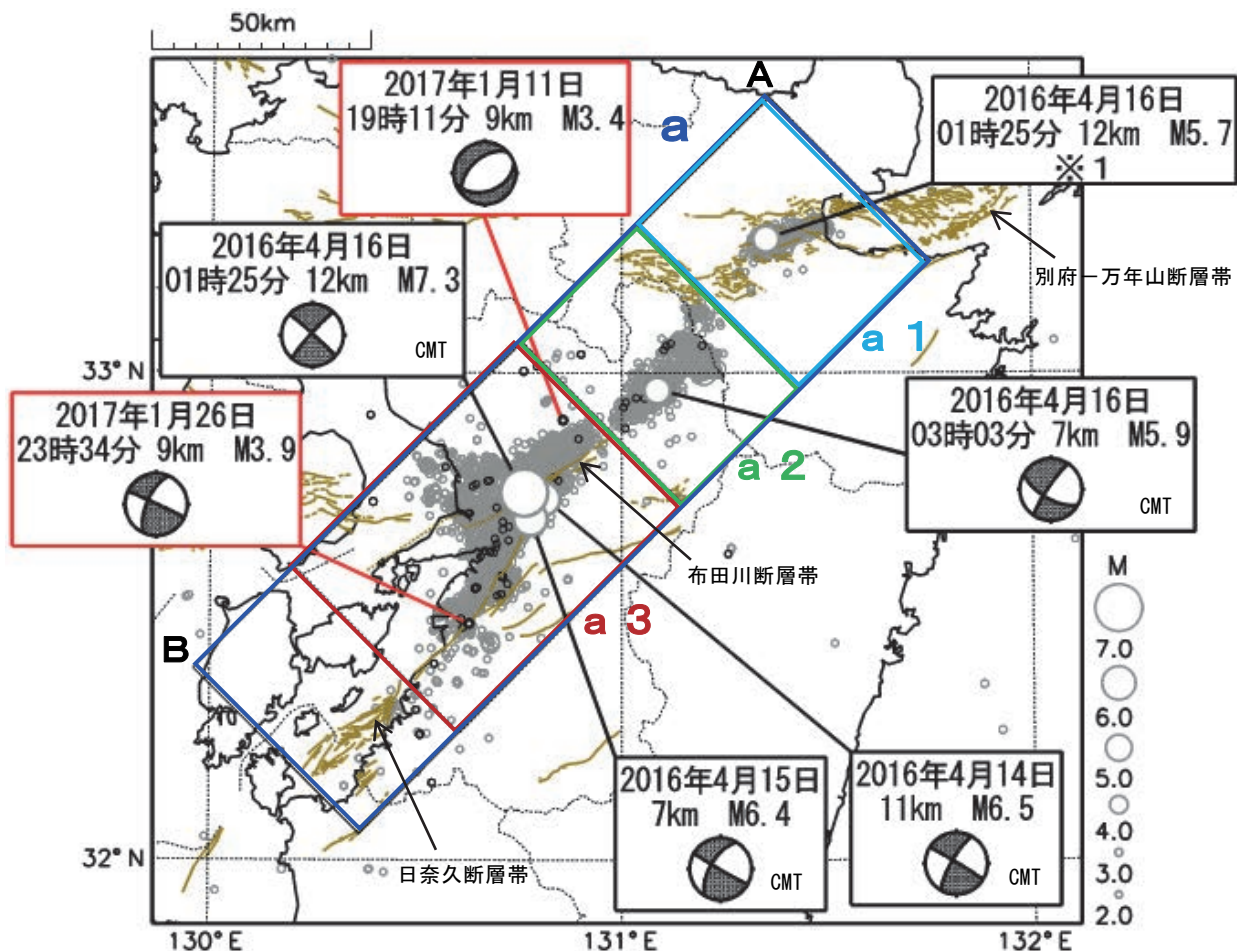
1 月中に震度 1 以上を観測した地震は 32 回（最大震度 4：1 回、最大震度 3：1 回、最大震度 2：8 回、最大震度 1：22 回）発生した。

今回の一連の地震活動により、死者 193 人、負傷者 2,717 人、住家全壊 8,414 棟などの被害が発生した（2 月 1 日 11 時 30 分現在、総務省消防庁による）。

震央分布図

（2016 年 4 月 14 日 21 時～2017 年 1 月 31 日、深さ 0～20km、M $\geq$ 2.0）

2017 年 1 月の地震を濃く表示

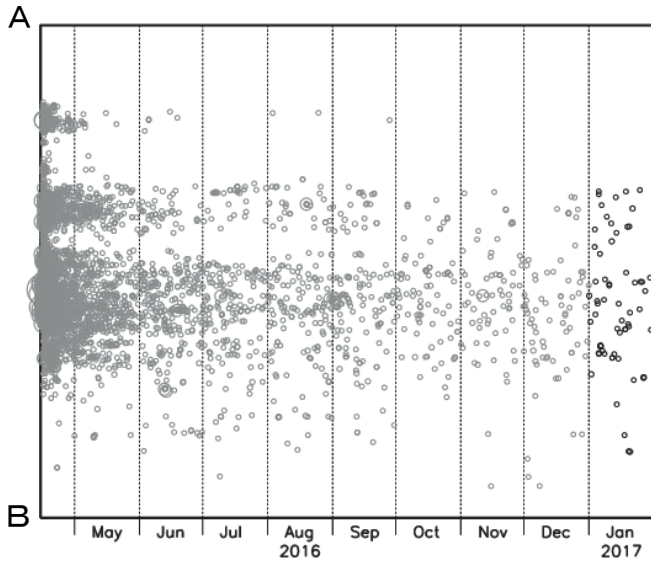


図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

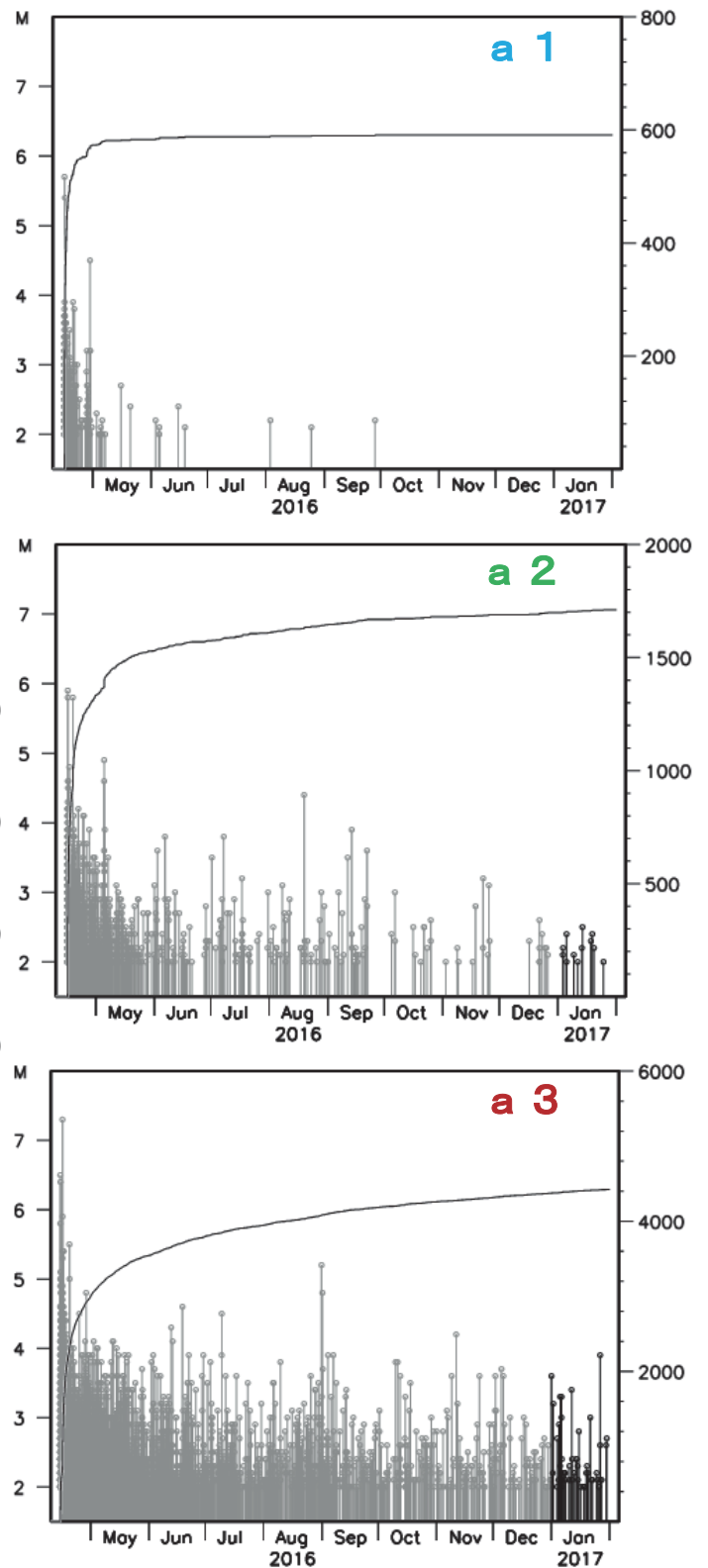
M6.0 以上の地震と各領域で最大規模の地震（2017 年 1 月の地震は最大震度を観測した地震と最大規模の地震）に吹き出しをつけている。

※ 1 M7.3 の地震の発生直後に発生したものであり、M の値は参考値。

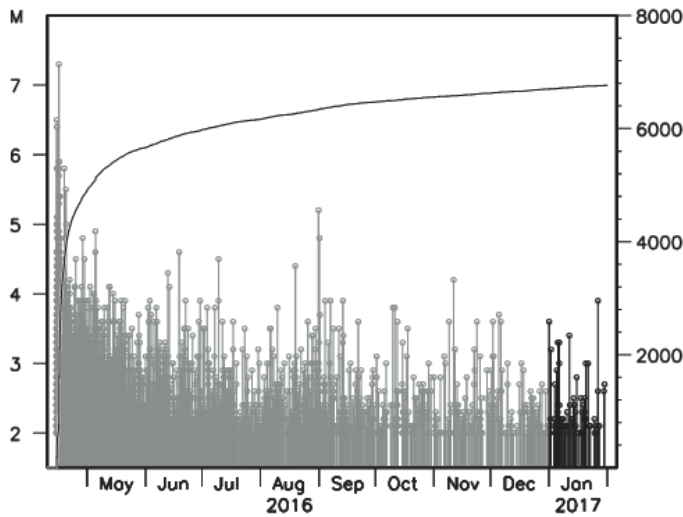
領域 a 内の時空間分布図（A－B 投影）
（2016 年 4 月 14 日 21 時～2017 年 1 月 31 日）



領域 a1, a2, a3 内の M－T 図及び回数積算図
（2016 年 4 月 14 日 21 時～2017 年 1 月 31 日）



領域 a 内の M－T 図及び回数積算図



○沖縄地方の地震活動

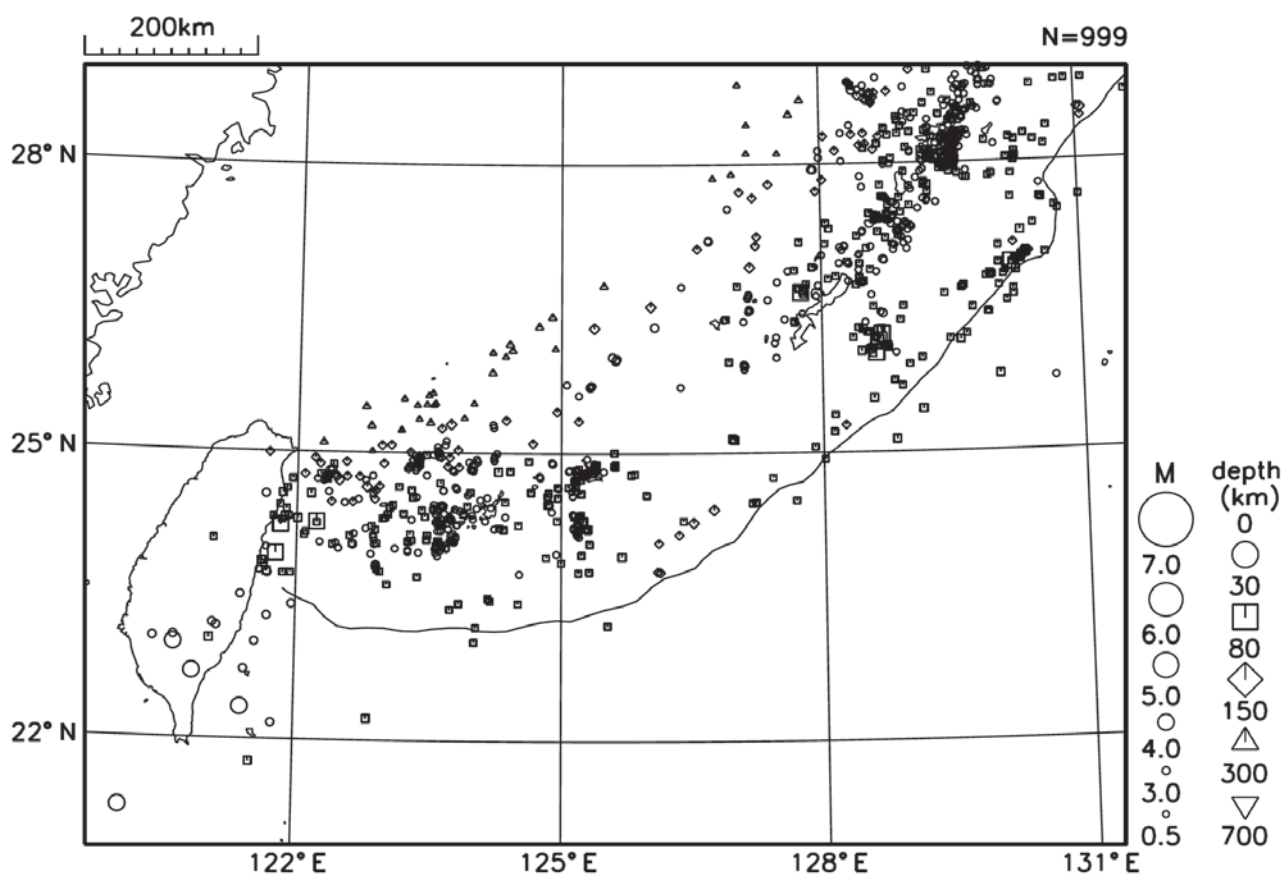


図9 沖縄地方の震央分布図（2017年1月1日～1月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

1月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は5回（2016年12月は7回）であった。
1月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

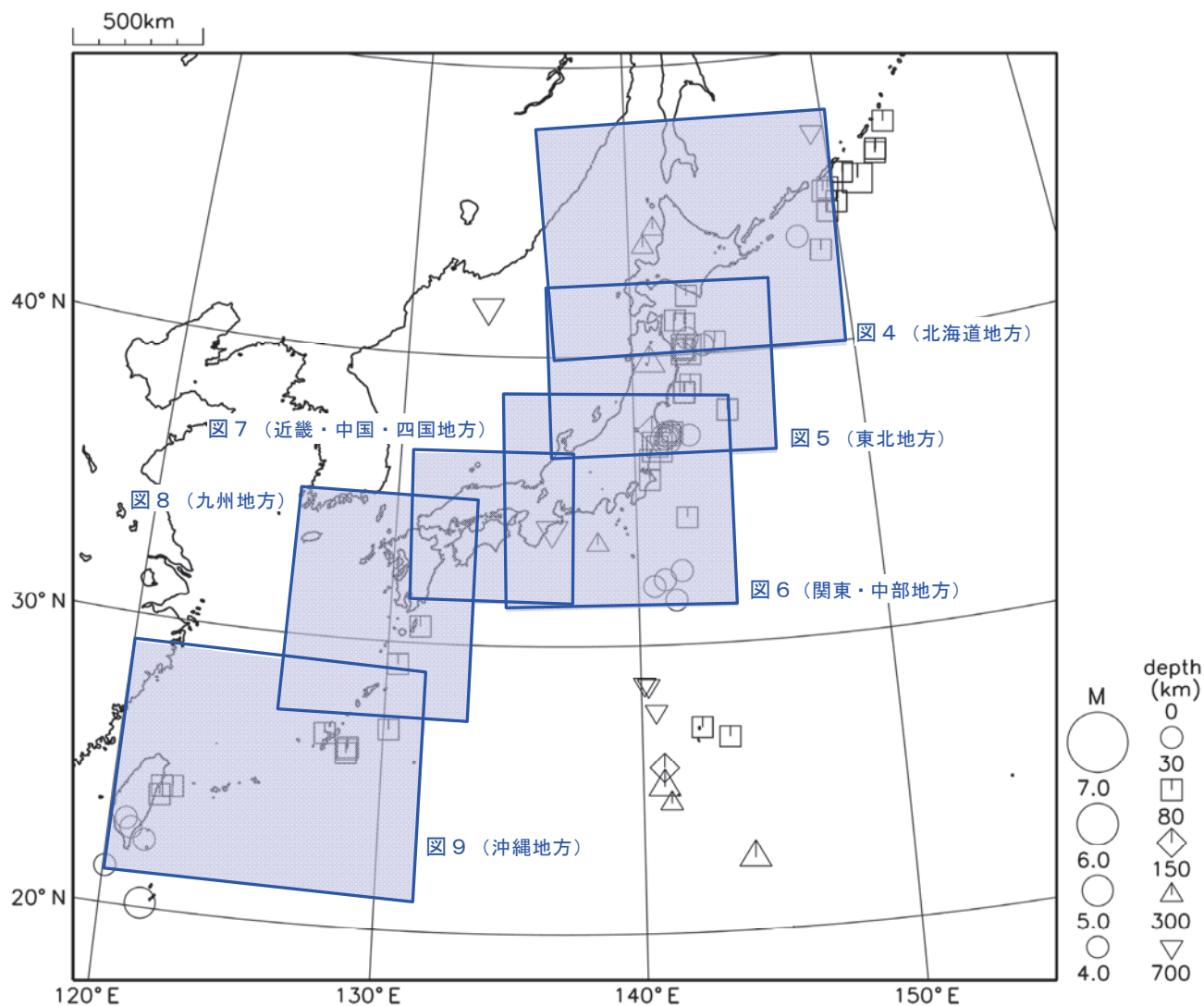


図 10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2017 年 1 月 1 日～1 月 31 日、 $M \geq 4.0$ ）

[概況]

1 月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震はなかった（2016 年 12 月は 3 回）。

1 月中、図 4～9 の領域外で特に目立った活動はなかった。

●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果

東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

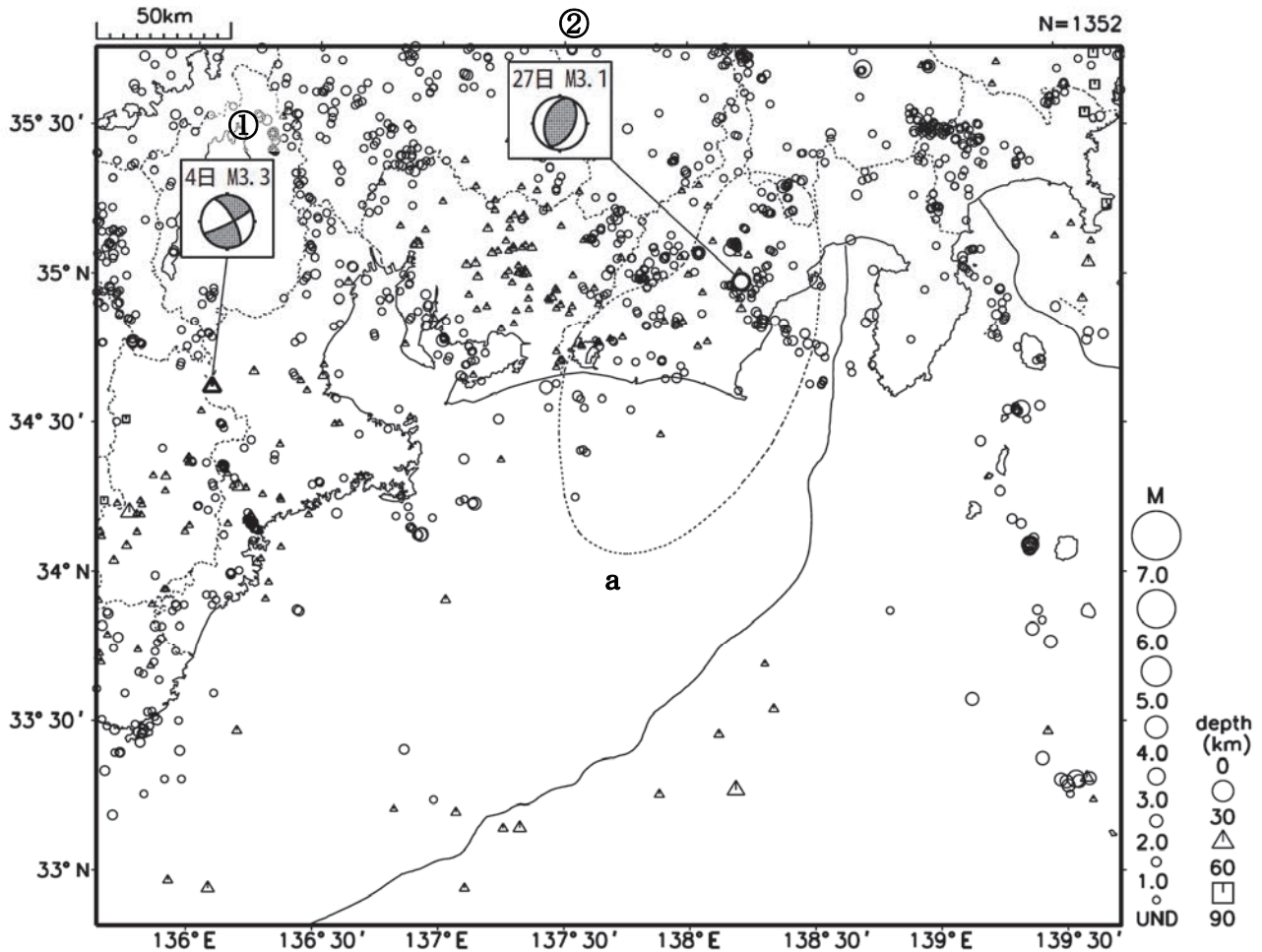


図1 震央分布図（2017年1月1日～31日：深さ0～90km、Mすべて。図中の領域aは東海地震の想定震源域。）

〔概況〕

特に目立った活動はなかった。

- ① 1月4日17時16分に、三重県中部の深さ58kmでM3.3の地震（最大震度1）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。発震機構は北北東－南南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。
- ② 1月27日12時35分に、静岡県中部の深さ19kmでM3.1の地震（最大震度1）が発生した。この地震は発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生した。

注 冒頭の番号は図1中の数字に対応する

地震防災対策強化地域判定会検討結果

1 月 30 日に気象庁において第 369 回地震防災対策強化地域判定会(定例)を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」として次の調査結果を発表した（図 2～図 14）。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測していません。

1. 地震の観測状況

全般的に顕著な地震活動はありません。

2. 地殻変動の観測状況

G N S S 観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向は継続しています。

平成 2 5 年はじめ頃から静岡県西部から愛知県東部にかけての G N S S 観測及びひずみ観測にみられている通常とは異なる変化は、小さくなっています。

3. 地殻活動の評価

平成 2 5 年はじめ頃から観測されている通常とは異なる地殻変動は、浜名湖付近のプレート境界において発生している「長期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しており、現在は、「長期的ゆっくりすべり」は緩やかになっていると考えられます。

そのほかに東海地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られていません。

以上のように、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測していません。

なお、G N S S 観測の結果によると「平成 2 3 年（2 0 1 1 年）東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつありますが東海地方においてもみられています。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年（1978 年）12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域を予め「地震防災対策強化地域」（以下、「強化地域」という。）として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、予め地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年（2002 年）4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 157 市町村（平成 24 年 4 月現在）が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震（東海地震）が起こった場合、震度 6 弱以上（一部地域では震度 5 強程度）になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

気象庁では、いつ発生してもおかしくない状態にある「東海地震」を予知すべく、東海地域の地震活動や地殻変動等の状況を監視している。また、これらの状況を定期的に評価するため、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を取りまとめたコメント「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」を発表している。

【地震防災対策強化地域判定会検討結果の頁で使われる用語】

・「想定震源域」と「固着域」

東海地震発生時には、「固着域」（プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域）あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ（前兆すべり）が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。図 2 の静岡県中西部の場合、相互の震央間の距離が 3 km 以内で、相互の発生時間差が 7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が 1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界が、数年間にかけてゆっくりとすべる現象で、十数年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられており、今回は 2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約 30km～40km で発生する、長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

「短期的ゆっくりすべり」は、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。

なお、地震活動および地殻活動の解析には Hirose et al. (2008) * によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

* Hirose, F., J. Nakajima, and A. Hasegawa (2008), Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274.

東海地域の地震活動指数

（参考）

（クラスタを除いた地震回数による） 2017 年 1 月 24 日現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内 全域	西側	東側	全域
短期活動指数	8	4	2	3	3	3	4	7
短期地震回数 (平均)	12 (5.29)	7 (7.00)	8 (13.16)	11 (14.15)	2 (3.72)	0 (1.43)	2 (2.28)	10 (6.06)
中期活動指数	7	3	1	3	5	5	4	4
中期地震回数 (平均)	25 (15.87)	17 (21.00)	28 (39.48)	38 (42.44)	9 (7.44)	4 (2.87)	5 (4.57)	13 (12.12)

* Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M $\geq$ 1.1、駿河湾：M $\geq$ 1.4* クラスタ除去：震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺： $\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$ 駿河湾： $\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$

* 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間

浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間

* 基準期間： おおむね長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）発生前の地震活動を基準とする。

静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）、

浜名湖周辺：1997年－2000年 および 2006年－2012年（11年間）

[各領域の説明] ① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。

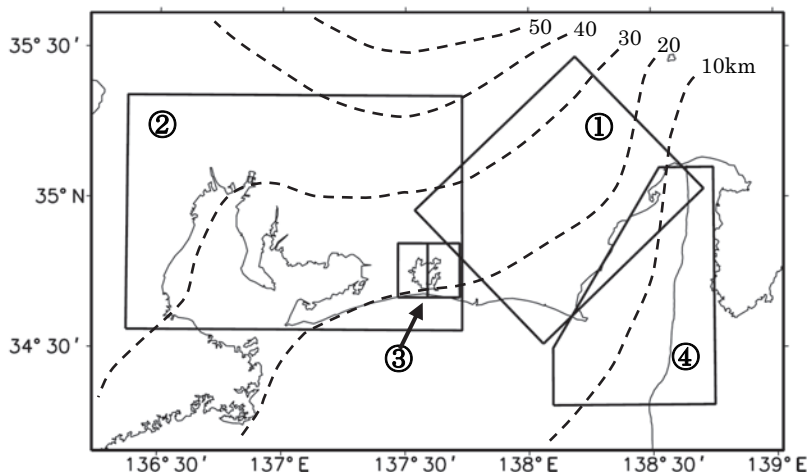
② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。

③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。

④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。

2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震（M6.5）と 2011 年 8 月 1 日の駿河湾の地震（M6.2）

の余震域の活動を除いた場合での活動指数についても求めた（次ページ）。



* Hirose et al. (2008) によるプレート境界の等深線を破線で示す

地震回数の指数化		
指数	確率 (%)	地震数
8	1	多い
7	4	
6	10	
5	15	ほぼ平常
4	40	
3	15	
2	10	やや少ない
1	4	
0	1	少ない

図2 東海地域の地震活動指数

気象庁作成

地震活動指数の推移（中期活動指数）

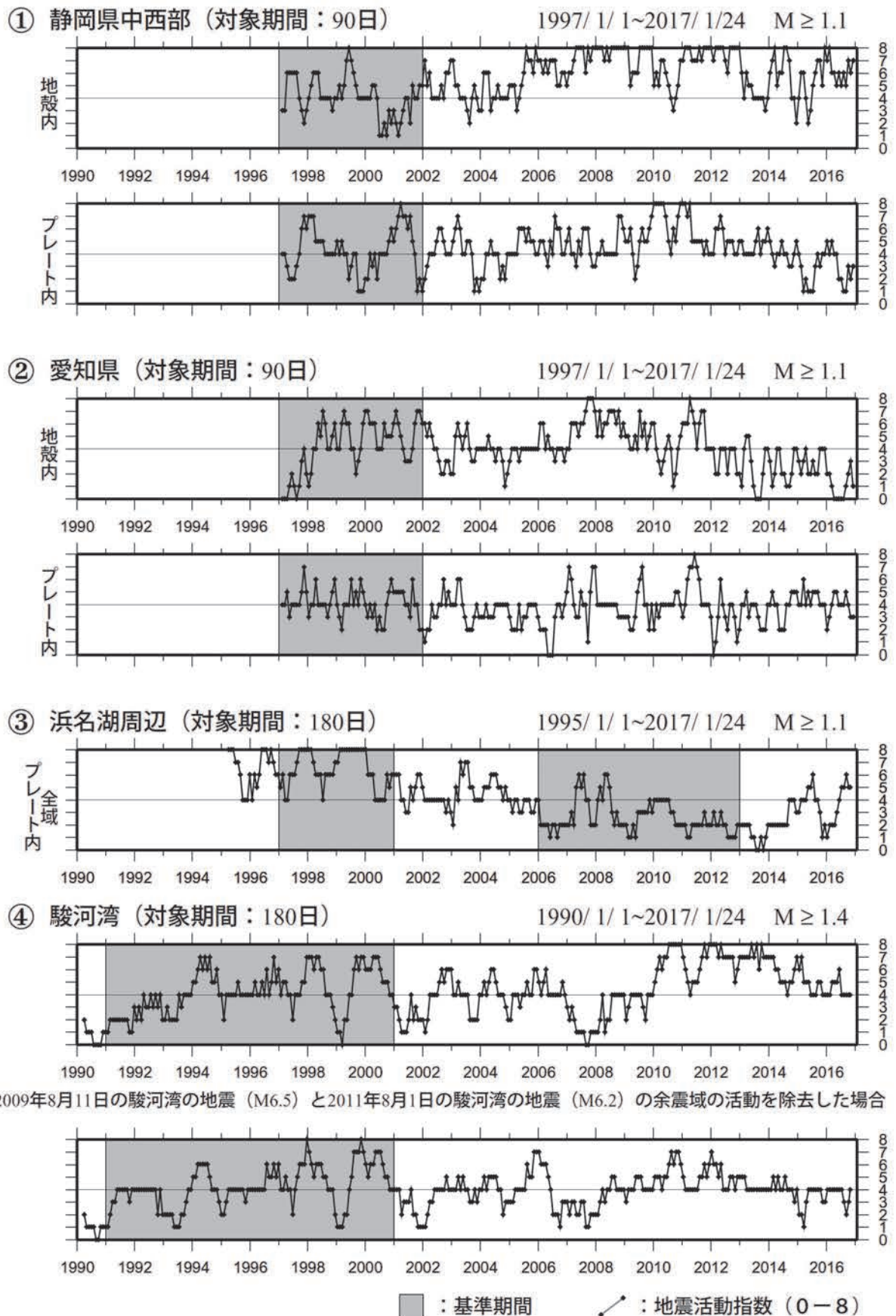
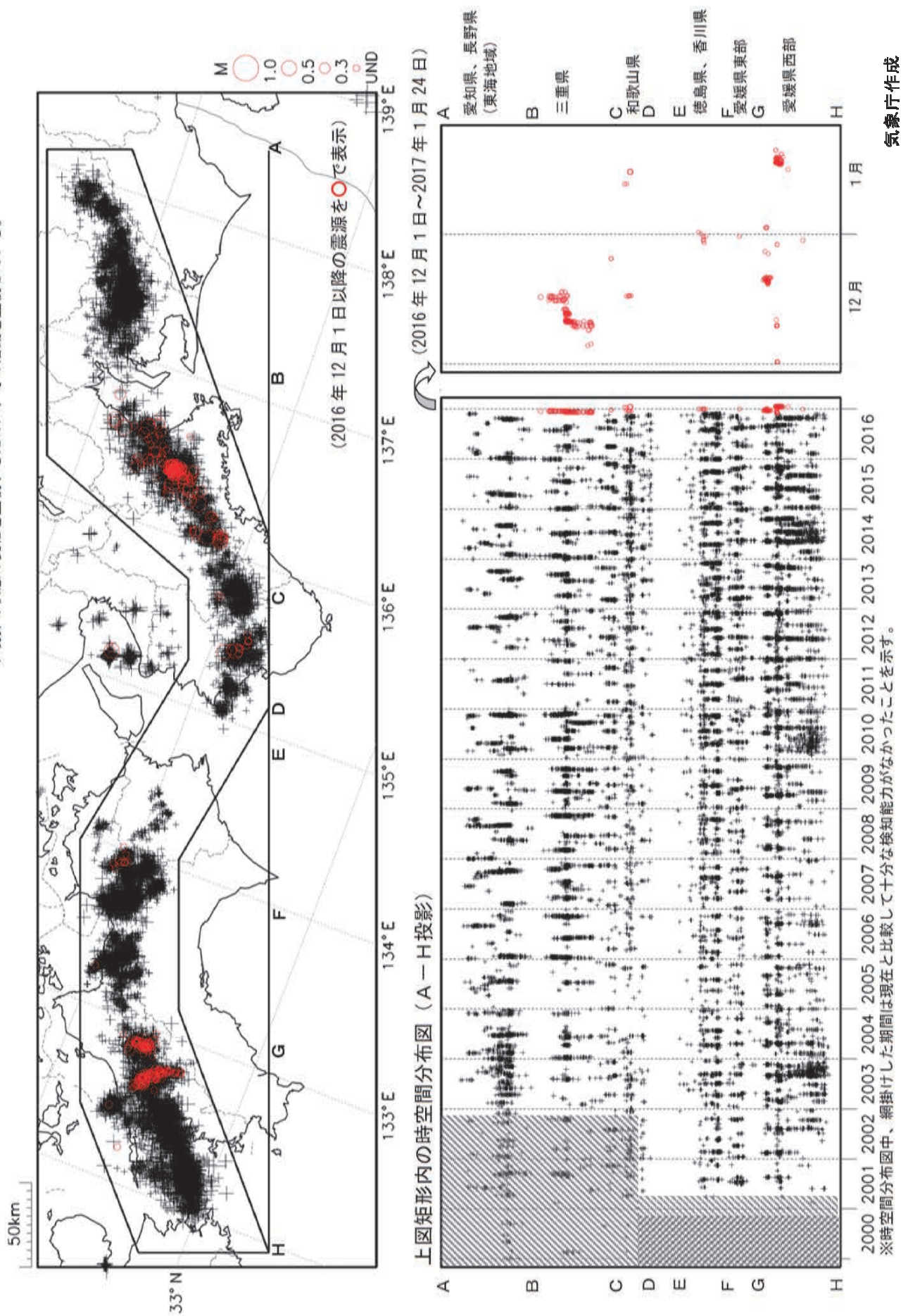


図 3 東海地域の地震活動指数の推移

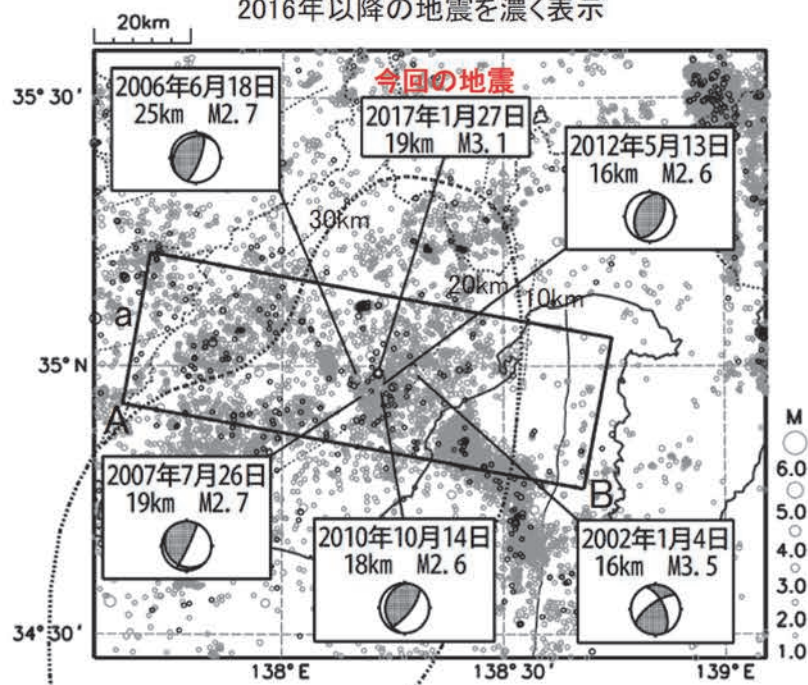
深部低周波地震活動（2000 年 1 月 1 日～2017 年 1 月 24 日）
深部低周波地震は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。



1月27日 静岡県中部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2016年1月27日13時、
M $\geq$ 1.0、深さ0～50km)
2016年以降の地震を濃く表示



1月27日12時35分頃に静岡県中部の深さ19kmでM3.1の地震(最大震度1)が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、プレート境界付近*で発生した。

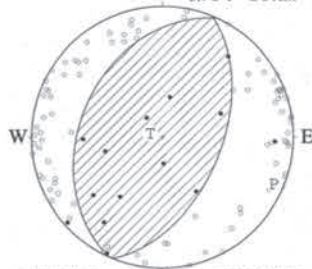
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、これまで時々逆断層型の地震が発生していた。

なお、ひずみ計には特段の変化は現れていない。

*Hirose et al. (2008)によるプレート境界から上に約2.8km。

発震機構解

2017/01/27 12:35 M:3.1
静岡県中部

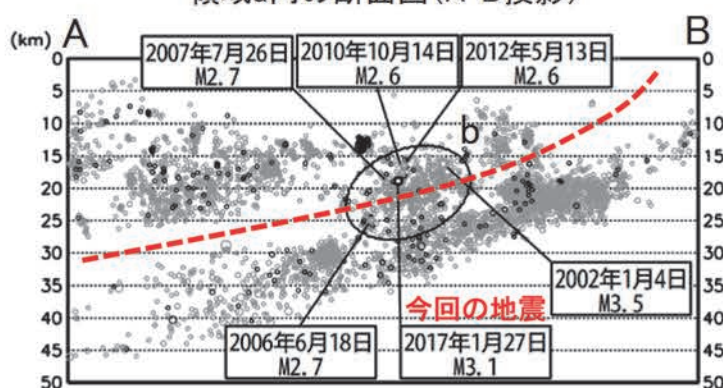


P波初動解 STR DIP SLIP AZM PLG
NP1 204° 37° 92° P 113° 8°
NP2 22° 53° 89° T 286° 82°
N 23° 1°

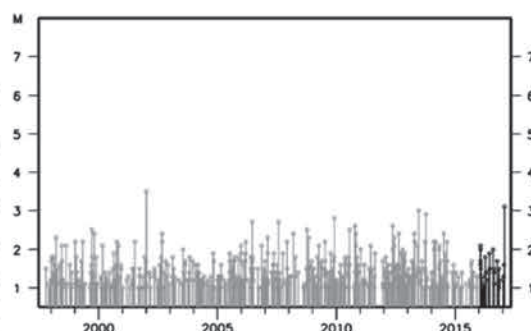
震央分布図中の点線のコンターは、Hirose et al. (2008) によるプレート境界を示す。

震央分布図中の点線で囲まれた領域は想定震源域を示す。

領域a内の断面図(A-B投影)



領域b内のM-T図



断面図中の赤色の点線はHirose et al. (2008) によるプレート境界の位置を示す。

気象庁作成

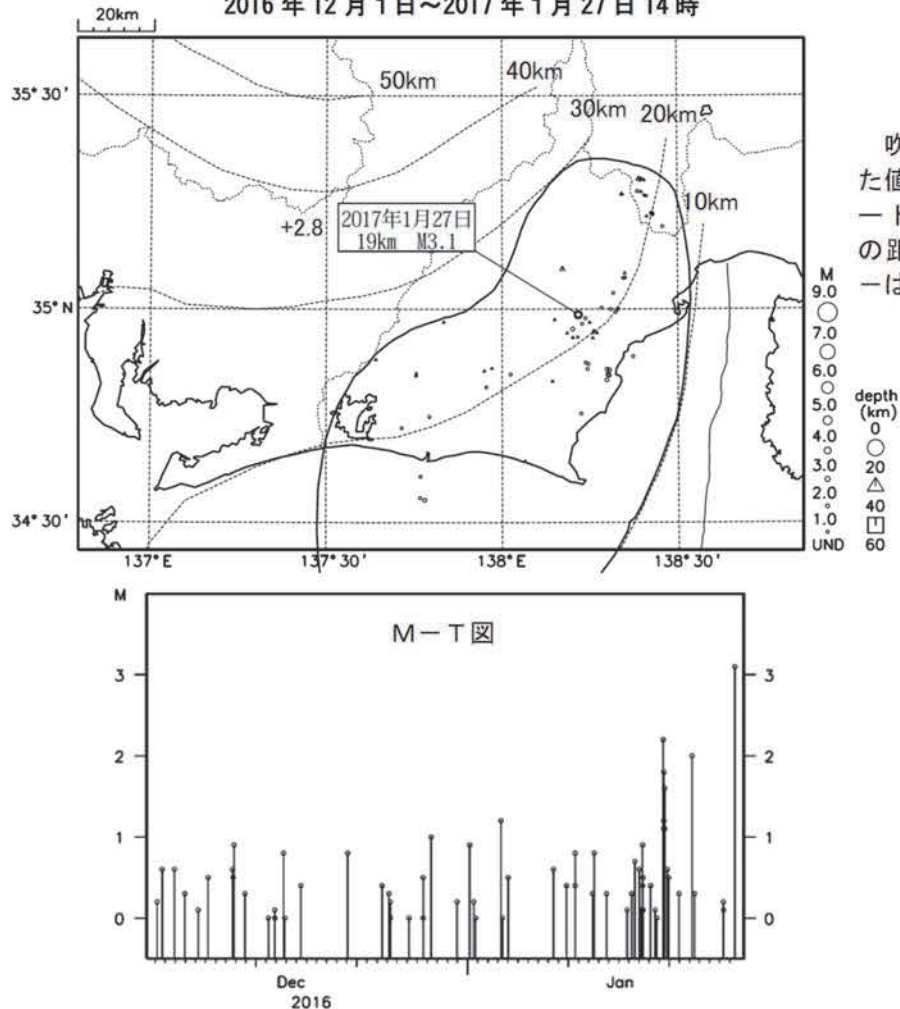
図5 1月27日 静岡県中部の地震

プレート境界とその周辺の地震活動(最近の活動状況)

(Hirose et al. (2008)によるフィリピン海プレート上面深さの±3kmの地震を抽出)

プレート境界とその周辺の地震の震央分布（最近約1ヶ月半、Mすべて）

2016年12月1日～2017年1月27日14時

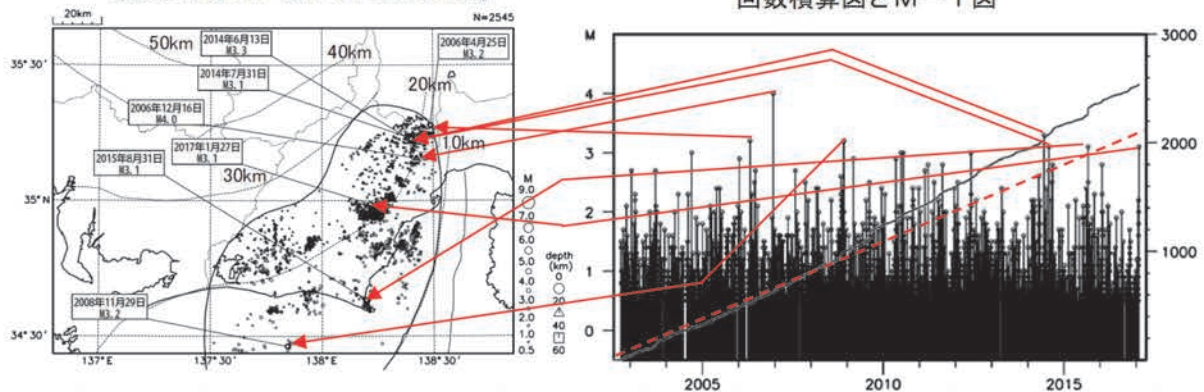


吹き出しの傍に書かれた値は、フィリピン海プレート上面からの鉛直方向の距離 (km)。+は浅く、-は深いことを示す。

プレート境界とその周辺の地震の震央分布（2002年10月以降、M≥0.5）

2002年10月1日～2017年1月27日14時

回数積算図とM-T図



2002年10月以降（M≥0.5）で見ると、東海地域のプレート境界とその周辺の地震活動は、2007年中頃あたりからやや活発に見える。なお、2009年8月11日以降は、駿河湾の地震(M6.5)の余震活動の一部を抽出している。M3を超える地震については、その震央を矢印で示しているが、これらの地震の発震機構解のうち、想定東海地震のものと類似の型に相当したものは2017年1月27日の地震である。

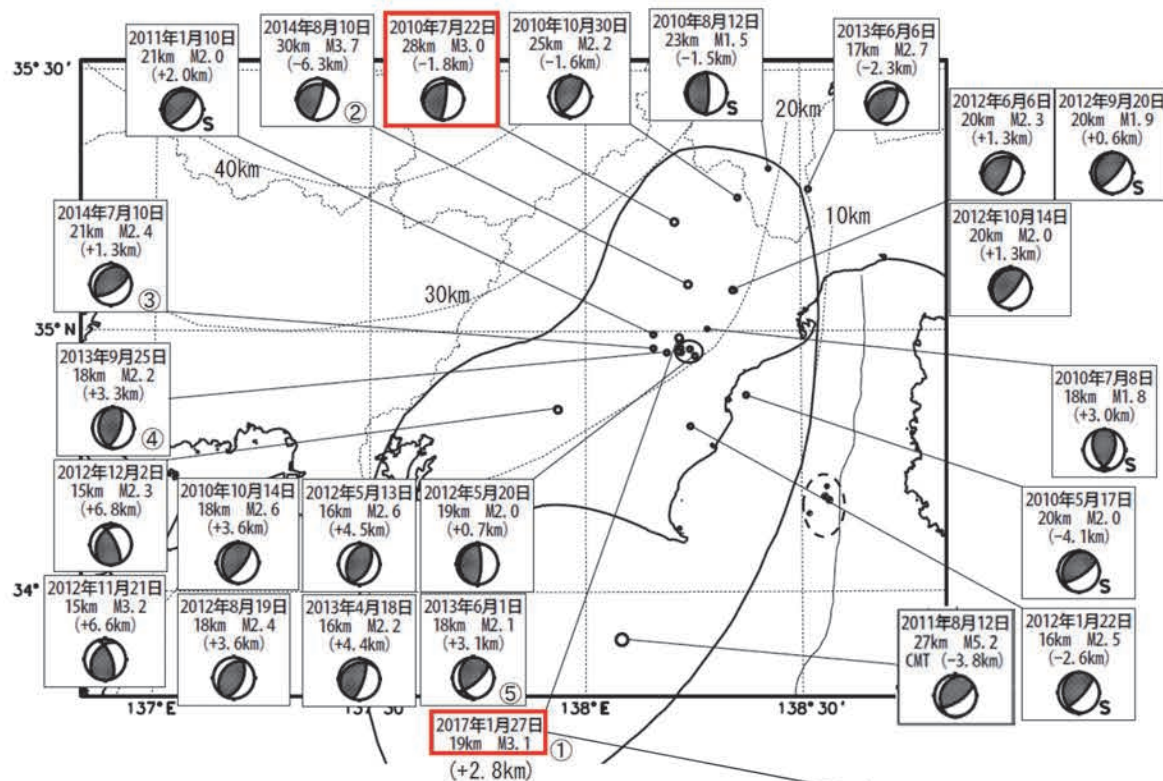
※震央分布図中の点線は、Hirose et al. (2008)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

気象庁作成

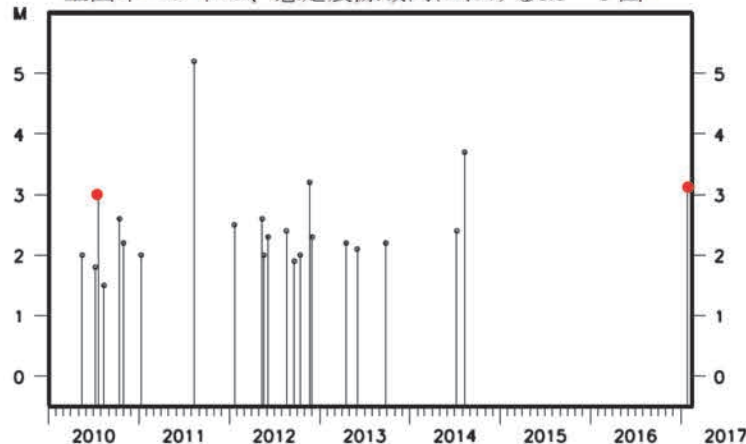
図6 プレート境界とその周辺の地震活動(最近の活動状況)

想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震

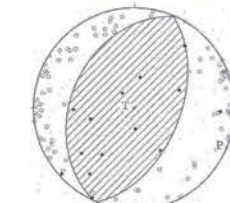
2010 年 1 月 1 日～2017 年 1 月 27 日



上図イベントの、想定震源域内におけるM-T図



2017 年 1 月 27 日の地震
(M3.1、深さ 19km)
の発震機構解（速報）



Hirose et al. (2008)によるプレ
ート境界からの鉛直方向の距離
+2.8km

想定震源域内で発生した地震のうち、
M3.0 以上かつプレート境界からの鉛直方向の距離が±3km 以内の地震の枠を赤く表示

吹き出し内に () で記載した値は、Hirose et al. (2008)によるプレート境界からの鉛直方向の距離。+はプレート境界より浅く、-は深いことを示す。

震央分布図中の点線は、Hirose et al. (2008)によるプレート境界を示す。

最近発生した 5 つの地震については、丸数字で順番を示す。

想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震を抽出した。抽出条件は、P 軸の傾斜角が 45 度以下、かつ P 軸の方位角が 65 度以上 145 度以下、かつ T 軸の傾斜角が 45 度以上、かつ N 軸の傾斜角が 30 度以下とした。

プレート境界で発生したと疑われる地震の他、明らかに地殻内またはフィリピン海プレート内で発生したと推定される地震も含まれている。点線楕円で囲まれた地震は、2011 年 8 月 1 日に発生した M6.2 の地震の余震で、フィリピン海プレート内の地震である。

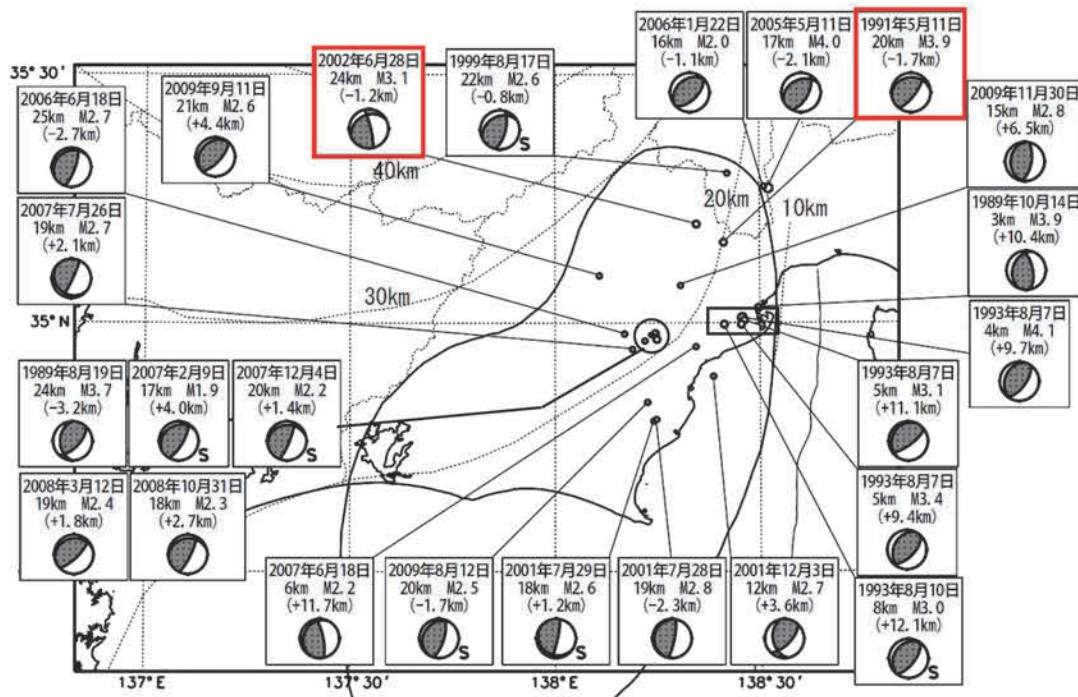
なお、吹き出し図中、震源球右下隣りに S の表示があるものは、発震機構解に十分な精度がない。

気象庁作成

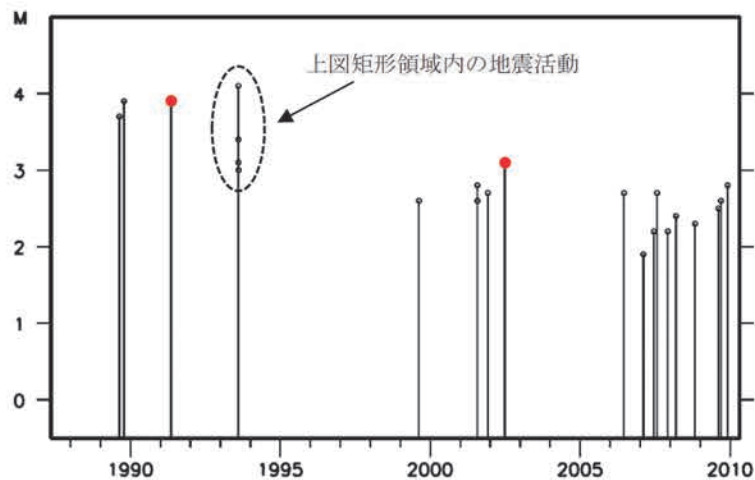
図 7-1 想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震（2010 年 1 月 1 日～2017 年 1 月 27 日）

想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震

1987 年 9 月 1 日～2009 年 12 月 31 日



上図イベントの、想定震源域内におけるM-T図



想定震源域内で発生した地震のうち、
M3.0 以上かつプレート境界からの鉛直方向の距離が±3km 以内の地震の枠を赤く表示

吹き出し内に () で記載した値は、Hirose et al. (2008)によるプレート境界からの鉛直方向の距離。+はプレート境界より浅く、-は深いことを示す。

震央分布図中の点線は、Hirose et al. (2008)によるプレート境界を示す。

想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震を抽出した。抽出条件は、P軸の傾斜角が45度以下、かつP軸の方位角が65度以上145度以下、かつT軸の傾斜角が45度以上、かつN軸の傾斜角が30度以下とした。

プレート境界で発生したと疑われる地震の他、明らかに地殻内またはフィリピン海プレート内で発生したと推定される地震も含まれている。また、2009年までに発生した地震については、Nakamura et al. (2008)の3次元速度構造で震源とメカニズム解を再精査し、いくつかの地震は候補から削除されている。

なお、吹き出し図中、震源球右下隣りにSの表示があるものは、発震機構解に十分な精度がない。

気象庁作成

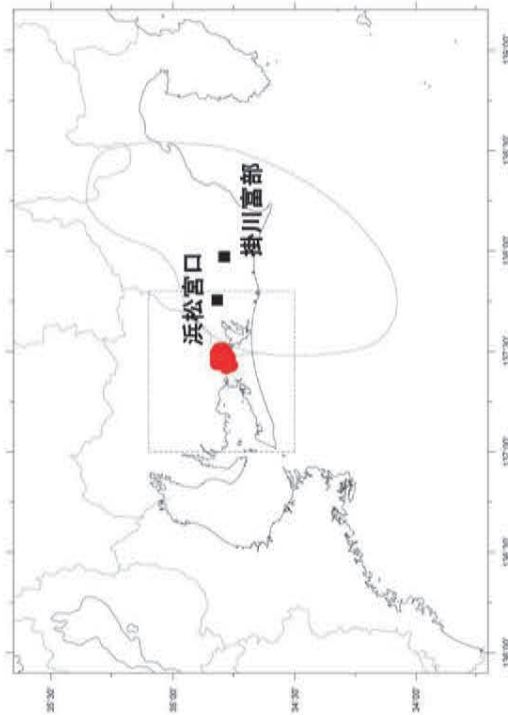
図7-2 想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震（1987年9月1日～2009年12月31日）

ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのすべり推定

ひずみ計の観測結果から、長期的ゆっくりすべりに対応すると思われる変化を読み取り、グリッドサーチの手法で、変動源の断層モデルを推定した。その推定方法は、短期的ゆっくりすべりの解析で行っているものと同じであり、仮定している断層のスケールは、解が、ターゲットとしている長期的ゆっくりすべりに当てはまらない可能性がある。また、解析に使用できた観測点は2点のみであり、この結果の精度はあまり高くない。

ひずみ変化を説明する断層モデル候補

Mw6.6～7.0



■ 断層モデル推定に使用したひずみ観測点(多成分ひずみ計)
● 断層モデル候補の中心

断層モデル候補は、中村・竹中(2004)¹⁾によるグリッドサーチの手法※により求めた。プレート境界と断層面の形状はHirose et al.(2008)²⁾による。

※ 断層モデル候補の中心とその規模(Mw)を、すべりがプレート境界面上でプレートの沈み込み方向と反対に発生したと仮定し、考え得る全ての解を前提として得られる理論値と観測値を比較し、合致するものを抽出する手法

1) 中村浩二・竹中源、東海地方のプレート間すべり推定ツールの開発、地震時報、68、25-35、2004
2) Hirose F., J. Nakajima, A. Hasegawa, Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274, 2008

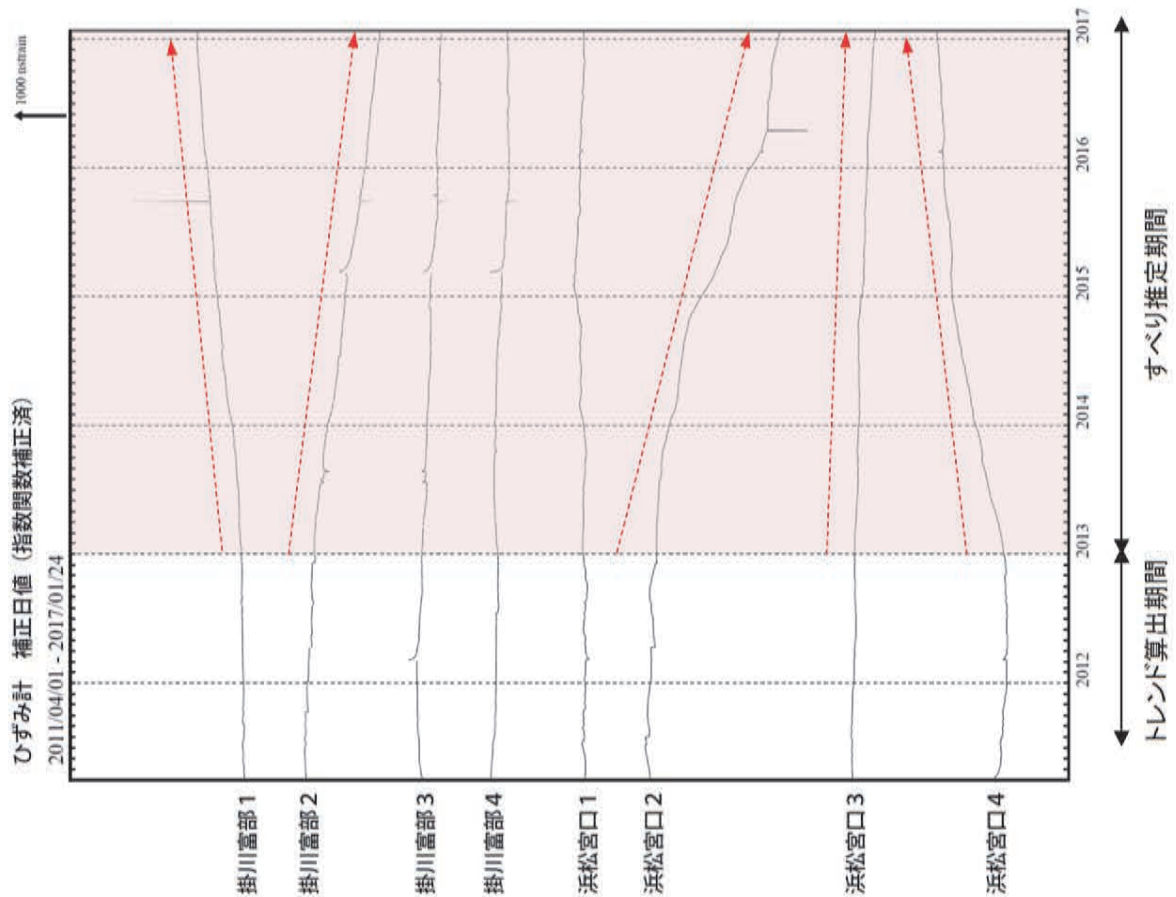


図8 ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのすべり推定

ひずみ日値のスタッキングによる長期的ゆっくりすべりの検出について

○各グリッドでの時系列変化

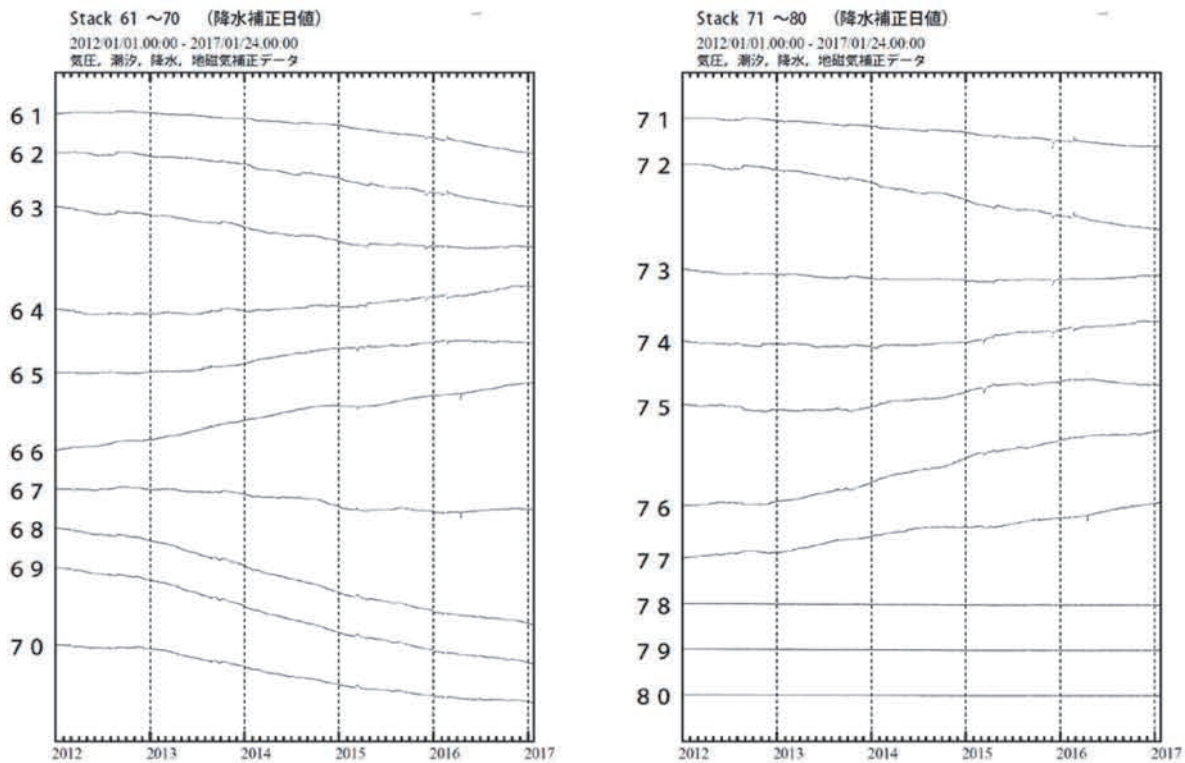


図 1：日値スタッキング波形。番号は監視グリッド（図 2 参照）を示す。

- データ：補正日値（体積ひずみ計と 1998 年から 2002 年整備の多成分ひずみ計）
 主な地震および短期的 SSE による変化をオフセットとして除去
 ひずみ計の長期変化について、指数関数で近似して補正
- ノイズレベル：2011 年 6 月～2012 年 12 月の、60 日階差（単純な階差）の標準偏差
- 理論値計算：0.15° ごとの各グリッドを中心とする、20×20km の断層
- トレンド：2012 年 7 月～12 月の期間のトレンドを除去している

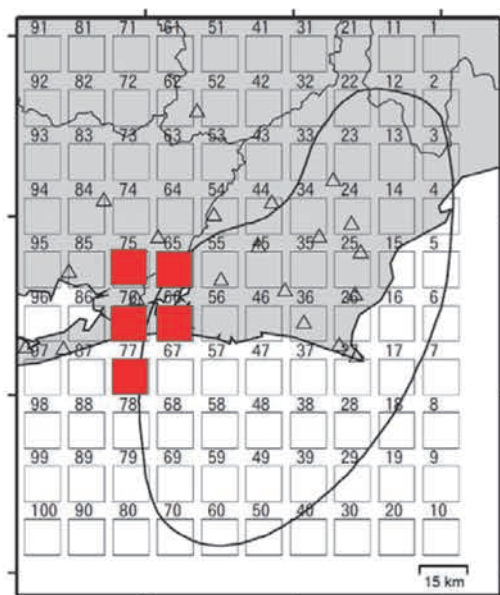


図 2：グリッド配置およびすべり位置

グリッド No.65, 66 及び 75~77 に明瞭な変化が見られている。総すべり量は Mw6.7 相当となる。

□ スタッキンググリッド

* スタッキング手法は、複数のひずみ計のデータを重ね合わせる
 ことによって、微小な地殻変動のシグナルを強調させて、検知能
 力を向上させる解析方法である。

参考文献

宮岡一樹、横田 崇（2012）：地殻変動検出のためのスタッキング
 手法の開発—東海地域のひずみ計データによるプレート境界
 すべり早期検知への適用—, 2012, 地震 2, 65, 205-218.

気象庁・気象研究所作成

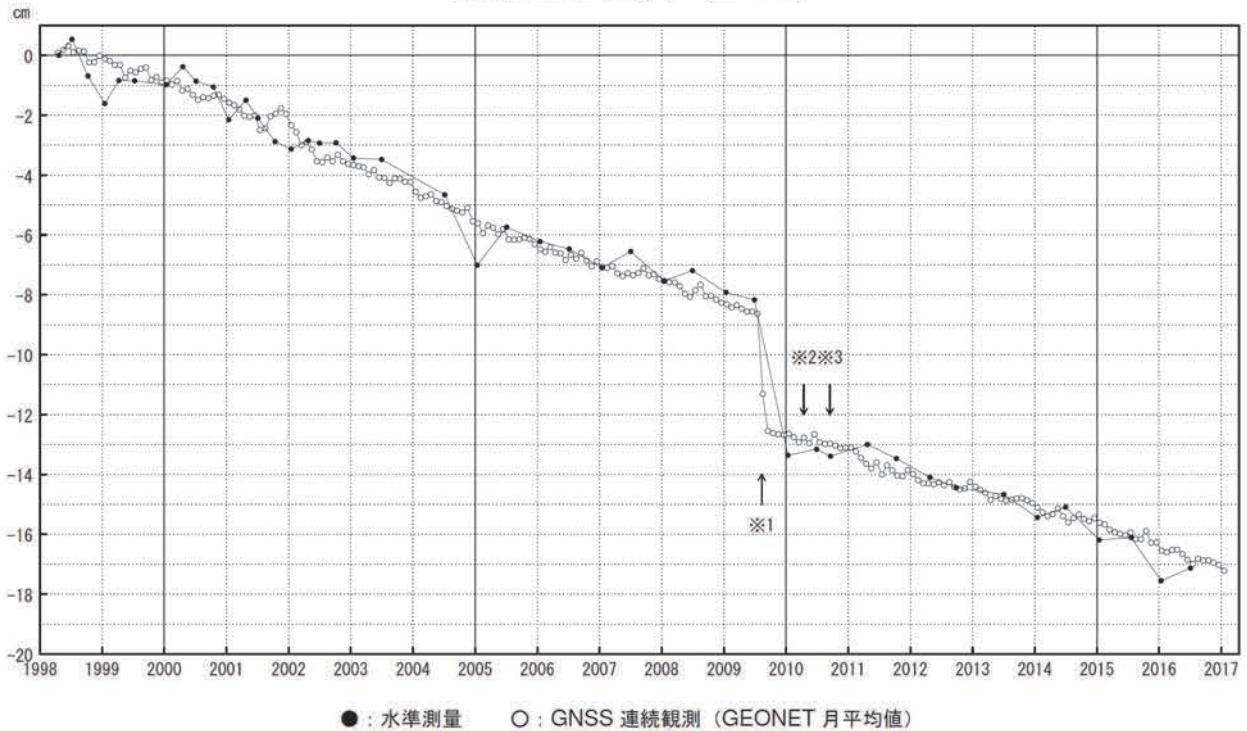
図 9 ひずみ日値のスタッキングによる長期的ゆっくりすべりの検出について

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

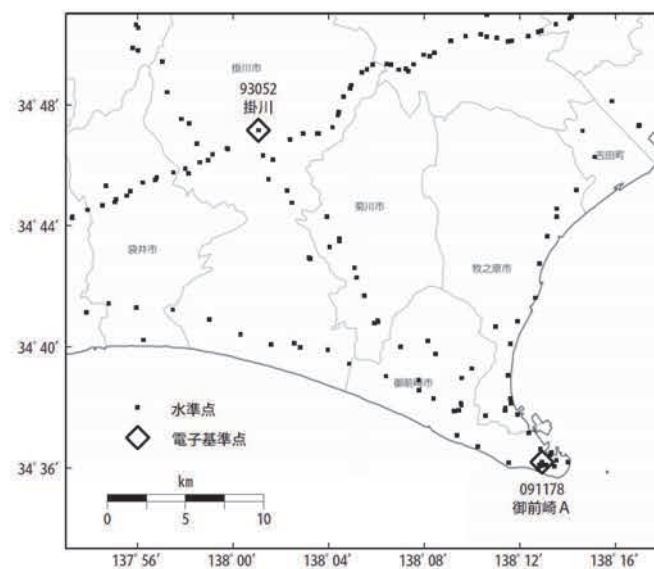
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 (93052) - 御前崎 A (091178)



・ 最新のプロット点は 01/01～01/07 の平均。

- ※ 1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※ 2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※ 3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。



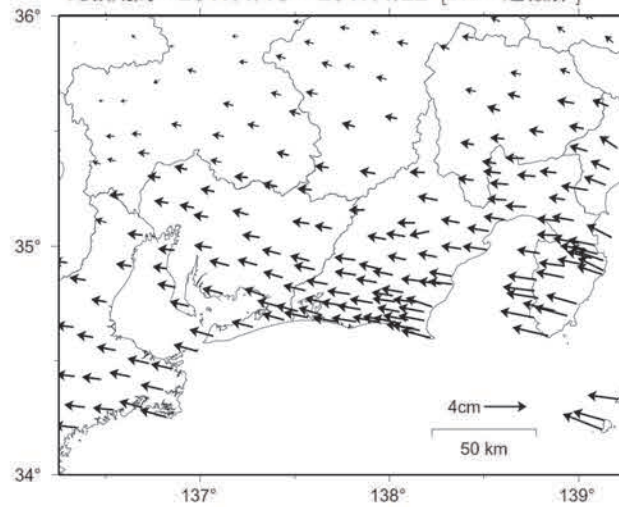
国土地理院

図 10 国土地理院 GNSS 観測結果及び水準測量による御前崎の上下変動

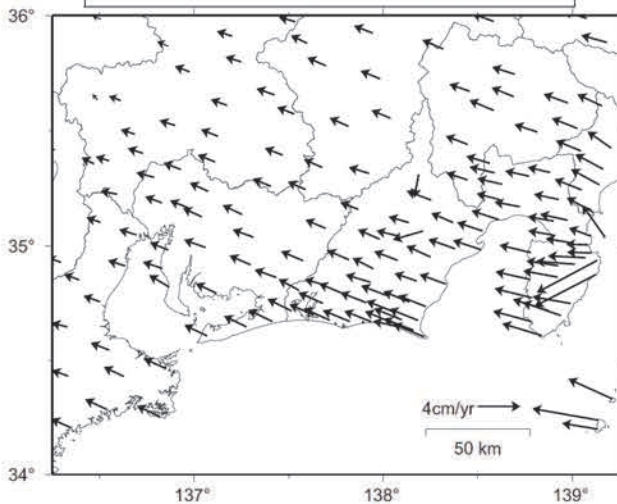
掛川から見た御前崎の上下変動を示したものである。掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向に変化は見られない。

東海地方の水平地殻変動【固定局：三隅】 （ 2016 年 1 月～ 2017 年 1 月）

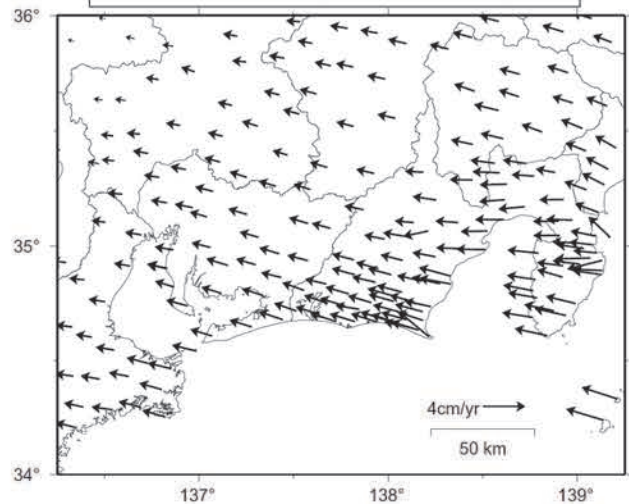
基準期間：2016/1/15 - 2016/1/22 [F3：最終解]
比較期間：2017/1/15 - 2017/1/22 [R3：速報解]



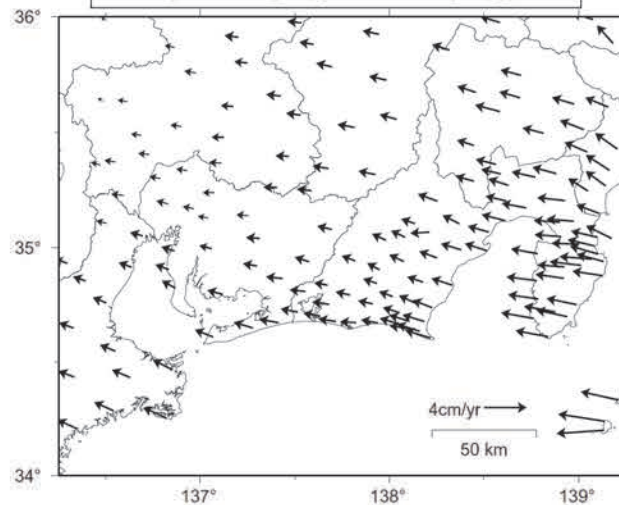
スロースリップ発生前の水平地殻変動速度
(1997年1月～2000年1月)



スロースリップ終息後の水平地殻変動速度
(2008年1月～2011年1月)



スロースリップ進行期の水平地殻変動速度
(2001年1月～2004年1月)



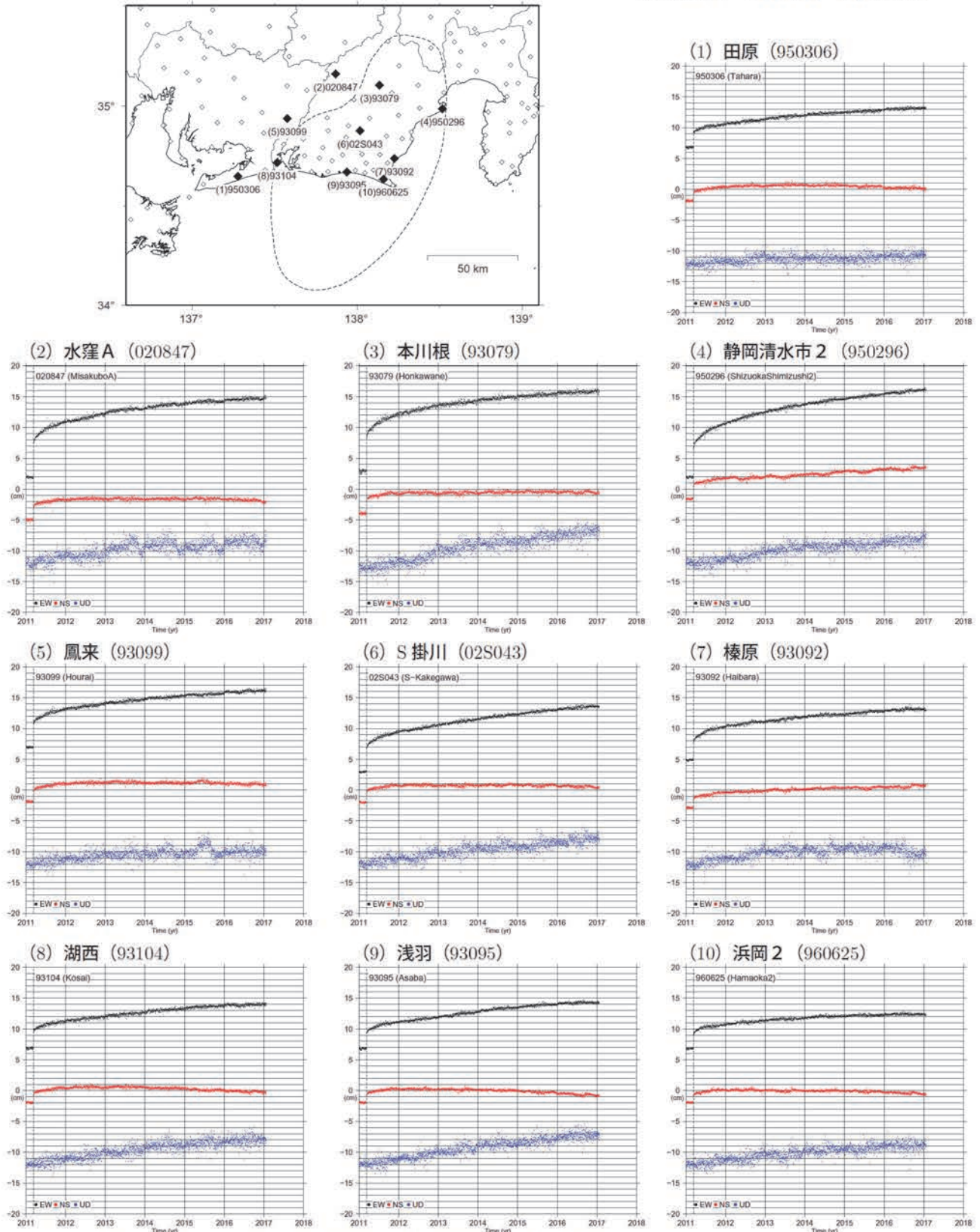
・ 2016 年 4 月に発生した熊本地震による固定局三隅の地殻変動は補正している。

国土地理院

図 11 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の水平地殻変動

東海地方の非定常地殻変動時系列【固定局：三隅】

速報解含む 2011/1/1 - 2017/1/22



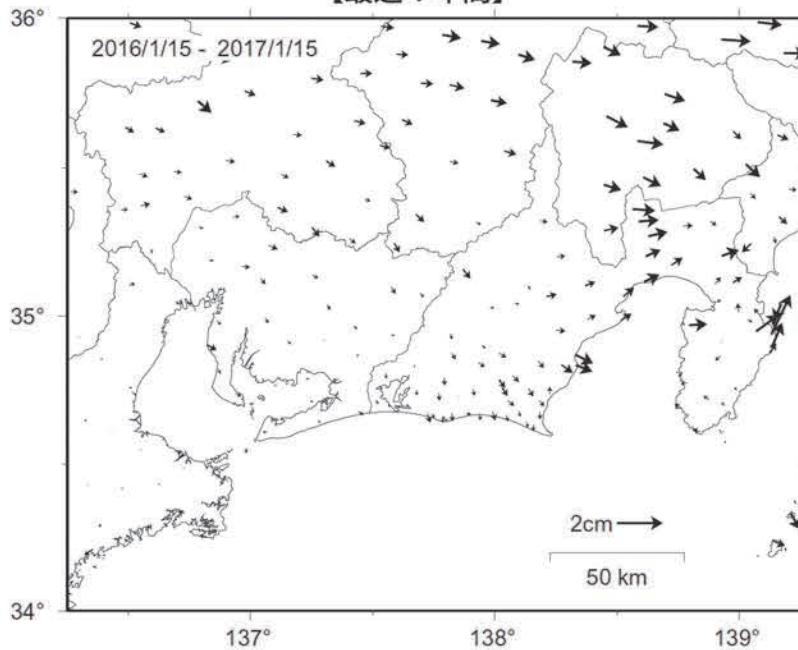
- ・ 2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は取り除いていない。
- ・ 2008 年 1 月 1 日～2011 年 1 月 1 日のデータから平均変動速度、年周/半年周成分を推定して、元の時系列データから除去している。
- ・ 2016 年 4 月に発生した熊本地震による固定局三隅の地殻変動は補正している。

国土地理院

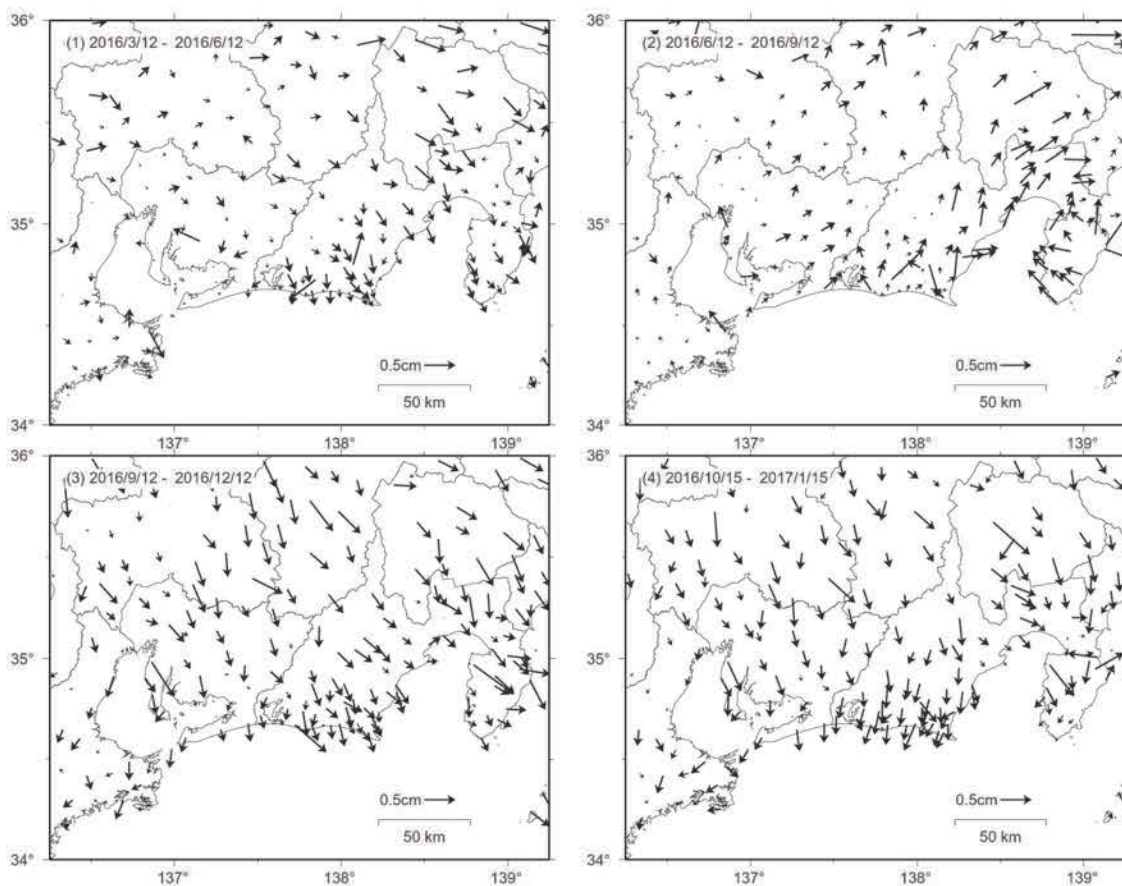
図 12 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の非定常地殻変動時系列

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつあるが、東海地方においてもみられている。

東海地方の非定常水平地殻変動【固定局：三隅】
（ 2016 年 1 月～ 2017 年 1 月）
【最近 1 年間】



【最近 1 年間 3 ヶ月ごと】



・非定常地殻変動時系列から、1 年間と 3 ヶ月間の変動量を表示している。

※非定常地殻変動時系列：

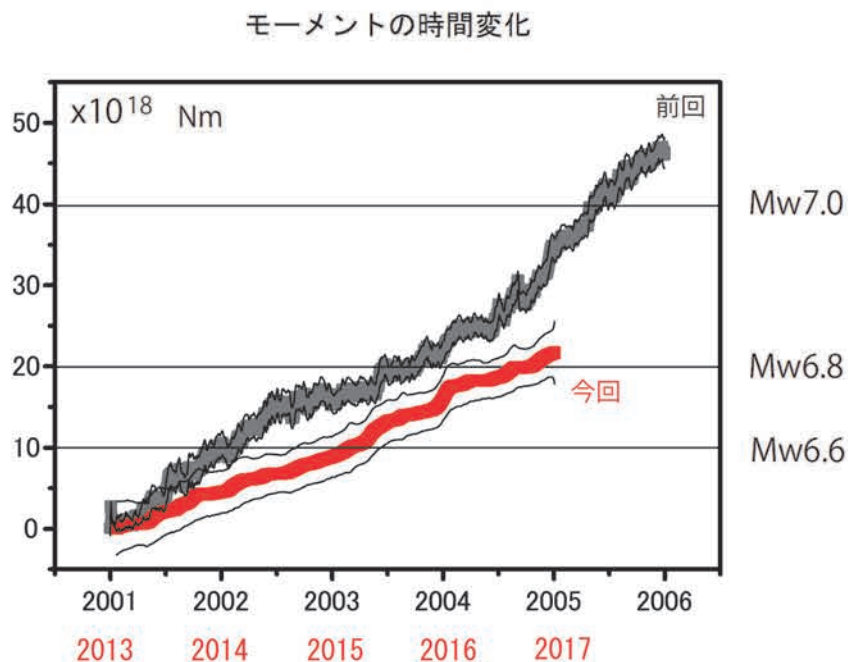
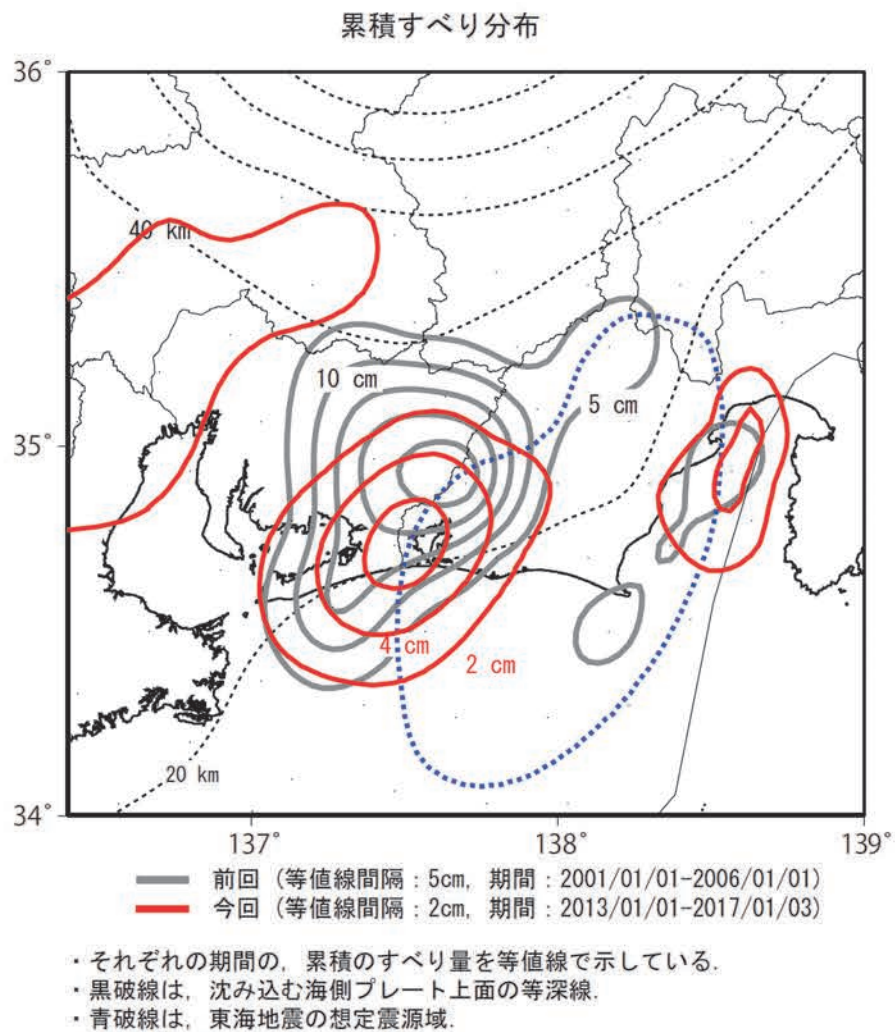
2008 年 1 月～2011 年 1 月のデータから平均変動速度、年周/半年周成分を推定して、元の時系列データから除去した時系列。

・2016 年 4 月に発生した熊本地震による固定局三隅の地殻変動は補正している。

国土地理院

図 13 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の非定常水平地殻変動

非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化（暫定）



・それぞれの期間のモーメントの時間変化を、横軸を重ねて示している。

国土地理院

図 14 国土地理院 GNSS 観測結果による、長期的ゆっくりすべりの発生を示唆する非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化の比較

● 日本の主な火山活動

桜島では、噴火活動は 2016 年 8 月以降低下しているが、始良カルデラへのマグマの供給が継続していることから、火山活動が再び活発化する可能性がある。引き続き火山活動の推移に注意が必要である。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

口永良部島では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2014 年 8 月の噴火前よりもやや多い状態であることから、引き続き噴火の可能性がある。

新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒が必要である。

草津白根山では、湯釜火口及び水釜火口周辺の熱活動の高まった状態が継続している。また、湯釜北側噴気地帯の噴気孔から噴気が認められている。東京工業大学によると、2014 年以降、火山ガス成分や湯釜湖水の化学組成は火山活動の活発化を示す状態が確認されている。

小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

浅間山では、山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震はやや多い状態となっており、火山活動はやや活発な状態で経過している。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるので、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

御嶽山では、火口列からの噴煙活動や、地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性がある。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

阿蘇山では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が 2016 年 12 月下旬までやや多い状態で経過していたことから、引き続き火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がある。中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

霧島山（新燃岳）では、これまでも火山性地震が時々発生しており、火口内及び西側斜面では弱い噴気や熱異常域が確認されていることから、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性があるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

薩摩硫黄島では、1 月 1 日から火山性地震が増加したことから、小規模な噴火が発生する可能性がある判断し、5 日 11 時 00 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）に引き上げた。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島の御岳火口では、噴火が時々発生した。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、火山性地震が少ない状態で経過していることなどから、13 日 14 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

表 1 1 月 31 日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
（※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	桜島、口永良部島
	レベル 2（火口周辺規制）	草津白根山、浅間山、御嶽山、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、 薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	西之島、硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（活火山である ことに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、 有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、秋田焼山、岩 手山、秋田駒ヶ岳、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐 梯山、那須岳、日光白根山、新潟焼山、焼岳、白山、 富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、 鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高 原（硫黄山）周辺）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	上記以外の火山

※噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図 1 1 月 31 日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

表 2 平成 29 年 1 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報		概 要
		種類、号数等	発表日時	
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 1 号～8 号	6 日、10 日、13 日、 16 日、20 日、23 日、 27 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガスの状況。
口永良部島	噴火警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 1 号～8 号	6 日、10 日、13 日、 16 日、20 日、23 日、 27 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガスの状況。
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号～4 号	6 日、13 日、20 日、 27 日 16 時 00 分	熱活動、地殻変動、火山性地震等火山活動 の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号～9 号	2 日、6 日、9 日、 13 日、16 日、20 日、 23 日、27 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガスの状況。
		火山活動解説資料	18 日 18 時 30 分	18 日に増加した火山ガス（二酸化硫黄）の 状況。
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号～4 号	6 日、13 日、20 日、 27 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号～8 号	6 日、10 日、13 日、 16 日、20 日、23 日、 27 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガスの状況。
薩摩硫黄島	噴火予報（噴火警戒 レベル 1、活火山で あることに留意）	解説情報 第 1 号	4 日 14 時 45 分	1 日から増加した火山性地震の発生状況。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	火口周辺警報	5 日 11 時 00 分	1 日から火山性地震が増加したことから、 火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火 口周辺規制）に引上げ。
		解説情報 第 2 号	5 日 11 時 45 分	
		火山活動解説資料	5 日 12 時 30 分	
		火山活動解説資料	5 日 19 時 15 分	火山性地震等火山活動の状況。現地調査の 状況。
		解説情報 第 3 号	5 日 16 時 00 分	
霧島山（えび の高原（硫黄 山）周辺）	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号、第 2 号	6 日、10 日 16 時 00 分	噴煙、地殻変動、火山性地震・微動等火山 活動の状況。
	噴火予報（噴火警戒 レベル 1、活火山で あることに留意）	噴火予報	13 日 14 時 00 分	噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引下げ。
		火山活動解説資料	13 日 14 時 00 分	

注）表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。阿蘇山、桜島、諏訪之瀬島、口永良部島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。薩摩硫黄島においては 1 月 5 日 11 時 55 分以降、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）においては 1 月 13 日 11 時まで、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。

各火山の 1 月の活動解説

【北海道地方】

めあかんだけ
雌阿寒岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

一方、ここ数年、地震増加、浅部熱活動の活発化を示す 96-1 火口の噴煙量増加や全磁力¹⁾ の変化などがみられていることから、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

とからだけ
十勝岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

一方、ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象及び地熱域²⁾ の拡大などを確認しており、長期的にみると十勝岳の火山活動は高まる傾向にあるので、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

たるまえん
樽前山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では、1999 年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に留意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

アトサヌプリ【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

たいせつざん
大雪山【噴火予報（活火山であることに留意）】

くつたら
倶多楽【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

うすざん
有珠山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

ほっかいどうこまがたけ
北海道駒ヶ岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

えさん
恵山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

【東北地方】

あきたこまがたけ
秋田駒ヶ岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

めだけ
女岳の山頂付近では、地熱域が引き続き確認されている。

地震活動は低調で、地殻変動及び噴気活動にも変化はみられないが、地熱活動が続いているので今後の火山活動の推移に留意が必要である。

ざおうざん
蔵王山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

火山活動に特段の変化はなかった。

蔵王山では、2013 年から 2015 年にかけて火山活動の高まりがみられた。その後も火山性地震や火山性微動が時々発生していることから、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

あづまやま
吾妻山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

大穴火口付近での熱活動は継続しているので、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

山に入る際には、火山ガスに留意が必要である。また、大穴火口付近で噴出現象が突発的に発生する可能性があることに留意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

いわきさん
岩木山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

はっこうざん
八甲田山【噴火予報（活火山であることに留意）】

とわだ
十和田【噴火予報（活火山であることに留意）】

あきたやけやま
秋田焼山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

いわてさん
岩手山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

ちようかいさん
鳥海山【噴火予報（活火山であることに留意）】

くりこまやま
栗駒山【噴火予報（活火山であることに留意）】

あだたらやま
安達太良山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

ばんだいさん
磐梯山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】

くさつしらねさん
草津白根山【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

奥山田監視カメラ（湯釜の北約 1.5km）による観測では、引き続き湯釜北側噴気地帯の噴気孔から噴気が認められた。湯釜からの噴気は認められなかった。東京工業大学の監視カメラ（湯釜火口内）では、火口内に特段の変化は認められなかった。

湯釜火口及び水釜火口周辺の熱活動は高まった状態が継続している。全磁力観測によると、2014 年 5 月以降の湯釜近傍地下の温度上昇を示唆する変化は、2014 年 7 月に停滞したものの、温度低下を示唆する変化には転じていない。また、東京工業大学によると、2014 年以降、火山ガス成分や湯釜湖水の化学組成は火山活動の活発化を示す状態が確認されている。

小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾に警戒が必要である。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石³⁾が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷地形などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがあるので、注意が必要である。

あさやま **浅間山【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】**

火山活動はやや活発な状態で経過している。

山頂火口からの噴煙は白色で、噴煙の高さは火口縁上概ね 400m 以下で経過した。山頂火口で、夜間に高感度の監視カメラで確認できる程度の微弱な火映⁴⁾が 6～7 日、及び 21 日以降観測された。

今期間実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁵⁾は 1 日あたり 1,500～3,600 トン（12 月：700～1,000 トン）と前月より増加した。

山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震はやや多い状態となっている。

2015 年 6 月上旬頃から 12 月にかけて、山頂の南南西にある塩野山の傾斜計⁴⁾でみられていた北または北西上がりの緩やかな変化が、2016 年 12 月頃から再びみられている。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるので、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要である。

にいがたやけやま **新潟焼山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】**

山頂部東側斜面の噴気孔からの噴煙の高さは、火口縁上概ね 200m 以下で経過しており、引き続き 2015 年夏以前と比べてやや高い状態が続いている。

2016 年 5 月 1 日以降、振幅の小さな火山性地

震がやや増加したが、その後、火山性地震は次第に減少し、今期間の地震回数は 6 回だった。

GNSS⁶⁾連続観測では、2016 年 1 月頃から新潟焼山を南北に挟む基線で伸びがみられていたが、夏以降は停滞傾向が認められる。

今後も、想定火口内（山頂から半径 1 km 以内）に影響を及ぼすような噴火が発生するおそれがあるため、火山活動の推移に注意が必要である。

みだがはら **弥陀ヶ原【噴火予報（活火山であることに留意）】**

弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過した。

立山地獄谷では以前から熱活動が活発な状態が続いている。2012 年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。また、この付近では火山ガスに注意が必要である。

おんたけさん **御嶽山【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】**

監視カメラによる観測では、噴煙活動に変化はなく、白色の噴煙が火口縁上概ね 500m 以下の高さで経過している。

山頂直下付近の地震活動は、回数は少ないながらも継続している。火山性微動は観測されなかった。

火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性がある。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要である。

はこねやま **箱根山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】**

大涌谷に設置している監視カメラによる観測では、大涌谷の火口や噴気孔及び温泉供給施設から引き続き噴気が勢いよく噴出しているのを確認している。大涌谷周辺での噴気の高さは概ね 500m 以下で経過した。

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過した。火山性微動は観測されなかった。また、地殻変動観測では、特段の変化は見られなかった。

大涌谷周辺の想定火口域では、噴気活動が活発なところがあるので、大涌谷周辺の想定火口域では、噴気や火山ガスに引き続き注意が必要である。

いずおおしま **伊豆大島【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】**

23 日に実施した現地調査では、中央火孔内の地表面温度分布に、前回（2016 年 12 月 16 日）の観測と比べて特段の変化は認められなかった。その他、三原山山頂周辺の噴気温度に特段の変化は認められなかった。

火山性地震は少ない状態で経過した。震源は三原山周辺の浅いところと西方沖に分布している。

地殻変動観測では、短期的な膨張や収縮を繰り返しながら、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いている。その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められない。

みやげじま **三宅島【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】**

山頂火口からの噴煙の高さは、概ね 1,000m 以下で経過した。

5 日及び 13 日に実施した現地観測では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり数十トン以下であった（前回 2016 年 12 月 6 日：数十トン以下）。

22 日に実施した現地調査では、主火孔内及びその周辺で引き続き高温領域が認められ、前回の観測（2016 年 12 月 9 日）と比べて、火口内の地形及び高温領域の分布に特段の変化は認められなかった。

火山性地震は少ない状態で経過した。震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特段の変化は認められない。火山性微動は観測されなかった。

主火孔における噴煙活動及び火山ガスの放出が継続していることから、火口内では噴出現象が突発的に発生する可能性があるため、山頂火口内⁷⁾及び主火孔から 500m 以内では火山灰噴出に警戒が必要である。また、火山ガスの放出が継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意が必要である。

にしのみしま **西之島【火口周辺警戒（火口周辺危険）】**

西之島では、火山活動の低下が認められるものの、火口付近には高温領域が引き続き確認されている。火道域に海水が浸入した際には小規模な噴火が発生する可能性があることから、火口から概ね 500m の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。また、これまでの噴火で流れ出た溶岩は、内部が高温になっていると考えられるほか、海岸部では崩れやすくなっているため、火口から概ね 500m を超える範囲でも注意が必要である。

いおうとう **硫黄島【火口周辺警戒（火口周辺危険）及び火**

山現象に関する海上警戒】

火山性地震は、やや多い状態で経過しており、特に 31 日に増加（日別回数 81 回）した。調和・単色型の火山性微動が 1 回（前回 2 回）発生した。これらの火山性微動が観測された時間帯に、その他の観測データに異常は認められなかった。

阿蘇台東監視カメラ（阿蘇台陥没孔の東北東約 900m）による観測では、島北西部の井戸ヶ浜からの噴気は認められなかった。また、島西部の阿蘇台陥没孔からの噴気の高さは概ね 100 m 以下で経過した。

GNSS 連続観測によると、地殻変動は隆起及び停滞を繰り返している。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生している。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火が発生した地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒が必要である。

ふくとくおかのかのぼ **福德岡ノ場【噴火警戒（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警戒】**

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されている。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では噴火に警戒が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

なすだけ
那須岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

にっこうしらねさん
日光白根山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

やけどだけ
焼岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

のりくらだけ
乗鞍岳【噴火予報（活火山であることに留意）】

はくさん
白山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

ふじさん
富士山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

いずとうぶかざんぐん
伊豆東部火山群【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

にいじま
新島【噴火予報（活火山であることに留意）】

こうづしま
神津島【噴火予報（活火山であることに留意）】

はちじょうじま
八丈島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕
あおがしま
青ヶ島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

【九州地方及び南西諸島】

くじゅうさん
九重山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められないが、GNSS 連続観測によると、一部の基線で伸びの傾向が認められるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

あそさん
阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

中岳第一火口では、2016 年 10 月 8 日の噴火の後には、噴火は発生していない。

火山性微動の振幅は、小さな状態で経過し、傾斜計⁸⁾にも火山活動に伴う特段の変化は認められない。

また、GNSS 連続観測では、2016 年 7 月頃から認められていた、草千里深部にあると考えられているマグマだまりの膨張を示す基線の伸びは、11 月中旬以降は停滞している。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2016 年 12 月は 1 日あたり 1,000～1,700 トンだったが、1 月に入り減少し、1 日あたり 1,000 トン未満となっている。

18 日に実施した現地調査では、中岳第一火口内で緑色の湯だまりを確認した。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が 2016 年 12 月下旬までやや多い状態で経過していたことから、引き続き火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がある。

中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流⁹⁾に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく、風の影響を受ける小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。また、火山ガスに注意が必要である。

うんぜんだけ
雲仙岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はないが、長期的には 2010 年頃から火山性地震の活動がやや活発となっているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

きりしまやま
霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕 ←13 日に噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引下げ

えびの高原（硫黄山）周辺では、2016 年 12

月 12 日に火山性地震が 70 回と増加したが、その後は 1 日あたり 5 回以下と少ない状態で経過した。月回数は 17 回と前月（2016 年 12 月：99 回）と比べ減少した。火山性微動は 2016 年 12 月 13 日以降観測されていない。

山体の隆起を示す傾斜変動は、2016 年 12 月 16 日以降観測されていない。

2016 年 12 月 16 日から同 31 日にかけて、一時的に噴火の高さが稜線上 100m 以上になり噴火活動の活発化がみられたが、その後は概ね稜線上 30m で経過した。

2017 年 1 月 11 日と 31 日に現地調査及び九州地方整備局の協力により上空からの観測を実施し、噴火や熱異常域に大きな変化がないことを確認した。

これらのことから、えびの高原（硫黄山）周辺の火山活動は低下しており、硫黄山周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、13 日 14 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベル 2（火口周辺規制）から噴火警戒レベル 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

火口周辺では火山ガスに注意が必要である。活火山であることから、火口内で、火山灰、噴火、火山ガス等の規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性があるため、注意が必要である。

きりしまやま しんもろだけ
霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

噴煙は火口縁を超えるものは認められず、火口内で消散した。

31 日に新湯温泉付近から実施した現地調査では、西側斜面の割れ目付近で引き続き弱い噴火が認められた。赤外熱映像装置による観測でも、引き続き弱い熱異常域を確認した。

火山性地震の月回数は 20 回（2016 年 12 月：5 回）と少ない状態で経過した。火山性微動は 2016 年 9 月 18 日以降、観測されていない。

傾斜計では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められなかった。

GNSS 連続観測によると、新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2015 年 1 月頃から停滞している。また、新燃岳周辺の一部の基線で、2015 年 5 月頃からわずかに伸びの傾向が認められていたが、2015 年 10 月頃から停滞している。

新燃岳ではこれまでも火山性地震が時々発生しており、火口内及び西側斜面では弱い噴火や熱異常域が確認されていることから、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

新燃岳では火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、新燃岳火口

から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき¹⁰⁾）が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）〕

桜島では、噴火は観測されていない。

昭和火口では、2016 年 7 月 26 日に爆発的噴火¹¹⁾が発生したが、その後はごく小規模な噴火も観測されていない。南岳山頂火口では、2016 年 8 月まではごく小規模な噴火が時々観測されていたが、同年 9 月以降は観測されていない。

11 日に九州地方整備局の協力により実施した上空からの観測では、前回（2016 年 2 月 6 日）の観測時と比較して、火口周辺の熱異常域の分布に特段の変化はなく、火口底に顕著な高温部は認められなかった。

13 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり 200 トン（2016 年 12 月 26 日：100 トン）と引き続き少ない状態であった。

17 日に実施した現地調査では、昭和火口近傍及び南岳南東側山腹で、これまでと同様に熱異常域が観測されたが、特段の変化は認められなかった。

火山性地震の月回数は 67 回で前月（2016 年 12 月：93 回）同様に少ない状態だった。火山性微動は観測されなかった（2016 年 12 月：なし）。

桜島島内での傾斜計、伸縮計¹²⁾による観測では、山体の膨張を示す変化は認められなかった。

GNSS 連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下のマグマだまりの膨張が続いている。島内では、2015 年 8 月の急激な山体膨張の変動以降、山体の収縮傾向がみられていたが、2016 年 1 月頃から停滞している。

桜島の噴火活動は 2016 年 8 月以降低下しているが、始良カルデラへのマグマの供給が継続していることから、火山活動が再び活発化する可能性がある。引き続き火山活動の推移に注意が必要である。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき¹⁰⁾）が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要である。また、降雨時には土石流に注意が必要である。

薩摩硫黄島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕←5 日に噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引き上げ
薩摩硫黄島では、1 日から火山性地震が増加し、概ね多い状態で経過した。火山活動が高まっており、小規模な噴火が発生する可能性があることと判断したことから、5 日 11 時 00 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引き上げた。

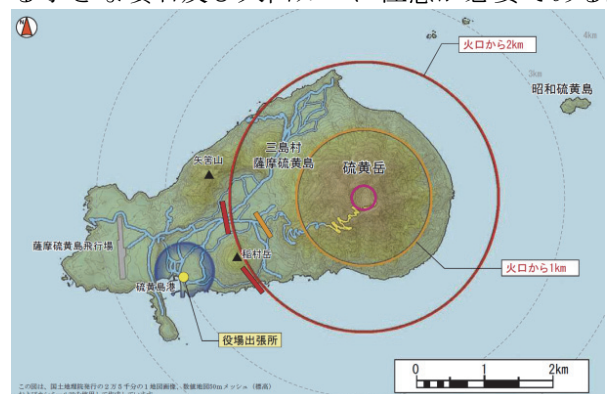
5 日に気象庁機動調査班（JMA-MOT）が鹿児島県の協力により実施した上空からの観測では、山腹から弱い噴気を確認し、前回（2016 年 5 月 31 日）の観測と比較して若干の噴気の増加が認められたものの、大きな変化はなかった。赤外熱映像装置による観測では、火口周辺及び山腹で熱異常域を観測したが、前回（2011 年 12 月 19 日）と比較して、熱異常域の拡大や温度の高まりは認められなかった。

10 日～12 日に気象庁機動調査班が実施した現地調査では、硫黄岳の北側から西側にかけて熱異常域を観測したが、前回（2016 年 7 月 4 日）と比較して、熱異常域の拡大や高まりは認められなかった。

火山性地震は、24 日以降は徐々に減少している。月回数は 1,109 回で前月（2016 年 12 月：147 回）より大幅に増加した。

地殻変動観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められない。

硫黄岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。風下側では降灰、風の影響を受ける小さな噴石及び火山ガスに注意が必要である。



薩摩硫黄島 警戒が必要な範囲（硫黄岳山頂火口から概ね 1 km の範囲）

口永良部島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）〕

口永良部島の新岳では、2015 年 6 月 19 日のごく小規模な噴火後、噴火は観測されていない。

白色の噴煙は最高で火口縁上 600m まで上がった。

16 日及び 26 日に実施した現地調査では、これまでの観測と同様に新岳火口および新岳火口西側割れ目付近から白色の噴煙が上がっており、火口周辺の地形や噴気等の状況に変化はみられなかった。また、赤外熱映像装置による観測では、新岳火口の西側割れ目付近の熱異常域の温度は低下した状態が続いており特段の変化は認められなかった。

東京大学大学院理学系研究科、京都大学防災研究所、屋久島町及び気象庁が実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり 70～300 トン（2016 年 12 月：100～200 トン）と、2014 年 8 月の噴火前よりもやや多い状態で経過した。

火山性地震の月回数は 51 回で、前月（2016 年 12 月：82 回）に比べて減少したが、引き続きやや多い状態で経過した。火山性微動は観測されていない。

GNSS 連続観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められなかった。

新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒が必要である。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。降雨時には土石流の可能性があるので注意が必要である。

すわのせじま 諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

おたけ
御岳火口では、爆発的噴火¹³⁾は発生しなかったが、噴火が時々発生した。同火口では、概ね期間を通して夜間に高感度の監視カメラで火映を観測した。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

つるみだけ がらみだけ
鶴見岳・伽藍岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

きりしまやま おはち
霧島山（御鉢）【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

- 1) 火山体の南側で全磁力を観測した場合、全磁力値が減少すると火山体内部で温度上昇が、全磁力値が増加すると火山体内部で温度低下が生じていると推定される。
- 2) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器である。熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 3) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とは、それより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことである。
- 4) 赤熱した溶岩や高温の火山ガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象。
- 5) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加する。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用している。
- 6) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。
- 7) 山頂火口内とは、雄山山頂にある火口及び火口縁から海岸方向に約 100m までの範囲を指す。
- 8) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがある。
- 9) 火山ガスと火山灰等の混合物が、水面や地表面を高速で横方向に広がり、地表の物を巻き込む現象。人体や建物、船舶等に大きな被害を与える恐れがあり、とても危険である。
- 10) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。
- 11) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としている。
- 12) 火山活動による地殻の伸び縮みを観測する機器。マグマ溜まりや火道内の圧力増加によって生じる火口周辺の変化が観測されることがある。
- 13) 諏訪之瀬島では、火道内の爆発による地震を伴い、島内の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した場合に爆発的噴火としている。

資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成 29 年 1 月 31 日現在）

(1) 主な活火山

噴火警報、火口周辺警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の警報及び予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年3月23日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル 1、平常） 2015年7月28日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2015年11月13日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル 1、平常） 2014年12月16日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2015年2月24日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2015年10月1日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常）
東北地方	恵山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年3月23日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	岩木山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年7月26日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2013年7月25日 噴火予報（レベル 1、平常）
	八甲田山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十和田	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル 1、平常）
	鳥海山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2015年4月13日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日 噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常） 2014年12月12日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2016年10月18日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年12月6日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	草津白根山	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル 1、平常）切替 2014年6月3日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	浅間山	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月 1 日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2008年 8 月 8 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 2 月 1 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 2 月 3 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2009年 4 月 7 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2010年 4 月15 日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2015年 6 月11 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)
	新渥焼山	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常) 2011年 3 月31 日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	弥陀ヶ原	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常)
	焼岳	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常) 2011年 3 月31 日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	乗鞍岳	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常)
	御嶽山	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常) 2008年 3 月31 日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2014年 9 月27 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2014年 9 月28 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年 1 月19 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年 3 月31 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年 6 月26 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)
	白山	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常) 2015年 9 月 2 日 噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)
	富士山	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	箱根山	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常) 2009年 3 月31 日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2015年 5 月 6 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2015年 6 月30 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2015年 9 月11 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2015年11月20 日 噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)
	伊豆東部火山群	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常) 2011年 3 月31 日 噴火予報 (レベル 1、平常)
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	新島	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常)
	神津島	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常)
	三宅島	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年 3 月31 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2015年 6 月 5 日 噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)
	八丈島	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常)
	青ヶ島	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常)
	西之島	火口周辺警報 (火口周辺危険)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常) 2013年11月20 日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2014年 6 月 3 日 火口周辺警報 (入山危険) 2014年 6 月11 日 火口周辺警報 (入山危険) 切替 2015年 2 月24 日 火口周辺警報 (入山危険) 切替 2016年 2 月17 日 火口周辺警報 (入山危険) 切替 2016年 8 月17 日 火口周辺警報 (火口周辺危険)
	硫黄島	火口周辺警報 (火口周辺危険)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報 (周辺海域警戒)	2007年12月 1 日 噴火警報 (周辺海域警戒)
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常) 2016年 7 月26 日 噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)
	九重山	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (レベル 1、平常)

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州 地方・ 南西諸島	阿蘇山	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月 1 日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2011年 5 月16日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2011年 6 月20日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2013年 9 月25日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2013年10月11日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2013年12月27日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2014年 3 月12日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2014年 8 月30日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2015年 9 月14日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2015年11月24日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2016年10月 8 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2016年12月20日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)
	雲仙岳	噴火予報 (レベル 1、活火山である ことに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	霧島山 (えび の高原 (硫黄 山) 周辺)	噴火予報 (レベル 1、活火山である ことに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常) 2014年10月24日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2015年 5 月 1 日 噴火予報 (平常) 2016年 2 月28日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2016年 3 月29日 噴火予報 (活火山であることに留意) 2016年12月 6 日 噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意) 2016年12月12日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2017年 1 月13日 噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)
	霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月 1 日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2008年 8 月22日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2010年 3 月30日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2010年 4 月16日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2010年 5 月 6 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2011年 1 月26日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2011年 1 月31日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2011年 2 月 1 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2011年 3 月22日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2012年 6 月26日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2013年10月22日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)
	霧島山 (御 鉢)	噴火予報 (レベル 1、活火山である ことに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 2 月 3 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 2 月20日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 4 月 8 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 7 月14日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 7 月28日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 8 月28日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 2 月 2 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 2 月19日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 3 月 2 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 3 月10日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2009年 4 月24日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 7 月19日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2010年 9 月30日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2012年 3 月12日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2012年 3 月21日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年 8 月15日 噴火警報 (レベル 4、避難準備) 2015年 9 月 1 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2015年11月25日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2016年 2 月 5 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州 地方・ 南西諸島	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年11月29日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2013年 6 月 4 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2013年 7 月10日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2017年 1 月 5 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 1 月25日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2008年 9 月 4 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年10月27日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 3 月18日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 8 月 4 日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2009年 9 月27日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年10月30日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2011年12月15日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年 1 月20日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2014年 8 月 3 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2014年 8 月 7 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年 5 月29日 噴火警報 (レベル 5、避難) 2015年10月21日 噴火警報 (レベル 5、避難) 切替 2016年 6 月14日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)

(2) その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表した（但し、*印の活火山では、活火山として選定された平成 23 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表）。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

注) 平成 27 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更している。

●世界の主な地震

平成 29 年（2017 年）1 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

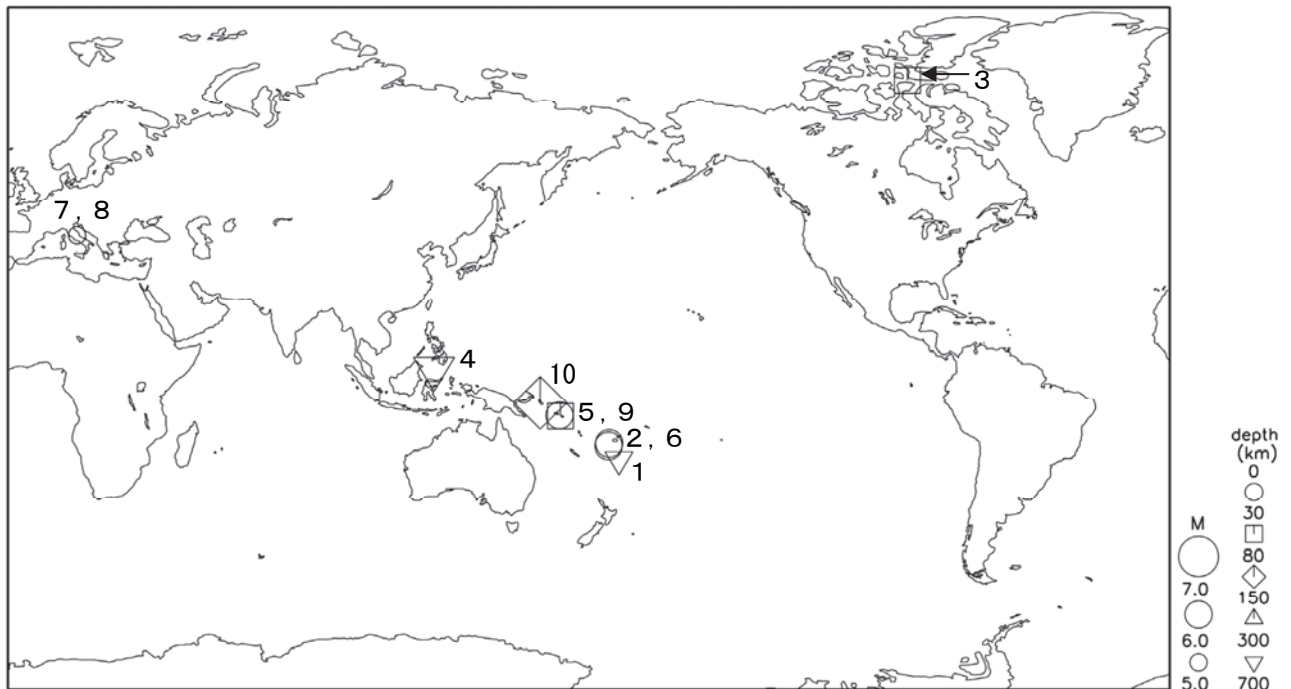


図 1 平成 29 年（2017 年）1 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- * : 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder”
(<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2017 年 2 月 1 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
- ** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- *** : マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Mj（気象庁マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれかを用いて表示している。

表 1 平成 29 年（2017 年）1 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	02日22時14分	S23° 15.1'	E179° 14.3'	552			6.3	フィジー諸島南方			
2	04日06時52分	S19° 19.5'	E176° 3.2'	17			(6.9)	フィジー諸島南方			○
3	09日08時47分	N74° 23.5'	W092° 24.2'	31			6.0	カナダ、グリーンランド諸島			
4	10日15時13分	N04° 27.8'	E122° 34.5'	613			(7.3)	セレベス海		○	○
5	11日00時27分	S10° 8.0'	E161° 1.7'	28			6.3	ソロモン諸島		○	
6	14日15時11分	S18° 35.3'	E176° 13.8'	10			6.1	フィジー諸島付近			
7	18日19時14分	N42° 36.0'	E013° 14.4'	10	5.7			イタリア中央部	一連の地震による雪崩により死者29人		
8	18日19時25分	N42° 36.0'	E013° 13.9'	10			5.6	イタリア中央部			
9	20日08時04分	S10° 20.6'	E161° 19.1'	36			6.5	ソロモン諸島		○	
10	22日13時30分	S06° 12.8'	E155° 7.3'	136			(7.9)	ソロモン諸島		○	○

- ・ 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder”
(<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2017 年 2 月 1 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・ 被害状況は、出典のないものは OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）、国内は、総務省消防庁による。
- ・ 地震発生時刻は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9 時間〕である。
- ・ 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）を発表したことを表す。
- ・ 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・ 深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

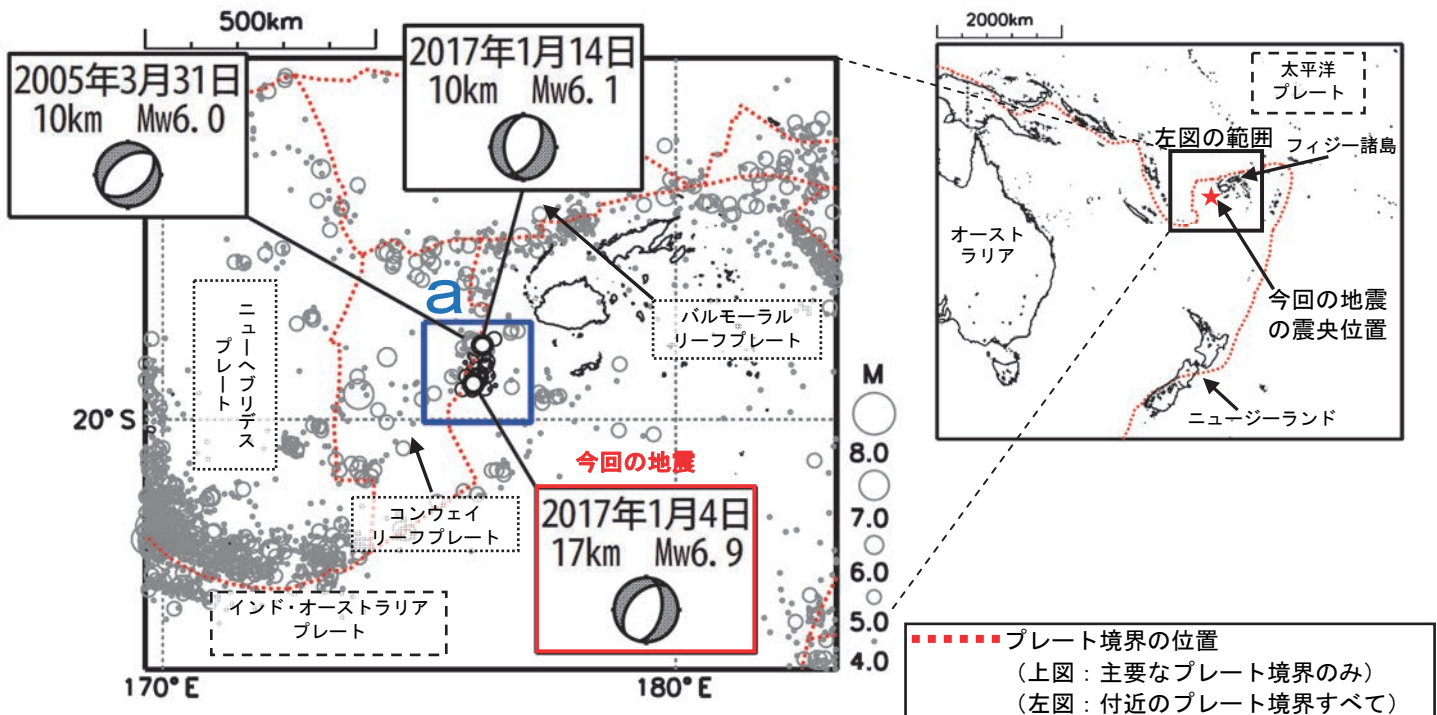
1 月 4 日 フィジー諸島南方の地震

2017 年 1 月 4 日 06 時 52 分（日本時間、以下同じ）にフィジー諸島南方の深さ 17km で Mw6.9 の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は、西北西－東南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。この地震の発生後、ややまとまった地震活動がみられた。また、1 月 14 日には、今回の地震から北に 100 km 離れた場所で、Mw6.1 の地震が発生している。フィジー諸島周辺では、複数のプレートが入り組んでいて、複雑な力がかかっている。

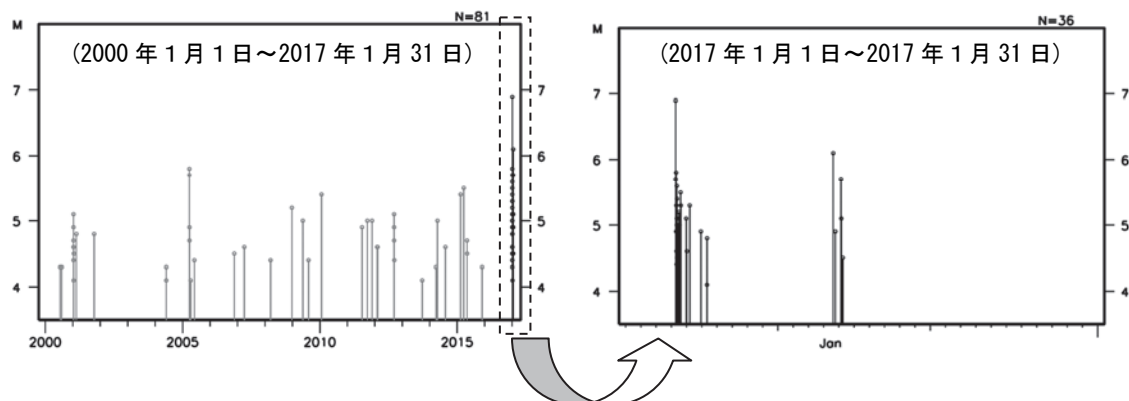
気象庁は、今回の地震について、4 日 07 時 17 分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、フィジー諸島で 1 cm の津波を観測した。

2000 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、2005 年 3 月 31 日に Mw6.0 の地震が発生しているが、今回の地震が最大規模の地震であった。

震央分布図
(2000 年 1 月 1 日～2017 年 1 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 4.0$)
2017 年 1 月の地震を濃く表示



領域 a 内の M-T 図



※本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。2005 年 3 月 31 日の地震の発震機構と Mw は GlobalCMT による。震源要素と 2017 年 1 月 14 日の地震の発震機構及び Mw は米国地質調査所 (USGS) による。今回の地震の津波観測については、アメリカ海洋大気庁 (NOAA) による (1 月 26 日現在)。プレート境界の位置は Bird (2003) *より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

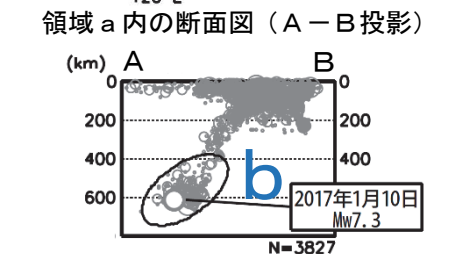
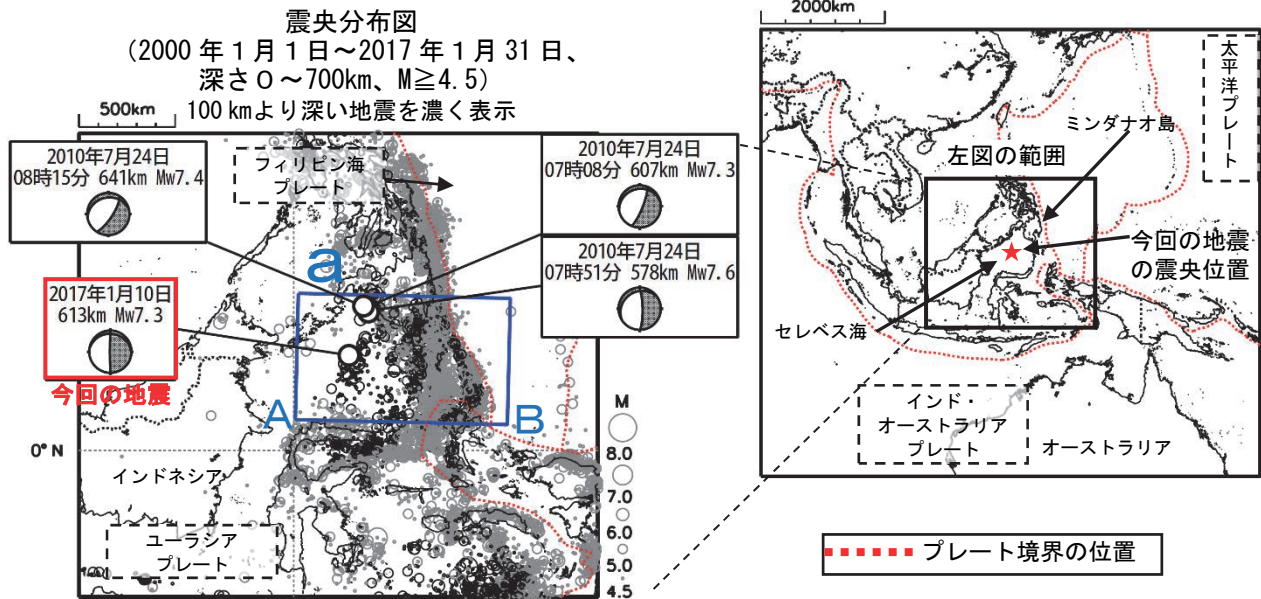
1 月 10 日 セレベス海の地震

2017 年 1 月 10 日 15 時 13 分（日本時間、以下同じ）にセレベス海の深さ 613km で Mw7.3 の地震が発生した。今回の地震の震央周辺では、ユーラシアプレートの下にモルッカ海プレートが位置している。今回の地震は、ユーラシアプレートに沈み込むモルッカ海プレート内部で発生した。今回の地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は、モルッカ海プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型であった。

気象庁は、今回の地震について、10 日 15 時 39 分に遠地地震に関する情報（この地震による津波の心配なし）を発表した。

2000 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の北北東に位置するミンダナオ島付近で、今回の地震と同じく深い場所で、2010 年 7 月 24 日に M7.3、M7.6、M7.4 の地震が連続して発生している。

1976 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、浅い地震で死者 100 人を超える被害地震が時々発生しており、1976 年 8 月 17 日の地震では、死者 8,000 人等の被害が生じている。



※死者 100 人以上の地震に吹き出しをつけた

※本資料中、今回の地震と 2010 年 7 月 24 日の地震の発震機構と Mw は気象庁による。震源要素とその他の地震の Mw は米国地質調査所（USGS）による（上図の震央分布図）。1976 年～2012 年の震源要素は国際地震センター（ISC）による。1976 年～2008 年の地震の Mw は GlobalCMT による。2012 年以降の震源要素は USGS による（下図の震央分布図）。過去の地震の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置は Bird (2003) *より引用。

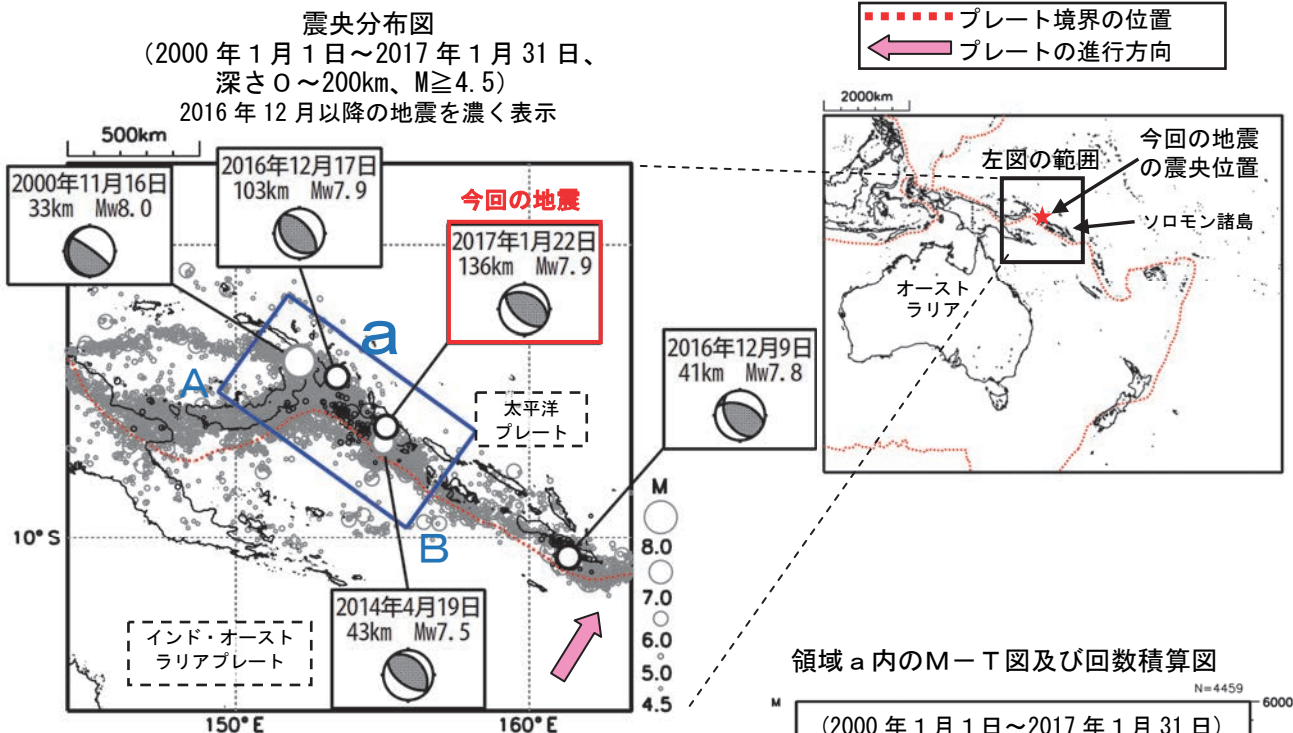
*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

1 月 22 日 ソロモン諸島の地震

2017 年 1 月 22 日 13 時 30 分（日本時間、以下同じ）にソロモン諸島の深さ 136km で Mw7.9 の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は、北東－南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートに沈み込むインド・オーストラリアプレート内部で発生した。ソロモン諸島周辺では、インド・オーストラリアプレートの沈み込みに伴い、地震活動が活発で、この地震の発生前の 2016 年 12 月 9 日に Mw7.8、12 月 17 日に Mw7.9 の地震が発生するなど目立った地震活動がみられる。

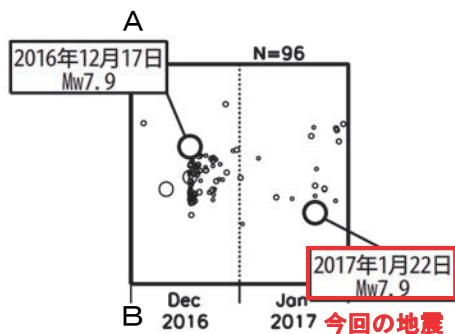
気象庁は、22 日 13 時 58 分に遠地地震に関する情報（この地震による津波の心配なし）を発表した。

2000 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、M7 を超える地震が時々発生し、まとまった地震活動もみられる。2000 年 11 月 16 日の Mw8.0 の地震では、死者 2 人、住家被害多数の被害が生じている。

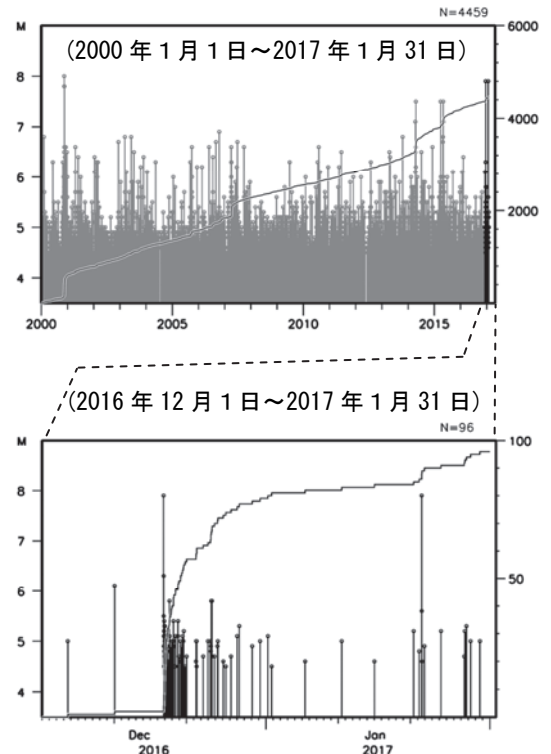


プレートの進行方向は、太平洋プレートを固定した場合の相対的な方向である。

領域 a 内の時空間分布図
(2016 年 12 月 1 日～2017 年 1 月 31 日)



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



※本資料中、今回の地震と 2016 年 12 月 9 日、17 日の地震の発震機構と Mw は気象庁による。その他の地震の発震機構と Mw は Global CMT による。震源要素は米国地質調査所（USGS）による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) * より引用。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

平成 29 年（2017 年）1 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

ボゴスロフ（Bogoslof） アメリカ（図中 A） 標高 150m

噴火が続くボゴスロフでは、地震活動の高まりとともに、噴煙高度が海拔 10km を超える噴火が度々発生した。

コリマ（Colima） メキシコ（図中 B） 標高 3,850m

噴火が続くコリマでは、1 月 23 日に、噴煙が海拔 10.7 km に達し、北東に広がった。



図 平成 29 年（2017 年）1 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

●付録 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成 25 年 12 月 地震・火山月報（防災編）の付録 2 参照）を記す。なお、* のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に 'F' を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を **太字** で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 01 46	有明海 福岡県 長崎県 熊本県 大分県	32° 44.1' N	130° 23.7' E	11km	M: 3.6 2 大牟田市昭和町*=1.6 みやま市高田町*=1.5 1 みやま市瀬高町*=0.9 柳川市大和町*=0.8 柳川市三橋町*=0.8 八女市矢部村*=0.7 大牟田市笹林=0.7 大牟田市有明町*=0.7 みやま市山川町*=0.6 柳川市本町*=0.5 久留米市津福本町=0.5 大木町八町牟田*=0.5 2 南島原市深江町*=2.3 島原市下折橋町*=1.8 島原市有明町*=1.7 1 雲仙市国見町=1.4 雲仙市小浜町雲仙=1.4 南島原市布津町*=1.4 諫早市多良見町*=0.9 雲仙市雲仙出張所*=0.7 南島原市口之津町*=0.5 南島原市西有家町*=0.5 2 玉名市横島町*=1.6 1 玉名市中尾*=1.3 玉名市天水町*=1.2 荒尾市宮内出目*=1.1 玉名市岱明町*=1.1 玉名市築地=1.1 山鹿市鹿央町*=1.0 宇土市新小路町=1.0 玉東町木葉*=1.0 南関町関町*=1.0 宇城市松橋町=1.0 熊本西区春日=1.0 熊本北区植木町*=1.0 長洲町長洲*=0.9 宇城市不知火町*=0.9 和水町江田*=0.9 山鹿市鹿北町*=0.9 上天草市大矢野町=0.9 和水町板楠*=0.8 益城町木山=0.8 菊池市旭志*=0.8 山鹿市老人福祉センター*=0.6 菊池市限府*=0.6 1 日田市前津江町*=0.6 日市中津江村枌野*=0.6
2	1 05 44	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 32.0' N	141° 42.9' E	54km	M: 3.8 1 一関市室根町*=1.0 一関市藤沢町*=0.9 大船渡市大船渡町=0.8 住田町世田米*=0.7 一関市千厩町*=0.7 大船渡市猪川町=0.6 陸前高田市高田町*=0.5 1 女川町女川浜*=1.3 涌谷町新町裏=1.0 南三陸町歌津*=1.0 気仙沼市赤岩=0.9 石巻市桃生町*=0.9 気仙沼市笹が陣*=0.9 気仙沼市唐桑町*=0.8 南三陸町志津川=0.7
3	1 06 08	沖縄本島近海 沖縄県	26° 13.5' N	128° 41.5' E	39km	M: 4.5 1 国頭村辺土名*=0.8
4	1 07 05	宮城県沖 宮城県	38° 51.8' N	142° 17.3' E	45km	M: 3.1 1 気仙沼市笹が陣*=0.5
5	1 07 07	茨城県北部 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県	36° 44.5' N	140° 36.8' E	7km	M: 3.7 2 高萩市下手綱*=1.6 常陸太田市大中町*=1.5 土浦市常名=1.5 1 高萩市安良川*=1.3 笠間市石井*=1.2 笠間市笠間*=1.2 筑西市門井*=1.2 日立市十王町友部*=1.1 常陸大宮市山方*=1.0 常陸大宮市野口*=0.9 筑西市舟生=0.9 日立市助川小学校*=0.9 笠間市中央*=0.9 常陸太田市高柿町*=0.8 土浦市藤沢*=0.8 石岡市柿岡=0.8 五霞町小福田*=0.8 大子町池田*=0.8 常陸大宮市北町*=0.8 常陸太田市町田町*=0.8 桜川市羽田*=0.7 常総市水海道諏訪町*=0.7 坂東市山*=0.7 つくば市小笠*=0.7 常陸大宮市上小瀬*=0.7 かすみがうら市上土田*=0.7 茨城古河市下大野*=0.6 常陸大宮市高部*=0.6 取手市寺田*=0.6 つくば市研究学園*=0.6 水戸市内原町*=0.6 桜川市真壁*=0.5 城里町石塚*=0.5 つくば市天王台*=0.5 ひたちなか市東石川*=0.5 かすみがうら市大和田*=0.5 1 芳賀町祖母井*=1.0 宇都宮市明保野町=0.8 宇都宮市中里町*=0.8 那須烏山市中央=0.8 鹿沼市今宮町*=0.7 栃木那珂川町馬頭*=0.7 大田原市湯津上*=0.5 栃木市旭町=0.5 1 渋川市赤城町*=0.7 沼田市利根町*=0.5 1 加須市大利根*=0.6 宮代町笠原*=0.5 1 野田市東宝珠花*=0.7
6	1 10 15	茨城県北部 茨城県	36° 44.1' N	140° 35.8' E	9km	M: 2.8 1 日立市助川小学校*=0.8
7	1 11 15	日高地方中部 北海道	42° 23.4' N	142° 36.4' E	19km	M: 2.7 1 新ひだか町三石旭町*=0.5
8	1 17 02	茨城県北部 茨城県	36° 41.4' N	140° 35.5' E	8km	M: 2.5 1 日立市助川小学校*=1.0
9	1 23 55	青森県東方沖 青森県	40° 54.4' N	142° 06.6' E	51km	M: 3.7 1 階上町道仏*=1.3 八戸市内丸*=0.9 八戸市湊町=0.9
10	2 01 59	熊本県熊本地方 熊本県	32° 29.6' N	130° 36.5' E	13km	M: 3.2 2 八代市坂本町*=1.6 1 宇城市不知火町*=1.0 氷川町島地*=1.0 五木村甲*=1.0 上天草市姫戸町*=1.0 宇城市松橋町=0.8 八代市千丁町*=0.6 山都町下馬尾*=0.6 八代市東陽町*=0.6 嘉島町上島*=0.6 八代市松江城町*=0.6 八代市平山新町=0.5 熊本美里町永富*=0.5 八代市鏡町*=0.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
11	2 22 21	長崎県 上天草市大矢野町*0.5 上天草市松島町*0.5 1 雲仙市小浜町雲仙*0.5				
12	3 01 11	千葉県北東部 千葉県 1 長南町長南*0.9 いすみ市国府台*0.9	35° 23.7' N	140° 21.2' E	32km	M: 2.6
13	3 03 35	宮城県沖 岩手県 2 一関市室根町*2.1 釜石市中妻町*1.9 一関市千厩町*1.8 一関市藤沢町*1.7 住田町世田米*1.6 1 陸前高田市高田町*1.4 大船渡市大船渡町*1.3 宮古市川井*1.3 遠野市青笹町*1.3 一関市大東町*1.2 一関市東山町*1.2 山田町大沢*1.2 盛岡市洪民*1.1 釜石市只越町*1.1 平泉町平泉*1.1 矢巾町南矢幅*1.0 大船渡市猪川町*1.0 宮古市五月町*1.0 一関市花泉町*0.9 遠野市宮守町*0.9 八幡平市田頭*0.9 北上市相去町*0.8 盛岡市薮川*0.8 奥州市胆沢区*0.8 宮古市田老*0.8 宮古市鰺ヶ崎*0.8 盛岡市山王町*0.8 奥州市衣川区*0.7 宮古市区界*0.7 山田町八幡町*0.7 花巻市大迫町*0.7 盛岡市馬場町*0.7 大船渡市盛町*0.7 大槌町小鉾*0.6 花巻市石鳥谷町*0.5 金ヶ崎町西根*0.5 宮古市茂市*0.5 西和賀町沢内川舟*0.5 2 気仙沼市笹が陣*2.2 気仙沼市赤岩*2.0 石巻市桃生町*2.0 女川町女川浜*1.7 登米市豊里町*1.6 気仙沼市唐桑町*1.6 大崎市田尻*1.5 岩沼市桜*1.5 栗原市栗駒*1.5 南三陸町志津川*1.5 1 涌谷町新町裏*1.4 登米市東和町*1.4 石巻市北上町*1.4 栗原市若柳*1.3 登米市中田町*1.3 登米市登米町*1.3 登米市石越町*1.3 栗原市瀬峰*1.2 栗原市高清水*1.2 宮城美里町北浦*1.2 大崎市古川大崎*1.2 石巻市泉町*1.2 栗原市金成*1.2 塩竈市旭町*1.2 大崎市古川三日町*1.1 大崎市松山*1.1 名取市増田*1.1 登米市迫町*1.1 石巻市大街道南*1.1 登米市津山町*1.1 大崎市古川北町*1.0 石巻市相野谷*1.0 石巻市雄勝町*1.0 東松島市小野*1.0 仙台宮城野区苦竹*0.9 石巻市鮎川浜*0.9 登米市米山町*0.9 登米市南方町*0.9 栗原市築館*0.9 石巻市前谷地*0.9 大崎市鹿島台*0.9 宮城川崎町前川*0.8 仙台青葉区作並*0.8 南三陸町歌津*0.8 色麻町四竈*0.8 栗原市鶯沢*0.8 栗原市一迫*0.8 東松島市矢本*0.8 仙台青葉区大倉*0.7 宮城美里町木間塚*0.7 仙台若林区遠見塚*0.7 松島町高城*0.7 気仙沼市本吉町西川内*0.6 気仙沼市本吉町津谷*0.6 角田市角田*0.5 石巻市大瓜*0.5 柴田町船岡*0.5 青森県 1 階上町道仏*0.7 青森南部町苫米地*0.5	38° 57.6' N	142° 33.0' E	53km	M: 4.4
14	3 06 24	三重県南東沖 福島県 2 浪江町幾世橋*1.7 檜葉町北田*1.5 双葉町両竹*1.5 1 田村市大越町*1.3 南相馬市小高区*1.2 白河市東*1.2 いわき市三和町*1.1 田村市滝根町*1.1 福島広野町下北迫大谷地原*1.0 玉川村小高*1.0 田村市都路町*1.0 いわき市平梅本*0.9 棚倉町棚倉中居野*0.9 川内村上川内早渡*0.9 大熊町野上*0.8 いわき市小名浜*0.8 浅川町浅川*0.8 いわき市錦町*0.8 矢祭町東館*0.8 富岡町本岡*0.8 川内村下川内*0.7 南相馬市原町区高見町*0.7 南相馬市鹿島区西町*0.7 田村市常葉町*0.7 いわき市平四ツ波*0.6 二本松市針道*0.6 田村市船引町*0.6 福島広野町下北迫苗代替*0.6 飯館村伊丹沢*0.5 白河市新白河*0.5 川内村上川内小山平*0.5 須賀川市八幡山*0.5 茨城県 2 日立市役所*1.7 高萩市下手綱*1.5 1 水戸市内原町*1.4 日立市助川小学校*1.4 笠間市石井*1.3 笠間市中央*1.2 桜川市羽田*1.1 日立市十王町友部*1.1 東海村東海*1.1 笠間市笠間*1.0 常陸大宮市野口*1.0 小美玉市小川*1.0 筑西市門井*1.0 桜川市岩瀬*1.0 高萩市安良川*0.9 桜川市真壁*0.9 常陸大宮市山方*0.9 石岡市柿岡*0.9 ひたちなか市南神敷台*0.8 常陸大宮市北町*0.8 城里町石塚*0.8 城里町阿波山*0.8 小美玉市上玉里*0.8 土浦市常名*0.8 茨城古河市下大野*0.8 石岡市若宮*0.8 筑西市舟生*0.8 笠間市下郷*0.8 かすみがうら市上土田*0.7 小美玉市堅倉*0.7 坂東市岩井*0.7 水戸市金町*0.6 常陸太田市町屋町*0.6 水戸市千波町*0.5 取手市寺田*0.5 宮城県 1 東松島市矢本*0.8 岩沼市桜*0.8 松島町高城*0.6 南三陸町志津川*0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町*1.4 高根沢町石末*1.3 下野市田中*1.2 下野市笹原*1.2 大田原市湯津上*1.1 栃木市岩舟町静*1.1 真岡市石島*1.1 益子町益子*1.1 鹿沼市晃望台*1.0 市貝町市塙*1.0 壬生町通町*0.9 野木町丸林*0.9 栃木市大平町富田*0.9 栃木市藤岡町藤岡*0.9 宇都宮市中里町*0.8 佐野市高砂町*0.8 小山市神鳥谷*0.8 真岡市田町*0.8 芳賀町祖母井*0.8 那須烏山市中央*0.8 下野市石橋*0.8 栃木市旭町*0.7 佐野市中町*0.6 日光市鬼怒川温泉大原*0.5 群馬県 1 沼田市白沢町*0.6 前橋市富士見町*0.6 館林市美園町*0.6 板倉町板倉*0.6 渋川市赤城町*0.5 邑楽町中野*0.5 埼玉県 1 加須市大利根*1.0 久喜市下早見*0.6 熊谷市大里*0.5 加須市北川辺*0.5 千葉県 1 市原市姉崎*0.9 浦安市日の出*0.5 東京都 1 東京千代田区大手町*1.0 西東京市中町*0.5	34° 01.2' N	136° 28.3' E	385km	M: 5.1
14	3 06 24	青森県東方沖 青森県 3 階上町道仏*2.7 八戸市湊町*2.5 2 八戸市内丸*2.1 青森南部町苫米地*2.0 八戸市南郷*1.7 1 野辺地町田狭沢*1.4 東北町上北南*1.4 青森南部町平*1.4 東通村砂子又沢内*1.4 六ヶ所村尾駈*1.3 五戸町古館*1.3 三沢市桜町*1.2 野辺地町野辺地*1.2 おいらせ町中下田*1.2 東北町塔ノ沢山*1.1 おいらせ町上明堂*1.1 五戸町倉石中市*1.0 むつ市金曲*1.0 青森南部町沖田面*1.0 十和田市奥瀬*1.0 横浜町林ノ脇*1.0 七戸町森ノ上*0.9 むつ市金谷*0.9 六戸町大落瀬*0.8 東通村砂子又蒲谷地*0.8 八戸市島守*0.8 東通村尻屋*0.7 三戸町在府小路町*0.7 六ヶ所村出戸*0.7 外ヶ浜町蟹田*0.6 東通村白糠*0.5 北海道 1 函館市泊町*1.1 函館市新浜町*0.8	41° 11.6' N	142° 01.8' E	58km	M: 4.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		3 白河市東※=3.4 白河市表郷※=3.4 白河市大信※=3.4 二本松市油井※=3.4 泉崎村泉崎※=3.4 石川町長久保※=3.4 本宮市白岩※=3.4 いわき市錦町※=3.4 田村市船引町=3.3 本宮市本宮※=3.3 いわき市小名浜=3.2 いわき市平四ツ波※=3.2 棚倉町棚倉中居野=3.2 浪江町幾世橋=3.2 須賀川市岩瀬支所※=3.2 平田村永田※=3.2 二本松市金色※=3.2 郡山市開成※=3.2 須賀川市八幡山※=3.2 浅川町浅川※=3.1 福島広野町下北迫大谷地原※=3.1 富岡町本岡※=3.1 川内村上川内早渡※=3.1 小野町小野新町※=3.1 飯館村伊丹沢※=3.1 大玉村玉井※=3.1 田村市都路町※=3.1 郡山市朝日=3.0 矢吹町一本木※=3.0 福島市五老内町※=3.0 小野町中通※=3.0 塙町塙※=3.0 双葉町両竹※=2.9 福島広野町下北迫苗代替※=2.9 郡山市湖南町※=2.9 須賀川市牛袋町※=2.8 川内村下川内=2.8 川俣町樋ノ口※=2.8 福島市松木町=2.8 南相馬市小高区※=2.7 大熊町野上※=2.7 二本松市針道※=2.7 白河市郭内=2.7 葛尾村落合落合※=2.7 矢祭町戸塚※=2.7 棚倉町棚倉館ヶ丘※=2.6 川内村上川内小山平※=2.6 大殿町松川横川=2.6 猪苗代町千代田※=2.5 矢祭町東館※=2.5 福島伊達市前川原※=2.5 福島伊達市霊山町※=2.5 国見町藤田※=2.5 福島市桜木町※=2.5 2 白河市八幡小路※=2.4 西郷村熊倉※=2.4 三春町大町※=2.4 相馬市中村※=2.4 桑折町東大隅※=2.3 福島伊達市保原町※=2.3 福島市飯野町※=2.3 新地町谷地小屋※=2.3 西会津町登世島※=2.3 猪苗代町城南=2.3 会津美里町新鶴庁舎※=2.2 天栄村湯本支所※=2.2 南相馬市鹿島区西町※=2.2 鮫川村赤坂中野※=2.1 福島伊達市梁川町※=2.1 南相馬市原町区高見町※=2.0 喜多方市塩川町※=2.0 湯川村清水田※=2.0 会津坂下町市中三番甲※=1.9 喜多方市高郷町※=1.8 磐梯町磐梯※=1.8 福島伊達市月館町※=1.8 南相馬市原町区三島町=1.8 南相馬市鹿島区栴窪=1.8 二本松市小浜※=1.7 南相馬市原町区本町※=1.7 西会津町野沢=1.7 柳津町柳津※=1.6 会津美里町本郷庁舎※=1.6 会津若松市東栄町※=1.6 喜多方市御清水※=1.5 1 下郷町高崎※=1.3 北塩原村北山※=1.3 会津美里町高田庁舎※=1.3 南会津町田島=1.3 喜多方市山都町※=1.3 会津若松市材木町=1.2 下郷町塩生※=1.2 南会津町界※=1.1 会津若松市北会津町※=1.1 喜多方市松山町※=1.1 南会津町滝原※=1.0 檜枝岐村上河原※=0.8 只見町黒谷※=0.7 福島金山町川口※=0.7 茨城県 4 日立市助川小学校※=3.9 高萩市安良川※=3.7 高萩市下手綱※=3.7 常陸大宮市山方※=3.7 城里町石塚※=3.6 水戸市内原町※=3.5 常陸太田市高柿町※=3.5 那珂市瓜連※=3.5 3 日立市十王町友部※=3.4 常陸大宮市北町※=3.4 日立市役所※=3.3 笠間市石井※=3.3 ひたちなか市南神敷台※=3.3 北茨城市磯原町※=3.2 笠間市中央※=3.2 大子町池田※=3.2 笠間市笠間※=3.1 東海村東海※=3.1 筑西市門井※=3.0 笠間市下郷※=3.0 常陸大宮市上小瀬※=2.9 土浦市常名=2.9 常陸太田市町屋町=2.9 水戸市千波町※=2.9 小美玉市堅倉※=2.8 桜川市岩瀬※=2.8 常陸太田市町田町※=2.8 常陸太田市金井町※=2.8 水戸市金町=2.8 常陸大宮市高部※=2.8 常陸太田市中大町※=2.7 石岡市柿岡=2.7 茨城町小堤※=2.7 桜川市羽田※=2.7 常陸大宮市中富町=2.7 常陸大宮市野口※=2.7 小美玉市小川※=2.6 石岡市八郷※=2.6 ひたちなか市東石川※=2.6 桜川市真壁※=2.5 鉾田市汲上※=2.5 小美玉市上玉里※=2.5 石岡市若宮※=2.5 茨城鹿嶋市宮中※=2.5 稲敷市江戸崎甲※=2.5 筑西市舟生=2.5 行方市麻生※=2.5 城里町徳蔵※=2.5 2 那珂市福田※=2.4 土浦市田中※=2.4 牛久市城中町※=2.4 つくば市研究学園※=2.4 茨城鹿嶋市鉢形=2.4 かすみがうら市上土田※=2.4 土浦市藤沢※=2.3 つくば市小茎※=2.3 潮来市辻※=2.3 美浦村受領※=2.3 かすみがうら市大和田※=2.3 鉾田市鉾田=2.3 鉾田市造谷※=2.3 ひたちなか市山ノ上町=2.3 行方市山田※=2.2 つくば市天王台※=2.2 城里町阿波山※=2.2 坂東市馬立※=2.2 坂東市山※=2.2 筑西市海老ヶ島※=2.2 取手市寺田※=2.2 常総市新石下※=2.1 潮来市堀之内=2.1 稲敷市結佐※=2.1 筑西市下中山※=2.1 大洗町磯浜町※=2.0 阿見町中央※=2.0 稲敷市柴崎※=2.0 稲敷市役所※=1.9 茨城古河市仁連※=1.9 龍ヶ崎市役所※=1.9 取手市井野※=1.9 行方市玉造※=1.9 常総市水海道諏訪町※=1.9 つくばみらい市福田※=1.9 五霞町小福田※=1.9 境町旭町※=1.9 茨城古河市下大野※=1.8 結城市結城※=1.8 下妻市本城町※=1.8 下妻市鬼怒※=1.8 牛久市中央※=1.8 八千代町菅谷※=1.8 神栖市溝口※=1.7 河内町源清田※=1.7 坂東市岩井=1.7 守谷市大柏※=1.6 つくばみらい市加藤※=1.5 1 茨城古河市長谷町※=1.4 取手市藤代※=1.4 利根町布川=1.4 神栖市波崎※=1.3 3 岩沼市桜※=2.9 石巻市桃生町※=2.6 塩竈市旭町※=2.6 丸森町鳥屋※=2.6 2 亘理町下小路※=2.4 蔵王町円田※=2.3 名取市増田※=2.3 山元町浅生原※=2.3 大崎市田尻※=2.2 大河原町新南※=2.2 角田市角田※=2.2 宮城川崎町前川※=2.1 東松島市矢本※=2.0 松島町高城=2.0 仙台空港=2.0 宮城美里町木間塚※=2.0 大崎市松山※=2.0 登米市南方町※=2.0 仙台若林区遠見塚※=2.0 仙台泉区将監※=2.0 涌谷町新町裏=1.9 石巻市大街道南※=1.9 登米市中田町=1.9 東松島市小野※=1.9 大衡村大衡※=1.9 登米市迫町※=1.9 南三陸町志津川=1.9 大崎市古川三日町=1.9 宮城加美町中新田※=1.9 仙台青葉区作並※=1.9 色麻町四竈※=1.9 柴田町船岡=1.8 白石市亘理町※=1.8 仙台宮城野区五輪=1.8 仙台宮城野区苦竹※=1.8 大崎市鹿島台※=1.8 栗原市若柳※=1.8 大崎市古川大崎=1.7 栗原市築館※=1.7 利府町利府※=1.7 丸森町上滝=1.7 登米市登米町※=1.7 登米市米山町※=1.7 気仙沼市笹が陣※=1.6 村田町村田※=1.6 登米市豊里町※=1.6 宮城美里町北浦※=1.6 大郷町粕川※=1.6 仙台太白区山田※=1.6 気仙沼市赤岩=1.6 大崎市古川北町※=1.5 七ヶ浜町東宮浜※=1.5 石巻市北上町※=1.5 女川町女川浜※=1.5 石巻市相野谷※=1.5 石巻市前谷地※=1.5 1 気仙沼市唐桑町※=1.4 栗原市一迫※=1.4 栗原市瀬峰※=1.4 栗原市清水※=1.4 栗原市志波姫※=1.3 登米市東和町※=1.3 大崎市三本木※=1.3 仙台青葉区大倉=1.3 仙台青葉区雨宮※=1.3 石巻市泉町=1.3 仙台青葉区落合※=1.2 石巻市鮎川浜※=1.2 多賀城市中央※=1.2 富谷市富谷※=1.2 栗原市栗駒=1.2 登米市津山町※=1.2 七ヶ宿町関※=1.2 宮城加美町小野田※=1.1 大和町吉岡※=1.1 栗原市金成※=1.1 登米市石越町※=1.1 栗原市花山※=0.9 大崎市岩出山※=0.8 石巻市大瓜=0.8 気仙沼市本吉町津谷※=0.8 宮城加美町宮崎※=0.8 南三陸町歌津※=0.8 栗原市鶯沢※=0.7 石巻市雄勝町※=0.7 気仙沼市本吉町西川内=0.7 3 益子町益子=3.2 那須烏山市中央=3.2 大田原市湯津上※=3.1 那須町寺子※=3.1 市貝町市塙※=3.0 真岡市石島※=2.7 芳賀町祖母井※=2.7 高根沢町石末※=2.7 那須塩原市あたご町※=2.6 宇都宮市中岡本町※=2.6 栃木那珂川町馬頭※=2.6 茂木町茂木※=2.5 2 日光市今本町※=2.4 大田原市黒羽田町=2.4 宇都宮市明保野町=2.4 栃木那珂川町小川※=2.4 鹿沼市今宮町※=2.3 真岡市田町※=2.3 那須烏山市大金※=2.3 那須烏山市役所※=2.3				
		3 白河市東※=3.4 白河市表郷※=3.4 白河市大信※=3.4 二本松市油井※=3.4 泉崎村泉崎※=3.4 石川町長久保※=3.4 本宮市白岩※=3.4 いわき市錦町※=3.4 田村市船引町=3.3 本宮市本宮※=3.3 いわき市小名浜=3.2 いわき市平四ツ波※=3.2 棚倉町棚倉中居野=3.2 浪江町幾世橋=3.2 須賀川市岩瀬支所※=3.2 平田村永田※=3.2 二本松市金色※=3.2 郡山市開成※=3.2 須賀川市八幡山※=3.2 浅川町浅川※=3.1 福島広野町下北迫大谷地原※=3.1 富岡町本岡※=3.1 川内村上川内早渡※=3.1 小野町小野新町※=3.1 飯館村伊丹沢※=3.1 大玉村玉井※=3.1 田村市都路町※=3.1 郡山市朝日=3.0 矢吹町一本木※=3.0 福島市五老内町※=3.0 小野町中通※=3.0 塙町塙※=3.0 双葉町両竹※=2.9 福島広野町下北迫苗代替※=2.9 郡山市湖南町※=2.9 須賀川市牛袋町※=2.8 川内村下川内=2.8 川俣町樋ノ口※=2.8 福島市松木町=2.8 南相馬市小高区※=2.7 大熊町野上※=2.7 二本松市針道※=2.7 白河市郭内=2.7 葛尾村落合落合※=2.7 矢祭町戸塚※=2.7 棚倉町棚倉館ヶ丘※=2.6 川内村上川内小山平※=2.6 大殿町松川横川=2.6 猪苗代町千代田※=2.5 矢祭町東館※=2.5 福島伊達市前川原※=2.5 福島伊達市霊山町※=2.5 国見町藤田※=2.5 福島市桜木町※=2.5 2 白河市八幡小路※=2.4 西郷村熊倉※=2.4 三春町大町※=2.4 相馬市中村※=2.4 桑折町東大隅※=2.3 福島伊達市保原町※=2.3 福島市飯野町※=2.3 新地町谷地小屋※=2.3 西会津町登世島※=2.3 猪苗代町城南=2.3 会津美里町新鶴庁舎※=2.2 天栄村湯本支所※=2.2 南相馬市鹿島区西町※=2.2 鮫川村赤坂中野※=2.1 福島伊達市梁川町※=2.1 南相馬市原町区高見町※=2.0 喜多方市塩川町※=2.0 湯川村清水田※=2.0 会津坂下町市中三番甲※=1.9 喜多方市高郷町※=1.8 磐梯町磐梯※=1.8 福島伊達市月館町※=1.8 南相馬市原町区三島町=1.8 南相馬市鹿島区栴窪=1.8 二本松市小浜※=1.7 南相馬市原町区本町※=1.7 西会津町野沢=1.7 柳津町柳津※=1.6 会津美里町本郷庁舎※=1.6 会津若松市東栄町※=1.6 喜多方市御清水※=1.5 1 下郷町高崎※=1.3 北塩原村北山※=1.3 会津美里町高田庁舎※=1.3 南会津町田島=1.3 喜多方市山都町※=1.3 会津若松市材木町=1.2 下郷町塩生※=1.2 南会津町界※=1.1 会津若松市北会津町※=1.1 喜多方市松山町※=1.1 南会津町滝原※=1.0 檜枝岐村上河原※=0.8 只見町黒谷※=0.7 福島金山町川口※=0.7 茨城県 4 日立市助川小学校※=3.9 高萩市安良川※=3.7 高萩市下手綱※=3.7 常陸大宮市山方※=3.7 城里町石塚※=3.6 水戸市内原町※=3.5 常陸太田市高柿町※=3.5 那珂市瓜連※=3.5 3 日立市十王町友部※=3.4 常陸大宮市北町※=3.4 日立市役所※=3.3 笠間市石井※=3.3 ひたちなか市南神敷台※=3.3 北茨城市磯原町※=3.2 笠間市中央※=3.2 大子町池田※=3.2 笠間市笠間※=3.1 東海村東海※=3.1 筑西市門井※=3.0 笠間市下郷※=3.0 常陸大宮市上小瀬※=2.9 土浦市常名=2.9 常陸太田市町屋町=2.9 水戸市千波町※=2.9 小美玉市堅倉※=2.8 桜川市岩瀬※=2.8 常陸太田市町田町※=2.8 常陸太田市金井町※=2.8 水戸市金町=2.8 常陸大宮市高部※=2.8 常陸太田市中大町※=2.7 石岡市柿岡=2.7 茨城町小堤※=2.7 桜川市羽田※=2.7 常陸大宮市中富町=2.7 常陸大宮市野口※=2.7 小美玉市小川※=2.6 石岡市八郷※=2.6 ひたちなか市東石川※=2.6 桜川市真壁※=2.5 鉾田市汲上※=2.5 小美玉市上玉里※=2.5 石岡市若宮※=2.5 茨城鹿嶋市宮中※=2.5 稲敷市江戸崎甲※=2.5 筑西市舟生=2.5 行方市麻生※=2.5 城里町徳蔵※=2.5 2 那珂市福田※=2.4 土浦市田中※=2.4 牛久市城中町※=2.4 つくば市研究学園※=2.4 茨城鹿嶋市鉢形=2.4 かすみがうら市上土田※=2.4 土浦市藤沢※=2.3 つくば市小茎※=2.3 潮来市辻※=2.3 美浦村受領※=2.3 かすみがうら市大和田※=2.3 鉾田市鉾田=2.3 鉾田市造谷※=2.3 ひたちなか市山ノ上町=2.3 行方市山田※=2.2 つくば市天王台※=2.2 城里町阿波山※=2.2 坂東市馬立※=2.2 坂東市山※=2.2 筑西市海老ヶ島※=2.2 取手市寺田※=2.2 常総市新石下※=2.1 潮来市堀之内=2.1 稲敷市結佐※=2.1 筑西市下中山※=2.1 大洗町磯浜町※=2.0 阿見町中央※=2.0 稲敷市柴崎※=2.0 稲敷市役所※=1.9 茨城古河市仁連※=1.9 龍ヶ崎市役所※=1.9 取手市井野※=1.9 行方市玉造※=1.9 常総市水海道諏訪町※=1.9 つくばみらい市福田※=1.9 五霞町小福田※=1.9 境町旭町※=1.9 茨城古河市下大野※=1.8 結城市結城※=1.8 下妻市本城町※=1.8 下妻市鬼怒※=1.8 牛久市中央※=1.8 八千代町菅谷※=1.8 神栖市溝口※=1.7 河内町源清田※=1.7 坂東市岩井=1.7 守谷市大柏※=1.6 つくばみらい市加藤※=1.5 1 茨城古河市長谷町※=1.4 取手市藤代※=1.4 利根町布川=1.4 神栖市波崎※=1.3 3 岩沼市桜※=2.9 石巻市桃生町※=2.6 塩竈市旭町※=2.6 丸森町鳥屋※=2.6 2 亘理町下小路※=2.4 蔵王町円田※=2.3 名取市増田※=2.3 山元町浅生原※=2.3 大崎市田尻※=2.2 大河原町新南※=2.2 角田市角田※=2.2 宮城川崎町前川※=2.1 東松島市矢本※=2.0 松島町高城=2.0 仙台空港=2.0 宮城美里町木間塚※=2.0 大崎市松山※=2.0 登米市南方町※=2.0 仙台若林区遠見塚※=2.0 仙台泉区将監※=2.0 涌谷町新町裏=1.9 石巻市大街道南※=1.9 登米市中田町=1.9 東松島市小野※=1.9 大衡村大衡※=1.9 登米市迫町※=1.9 南三陸町志津川=1.9 大崎市古川三日町=1.9 宮城加美町中新田※=1.9 仙台青葉区作並※=1.9 色麻町四竈※=1.9 柴田町船岡=1.8 白石市亘理町※=1.8 仙台宮城野区五輪=1.8 仙台宮城野区苦竹※=1.8 大崎市鹿島台※=1.8 栗原市若柳※=1.8 大崎市古川大崎=1.7 栗原市築館※=1.7 利府町利府※=1.7 丸森町上滝=1.7 登米市登米町※=1.7 登米市米山町※=1.7 気仙沼市笹が陣※=1.6 村田町村田※=1.6 登米市豊里町※=1.6 宮城美里町北浦※=1.6 大郷町粕川※=1.6 仙台太白区山田※=1.6 気仙沼市赤岩=1.6 大崎市古川北町※=1.5 七ヶ浜町東宮浜※=1.5 石巻市北上町※=1.5 女川町女川浜※=1.5 石巻市相野谷※=1.5 石巻市前谷地※=1.5 1 気仙沼市唐桑町※=1.4 栗原市一迫※=1.4 栗原市瀬峰※=1.4 栗原市清水※=1.4 栗原市志波姫※=1.3 登米市東和町※=1.3 大崎市三本木※=1.3 仙台青葉区大倉=1.3 仙台青葉区雨宮※=1.3 石巻市泉町=1.3 仙台青葉区落合※=1.2 石巻市鮎川浜※=1.2 多賀城市中央※=1.2 富谷市富谷※=1.2 栗原市栗駒=1.2 登米市津山町※=1.2 七ヶ宿町関※=1.2 宮城加美町小野田※=1.1 大和町吉岡※=1.1 栗原市金成※=1.1 登米市石越町※=1.1 栗原市花山※=0.9 大崎市岩出山※=0.8 石巻市大瓜=0.8 気仙沼市本吉町津谷※=0.8 宮城加美町宮崎※=0.8 南三陸町歌津※=0.8 栗原市鶯沢※=0.7 石巻市雄勝町※=0.7 気仙沼市本吉町西川内=0.7 3 益子町益子=3.2 那須烏山市中央=3.2 大田原市湯津上※=3.1 那須町寺子※=3.1 市貝町市塙※=3.0 真岡市石島※=2.7 芳賀町祖母井※=2.7 高根沢町石末※=2.7 那須塩原市あたご町※=2.6 宇都宮市中岡本町※=2.6 栃木那珂川町馬頭※=2.6 茂木町茂木※=2.5 2 日光市今本町※=2.4 大田原市黒羽田町=2.4 宇都宮市明保野町=2.4 栃木那珂川町小川※=2.4 鹿沼市今宮町※=2.3 真岡市田町※=2.3 那須烏山市大金※=2.3 那須烏山市役所※=2.3				
		3 白河市東※=3.4 白河市表郷※=3.4 白河市大信※=3.4 二本松市油井※=3.4 泉崎村泉崎※=3.4 石川町長久保※=3.4 本宮市白岩※=3.4 いわき市錦町※=3.4 田村市船引町=3.3 本宮市本宮※=3.3 いわき市小名浜=3.2 いわき市平四ツ波※=3.2 棚倉町棚倉中居野=3.2 浪江町幾世橋=3.2 須賀川市岩瀬支所※=3.2 平田村永田※=3.2 二本松市金色※=3.2 郡山市開成※=3.2 須賀川市八幡山※=3.2 浅川町浅川※=3.1 福島広野町下北迫大谷地原※=3.1 富岡町本岡※=3.1 川内村上川内早渡※=3.1 小野町小野新町※=3.1 飯館村伊丹沢※=3.1 大玉村玉井※=3.1 田村市都路町※=3.1 郡山市朝日=3.0 矢吹町一本木※=3.0 福島市五老内町※=3.0 小野町中通※=3.0 塙町塙※=3.0 双葉町両竹※=2.9 福島広野町下北迫苗代替※=2.9 郡山市湖南町※=2.9 須賀川市牛袋町※=2.8 川内村下川内=2.8 川俣町樋ノ口※=2.8 福島市松木町=2.8 南相馬市小高区※=2.7 大熊町野上※=2.7 二本松市針道※=2.7 白河市郭内=2.7 葛尾村落合落合※=2.7 矢祭町戸塚※=2.7 棚倉町棚倉館ヶ丘※=2.6 川内村上川内小山平※=2.6 大殿町松川横川=2.6 猪苗代町千代田※=2.5 矢祭町東館※=2.5 福島伊達市前川原※=2.5 福島伊達市霊山町※=2.5 国見町藤田※=2.5 福島市桜木町※=2.5 2 白河市八幡小路※=2.4 西郷村熊倉※=2.4 三春町大町※=2.4 相馬市中村※=2.4 桑折町東大隅※=2.3 福島伊達市保原町※=2.3 福島市飯野町※=2.3 新地町谷地小屋※=2.3 西会津町登世島※=2.3 猪苗代町城南=2.3 会津美里町新鶴庁舎※=2.2 天栄村湯本支所※=2.2 南相馬市鹿島区西町※=2.2 鮫川村赤坂中野※=2.1 福島伊達市梁川町※=2.1 南相馬市原町区高見町※=2.0 喜多方市塩川町※=2.0 湯川村清水田※=2.0 会津坂下町市中三番甲※=1.9 喜多方市高郷町※=1.8 磐梯町磐梯※=1.8 福島伊達市月館町※=1.8 南相馬市原町区三島町=1.8 南相馬市鹿島区栴窪=1.8 二本松市小浜※=1.7 南相馬市原町区本町※=1.7 西会津町野沢=1.7 柳津町柳津※=1.6 会津美里町本郷庁舎※=1.6 会津若松市東栄町※=1.6 喜多方市御清水※=1.5 1 下郷町高崎※=1.3 北塩原村北山※=1.3 会津美里町高田庁舎※=1.3 南会津町田島=1.3 喜多方市山都町※=1.3 会津若松市材木町=1.2 下郷町塩生※=1.2 南会津町界※=1.1 会津若松市北会津町※=1.1 喜多方市松山町※=1.1 南会津町滝原※=1.0 檜枝岐村上河原※=0.8 只見町黒谷※=0.7 福島金山町川口※=0.7 茨城県 4 日立市助川小学校※=3.9 高萩市安良川※=3.7 高萩市下手綱※=3.7 常陸大宮市山方※=3.7 城里町石塚※=3.6 水戸市内原町※=3.5 常陸太田市高柿町※=3.5 那珂市瓜連※=3.5 3 日立市十王町友部※=3.4 常陸大宮市北町※=3.4 日立市役所※=3.3 笠間市石井※=3.3 ひたちなか市南神敷台※=3.3 北茨城市磯原町※=3.2 笠間市中央※=3.2 大子町池田※=3.2 笠間市笠間※=3.1 東海村東海※=3.1 筑西市門井※=3.0 笠間市下郷※=3.0 常陸大宮市上小瀬※=2.9 土浦市常名=2.9 常陸太田市町屋町=2.9 水戸市千波町※=2.9 小美玉市堅倉※=2.8 桜川市岩瀬※=2.8 常陸太田市町田町※=2.8 常陸太田市金井町※=2.8 水戸市金町=2.8 常陸大宮市高部※=2.8 常陸太田市中大町※=2.7 石岡市柿岡=2.7 茨城町小堤※=2.7 桜川市羽田※=2.7 常陸大宮市中富町=2.7 常陸大宮市野口※=2.7 小美玉市小川※=2.6 石岡市八郷※=2.6 ひたちなか市東石川※=2.6 桜川市真壁※=2.5 鉾田市汲上※=2.5 小美玉市上玉里※=2.5 石岡市若宮※=2.5 茨城鹿嶋市宮中※=2.5 稲敷市江戸崎甲※=2.5 筑西市舟生=2.5 行方市麻生※=2.5 城里町徳蔵※=2.5 2 那珂市福田※=2.4 土浦市田中※=2.4 牛久市城中町※=2.4 つくば市研究学園※=2.4 茨城鹿嶋市鉢形=2.4 かすみがうら市上土田※=2.4 土浦市藤沢※=2.3 つくば市小茎※=2.3 潮来市辻※=2.3 美浦村受領※=2.3 かすみがうら市大和田※=2.3 鉾田市鉾田=2.3 鉾田市造谷※=2.3 ひたちなか市山ノ上町=2.3 行方市山田※=2.2 つくば市天王台※=2.2 城里町阿波山※=2.2 坂東市馬立※=2.2 坂東市山※=2.2 筑西市海老ヶ島※=2.2 取手市寺田※=2.2 常総市新石下※=2.1 潮来市堀之内=2.1 稲敷市結佐※=2.1 筑西市下中山※=2.1 大洗町磯浜町※=2.0 阿見町中央※=2.0 稲敷市柴崎※=2.0 稲敷市役所※=1.9 茨城古河市仁連※=1.9 龍ヶ崎市役所※=1.9 取手市井野※=1.9 行方市玉造※=1.9 常総市水海道諏訪町※=1.9 つくばみらい市福田※=1.9 五霞町小福田※=1.9 境町旭町※=1.9 茨城古河市下大野※=1.8 結城市結城※=1.8 下妻市本城町※=1.8 下妻市鬼怒※=1.8 牛久市中央※=1.8 八千代町菅谷※=1.8 神栖市溝口※=1.7 河内町源清田※=1.7 坂東市岩井=1.7 守谷市大柏※=1.6 つくばみらい市加藤※=1.5 1 茨城古河市長谷町※=1.4 取手市藤代※=1.4 利根町布川=1.4 神栖市波崎※=1.3 3 岩沼市桜※=2.9 石巻市桃生町※=2.6 塩竈市旭町※=2.6 丸森町鳥屋※=2.6 2 亘理町下小路※=2.4 蔵王町円田※=2.3 名取市増田※=2.3 山元町浅生原※=2.3 大崎市田尻※=2.2 大河原町新南※=2.2 角田市角田※=2.2 宮城川崎町前川※=2.1 東松島市矢本※=2.0 松島町高城=2.0 仙台空港=2.0 宮城美里町木間塚※=2.0 大崎市松山※=2.0 登米市南方町※=2.0 仙台若林区遠見塚※=2.0 仙台泉区将監※=2.0 涌谷町新町裏=1.9 石巻市大街道南※=1.9 登米市中田町=1.9 東松島市小野※=1.9 大衡村大衡※=1.9 登米市迫町※=1.9 南三陸町志津川=1.9 大崎市古川三日町=1.9 宮城加美町中新田※=1.9 仙台青葉区作並※=1.9 色麻町四竈※=1.9 柴田町船岡=1.8 白石市亘理町※=1.8 仙台宮城野区五輪=1.8 仙台宮城野区苦竹※=1.8 大崎市鹿島台※=1.8 栗原市若柳※=1.8 大崎市古川大崎=1.7 栗原市築館※=1.7 利府町利府※=1.7 丸森町上滝=1.7 登米市登米町※=1.7 登米市米山町※=1.7 気仙沼市笹が陣※=1.6 村田町村田※=1.6 登米市豊里町※=1.6 宮城美里町北浦※=1.6 大郷町粕川※=1.6 仙台太白区山田※=1.6 気仙沼市赤岩=1.6 大崎市古川北町※=1.5 七ヶ浜町東宮浜※=1.5 石巻市北上町※=1.5 女川町女川浜※=1.5 石巻市相野谷※=1.5 石巻市前谷地※=1.5 1 気仙沼市唐桑町※=1.4 栗原市一迫※=1.4 栗原市瀬峰※=1.4 栗原市清水※=1.4 栗原市志波姫※=1.3 登米市東和町※=1.3 大崎市三本木※=1.3 仙台青葉区大倉=1.3 仙台青葉区雨宮※=1.3 石巻市泉町=1.3 仙台青葉区落合※=1.2 石巻市鮎川浜※=1.2 多賀城市中央※=1.2 富谷市富谷※=1.2 栗原市栗駒=1.2 登米市津山町※=1.2 七ヶ宿町関※=1.2 宮城加美町小野田※=1.1 大和町吉岡※=1.1 栗原市金成※=1.1 登米市石越町※=1.1 栗原市花山※=0.9 大崎市岩出山※=0.8 石巻市大瓜=0.8 気仙沼市本吉町津谷※=0.8 宮城加美町宮崎※=0.8 南三陸町歌津※=0.8 栗原市鶯沢※=0.7 石巻市雄勝町※=0.7 気仙沼市本吉町西川内=0.7 3 益子町益子=3.2 那須烏山市中央=3.2 大田原市湯津上※=3.1 那須町寺子※=3.1 市貝町市塙※=3.0 真岡市石島※=2.7 芳賀町祖母井※=2.7 高根沢町石末※=2.7 那須塩原市あたご町※=2.6 宇都宮市中岡本町※=2.6 栃木那珂川町馬頭※=2.6 茂木町茂木※=2.5 2 日光市今本町※=2.4 大田原市黒羽田町=2.4 宇都宮市明保野町=2.4 栃木那珂川町小川※=2.4 鹿沼市今宮町※=2.3 真岡市田町※=2.3 那須烏山市大金※=2.3 那須烏山市役所※=2.3				
		3 白河市東※=3.4 白河市表郷※=3.4 白河市大信※=3.4 二本松市油井※=3.4 泉崎村泉崎※=3.4 石川町長久保※=3.4 本宮市白岩※=3.4 いわき市錦町※=3.4 田村市船引町=3.3 本宮市本宮※=3.3 いわき市小名浜=3.2 いわき市平四ツ波※=3.2 棚倉町棚倉中居野=3.2 浪江町幾世橋=3.2 須賀川市岩瀬支所※=3.2 平田村永田※=3.2 二本松市金色※=3.2 郡山市開成※=3.2 須賀川市八幡山※=3.2 浅川町浅川※=3.1 福島広野町下北迫大谷地原※=3.1 富岡町本岡※=3.1 川内村上川内早渡※=3.1 小野町小野新町※=3.1 飯館村伊丹沢※=3.1 大玉村玉井※=3.1 田村市都路町※=3.1 郡山市朝日=3.0 矢吹町一本木※=3.0 福島市五老内町※=3.0 小野町中通※=3.0 塙町塙※=3.0 双葉町両竹※=2.9 福島広野町下北迫苗代替※=2.9 郡山市湖南町※=2.9 須賀川市牛袋町※=2.8 川内村下川内=2.8 川俣町樋ノ口※=2.8 福島市松木町=2.8 南相馬市小高区※=2.7 大熊町野上※=2.7 二本松市針道※=2.7 白河市郭内=2.7 葛尾村落合落合※=2.7 矢祭町戸塚※=2.7 棚倉町棚倉館ヶ丘※=2.6 川内村上川内小山平※=2.6 大殿町松川横川=2.6 猪苗代町千代田※=2.5 矢祭町東館※=2.5 福島伊達市前川原※=2.5 福島伊達市霊山町※=2.5 国見町藤田※=2.5 福島市桜木町※=2.5 2 白河市八幡小路※=2.4 西郷村熊倉※=2.4 三春町大町※=2.4 相馬市中村※=2.4 桑折町東大隅※=2.3 福島伊達市保原町※=2.3 福島市飯野町※=2.3 新地町谷地小屋※=2.3 西会津町登世島※=2.3 猪苗代町城南=2.3 会津美里町新鶴庁舎※=2.2 天栄村湯本支所※=2.2 南相馬市鹿島区西町※=2.2 鮫川村赤坂中野※=2.1 福島伊達市梁川町※=2.1 南相馬市原町区高見町※=2.0 喜多方市塩川町※=2.0 湯川村清水田※=2.0 会津坂下町市中三番甲※=1.9 喜多方市高郷町※=1.8 磐梯町磐梯※=1.8 福島伊達市月館町※=1.8 南相馬市原町区三島町=1.8 南相馬市鹿島区栴窪=1.8 二本松市小浜※=1.7 南相馬市原町区本町※=1.7 西会津町野沢=1.7 柳津町柳津※=1.6 会津美里町本郷庁舎※=1.6 会津若松市東栄町※=1.6 喜多方市御清水※=1.5 1 下郷町高崎※=1.3 北塩原村北山※=1.3 会津美里町高田庁舎※=1.3 南会津町田島=1.3 喜多方市山都町※=1.3 会津若松市材木町=1.2 下郷町塩生※=1.2 南会津町界※=1.1 会津若松市北会津町※=1.1 喜多方市松				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		群馬県				大田原市本町*=2.2 那須塩原市鍋掛*=2.2 鹿沼市晃望台*=2.2 下野市田中*=2.1 下野市笹原*=2.1 那須塩原市共壘社*=2.1 那須塩原市塩原庁舎*=2.1 宇都宮市中里町*=2.1 栃木さくら市喜連川*=2.0 日光市中鉢石町*=2.0 足利市大正町*=2.0 小山市神鳥谷*=2.0 鹿沼市口栗野*=1.9 真岡市荒町*=1.9 茂木町北高岡天矢場*=1.9 佐野市葛生東*=1.9 栃木市旭町=1.8 栃木市岩舟町静*=1.8 日光市瀬川=1.8 日光市鬼怒川温泉大原*=1.8 日光市芹沼*=1.8 栃木さくら市氏家*=1.7 下野市石橋*=1.7 宇都宮市旭*=1.6 栃木市藤岡町藤岡*=1.6 佐野市田沼町*=1.6 佐野市高砂町*=1.6 矢板市本町*=1.6 野木町丸林*=1.6 日光市足尾町中才*=1.5 栃木市大平町富田*=1.5 栃木市万町*=1.5 佐野市中町*=1.5 1 日光市足尾町通洞*=1.4 宇都宮市塙田*=1.4 栃木市西方町本城*=1.4 壬生町通町*=1.4 塩谷町玉生*=1.3 那須塩原市薨沼=1.3 那須塩原市中塩原*=1.3 栃木市都賀町家中*=1.3 小山市中央町*=1.3 上三川町しらさぎ*=1.2 日光市日蔭*=1.2 日光市中宮祠=1.0 日光市湯元*=1.0 日光市藤原*=1.0 3 渋川市赤城町*=2.9 2 桐生市黒保根町*=2.2 前橋市富士見町*=2.1 桐生市元宿町*=2.1 邑楽町中野*=2.1 大泉町日の出*=2.0 前橋市粕川町*=1.9 桐生市織姫町=1.9 伊勢崎市西久保町*=1.9 太田市西本町*=1.8 沼田市白沢町*=1.8 沼田市利根町*=1.8 桐生市新里町*=1.7 千代田町赤岩*=1.7 みどり市笠懸町*=1.7 沼田市西倉内町=1.6 前橋市鼻毛石町*=1.6 高崎市高松町*=1.6 伊勢崎市今泉町*=1.6 太田市浜町*=1.6 安中市安中*=1.5 1 沼田市下久屋町*=1.4 前橋市堀越町*=1.4 伊勢崎市東町*=1.4 伊勢崎市境*=1.4 館林市美園町*=1.4 館林市城町*=1.4 渋川市吹屋*=1.4 吉岡町下野田*=1.4 板倉町板倉=1.4 群馬明和町新里*=1.4 太田市粕川町*=1.3 太田市新田金井町*=1.3 太田市大原町*=1.3 渋川市北橋町*=1.2 渋川市有馬*=1.1 東吾妻町本宿*=1.1 みどり市大間々町*=1.1 玉村町下新田*=1.0 みなかみ町鹿野沢*=1.0 高崎市足門町*=1.0 渋川市伊香保町*=1.0 神流町生利*=1.0 甘楽町小幡*=1.0 渋川市石原*=0.9 前橋市昭和町=0.9 前橋市駒形町*=0.9 安中市松井田町*=0.9 榛東村新井*=0.9 高崎市新町*=0.9 高崎市吉井町吉井川*=0.9 みどり市東町*=0.9 東吾妻町原町=0.9 高崎市下室田*=0.8 みなかみ町後閑*=0.8 群馬昭和村糸井*=0.8 前橋市大手町*=0.8 高崎市箕郷町*=0.8 神流町神ヶ原*=0.7 中之条町日影=0.7 片品村鎌田*=0.7 藤岡市鬼石*=0.7 富岡市七日市=0.7 富岡市妙義町*=0.7 高崎市倉渕町*=0.6 長野原町長野原*=0.6 群馬高山村中山*=0.6 川場村谷地*=0.6 みなかみ町布施*=0.6 東吾妻町奥田*=0.6 群馬上野村川和*=0.5 渋川市村上*=0.5 青森県 2 階上町道仏*=1.6 1 八戸市南郷*=1.3 青森南部町苫米地*=1.3 青森南部町平*=0.9 東北町上北南*=0.9 五戸町古館=0.8 おいらせ町中下田*=0.8 六戸町大落瀬*=0.7 七戸町森ノ上*=0.7 岩手県 2 普代村銅屋*=1.9 一関市千厩町*=1.9 釜石市中妻町*=1.8 一関市室根町*=1.8 一関市藤沢町*=1.8 盛岡市薮川*=1.7 矢巾町南矢幅*=1.5 花巻市東和町*=1.5 奥州市衣川区*=1.5 大船渡市大船渡町=1.5 1 野田村野田*=1.4 住田町世田米*=1.4 盛岡市山王町=1.4 北上市相去町*=1.4 遠野市青笹町*=1.4 奥州市胆沢区*=1.4 一関市花泉町*=1.3 一関市東山町*=1.3 盛岡市渋民*=1.2 北上市柳原町=1.2 金ヶ崎町西根*=1.2 奥州市前沢区*=1.2 奥州市江刺区*=1.1 宮古市田老*=1.1 花巻市石鳥谷町*=1.1 紫波町紫波中央駅前*=1.0 陸前高田市高田町*=1.0 平泉町平泉*=1.0 八幡平市田頭*=0.9 宮古市区界*=0.9 奥州市水沢区大鐘町=0.9 山田町八幡町=0.9 山田町大沢*=0.9 一関市大東町=0.9 奥州市水沢区佐倉河*=0.8 一関市竹山町*=0.8 花巻市大迫町=0.8 久慈市枝成沢=0.8 宮古市五月町*=0.8 宮古市川井*=0.8 遠野市宮守町*=0.7 釜石市只越町=0.7 久慈市長内町*=0.6 八幡平市大更=0.6 一関市川崎町*=0.6 久慈市川崎町=0.6 大船渡市猪川町=0.6 大船渡市盛町*=0.6 盛岡市馬場町*=0.6 宮古市鍛ヶ崎=0.5 西和賀町沢内川舟*=0.5 山形県 2 白鷹町荒砥*=1.9 上山市河崎*=1.7 中山町長崎*=1.7 米沢市林泉寺*=1.6 1 山辺町緑ヶ丘*=1.3 米沢市アルカディア=1.3 南陽市三間通*=1.3 高畠町高畠*=1.2 最上町向町*=1.1 天童市老野森*=1.1 米沢市金池*=1.0 村山市中央*=1.0 山形川西町上小松*=1.0 白鷹町黒鴨=1.0 河北町谷地=1.0 西川町大井沢*=1.0 米沢市駅前=1.0 山形朝日町宮宿*=0.9 東根市中央*=0.8 河北町役場*=0.8 尾花沢市若葉町*=0.8 長井市ままの上*=0.8 大蔵村清水*=0.6 大石田町緑町*=0.6 飯豊町上原*=0.5 埼玉県 2 東松山市松葉町*=2.1 加須市大利根*=1.9 久喜市下早見=1.9 嵐山町杉山*=1.9 宮代町笠原*=1.9 熊谷市江南*=1.8 行田市南河原*=1.8 鴻巣市川里*=1.8 春日部市粕壁*=1.8 春日部市金崎*=1.8 熊谷市大里*=1.7 行田市本丸*=1.7 加須市騎西*=1.7 滑川町福田*=1.7 さいたま見沼区堀崎*=1.7 加須市三俣*=1.6 本庄市児玉町=1.6 羽生市東*=1.6 鴻巣市吹上富士見*=1.6 ときがわ町桃木*=1.6 上尾市本町*=1.6 川島町下八ツ林*=1.6 吉見町下細谷*=1.5 春日部市谷原新田*=1.5 熊谷市妻沼*=1.5 桶川市上日出谷*=1.5 幸手市東*=1.5 さいたま北区宮原*=1.5 さいたま岩槻区本丸*=1.5 秩父市近戸町*=1.5 東松山市市ノ川*=1.5 鴻巣市中央*=1.5 深谷市川本*=1.5 久喜市青葉*=1.5 1 加須市北川辺*=1.4 埼玉美里町本部*=1.4 川口市中青木分室*=1.4 和光市広沢*=1.4 北本市本町*=1.4 杉戸町清地*=1.4 白岡市千駄野*=1.4 秩父市上町=1.4 長瀬町野上郷*=1.4 深谷市花園*=1.3 久喜市鷲宮*=1.3 狭山市入間川*=1.3 草加市高砂*=1.3 戸田市上戸田*=1.3 坂戸市千代田*=1.3 さいたま大宮区天沼町*=1.3 さいたま中央区下落合*=1.3 横瀬町横瀬*=1.3 久喜市菖蒲*=1.2 久喜市栗橋*=1.2 新座市野火止*=1.2 富士見市鶴馬*=1.2 蓮田市黒浜*=1.2 吉川市吉川*=1.2 さいたま西区指扇*=1.2 さいたま浦和区高砂=1.2 さいたま南区別所*=1.2 秩父市荒川*=1.1 三郷市中央*=1.1 鶴ヶ島市三ツ木*=1.1 埼玉三芳町藤久保*=1.1 毛呂山町中央*=1.1 越生町越生*=1.1 鳩山町大豆戸=1.1 さいたま緑区中尾*=1.1 飯能市名栗*=1.1 熊谷市桜町=1.0 伊奈町小室*=1.0 熊谷市宮町*=1.0 本庄市本庄*=1.0 深谷市仲町*=1.0 松伏町松伏*=1.0 深谷市岡部*=1.0 小川町大塚*=1.0 ときがわ町玉川*=1.0 川越市旭町=1.0 川口市青木*=1.0 蕨市中央*=1.0 八潮市中央*=1.0 皆野町皆野*=0.9 東秩父村御堂*=0.9 朝霞市本町*=0.9 越谷市越ヶ谷*=0.8 入間市豊岡*=0.8 長瀬町本野上*=0.8 小鹿野町小鹿野*=0.8 志木市中宗岡*=0.8 埼玉神川町植竹*=0.8 上里町七本木*=0.8 さいたま大宮区大門*=0.8 所沢市北有楽町*=0.8 さいたま桜区道場*=0.7 ふじみ野市福岡*=0.7 秩父市中津川*=0.7

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		千葉県 秩父市吉田＊=0.7 日高市南平沢＊=0.7 埼玉神川町下阿久原＊=0.6 川口市三ツ和＊=0.6 ふじみ野市大井＊=0.6 さいたま浦和区常盤＊=0.5 寄居町寄居＊=0.5 2 香取市役所＊=2.3 成田市花崎町=2.3 野田市鶴泰＊=2.2 白井市復＊=2.2 香取市佐原平田=2.1 香取市仁良＊=2.1 八街市八街＊=2.1 成田国際空港=2.0 八千代市大和田新田＊=2.0 山武市埴谷＊=1.9 成田市中台＊=1.9 成田市松子＊=1.9 印西市笠神＊=1.9 栄町安食台＊=1.9 富里市七栄＊=1.9 旭市南堀之内＊=1.8 香取市佐原諏訪台＊=1.8 千葉中央区都町＊=1.8 千葉花見川区花島町＊=1.8 千葉若葉区小倉台＊=1.8 野田市東宝珠花＊=1.8 千葉佐倉市海隣寺町＊=1.8 柏市旭町=1.8 柏市柏＊=1.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=1.8 印西市大森＊=1.8 印西市美瀬＊=1.8 多古町多古=1.7 芝山町小池＊=1.7 千葉美浜区ひび野=1.7 成田市役所＊=1.7 四街道市鹿渡＊=1.7 東金市日吉台＊=1.7 神崎町神崎本宿＊=1.7 香取市岩部＊=1.6 香取市羽根川＊=1.6 千葉稲毛区園生町＊=1.5 柏市大島田＊=1.5 山武市松尾町富士見台=1.5 1 匝瑳市八日市場＊=1.4 千葉中央区千葉市役所＊=1.4 千葉美浜区稲毛海岸＊=1.4 船橋市湊町＊=1.4 松戸市西馬橋＊=1.4 習志野市鷺沼＊=1.4 浦安市日の出=1.4 東金市東新宿=1.3 旭市萩園＊=1.3 横芝光町栗山＊=1.3 我孫子市我孫子＊=1.3 旭市ニ＊=1.2 九十九里町片貝＊=1.2 横芝光町宮川＊=1.2 山武市蓮沼ニ＊=1.2 山武市殿台＊=1.2 千葉中央区中央港=1.2 成田市猿山＊=1.2 市原市姉崎＊=1.2 酒々井町中央台＊=1.2 銚子市川口町=1.1 銚子市若宮町＊=1.1 東金市東岩崎＊=1.1 旭市高生＊=1.1 東庄町笹川＊=1.1 長南町長南＊=1.1 山武市蓮沼＊=1.1 流山市平和台＊=1.1 匝瑳市今泉＊=1.0 山武市松尾町五反田＊=1.0 千葉緑区おゆみ野＊=1.0 松戸市根本＊=1.0 浦安市猫実＊=0.9 一宮町一宮=0.9 君津市久留里市場＊=0.8 市川市八幡＊=0.8 大網白里市大網＊=0.7 2 東京千代田区大手町=1.8 東京渋谷区本町＊=1.7 東京中野区中野＊=1.7 東京杉並区高井戸＊=1.7 東京江戸川区中央=1.7 東京中野区江古田＊=1.6 東京文京区大塚＊=1.5 三鷹市野崎＊=1.5 調布市西つつじヶ丘＊=1.5 1 東京新宿区上落合＊=1.4 東京世田谷区三軒茶屋＊=1.4 東京練馬区豊玉北＊=1.4 東京練馬区光が丘＊=1.4 小平市小川町＊=1.4 東京北区西ヶ原＊=1.3 東京足立区神明南＊=1.3 東京葛飾区立石＊=1.3 東京中央区日本橋兜町＊=1.2 東京新宿区百人町＊=1.2 東京江東区森下＊=1.2 東京荒川区東尾久＊=1.2 東京練馬区東大泉＊=1.2 東京江戸川区船堀＊=1.2 東京江戸川区鹿骨＊=1.2 武蔵野市緑町＊=1.2 東京文京区スポーツセンタ＊=1.1 東京江東区越中島＊=1.1 東京品川区平塚＊=1.1 東京渋谷区宇田川町＊=1.1 東京板橋区高島平＊=1.1 東京足立区伊興＊=1.1 町田市中町＊=1.1 東村山市本町＊=1.1 西東京市中町＊=1.1 清瀬市中里＊=1.1 多摩市関戸＊=1.1 稲城市東長沼＊=1.1 東京千代田区富士見＊=1.1 武蔵野市吉祥寺南町＊=1.0 町田市忠生＊=1.0 日野市神明＊=1.0 国分寺市戸倉=1.0 東大和市中央＊=1.0 東京千代田区麹町＊=1.0 東京江東区東陽＊=1.0 東京品川区北品川＊=1.0 東京目黒区中央町＊=1.0 東京江東区枝川＊=0.9 東京大田区本羽田＊=0.9 東京世田谷区世田谷＊=0.9 東京世田谷区成城＊=0.9 東京荒川区荒川＊=0.9 東京足立区千住中居町＊=0.9 東京葛飾区金町＊=0.9 八王子市堀之内＊=0.9 東京中央区勝どき＊=0.9 東京港区海岸=0.9 東京港区白金＊=0.9 東京新宿区歌舞伎町＊=0.9 東京台東区東上野＊=0.9 東京墨田区東向島＊=0.9 東京世田谷区中町＊=0.8 東京豊島区南池袋＊=0.8 国分寺市本多＊=0.8 狛江市和泉本町＊=0.8 青梅市日向和田＊=0.8 東京国際空港=0.8 東京港区芝公園＊=0.7 東京板橋区板橋＊=0.7 東京墨田区吾妻橋＊=0.7 東京江東区青海=0.7 東京江東区亀戸＊=0.7 東京府中市寿町＊=0.7 町田市森野＊=0.7 小金井市本町＊=0.7 東京大田区多摩川＊=0.7 東京品川区広町＊=0.6 東京新宿区西新宿=0.6 東京墨田区横川=0.6 東京足立区中央本町＊=0.5 東京杉並区阿佐谷=0.5 神奈川県 2 川崎宮前区宮前平＊=1.5 1 横浜神奈川区神大寺＊=1.4 横浜緑区十日市場町＊=1.4 横浜西区浜松町＊=1.3 横浜戸塚区鳥が丘＊=1.3 横浜中区山手町=1.2 横浜保土ヶ谷区上菅田町＊=1.2 横浜旭区川井宿町＊=1.2 横浜緑区鴨居＊=1.2 横浜瀬谷区三ツ境＊=1.2 横浜青葉区市ケ尾町＊=1.2 横浜鶴見区末広町＊=1.1 横浜瀬谷区中屋敷＊=1.1 横浜青葉区榎が丘＊=1.1 川崎川崎区宮前町＊=1.1 川崎中原区小杉町＊=1.1 湯河原町中央=1.1 愛川町角田＊=1.1 相模原緑区橋本＊=1.1 川崎中原区小杉陣屋町=1.0 川崎宮前区野川＊=1.0 大和市下鶴間＊=1.0 相模原中央区上溝＊=1.0 相模原南区相模大野＊=1.0 相模原緑区久保沢＊=1.0 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.9 三浦市城山町＊=0.9 綾瀬市深谷＊=0.9 清川村煤ヶ谷＊=0.9 相模原緑区中野＊=0.9 横浜旭区今宿東町＊=0.8 横浜磯子区洋光台＊=0.8 秦野市曾屋=0.7 相模原中央区水郷田名＊=0.7 川崎麻生区片平＊=0.7 川崎多摩区登戸＊=0.6 平塚市浅間町＊=0.5 新潟県 2 阿賀町鹿瀬中学校＊=1.7 1 阿賀町鹿瀬支所＊=1.4 阿賀町豊川＊=1.3 長岡市中之島＊=1.2 阿賀野市岡山町＊=1.2 阿賀野市山崎＊=1.2 阿賀町津川＊=1.2 南魚沼市六日町=1.1 新潟秋葉区新津東町＊=1.1 長岡市小島谷＊=1.0 三条市新堀＊=1.0 加茂市幸町＊=1.0 五泉市太田＊=1.0 長岡市山古志竹沢＊=0.9 見附市昭和町＊=0.9 阿賀野市保田＊=0.9 新発田市住田＊=0.8 新潟西区寺尾東＊=0.8 秋田県 1 大仙市高梨＊=0.7 羽後町西馬音内＊=0.6 大仙市刈和野＊=0.5 横手市大雄＊=0.5 山梨県 1 山梨北杜市長坂町＊=1.2 笛吹市境川町藤壘＊=1.1 甲州市塩山上於曽＊=0.8 甲府市飯田=0.7 甲州市塩山下於曽=0.7 山中湖村山中＊=0.6 上野原市上野原=0.5 富士河口湖町船津=0.5 長野県 1 長野南牧村海ノ口＊=0.9 佐久市中込＊=0.7 軽井沢町追分=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本＊=0.8 伊豆市中伊豆グラウンド=0.8 伊豆の国市長岡＊=0.8 富士宮市弓沢町=0.7 富士市吉永＊=0.7				
28	5 02 35	福島県沖 山形県 福島県 1 米沢市林泉寺＊=0.7 米沢市アルカディア=0.5 1 田村市都路町＊=1.4 相馬市中村＊=1.4 小野町小野新町＊=1.3 国見町藤田＊=1.2 双葉町両竹＊=1.2 檜葉町北田＊=1.1 二本松市針道＊=1.0 浪江町幾世橋=1.0 南相馬市鹿島区西町＊=1.0 川内村上川内早渡＊=0.9 福島伊達市霊山町＊=0.8 富岡町本岡＊=0.8 小野町中通＊=0.8 田村市常葉町＊=0.7 郡山市朝日=0.7 川俣町樋ノ口＊=0.7 郡山市開成＊=0.7 福島広野町下北迫大谷地原＊=0.7 川内村上川内小山平＊=0.6 天栄村下松本＊=0.6 郡山市湖南町＊=0.6 いわき市三和町=0.6 いわき市平四ツ波＊=0.6 南相馬市原町区三島町=0.5 南相馬市原町区高見町＊=0.5 会津坂下町市中三番甲＊=0.5	37° 07.8' N	141° 20.1' E	26km	M: 4.2

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
29	5 02 39	熊本県熊本地方 熊本県	32° 42.7' N	130° 37.8' E	12km	M: 2.9
		2 熊本西区春日=2.0 1 宇城市松橋町=1.3 宇城市不知火町*=1.2 宇土市新小路町=0.9 菊池市旭志*=0.8 嘉島町上島*=0.7 熊本中央区大江*=0.5 熊本南区富合町*=0.5				
30	5 02 53	福島県沖 福島県	37° 07.3' N	141° 21.5' E	26km	M: 5.6
		4 いわき市小名浜=3.9 いわき市錦町*=3.9 郡山市開成*=3.5 3 郡山市朝日=3.4 玉川村小高*=3.4 田村市大越町*=3.4 田村市滝根町*=3.3 いわき市平梅本*=3.3 平田村永田*=3.3 天栄村下松本*=3.2 古殿町松川新桑原*=3.1 中島村滑津*=3.1 双葉町両竹*=3.1 会津美里町新鶴庁舎*=3.1 須賀川市岩瀬支所*=3.0 郡山市湖南町*=3.0 泉崎村泉崎*=3.0 白河市新白河*=3.0 いわき市平四ツ波*=3.0 石川町長久保*=3.0 須賀川市八幡山*=3.0 鏡石町不時沼*=2.9 白河市東*=2.9 国見町藤田*=2.9 檜葉町北田*=2.9 川内村上川内早渡*=2.9 南相馬市鹿島区西町*=2.8 会津坂下町市中三番甲*=2.8 相馬市中村*=2.8 いわき市三和町=2.8 田村市都路町*=2.8 矢吹町一本木*=2.8 福島伊達市保原町*=2.7 福島広野町下北迫苗代替*=2.7 浪江町幾世橋=2.7 浅川町浅川*=2.7 白河市郭内=2.6 湯川村清水田*=2.6 川内村上川内小山平*=2.6 白河市表郷*=2.6 本宮市白岩*=2.6 福島広野町下北迫大谷地原*=2.6 白河市大信*=2.6 南相馬市小高区*=2.6 猪苗代町千代田*=2.6 田村市船引町=2.5 福島伊達市霊山町*=2.5 須賀川市牛袋町*=2.5 田村市常葉町*=2.5 喜多方市塩川町*=2.5 西会津町登世島*=2.5 大玉村南小屋=2.5 二本松市針道*=2.5 2 白河市八幡小路*=2.4 小野町小野新町*=2.4 富岡町本岡*=2.4 南相馬市原町区高見町*=2.4 西会津町野沢=2.4 葛尾村落合落合*=2.3 棚倉町棚倉中居野=2.3 南相馬市原町区本町*=2.3 喜多方市高郷町*=2.3 矢祭町東館*=2.3 猪苗代町城南=2.3 古殿町松川横川=2.3 福島市五老内町*=2.3 福島伊達市梁川町*=2.3 本宮市本宮*=2.3 飯館村伊丹沢*=2.2 南相馬市原町区三島町=2.2 小野町中通*=2.2 川俣町樋ノ口*=2.2 会津若松市東栄町*=2.2 福島伊達市前川原*=2.2 大玉村玉井*=2.2 二本松市金色*=2.2 大熊町野上*=2.2 桑折町東大隅*=2.2 二本松市油井*=2.1 会津若松市北会津町*=2.1 須賀川市長沼支所*=2.1 新地町谷地小屋*=2.1 西郷村熊倉*=2.1 福島市桜木町*=2.1 南相馬市鹿島区柗塚=2.0 会津若松市材木町=2.0 矢祭町戸塚*=2.0 塙町塙*=2.0 磐梯町磐梯*=2.0 福島市松木町=1.9 会津美里町本郷庁舎*=1.9 川内村下川内=1.8 鮫川村赤坂中野*=1.8 会津若松市河東町*=1.8 棚倉町棚倉館ヶ丘*=1.8 柳津町柳津*=1.8 会津美里町高田庁舎*=1.8 福島市飯野町*=1.8 喜多方市山都町*=1.7 福島伊達市月舘町*=1.7 三春町大町*=1.7 下郷町高隣*=1.6 天栄村湯本支所*=1.6 下郷町塩生*=1.5 1 喜多方市御清水*=1.4 南会津町田島=1.3 二本松市小浜*=1.1 喜多方市松山町*=1.0 柳津町大成沢=1.0 只見町黒谷*=0.9 南会津町界*=0.9 南会津町滝原*=0.9 茨城県 4 高萩市下手綱*=3.6 日立市役所*=3.5 3 常陸太田市金井町*=3.4 北茨城市磯原町*=3.3 日立市十王町友部*=3.2 笠間市中央*=3.1 下妻市鬼怒*=3.1 東海村東海*=3.0 茨城古河市仁連*=3.0 高萩市安良川*=2.9 笠間市石井*=2.8 那珂市福田*=2.8 那珂市瓜連*=2.8 五霞町小福田*=2.8 筑西市舟生=2.8 桜川市真壁*=2.8 常総市新石下*=2.8 常陸太田市高柿町*=2.8 日立市助川小学校*=2.7 茨城町小堤*=2.7 小美玉市上玉里*=2.6 下妻市本城町*=2.5 笠間市笠間*=2.5 桜川市岩瀬*=2.5 ひたちなか市東石川*=2.5 常総市水海道諏訪町*=2.5 茨城古河市下大野*=2.5 石岡市八郷*=2.5 2 水戸市金町=2.4 水戸市千波町*=2.4 ひたちなか市南神敷台*=2.4 城里町石塚*=2.4 石岡市柿岡=2.4 つくば市天王台*=2.4 八千代町菅谷*=2.4 境町旭町*=2.4 鉾田市汲上*=2.4 つくばみらい市加藤*=2.4 結城市結城*=2.3 龍ヶ崎市役所*=2.3 坂東市山*=2.3 つくばみらい市福田*=2.3 水戸市内原町*=2.3 笠間市下郷*=2.3 常陸大宮市北町*=2.3 行方市玉造*=2.2 常陸太田市中大町*=2.2 大子町池田*=2.2 常陸大宮市中富町=2.2 土浦市藤沢*=2.2 石岡市若宮*=2.2 取手市井野*=2.2 取手市藤代*=2.2 坂東市岩井=2.2 稲敷市結佐*=2.2 神栖市溝口*=2.2 常陸大宮市野口*=2.1 城里町阿波山*=2.1 土浦市常名=2.1 筑西市下中山*=2.1 筑西市海老ヶ島*=2.1 かすみがうら市上土田*=2.1 桜川市羽田*=2.1 常陸大宮市山方*=2.1 つくば市研究学園*=2.1 茨城鹿嶋市鉢形=2.1 阿見町中央*=2.1 小美玉市小川*=2.0 小美玉市堅倉*=2.0 土浦市田中*=2.0 筑西市門井*=2.0 茨城古河市長谷町*=2.0 常陸太田市町田町*=2.0 神栖市波崎*=2.0 ひたちなか市山ノ上町=2.0 潮来市辻*=2.0 河内町源清田*=2.0 牛久市城中町*=1.9 利根町布川=1.9 行方市山田*=1.9 行方市麻生*=1.9 鉾田市鉾田=1.9 鉾田市造谷*=1.9 常陸大宮市高部*=1.8 稲敷市江戸崎甲*=1.8 つくば市小荳*=1.8 かすみがうら市大和田*=1.8 茨城鹿嶋市宮中*=1.8 潮来市堀之内=1.8 美浦村受領*=1.8 取手市寺田*=1.7 牛久市中央*=1.7 稲敷市役所*=1.7 常陸大宮市上小瀬*=1.6 稲敷市柴崎*=1.6 大洗町磯浜町*=1.5 常陸太田市町屋町=1.5 1 城里町徳蔵*=1.4 守谷市大柏*=1.4 栃木県 3 大田原市湯津上*=3.3 高根沢町石末*=3.0 宇都宮市中岡本町*=2.7 鹿沼市晃望台*=2.5 市貝町市塙*=2.5 2 那須町寺子*=2.4 真岡市田町*=2.4 益子町益子=2.4 日光市今市本町*=2.3 宇都宮市明保野町=2.3 真岡市石島*=2.3 芳賀町祖母井*=2.3 那須烏山市中央=2.3 栃木那珂川町小川*=2.3 大田原市本町*=2.2 那須塩原市あたご町*=2.2 真岡市荒町*=2.2 那須烏山市大金*=2.1 栃木那珂川町馬頭*=2.1 小山市神鳥谷*=2.1 栃木さくら市氏家*=2.0 日光市鬼怒川温泉大原*=2.0 大田原市黒羽田町=2.0 矢板市本町*=2.0 塩谷町玉生*=2.0 那須塩原市共興社*=2.0 那須塩原市塩原庁舎*=2.0 宇都宮市中里町*=2.0 鹿沼市今宮町*=1.9 小山市中央町*=1.9 日光市瀬川=1.9 栃木さくら市喜連川*=1.9 那須塩原市鍋掛*=1.9 茂木町茂木*=1.8 日光市芹沼*=1.8 野木町丸林*=1.8 下野市田中*=1.8 宇都宮市塙田*=1.8 那須塩原市藁沼=1.7 上三川町しらさぎ*=1.7 日光市日蔭*=1.7 栃木市岩舟町静*=1.7 茂木町北高岡矢場*=1.6 宇都宮市旭*=1.6 栃木市万町*=1.6 下野市笹原*=1.6 日光市藤原*=1.5 壬生町通町*=1.5 足利市大正町*=1.5 那須烏山市役所*=1.5 那須塩原市中塩原*=1.5 下野市石橋*=1.5 1 日光市中鉢石町*=1.4 栃木市旭町=1.4 栃木市藤岡町藤岡*=1.4 栃木市西方町本城*=1.4 栃木市大平町富田*=1.2 佐野市田沼町*=1.2 佐野市葛生東*=1.2 栃木市都賀町家中*=1.1				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		埼玉県				鹿沼市口栗野*1.1 佐野市高砂町*1.0 日光市中宮祠=0.9 日光市湯元*1.0 日光市足尾町中才*0.9 日光市足尾町通洞*0.8 佐野市中町*0.7 3 加須市大利根*2.8 久喜市栗橋*2.7 宮代町笠原*2.7 久喜市青葉*2.5 春日部市谷原新田*2.5 2 久喜市鷺宮*2.4 春日部市粕壁*2.4 春日部市金崎*2.4 幸手市東*2.4 加須市三俣*2.3 さいたま中央区下落合*2.3 久喜市下早見=2.2 白岡市千駄野*2.2 吉川市吉川*2.1 杉戸町清地*2.1 さいたま大宮区天沼町*2.1 さいたま緑区中尾*2.1 加須市北川辺*2.0 富士見市鶴馬*2.0 さいたま見沼区堀崎*1.9 鴻巣市吹上富士見*1.9 川口市青木*1.8 志木市中宗岡*1.8 松伏町松伏*1.8 さいたま岩槻区本丸*1.8 熊谷市大里*1.8 加須市騎西*1.8 久喜市菖蒲*1.8 川口市中青木分室*1.8 草加市高砂*1.7 八潮市中央*1.7 川島町下八ツ林*1.7 さいたま西区指扇*1.7 さいたま大宮区大門*1.7 さいたま桜区道場*1.7 鴻巣市中央*1.7 さいたま浦和区高砂=1.6 三郷市中央*1.6 蓮田市黒浜*1.6 鶴ヶ島市三ツ木*1.6 鴻巣市川里*1.5 さいたま南区別所*1.5 吉見町下細谷*1.5 上里町七本木*1.5 川口市三ツ和*1.5 戸田市上戸田*1.5 行田市本丸*1.5 行田市南河原*1.5 さいたま北区宮原*1.5 本庄市本庄*1.5 1 羽生市東*1.4 上尾市本町*1.4 越谷市越ヶ谷*1.4 桶川市上日出谷*1.4 伊奈町小室*1.4 蕨市中央*1.3 さいたま浦和区常盤*1.3 熊谷市妻沼*1.2 深谷市川本*1.2 ときがわ町桃木*1.2 北本市本町*1.2 和光市広沢*1.1 ふじみ野市福岡*1.1 熊谷市桜町=1.1 熊谷市江南*1.1 東松山市松葉町*1.1 埼玉美里町木部*1.1 狭山市入間川*1.1 本庄市尻玉町=1.0 深谷市岡部*1.0 嵐山町杉山*1.0 入間市豊岡*1.0 朝霞市本町*1.0 坂戸市千代田*1.0 毛呂山町中央*1.0 秩父市上町=1.0 秩父市近戸町*1.0 熊谷市宮町*1.0 埼玉三芳町藤久保*0.9 横瀬町横瀬*0.9 深谷市花園*0.9 埼玉神川町植竹*0.9 川越市旭町=0.9 ふじみ野市大井*0.8 新座市野火止*0.8 深谷市仲町*0.8 所沢市北有楽町*0.8 滑川町福田*0.8 東松山市市ノ川*0.7 飯能市名栗*0.7 秩父市荒川*0.6 小鹿野町小鹿野*0.6 鳩山町大豆戸=0.6 皆野町皆野*0.5 長瀬町野上下郷*0.5 小川町大塚*0.5 千葉県 3 印西市大森*2.7 香取市羽根川*2.5 野田市東宝珠花*2.5 2 千葉美浜区ひび野*2.4 印西市笠神*2.4 香取市役所*2.3 旭市南堀之内*2.2 東庄町笹川*2.1 香取市佐原平田=2.1 千葉中央区都町*2.1 千葉花見川区花島町*2.1 千葉中央区中央港=2.0 千葉中央区千葉市役所*2.0 千葉美浜区稲毛海岸*2.0 松戸市西馬橋*2.0 銚子市若宮町*1.9 白子町関*1.9 野田市鶴奉*1.9 八千代市大和田新田*1.9 旭市高生*1.8 山武市蓮沼ハ*1.8 船橋市湊町*1.8 習志野市鷺沼*1.8 浦安市日の出=1.8 四街道市鹿渡*1.8 白井市復*1.8 旭市ニ*1.7 匝瑳市八日市場ハ*1.7 横芝光町宮川*1.7 横芝光町栗山*1.7 山武市松尾町五反田*1.7 千葉稲毛区園生町*1.7 千葉佐倉市海隣寺町*1.7 栄町安食台*1.7 市川市八幡*1.6 銚子市川口町=1.6 成田市花崎町=1.6 成田国際空港=1.6 旭市萩園*1.6 流山市平和台*1.6 神崎町神崎本宿*1.6 浦安市猫実*1.6 多古町多古=1.6 富里市七栄*1.6 匝瑳市今泉*1.6 香取市佐原諏訪台*1.6 香取市仁良*1.6 山武市蓮沼ニ*1.6 千葉若葉区小倉台*1.5 東金市日吉台*1.5 柏市柏*1.5 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.5 印西市美瀬*1.5 九十九里町片貝*1.5 長生村本郷*1.5 香取市岩部*1.5 1 柏市旭町=1.4 市原市姉崎*1.4 成田市役所*1.3 成田市松子*1.3 我孫子市我孫子*1.3 八街市八街*1.2 山武市埴谷*1.2 柏市大島田*1.2 東金市東新宿=1.1 芝山町小池*1.1 山武市松尾町富士見台=1.1 千葉緑区おゆみ野*1.0 鴨川市横渚*0.9 君津市久留里市場*0.9 一宮町一宮=0.8 長柄町大津倉=0.8 木更津市太田=0.7 宮城県 2 石巻市桃生町*2.2 宮城川崎町前川*2.1 大河原町新南*2.0 宮城加美町中新田*2.0 山元町浅生原*2.0 大崎市古川三日町=2.0 岩沼市桜*2.0 蔵王町円田*2.0 大崎市田尻*1.9 角田市角田*1.9 色麻町四竈*1.9 丸森町鳥屋*1.9 名取市増田*1.8 大崎市松山*1.8 宮城美里町木間塚*1.8 白石市亘理町*1.8 仙台太白区山田*1.7 石巻市大街道南*1.7 大崎市古川北町*1.7 登米市迫町*1.6 東松島市矢本*1.6 松島町高城=1.6 村田町村田*1.6 亘理町下小路*1.6 登米市南方町*1.5 涌谷町新町裏=1.5 利府町利府*1.5 登米市米山町*1.5 1 登米市中田町=1.4 七ヶ宿町関*1.4 仙台青葉区作並*1.4 塩竈市旭町*1.4 栗原市築館*1.3 丸森町上滝=1.3 栗原市一迫*1.3 栗原市高清水*1.3 大衡村大衡*1.3 栗原市若柳*1.3 宮城加美町小野田*1.3 大崎市鹿島台*1.3 仙台空港=1.3 仙台若林区遠見塚*1.2 大崎市古川大崎=1.2 宮城美里町北浦*1.2 仙台青葉区雨宮*1.2 東松島市小野*1.1 大崎市三本木*1.1 登米市登米町*1.1 宮城加美町宮崎*1.1 仙台青葉区落合*1.1 仙台宮城野区五輪=1.1 仙台泉区将監*1.1 石巻市前谷地*1.1 柴田町船岡=1.1 石巻市相野谷*1.0 女川町女川浜*1.0 仙台宮城野区苦竹*1.0 大郷町粕川*1.0 南三陸町志津川=0.9 大和町吉岡*0.9 栗原市瀬峰*0.9 仙台青葉区大倉=0.9 栗原市志波姫*0.9 大崎市岩出山*0.9 富谷市富谷*0.8 石巻市北上町*0.8 七ヶ浜町東宮浜*0.8 栗原市栗駒=0.7 気仙沼市赤岩=0.6 石巻市泉町=0.6 栗原市花山*0.6 登米市東和町*0.6 気仙沼市笹が陣*0.5 山形県 2 米沢市林泉寺*2.4 米沢市アルカディア=2.3 中山町長崎*2.1 上山市河崎*2.0 米沢市駅前=1.9 米沢市金池*1.8 山形川西町上小松*1.7 白鷹町荒砥*1.6 南陽市三間通*1.6 高畠町高畠*1.6 天童市老野森*1.5 山辺町緑ヶ丘*1.5 山形朝日町宮宿*1.5 村山市中央*1.5 1 東根市中央*1.4 西川町大井沢*1.3 河北町谷地=1.2 河北町役場*1.2 山形小国町岩井沢=1.0 山形小国町小国小坂町*1.0 鶴岡市藤島*1.0 酒田市飛鳥*1.0 寒河江市中央*1.0 長井市ままの上*0.9 白鷹町黒鴨=0.9 飯豊町椿*0.9 庄内町狩川*0.9 舟形町舟形*0.9 最上町向町*0.8 尾花沢市若葉町*0.8 山形市薬師町*0.7 大石町緑町*0.7 飯豊町上原*0.7 鶴岡市温海川=0.6 群馬県 2 渋川市赤城町*2.2 前橋市鼻毛石町*1.9 高崎市高松町*1.9 太田市新田金井町*1.9 群馬明和町新里*1.9 邑楽町中野*1.9 前橋市富士見町*1.8 沼田市白沢町*1.7 前橋市粕川町*1.7 桐生市元宿町*1.7 沼田市西倉内町=1.5 前橋市堀越町*1.5 太田市西本町*1.5 千代田町赤岩*1.5 大泉町日の出*1.5 1 高崎町下室田*1.4 桐生市黒保根町*1.4 伊勢崎市今泉町*1.4 伊勢崎市久保町*1.4 伊勢崎市東町*1.4 伊勢崎市境*1.4 館林市城町*1.4 渋川市吹屋*1.4 安中市安中*1.4 吉岡町下野田*1.4 玉村町下新田*1.3 板倉町板倉=1.3 沼田市下久屋町*1.3 東吾妻町原町=1.3 高崎市足門町*1.3 高崎市新町*1.3 太田市粕川町*1.3 館林市美園町*1.3 桐生市織姫町=1.2

地震番号	震源時刻 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京都 みどり市笠懸町*=1.2 桐生市新里町*=1.2 太田市浜町*=1.2 沼田市利根町*=1.2 太田市大原町*=1.2 高崎市箕郷町*=1.2 渋川市北橋町*=1.2 渋川市有馬*=1.1 富岡市妙義町*=1.1 前橋市駒形町*=1.1 前橋市昭和町=1.0 渋川市石原*=1.0 渋川市伊香保町*=1.0 安中市松井田町*=1.0 みどり市大間々町*=1.0 中之条町中之条町*=1.0 群馬高山村中山*=1.0 前橋市大手町*=0.9 榛東村新井*=0.9 渋川市村上*=0.8 高崎市吉井町吉井川*=0.7 甘楽町小幡*=0.7 群馬昭和村糸井*=0.7 富岡市七日市=0.6 東吾妻町奥田*=0.6 中之条町日影=0.6 みどり市東町*=0.5 2 東京荒川区荒川*=1.7 東京荒川区東尾久*=1.7 東京足立区伊興*=1.7 東京足立区神明南*=1.7 東京江東区越中島*=1.6 東京江東区森下*=1.6 東京墨田区東向島*=1.5 東京江東区東陽*=1.5 東京江東区枝川*=1.5 東京渋谷区本町*=1.5 東京板橋区高島平*=1.5 東京足立区千住中居町*=1.5 東京葛飾区金町*=1.5 東京江戸川区中央=1.5 東京江戸川区船堀*=1.5 1 東京江東区亀戸*=1.4 東京杉並区高井戸*=1.4 東京千代田区大手町=1.3 東京中央区勝どき*=1.3 東京江東区青海=1.3 東京国際空港=1.3 東京千代田区麹町*=1.2 東京墨田区横川=1.2 東京大田区本羽田*=1.2 東京練馬区光が丘*=1.2 東京葛飾区立石*=1.2 東大和市中央*=1.2 東京世田谷区成城*=1.1 東京中野区中野*=1.1 東京中野区江古田*=1.1 東京北区西ヶ原*=1.1 東京板橋区板橋*=1.1 東京江戸川区鹿骨*=1.1 調布市西つつじヶ丘*=1.1 東京中央区日本橋兜町*=1.1 東京新宿区上落合*=1.1 東京墨田区吾妻橋*=1.1 東京品川区北品川*=1.1 東京大田区多摩川*=1.1 武蔵村山市本町*=1.0 東京千代田区富士見*=1.0 東京新宿区歌舞伎町*=1.0 東京文京区大塚*=1.0 東京品川区平塚*=1.0 東京渋谷区宇田川町*=1.0 東京足立区中央本町*=1.0 三鷹市野崎*=1.0 東京大田区大森東*=0.9 東京豊島区南池袋*=0.9 東京練馬区東大泉*=0.9 武蔵野市緑町*=0.9 武蔵野市吉祥寺南町*=0.9 町田市中町*=0.9 小平市小川町*=0.9 日野市神明*=0.9 東京新宿区百人町*=0.9 東京文京区スポーツセンタ*=0.9 西東京市中町*=0.8 福生市福生*=0.8 羽村市緑ヶ丘*=0.8 立川市泉町*=0.8 東京港区芝公園*=0.8 東京新宿区西新宿=0.8 八王子市大横町=0.7 東京目黒区中央町*=0.7 東京港区海岸=0.7 東京世田谷区世田谷*=0.7 東京世田谷区三軒茶屋*=0.7 東京港区白金*=0.7 国分寺市戸倉=0.7 東京世田谷区中町*=0.7 狛江市和泉本町*=0.7 青梅市日向和田*=0.7 町田市森野*=0.6 国分寺市本多*=0.6 神奈川県 2 二宮町中里*=1.9 横浜緑区鴨居*=1.6 神奈川大井町金子*=1.6 1 横浜西区浜松町*=1.4 横浜神奈川区神大寺*=1.3 海老名市大谷*=1.3 横浜中区山手町=1.2 川崎川崎区千鳥町*=1.2 川崎宮前区野川*=1.2 川崎川崎区中島*=1.1 平塚市浅間町*=1.1 川崎宮前区宮前平*=1.0 湯河原町中央=1.0 川崎幸区戸手本町*=0.9 川崎中原区小杉町*=0.9 川崎中原区小杉陣屋町=0.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.7 秦野市曾屋=0.7 川崎多摩区登戸*=0.6 新潟県 2 南魚沼市六日町=1.9 長岡市小島谷*=1.7 加茂市幸町*=1.7 燕市分水桜町*=1.7 阿賀町鹿瀬中学校*=1.7 刈羽村割町新田*=1.6 新潟秋葉区新津東町*=1.6 上越市頸城区百間町*=1.5 見附市昭和町*=1.5 阿賀町鹿瀬支所*=1.5 阿賀町津川*=1.5 新潟南区白根*=1.5 1 長岡市中之島*=1.4 燕市秋葉町*=1.4 五泉市太田*=1.4 新潟秋葉区程島=1.4 上越市三和区井ノ口*=1.3 長岡市上岩井*=1.3 長岡市寺泊敦ヶ巻根*=1.3 三条市新堀*=1.3 出雲崎町米田=1.3 村上市岩船駅前*=1.3 阿賀野市岡山町*=1.3 阿賀町豊川*=1.3 上越市木田*=1.2 三条市西裏館*=1.2 燕市吉田西太田*=1.2 五泉市愛宕甲*=1.2 新潟西区寺尾東*=1.2 上越市吉川区原之町*=1.1 長岡市山古志竹沢*=1.1 田上町原ヶ崎新田*=1.1 弥彦村矢作*=1.1 阿賀野市保田*=1.1 長岡市与板町与板*=1.0 柏崎市中央町*=1.0 新発田市住田*=1.0 新潟江南区泉町*=1.0 上越市柿崎区柿崎*=0.9 南魚沼市塩沢庁舎*=0.9 新発田市中央町*=0.9 阿賀野市山崎*=0.9 新潟中央区美咲町=0.9 新潟空港=0.8 新潟東区下木戸*=0.8 新潟西蒲区役所=0.8 佐渡市小木町*=0.8 魚沼市須原*=0.8 上越市大手町=0.7 南魚沼市塩沢小学校*=0.7 山梨県 2 忍野村忍草*=1.7 1 山梨北杜市長坂町*=1.3 甲府市飯田=0.6 岩手県 1 一関市千厩町*=1.1 一関市花泉町*=0.9 盛岡市薮川*=0.9 盛岡市山王町=0.7 釜石市中妻町*=0.7 一関市室根町*=0.7 一関市藤沢町*=0.7 北上市相去町*=0.5 長野県 1 佐久市中込*=1.3 長野南牧村海ノ口*=1.2 軽井沢町追分=1.2 御代田町御代田*=1.1 軽井沢町長倉*=1.0 長野市豊野町豊野*=0.9 坂城町坂城*=0.9 上田市上田古戦場公園=0.9 諏訪市湖岸通り=0.9 諏訪市高島*=0.8 茅野市葛井公園*=0.6 木曽町開田高原西野*=0.5 静岡県 1 富士市吉永*=1.0 御殿場市萩原=0.9 伊豆の国市四日町*=0.7				
31	5 06 29	茨城県北部 福島県	36° 48.7' N	140° 32.9' E	7km	M: 3.4 1 矢祭町戸塚*=0.9
32	5 06 31	茨城県北部 福島県 茨城県	36° 48.9' N	140° 33.2' E	8km	M: 3.3 1 矢祭町戸塚*=0.9 1 高萩市安良川*=1.1 高萩市下手綱*=1.1 常陸太田市大中町*=1.0 日立市助川小学校*=0.5
33	5 10 09	福島県沖 福島県	37° 07.0' N	141° 20.4' E	27km	M: 3.5 1 玉川村小高*=0.8
34	5 12 17	茨城県沖 茨城県	36° 36.8' N	141° 11.5' E	45km	M: 3.6 1 日立市助川小学校*=1.0 高萩市安良川*=0.9 笠間市石井*=0.6 ひたちなか市南神敷台*=0.6
35	5 17 16	熊本県熊本地方 熊本県	32° 33.5' N	130° 38.8' E	8km	M: 3.3 2 八代市松江城町*=1.7 八代市坂本町*=1.5 氷川町島地*=1.5 1 八代市鏡町*=1.4 宇城市小川町*=1.4 宇城市松橋町=1.2 八代市平山新町=1.1 宇城市豊野町*=1.1 氷川町宮原*=1.1 八代市千丁町*=1.0 上天草市大矢野町=1.0 宇城市不知火町*=0.9 上天草市姫戸町*=0.9 八代市東陽町*=0.8 上天草市松島町*=0.8 宇土市新小路町=0.7 宇城市三角町*=0.6 芦北町田浦町*=0.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
36	5 17 34	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*=1.5 1 一関市室根町*=1.4 一関市東山町*=1.2 住田町世田米*=1.2 一関市大東町=0.9 一関市藤沢町*=0.8 釜石市中妻町*=0.6 大船渡市大船渡町=0.5 平泉町平泉*=0.5 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.9 気仙沼市赤岩=0.7	38° 52.0' N	141° 38.2' E	61km	M: 3.4
37	5 17 35	秋田県内陸南部 秋田県 2 大仙市神宮寺*=1.7 1 大仙市刈和野*=0.7 大仙市南外*=0.6	39° 30.2' N	140° 25.7' E	9km	M: 2.7
38	6 02 18	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.5	36° 45.7' N	140° 33.8' E	9km	M: 3.2
39	6 02 39	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*=1.7 釜石市中妻町*=1.7 一関市藤沢町*=1.6 1 平泉町平泉*=1.4 大船渡市大船渡町=1.2 陸前高田市高田町*=1.2 住田町世田米*=1.2 一関市室根町*=1.2 大船渡市猪川町=1.1 遠野市宮守町*=1.1 奥州市前沢区*=1.1 釜石市只越町=1.0 奥州市衣川区*=1.0 山田町大沢*=1.0 遠野市青笹町*=1.0 一関市竹山町*=0.9 一関市東山町*=0.9 花巻市大迫町=0.9 北上市相去町*=0.8 宮古市田老*=0.8 奥州市胆沢区*=0.8 宮古市五月町*=0.8 一関市花泉町*=0.7 宮古市区界*=0.7 盛岡市薮川*=0.6 八幡平市田頭*=0.6 山田町八幡町=0.6 一関市大東町=0.5 大船渡市盛町*=0.5 花巻市石鳥谷町*=0.5 盛岡市山王町=0.5 宮古市鉄ヶ崎=0.5 宮古市川井*=0.5 宮城県 2 気仙沼市赤岩=1.9 石巻市桃生町*=1.9 気仙沼市唐桑町*=1.8 気仙沼市笹が陣*=1.7 南三陸町志津川=1.7 女川町女川浜*=1.7 1 塩竈市旭町*=1.4 石巻市北上町*=1.3 登米市迫町*=1.3 涌谷町新町裏=1.2 栗原市栗駒=1.2 岩沼市桜*=1.2 大崎市古川大崎=1.0 石巻市前谷地*=1.0 大崎市田尻*=0.9 名取市増田*=0.9 石巻市鮎川浜*=0.9 栗原市築館*=0.9 宮城美里町北浦*=0.9 宮城美里町木間塚*=0.8 大崎市古川三日町=0.8 登米市中田町=0.8 登米市東和町*=0.8 石巻市大街道南*=0.8 登米市南方町*=0.8 石巻市相野谷*=0.8 色麻町四竈*=0.8 栗原市金成*=0.7 栗原市若柳*=0.7 仙台宮城野区苦竹*=0.7 大衡村大衡*=0.7 仙台青葉区大倉=0.6 登米市登米町*=0.6 大崎市古川北町*=0.6 栗原市高清水*=0.6 大河原町新南*=0.6 松島町高城=0.6 亘理町下小路*=0.6 気仙沼市本吉町西川内=0.5 石巻市泉町=0.5 青森県 1 階上町道仏*=0.7	38° 42.5' N	142° 16.7' E	39km	M: 4.4
40	6 05 31	熊本県熊本地方 熊本県 1 菊池市旭志*=0.5 大津町引水*=0.5	32° 51.8' N	130° 53.6' E	9km	M: 2.1
41	6 06 59	秋田県内陸南部 秋田県 1 大仙市神宮寺*=1.0	39° 30.4' N	140° 25.4' E	9km	M: 2.1
42	6 10 14	茨城県沖 茨城県 1 高萩市安良川*=0.9 日立市助川小学校*=0.7	36° 20.1' N	140° 55.0' E	45km	M: 3.4
43	6 11 03	熊本県熊本地方 熊本県 2 宇城市豊野町*=1.5 1 八代市鏡町*=0.9 八代市泉支所*=0.9 宇土市新小路町=0.9 氷川町島地*=0.9 八代市東陽町*=0.7 宇城市不知火町*=0.7 宇城市小川町*=0.7 八代市坂本町*=0.7 宇城市松橋町=0.6 八代市松江城町*=0.5 氷川町宮原*=0.5	32° 34.8' N	130° 42.6' E	8km	M: 3.0
44	6 11 12	熊本県熊本地方 熊本県 2 宇城市豊野町*=1.5 1 八代市坂本町*=1.4 八代市泉支所*=1.2 八代市鏡町*=1.2 宇城市松橋町=1.2 氷川町島地*=1.2 宇土市新小路町=1.0 上天草市大矢野町=1.0 宇城市小川町*=0.9 熊本美里町永富*=0.9 氷川町宮原*=0.9 八代市千丁町*=0.9 甲佐町豊内*=0.8 八代市東陽町*=0.8 八代市松江城町*=0.8 宇城市不知火町*=0.8 八代市泉町=0.7 熊本美里町馬場*=0.6 上天草市松島町*=0.6 熊本西区春日=0.5 球磨村渡*=0.5	32° 34.9' N	130° 42.6' E	8km	M: 3.3
45	6 15 09	福島県沖 福島県 2 田村市都路町*=1.5 檜葉町北田*=1.5 浪江町幾世橋=1.5 1 双葉町両竹*=1.3 川内村上川内早渡*=1.1 富岡町本岡*=1.0 小野町小野新町*=0.9 玉川村小高*=0.9 田村市常葉町*=0.8 南相馬市鹿島区西町*=0.8 田村市船引町=0.7 郡山市開成*=0.6 いわき市三和町=0.6 郡山市朝日=0.5 川内村上川内小山平*=0.5 小野町中通*=0.5 大熊町野上*=0.5 白河市新白河*=0.5 南相馬市鹿島区枌窪=0.5 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5	37° 07.0' N	141° 20.3' E	28km	M: 4.0
46	6 18 04	奄美大島北東沖 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*=1.0 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.6	29° 14.3' N	130° 25.4' E	69km	M: 4.3
47	6 21 42	熊本県天草・芦北地方 鹿児島県 2 伊佐市大口山野=1.9	32° 09.5' N	130° 32.4' E	4km	M: 2.3
48	7 02 31	鹿児島湾 鹿児島県 1 鹿児島市喜入町*=1.0	31° 23.5' N	130° 36.8' E	9km	M: 2.6

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
49	7 11 20	熊本県熊本地方 熊本県	32° 51.4' N	130° 50.4' E	10km	M: 1.9
		1 菊池市旭志*=0.5				
50	7 17 18	鳥取県中部 鳥取県	35° 25.1' N	133° 50.2' E	13km	M: 2.5
		1 倉吉市葵町*=0.6				
51	8 00 26	鳥取県中部 鳥取県	35° 22.9' N	133° 53.4' E	10km	M: 2.7
		1 倉吉市葵町*=1.4 倉吉市関金町大鳥居*=0.9 湯梨浜町龍島*=0.9 北栄町土下*=0.9 三朝町大瀬*=0.5				
		岡山県	1 鏡野町上齋原*=0.9 真庭市蒜山下和*=0.6			
52	8 03 32	熊本県熊本地方 熊本県	32° 43.4' N	130° 41.7' E	13km	M: 2.2
		1 熊本西区春日=0.8				
53	8 11 27	茨城県北部 茨城県	36° 41.8' N	140° 35.7' E	8km	M: 3.1
		1 日立市助川小学校*=1.4 日立市十王町友部*=1.0 常陸太田市大中町*=1.0 高萩市下手綱*=0.9 日立市役所*=0.8				
54	8 13 15	福島県沖 福島県	36° 52.7' N	140° 59.1' E	55km	M: 4.3
		3 いわき市平梅本*=2.7 富岡町本岡*=2.5				
		2 田村市都路町*=2.3 いわき市錦町*=2.2 川内村下川内=2.2 檜葉町北田*=2.1 白河市新白河*=2.0 福島広野町下北迫大谷地原*=2.0 小野町小野新町*=1.9 いわき市平四ツ波*=1.9 浪江町幾世橋=1.9 飯館村伊丹沢*=1.9 いわき市小名浜=1.8 葛尾村落合落合*=1.8 天栄村下松本*=1.8 小野町中通*=1.8 田村市船引町=1.7 田村市常葉町*=1.7 白河市表郷*=1.7 白河市大信*=1.7 二本松市針道*=1.7 川俣町樋ノ口*=1.6 須賀川市長沼支所*=1.6 泉崎村泉崎*=1.6 川内村上川内早渡*=1.6 大熊町野上*=1.6 棚倉町棚倉中居野=1.6 白河市東*=1.5 中島村滑津*=1.5 福島広野町下北迫苗代替*=1.5 田村市大越町*=1.5 二本松市金色*=1.5 矢祭町戸塚*=1.5 石川町長久保*=1.5 二本松市油井*=1.5				
		1 福島市五老内町*=1.4 浅川町浅川*=1.4 古殿町松川新桑原*=1.4 いわき市三和町=1.4 田村市滝根町*=1.3 矢祭町東館*=1.3 双葉町両竹*=1.3 鏡石町不時沼*=1.3 南相馬市小高区*=1.2 福島伊達市霊山町*=1.2 玉川村小高*=1.2 郡山市開成*=1.2 塙町塙*=1.1 大玉村南小屋=1.1 本宮市本宮*=1.1 白河市郭内=1.1 須賀川市岩瀬支所*=1.1 福島市桜木町*=1.0 西郷村熊倉*=1.0 大玉村玉井*=1.0 古殿町松川横川=1.0 本宮市白岩*=1.0 相馬市中村*=0.9 川内村上川内小山平*=0.9 国見町藤田*=0.9 南相馬市原町区高見町*=0.9 福島市松木町=0.9 郡山市朝日=0.9 須賀川市八幡山*=0.8 三春町大町*=0.8 福島伊達市梁川町*=0.8 南相馬市鹿島区栢窪=0.8 福島市飯野町*=0.8 須賀川市牛袋町*=0.7 福島伊達市月舘町*=0.7 新地町谷地小屋*=0.7 天栄村湯本支所*=0.7 鮫川村赤坂中野*=0.7 棚倉町棚倉館ヶ丘*=0.7 福島伊達市前川原*=0.6 南相馬市鹿島区西町*=0.6 南相馬市原町区三島町=0.6 猪苗代町千代田*=0.6 郡山市湖南町*=0.5				
		茨城県	2 高萩市下手綱*=1.9 日立市助川小学校*=1.8 北茨城市磯原町*=1.8 高萩市安良川*=1.7 日立市十王町友部*=1.6 常陸大宮市山方*=1.6			
		1 日立市役所*=1.4 常陸太田市高柿町*=1.4 水戸市内原町*=1.2 大子町池田*=1.1 常陸大宮市北町*=1.1 那珂市瓜連*=1.1 ひたちなか市南神敷台*=1.0 東海村東海*=1.0 常陸大宮市上小瀬*=1.0 城里町石塚*=1.0 常陸太田市金井町*=0.9 笠間市石井*=0.9 笠間市笠間*=0.9 常陸太田市町田町*=0.9 土浦市常名=0.9 常陸太田市大中町*=0.9 笠間市中央*=0.8 笠間市下郷*=0.8 水戸市千波町*=0.8 常陸太田市町屋町=0.8 石岡市柿岡=0.8 筑西市門井*=0.8 那珂市福田*=0.7 ひたちなか市東石川*=0.7 小美玉市堅倉*=0.6 小美玉市上玉里*=0.6 常陸大宮市高部*=0.6 桜川市羽田*=0.6 水戸市金町=0.6 かすみがうら市上土田*=0.5 桜川市岩瀬*=0.5 小美玉市小川*=0.5 石岡市若宮*=0.5				
		宮城県	1 岩沼市桜*=1.3 名取市増田*=0.9 山元町浅生原*=0.8 柴田町船岡=0.8 宮城川崎町前川*=0.8 亘理町下小路*=0.7 仙台空港=0.6 角田市角田*=0.5 丸森町上滝=0.5			
		栃木県	1 那須町寺子*=1.3 那須烏山市中央=0.6 栃木那珂川町馬頭*=0.6 大田原市湯津上*=0.5 那須塩原市鍋掛*=0.5 芳賀町祖母井*=0.5			
55	8 17 08	茨城県北部 茨城県	36° 43.1' N	140° 38.1' E	6km	M: 2.5
		1 高萩市安良川*=0.7				
56	8 23 06	大阪府北部 兵庫県	34° 57.8' N	135° 24.6' E	11km	M: 2.5
		1 三田市下里*=0.5				
57	9 05 41	山梨県中・西部 山梨県	35° 41.6' N	138° 43.2' E	12km	M: 3.3
		2 甲州市勝沼町勝沼*=2.2 甲州市塩山上於曾*=2.0 山梨市小原西*=2.0 甲州市役所*=1.9 笛吹市春日居町寺本*=1.9 笛吹市八代町南*=1.8 山梨市牧丘町窪平*=1.7 笛吹市一宮町末木*=1.6 笛吹市境川町藤堂*=1.6 甲州市塩山下於曾=1.6				
		1 甲府市古閑町*=1.4 笛吹市御坂町夏目原*=1.3 笛吹市役所*=1.3 山梨北杜市長坂町*=1.2 山梨北杜市明野町*=1.1 大月市大月=1.1 富士河口湖町船津=1.1 山梨市三富川浦*=1.0 甲州市大和町初鹿野*=1.0 山梨北杜市健康ランド須玉*=1.0 甲府市相生*=1.0 丹波山村丹波*=1.0 富士河口湖町役場*=0.8 甲斐市下今井*=0.7 市川三郷町六郷支所*=0.7 鳴沢村役場*=0.7 山梨北杜市高根町*=0.6 富士河口湖町本栖*=0.5 上野原市上野原=0.5				
		東京都	1 青梅市日向和田*=0.5			
58	9 13 56	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 58.9' N	129° 58.4' E	6km	M: 2.4
		1 鹿児島十島村口之島出張所*=0.6				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
59	9 14 03	茨城県北部 茨城県	36° 41.5' N	140° 38.3' E	5km	M: 3.4 2 日立市十王町友部*=2.4 高萩市安良川*=1.8 高萩市下手綱*=1.8 1 日立市役所*=1.2 日立市助川小学校*=1.1 常陸太田市町屋町=0.5
60	10 06 52	岐阜県美濃中西部 岐阜県	35° 47.7' N	136° 55.1' E	10km	M: 3.8 3 郡上市八幡町旭*=2.7 郡上市八幡町島谷=2.6 2 郡上市大和町*=2.1 郡上市明宝*=2.0 岐阜山県市美山支所*=1.6 郡上市白鳥町白鳥*=1.6 郡上市白鳥町長滝*=1.5 1 関市板取*=1.4 下呂市馬瀬*=1.2 郡上市和良町*=1.2 関市洞戸市場*=1.1 八百津町八百津*=1.0 関市中之保*=1.0 郡上市高鷲町*=1.0 美濃市役所*=0.9 岐阜山県市大門*=0.9 下呂市金山町*=0.9 可児市広見*=0.9 関市上之保*=0.8 郡上市美並町*=0.8 岐阜山県市谷谷運動場=0.7 下呂市森=0.7 下呂市萩原町*=0.7 川辺町中川辺*=0.7 高山市高根町*=0.7 白川町河岐*=0.7 揖斐川町東津汲*=0.6 揖斐川町東杉原*=0.6 揖斐川町西横山*=0.5 大野町大野*=0.5 揖斐川町谷汲*=0.5 瑞浪市上平町*=0.5 本巣市根尾*=0.5 福井県 愛知県 1 大野市朝日*=1.1 大野市貝皿*=0.8 1 一宮市千秋=0.8 新城市作手高里縄手上*=0.7 新城市作手高里松風呂*=0.5 岡崎市若宮町=0.5
61	10 15 19	詳細不明 東京都				1 小笠原村母島=0.5
62	11 01 21	小笠原諸島西方沖 東京都	27° 41.9' N	140° 33.7' E	490km	M: 4.7 1 小笠原村母島=0.7
63	11 06 54	福島県沖 福島県	37° 19.9' N	141° 36.0' E	33km	M: 3.8 1 双葉町両竹*=1.2 浪江町幾世橋=0.7
64	11 09 06	福島県中通り 福島県	37° 27.3' N	140° 46.3' E	90km	M: 4.1 2 小野町小野新町*=2.1 田村市都路町*=2.1 田村市滝根町*=1.7 檜葉町北田*=1.7 小野町中通*=1.7 川内村下川内=1.6 川内村上川内早渡*=1.6 浅川町浅川*=1.6 いわき市三和町=1.5 1 二本松市針道*=1.4 玉川村小高*=1.4 白河市表郷*=1.3 浪江町幾世橋=1.3 白河市新白河*=1.3 矢祭町東館*=1.2 福島市飯野町*=1.2 田村市船引町=1.2 田村市大越町*=1.2 鏡石町不時沼*=1.2 泉崎村泉崎*=1.2 棚倉町棚倉中居野=1.2 田村市常葉町*=1.1 福島広野町下北迫大谷地原*=1.1 富岡町本岡*=1.1 川俣町樋ノ口*=1.0 石川町長久保*=1.0 双葉町両竹*=1.0 二本松市油井*=1.0 葛尾村落合落合*=1.0 本宮市白岩*=0.9 大玉村玉井*=0.9 二本松市金色*=0.9 三春町大町*=0.9 郡山市湖南町*=0.9 大熊町野上*=0.8 須賀川市岩瀬支所*=0.8 福島伊達市霊山町*=0.8 矢祭町戸塚*=0.7 川内村上川内小山平*=0.7 須賀川市牛袋町*=0.7 天栄村下松本*=0.7 須賀川市八幡山*=0.7 平田村永田*=0.7 新地町谷地小屋*=0.7 南相馬市原町区高見町*=0.7 猪苗代町千代田*=0.7 いわき市平四ツ波*=0.7 いわき市平梅本*=0.7 飯館村伊丹沢*=0.6 南相馬市原町区三島町=0.6 古殿町松川横川=0.6 相馬市中村*=0.6 福島市五老内町*=0.6 本宮市本宮*=0.6 大玉村南小屋=0.5 福島市桜木町*=0.5 福島広野町下北迫苗代替*=0.5 南相馬市鹿島区西町*=0.5 いわき市錦町*=0.5 郡山市開成*=0.5 茨城県 2 ひたちなか市南神敷台*=1.9 1 笠間市石井*=1.4 日立市助川小学校*=1.3 水戸市内原町*=1.1 東海村東海*=1.1 城里町石塚*=1.1 高萩市安良川*=1.0 大子町池田*=1.0 常陸大宮市山方*=1.0 常陸太田市町屋町=0.9 土浦市常名=0.9 笠間市笠間*=0.8 ひたちなか市東石川*=0.8 日立市役所*=0.8 常陸大宮市北町*=0.8 常陸太田市高柿町*=0.8 桜川市羽田*=0.8 高萩市下手綱*=0.8 常陸太田市町田町*=0.7 水戸市金町=0.7 水戸市千波町*=0.7 常陸大宮市野口*=0.7 小美玉市堅倉*=0.7 石岡市柿岡=0.7 石岡市若宮*=0.7 筑西市舟生=0.7 鉾田市汲上*=0.7 日立市十王町友部*=0.7 小美玉市小川*=0.6 笠間市中央*=0.6 小美玉市上玉里*=0.6 笠間市下郷*=0.6 筑西市門井*=0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 北茨城市磯原町*=0.5 常陸大宮市上小瀬*=0.5 宮城県 1 宮城川崎町前川*=0.9 柴田町船岡=0.9 岩沼市桜*=0.8 女川町女川浜*=0.7 南三陸町志津川=0.6 石巻市北上町*=0.6 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.9 芳賀町祖母井*=0.7 那須烏山市中央=0.7 栃木那珂川町馬頭*=0.6 栃木那珂川町小川*=0.5
65	11 15 42	熊本県熊本地方 熊本県	32° 43.7' N	130° 41.1' E	10km	M: 1.9 1 熊本西区春日=0.6
66	11 19 11	熊本県熊本地方 熊本県	32° 54.1' N	130° 51.4' E	9km	M: 3.4 4 菊池市旭志*=3.6 3 大津町引水*=2.7 2 菊池市泗水町*=2.3 合志市竹迫*=2.0 菊陽町久保田*=1.9 西原村小森*=1.5 菊池市隈府*=1.5 1 南阿蘇村河陽*=1.4 合志市御代志*=1.4 南阿蘇村中松=1.3 山鹿市老人福祉センター*=1.2 熊本北区植木町*=1.2 山鹿市鹿本町*=1.2 益城町木山=1.1 山鹿市菊鹿町*=1.1 菊池市七城町*=1.0 熊本西区春日=0.9 山鹿市鹿央町*=0.8 熊本東区佐土原*=0.8 嘉島町上島*=0.7 南阿蘇村河陰*=0.7 福岡県 大分県 1 赤村内田*=0.8 みやま市高田町*=0.5 1 日田市中津江村栃野*=1.3 日田市前津江町*=0.8
67	12 02 12	福島県沖 福島県	37° 07.7' N	141° 18.4' E	33km	M: 3.8 2 いわき市三和町=1.5 1 福島広野町下北迫大谷地原*=1.4 檜葉町北田*=1.2 田村市滝根町*=1.1 双葉町両竹*=1.0 富岡町本岡*=0.9 いわき市平四ツ波*=0.9 浪江町幾世橋=0.8 川内村上川内早渡*=0.7

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
68	12 09 36	田村市都路町＊=0.7 いわき市小名浜=0.7 福島広野町下北迫苗代替＊=0.5 いわき市錦町＊=0.5 茨城県南部 茨城県 36° 07.4' N 140° 04.7' E 64km M: 3.9 2 筑西市門井＊=1.9 坂東市馬立＊=1.7 かすみがうら市上土田＊=1.6 石岡市柿岡=1.5 1 土浦市常名=1.4 取手市寺田＊=1.3 筑西市海老ヶ島＊=1.3 水戸市内原町＊=1.3 筑西市舟生=1.2 笠間市笠間＊=1.2 桜川市羽田＊=1.2 笠間市石井＊=1.1 城里町石塚＊=1.0 桜川市岩瀬＊=1.0 つくば市研究学園＊=1.0 境町旭町＊=1.0 笠間市下郷＊=1.0 常総市新石下＊=0.9 常総市水海道諏訪町＊=0.9 つくばみらい市福田＊=0.9 坂東市山＊=0.9 小美玉市小川＊=0.9 笠間市中央＊=0.9 土浦市田中＊=0.9 坂東市岩井=0.9 城里町徳蔵＊=0.8 つくば天王台＊=0.8 小美玉市上玉里＊=0.8 石岡市若宮＊=0.8 石岡市八郷＊=0.8 下妻市本城町＊=0.8 下妻市鬼怒＊=0.8 筑西市中中山＊=0.7 五霞町小福田＊=0.7 茨城古河市下大野＊=0.7 桜川市真壁＊=0.7 常陸大宮市上小瀬＊=0.7 阿見町中央＊=0.7 稲敷市江戸崎甲＊=0.7 八千代町菅谷＊=0.7 茨城古河市仁連＊=0.6 常陸大宮市北町＊=0.6 守谷市大柏＊=0.6 かすみがうら市大和田＊=0.6 つくば市小茎＊=0.6 土浦市藤沢＊=0.6 牛久市城中町＊=0.6 城里町阿波山＊=0.5 栃木県 2 真岡市石島＊=1.7 小山市神鳥谷＊=1.5 1 栃木市旭町=1.4 宇都宮市明保野町=1.3 宇都宮市中里町＊=1.3 栃木市岩舟町静＊=1.3 鹿沼市晃望台＊=1.3 佐野市葛生東＊=1.2 栃木市西方町本城＊=1.1 鹿沼市今宮町＊=1.0 真岡市田町＊=1.0 栃木市大平町富田＊=1.0 佐野市田沼町＊=1.0 小山市中央町＊=0.9 茂木町茂木＊=0.9 下野市笹原＊=0.9 足利市大正町＊=0.8 芳賀町祖母井＊=0.8 佐野市中町＊=0.8 日光市中鉢石町＊=0.8 宇都宮市旭＊=0.8 日光市鬼怒川温泉大原＊=0.7 佐野市高砂町＊=0.7 栃木市藤岡町藤岡＊=0.7 野木町丸林＊=0.7 下野市石橋＊=0.7 下野市田中＊=0.6 栃木市万町＊=0.6 真岡市荒町＊=0.6 益子町益子=0.5 鹿沼市口栗野＊=0.5 壬生町通町＊=0.5 日光市今市本町＊=0.5 日光市足尾町中才＊=0.5 群馬県 1 板倉町板倉=1.2 群馬明和町新里＊=1.0 千代田町赤岩＊=1.0 大泉町日の出＊=0.9 邑楽町中野＊=0.9 館林市美園町＊=0.9 太田市西本町＊=0.8 桐生市元宿町＊=0.7 桐生市新里町＊=0.7 館林市城町＊=0.7 渋川市赤城町＊=0.7 沼田市利根町＊=0.6 桐生市黒保根町＊=0.6 伊勢崎市西久保町＊=0.5 みどり市大間々町＊=0.5 前橋市粕川町＊=0.5 埼玉県 1 春日部市粕壁＊=1.2 宮代町笠原＊=1.2 鴻巣市川里＊=1.1 加須市騎西＊=1.1 熊谷市桜町=1.0 加須市三俣＊=1.0 東松山市松葉町＊=1.0 久喜市菖蒲＊=1.0 行田市本丸＊=0.9 加須市大利根＊=0.9 行田市南河原＊=0.8 羽生市東＊=0.8 鴻巣市吹上富士見＊=0.8 久喜市下早見=0.8 久喜市栗橋＊=0.8 さいたま北区宮原＊=0.8 熊谷市宮町＊=0.8 久喜市鷲宮＊=0.7 春日部市金崎＊=0.7 上尾市本町＊=0.7 桶川市上日出谷＊=0.7 さいたま浦和区高砂=0.7 熊谷市大里＊=0.7 熊谷市江南＊=0.7 幸手市東＊=0.6 さいたま岩槻区本丸＊=0.6 熊谷市妻沼＊=0.6 滑川町福田＊=0.6 久喜市青葉＊=0.5 嵐山町杉山＊=0.5 鴻巣市中央＊=0.5 北本市本町＊=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉＊=1.3 柏市柏＊=1.1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=1.0 野田市東宝珠花＊=0.9 柏市大島田＊=0.9 柏市旭町=0.8 八千代市大和田新田＊=0.8 栄町安食台＊=0.7 我孫子市我孫子＊=0.5 印西市大森＊=0.5 東京都 1 東京板橋区高島平＊=0.6 調布市西つづじヶ丘＊=0.6 東京足立区神明南＊=0.5				
69	13 00 13	和歌山県北部 大阪府 和歌山県 34° 16.3' N 135° 10.5' E 7km M: 2.8 1 大阪岬町深日＊=1.0 1 和歌山市一番丁＊=1.1 和歌山市男野芝丁=0.5				
70	13 00 21	和歌山県北部 和歌山県 34° 16.3' N 135° 10.6' E 7km M: 2.8 1 和歌山市一番丁＊=0.9				
71	13 06 47	宮城県沖 宮城県 38° 17.9' N 141° 56.5' E 63km M: 3.7 1 女川町女川浜＊=1.0				
72	13 07 10	熊本県熊本地方 熊本県 32° 47.5' N 130° 42.3' E 3km M: 1.5 1 熊本西区春日=1.0				
73	13 08 41	福島県会津 福島県 37° 26.2' N 139° 41.7' E 5km M: 3.5 3 三島町宮下＊=2.6 2 柳津町柳津＊=2.4 柳津町大成沢=2.3 西会津町野沢=2.1 西会津町登世島＊=1.9 福島昭和村下中津川＊=1.6 会津美里町高田庁舎＊=1.6 会津美里町新鶴庁舎＊=1.6 1 福島金山町川口＊=1.4 南会津町界＊=1.4 会津美里町本郷庁舎＊=1.1 会津若松市北会津町＊=0.9 会津坂下町市中三番甲＊=0.8 喜多方市塩川町＊=0.8 喜多方市高郷町＊=0.8 只見町黒谷＊=0.8 南会津町田島=0.7 山形県 1 飯豊町上原＊=0.6 新潟県 1 魚沼市須原＊=0.8				
74	13 10 20	福島県沖 宮城県 37° 22.8' N 141° 35.1' E 29km M: 4.5 1 岩沼市桜＊=1.2 石巻市桃生町＊=1.1 宮城川崎町前川＊=1.0 名取市増田＊=0.9 大崎市古川三日町=0.9 山元町浅生原＊=0.8 宮城加美町中新田＊=0.8 大崎市松山＊=0.7 蔵王町円田＊=0.7 色麻町四竈＊=0.7 亘理町下小路＊=0.7 角田市角田＊=0.7 大崎市田尻＊=0.6 仙台青葉区大倉=0.6 仙台空港=0.6 山形県 1 米沢市林泉寺＊=0.7 福島県 1 相馬市中村＊=0.9 双葉町両竹＊=0.9 新地町谷地小屋＊=0.9 南相馬市鹿島区西町＊=0.9 田村市都路町＊=0.7 檜葉町北田＊=0.6 浪江町幾世橋=0.5 須賀川市八幡山＊=0.5 南相馬市原町区高見町＊=0.5 大玉村南小屋=0.5				
75	13 12 25	千葉県北東部 茨城県 35° 44.0' N 140° 36.8' E 50km M: 4.9 3 神栖市溝口＊=2.5 2 稲敷市結佐＊=2.1 茨城鹿嶋市鉢形=2.0 潮来市辻＊=2.0 潮来市堀之内=1.8 稲敷市柴崎＊=1.8				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		取手市井野*=1.7 茨城鹿嶋市宮中*=1.7 稲敷市江戸崎甲*=1.7 龍ヶ崎市役所*=1.6 取手市寺田*=1.6 神栖市波崎*=1.6 小美玉市堅倉*=1.5 小美玉市上玉里*=1.5 土浦市常名=1.5 かすみがうら市土上土田*=1.5 牛久市城中町*=1.5 行方市麻生*=1.5 つくばみらい市加藤*=1.5 つくばみらい市福田*=1.5 河内町源清田*=1.5 1 笠間市石井*=1.4 取手市藤代*=1.4 美浦村受領*=1.4 かすみがうら市大和田*=1.4 鉾田市汲上*=1.3 常総市水海道諏訪町*=1.3 小美玉市小川*=1.3 笠間市中央*=1.3 つくば市研究学園*=1.2 つくば市小荃*=1.2 石岡市柿岡=1.2 稲敷市役所*=1.2 筑西市舟生=1.2 土浦市田中*=1.2 行方市山田*=1.2 阿見町中央*=1.1 守谷市大柏*=1.1 利根町布川=1.1 土浦市藤沢*=1.1 つくば市天王台*=1.1 東海村東海*=1.1 ひたちなか市南神敷台*=1.1 行方市玉造*=1.1 石岡市若宮*=1.1 日立市役所*=1.0 鉾田市造谷*=1.0 坂東市岩井=1.0 牛久市中央*=1.0 笠間市下郷*=0.9 桜川市岩瀬*=0.9 水戸市内原町*=0.9 鉾田市鉾田=0.8 日立市助川小学校*=0.7 笠間市笠間*=0.7 桜川市羽田*=0.6 3 旭市南堀之内*=3.2 旭市ニ*=2.9 多古町多古=2.9 匝瑳市八日市場ハ*=2.9 芝山町小池*=2.8 香取市仁良*=2.8 山武市殿台*=2.8 東金市日吉台*=2.7 山武市蓮沼ニ*=2.7 旭市高生*=2.7 成田市花崎町=2.7 横芝光町栗山*=2.6 香取市役所*=2.6 匝瑳市今泉*=2.6 横芝光町宮川*=2.6 山武市松尾町五反田*=2.5 2 東金市東新宿=2.4 東金市東岩崎*=2.4 山武市松尾町富士見台=2.4 山武市埴谷*=2.4 山武市蓮沼ハ*=2.4 旭市萩園*=2.3 九十九里町片貝*=2.3 一宮町一宮=2.3 香取市岩部*=2.2 香取市羽根川*=2.2 長南町長南*=2.1 成田国際空港=2.1 八千代市大和田新田*=2.1 東庄町笹川*=2.0 香取市佐原平田=2.0 香取市佐原諏訪台*=2.0 大網白里市大網*=2.0 成田市中台*=2.0 千葉佐倉市海隣寺町*=2.0 市原市姉崎*=2.0 いすみ市国府台*=2.0 千葉花見川区花島町*=1.9 成田市松子*=1.9 四街道市鹿渡*=1.9 富里市七栄*=1.9 千葉中央区都町*=1.9 成田市役所*=1.8 千葉若葉区小倉台*=1.8 八街市八街*=1.8 栄町安食台*=1.8 千葉稲毛区園生町*=1.7 睦沢町下之郷*=1.7 千葉美浜区ひび野=1.7 白井市復*=1.7 神崎町神崎本宿*=1.7 銚子市若宮町*=1.7 長生村本郷*=1.6 船橋市湊町*=1.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.6 松戸市西馬橋*=1.6 千葉中央区中央港=1.6 印西市大森*=1.6 印西市笠神*=1.6 印西市美瀬*=1.6 酒々井町中央台*=1.6 白子町関*=1.6 いすみ市大原*=1.6 いすみ市岬町長者*=1.6 千葉中央区千葉市役所*=1.5 長柄町大津倉=1.5 長柄町桜谷*=1.5 浦安市日の出=1.5 千葉緑区おゆみ野*=1.5 野田市鶴奉*=1.5 勝浦市墨名=1.5 大多喜町大多喜*=1.5 茂原市道表*=1.5 1 銚子市川口町=1.4 千葉美浜区稲毛海岸*=1.4 市原市国分寺台中央*=1.4 君津市久留里市場*=1.4 成田市猿山*=1.3 柏市柏*=1.3 木更津市富士見*=1.3 勝浦市新官*=1.3 鴨川市横渚*=1.3 鋸南町下佐久間*=1.3 館山市北条*=1.2 我孫子市我孫子*=1.1 習志野市鷺沼*=1.1 柏市旭町=1.1 南房総市岩糸*=1.0 南房総市谷向*=1.0 柏市大島田*=1.0 館山市長須賀=1.0 木更津市太田=1.0 鴨川市八色=1.0 鴨川市内浦=0.6 栃木県 群馬県 埼玉県 1 真岡市石島*=1.0 益子町益子=0.8 真岡市田町*=0.6 1 渋川市赤城町*=0.6 邑楽町中野*=0.5 1 草加市高砂*=1.4 春日部市谷原新田*=1.2 宮代町笠原*=1.2 春日部市金崎*=1.1 さいたま緑区中尾*=1.1 八潮市中央*=1.0 吉川市吉川*=1.0 さいたま南区別所*=1.0 川口市青木*=1.0 川口市三ツ和*=1.0 春日部市粕壁*=1.0 加須市大利根*=0.9 さいたま中央区下落合*=0.9 蕨市中央*=0.9 戸田市上戸田*=0.9 三郷市中央*=0.9 さいたま大宮区天沼町*=0.8 和光市広沢*=0.8 さいたま浦和区高砂=0.8 鴻巣市吹上富士見*=0.8 富士見市鶴馬*=0.8 幸手市東*=0.8 志木市中宗岡*=0.8 さいたま桜区道場*=0.7 久喜市下早見=0.7 久喜市青葉*=0.7 杉戸町清地*=0.7 白岡市千駄野*=0.7 松伏町松伏*=0.6 さいたま見沼区堀崎*=0.6 さいたま岩槻区本丸*=0.5 さいたま北区宮原*=0.5 狭山市入間川*=0.5 1 東京北区赤羽南*=1.4 東京荒川区東尾久*=1.3 東京足立区伊興*=1.2 東京足立区神明南*=1.2 東京江戸川区中央=1.2 東京千代田区大手町=1.1 東京江東区越中島*=1.1 東京江東区東陽*=1.1 東京江東区森下*=1.1 東京足立区千住中居町*=1.1 東京江戸川区船堀*=1.1 東京墨田区東向島*=1.0 東京江東区亀戸*=1.0 東京江東区枝川*=1.0 東京国際空港=1.0 東京大田区本羽田*=1.0 東京北区西ヶ原*=1.0 東京荒川区荒川*=1.0 東京板橋区高島平*=1.0 東京葛飾区立石*=1.0 東京品川区北品川*=0.9 東京品川区平塚*=0.9 東京葛飾区金町*=0.9 東京渋谷区本町*=0.9 東京江東区青海=0.9 東京板橋区板橋*=0.8 東京千代田区麹町*=0.8 東京大田区多摩川*=0.8 東京文京区大塚*=0.7 調布市西つつじヶ丘*=0.7 東京中野区中野*=0.7 東京中央区日本橋兜町*=0.7 東京中央区勝どき*=0.7 東京港区海岸=0.7 東京新宿区上落合*=0.7 東京新宿区百人町*=0.7 東京港区白金*=0.6 東京文京区スポーツセンタ*=0.6 東京千代田区富士見*=0.6 東京墨田区吾妻橋*=0.6 東京練馬区光が丘*=0.6 東京世田谷区成城*=0.6 東京渋谷区宇田川町*=0.6 東京中野区江古田*=0.6 東京杉並区高井戸*=0.6 東京豊島区南池袋*=0.6 東京目黒区中央町*=0.5 神奈川県 1 川崎川崎区宮前町*=1.3 横浜鶴見区末広町*=1.2 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.1 湯河原町中央=1.1 横浜中区山手町=1.0 横浜旭区川井宿町*=1.0 横浜瀬谷区中屋敷*=1.0 三浦市城山町*=1.0 川崎川崎区中島*=0.9 川崎中原区小杉町*=0.9 川崎宮前区野川*=0.8 横須賀市光の丘=0.8 川崎幸区戸手本町*=0.7 川崎宮前区宮前平*=0.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.7 長野県 静岡県 1 長野南牧村海ノ口*=0.6 1 東伊豆町奈良本*=0.8 伊豆の国市長岡*=0.7 伊豆の国市四日町*=0.6				
76	13 21 28	沖縄本島近海 沖縄県 2 恩納村恩納*=2.1 うるま市石川石崎*=2.0 沖縄市美里*=1.9 名護市港*=1.9 うるま市みどり町*=1.8 本部町役場*=1.8 今帰仁村仲宗根*=1.7 宜野座村宜野座*=1.6 座間味村座間味*=1.6 渡嘉敷村渡嘉敷*=1.5 1 国頭村辺土名*=1.3 中城村当間*=1.3 南城市佐敷*=1.3 名護市宮里=1.2 西原町与那城*=1.2 宜野湾市野嵩*=1.2 与那原町上与那原*=1.1 豊見城市翁長*=1.0 栗国村役場*=1.0 八重瀬町東風平*=1.0 南城市玉城富里*=1.0 読谷村座喜味*=1.0 嘉手納町嘉手納*=0.9 うるま市与那城饒辺*=0.9 那覇市港町*=0.9 栗国村浜=0.9 金武町金武*=0.9 東村平良*=0.8 伊江村東江前*=0.8 南城市知念久手堅*=0.8 北谷町桑江*=0.8 北中城村喜舎場*=0.8	26° 39.8' N	127° 45.5' E	47km	M: 4.0

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		うるま市与那城平安座※=0.7 名護市豊原=0.7 那覇空港=0.7 南風原町兼城※=0.6 南城市大里仲間※=0.6 那覇市樋川=0.5 国頭村奥=0.5				
77	13 22 28	福島県会津 福島県 1 柳津町大成沢=0.7	37° 26.2' N	139° 41.7' E	5km	M: 2.2
78	14 01 26	熊本県阿蘇地方 熊本県 1 大津町引水※=0.8 南阿蘇村河陽※=0.5	32° 55.7' N	131° 00.2' E	8km	M: 2.5
79	14 05 26	福島県沖 宮城県 1 蔵王町円田※=0.8 岩沼市桜※=0.7 山形県 1 米沢市林泉寺※=0.7 福島県 1 天栄村下松本※=1.0 田村市都路町※=0.8 須賀川市八幡山※=0.5	37° 23.3' N	141° 36.1' E	25km	M: 4.2
80	14 06 25	和歌山県北部 和歌山県 2 和歌山市一番丁※=1.8 1 和歌山市男野芝丁=1.3	34° 13.6' N	135° 11.4' E	6km	M: 2.7
81	14 08 59	渡島地方西部 北海道 2 知内町重内※=1.5 1 知内町小谷石=0.7	41° 33.4' N	140° 23.7' E	6km	M: 2.4
82	14 11 29	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 宇土市新小路町=0.8 宇城市不知火町※=0.8	32° 38.0' N	130° 39.9' E	9km	M: 2.4
83	14 12 31	宮城県北部 宮城県 1 栗原市築館※=1.3 栗原市高清水※=0.5	38° 42.5' N	141° 02.6' E	10km	M: 2.4
84	14 14 27	東京湾 千葉県 1 市原市姉崎※=1.2	35° 28.5' N	139° 58.3' E	24km	M: 2.4
85	15 03 59	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.5	32° 42.6' N	130° 37.5' E	12km	M: 2.1
86	15 16 06	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 宇城市豊野町※=1.2 宇土市新小路町=1.1 氷川町島地※=0.8 宇城市不知火町※=0.7 八代市鏡町※=0.7 嘉島町上島※=0.7 宇城市小川町※=0.6 宇城市松橋町=0.5	32° 37.3' N	130° 39.3' E	11km	M: 2.8
87	15 22 08	有明海 福岡県 1 みやま市高田町※=0.5 長崎県 1 雲仙市国見町=0.9 熊本県 1 玉名市中尾※=0.5	32° 54.7' N	130° 23.2' E	15km	M: 2.9
88	16 00 52	奈良県 奈良県 1 宇陀市大宇陀迫間※=0.6 十津川村小原※=0.5 和歌山県 1 田辺市本宮町本宮※=1.0 御坊市藺=0.8 新宮市新宮=0.6 新宮市熊野川町日足※=0.6	34° 11.9' N	135° 44.8' E	59km	M: 3.5
89	16 15 39	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市不知火町※=0.5	32° 39.5' N	130° 41.5' E	9km	M: 2.0
90	16 23 21	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏※=1.1 八戸市南郷※=0.9 青森南部町苦米地※=0.6 五戸町古館=0.6 八戸市湊町=0.5 岩手県 1 普代村銅屋※=1.2 盛岡市薮川※=0.7 盛岡市洺民※=0.6 盛岡市山王町=0.5 八幡平市田頭※=0.5	40° 09.3' N	142° 25.0' E	35km	M: 4.1
91	17 07 35	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町※=0.8 大船渡市大船渡町=0.7 一関市室根町※=0.6 奥州市前沢区※=0.6 釜石市中妻町※=0.5 一関市花泉町※=0.5 宮城県 1 南三陸町志津川=1.2 女川町女川浜※=1.2 石巻市桃生町※=1.1 気仙沼市唐桑町※=1.0 気仙沼市赤岩=0.6 気仙沼市笹が陣※=0.6 登米市東和町※=0.5	38° 38.7' N	142° 09.8' E	40km	M: 3.9
92	17 10 55	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏※=1.0 八戸市湊町=0.5 岩手県 1 釜石市中妻町※=1.4 釜石市只越町=1.0 山田町大沢※=0.9 久慈市枝成沢=0.6 宮古市鯨ヶ崎=0.6 宮古市五月町※=0.5 宮古市田老※=0.5	39° 36.1' N	142° 14.4' E	51km	M: 3.9
93	17 13 59	伊予灘 愛媛県 1 八幡浜市五反田※=0.9 山口県 1 上関町長島※=0.7 平生町平生※=0.7	33° 43.1' N	132° 10.1' E	55km	M: 3.2
94	17 15 36	福島県会津 福島県 2 喜多方市熱塩加納町※=1.6 1 北塩原村北山※=1.2 山形県 1 飯豊町上原※=1.3	37° 44.6' N	139° 55.2' E	8km	M: 3.3

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
95	17 15 53	石川県西方沖 石川県 福井県	36° 35.3' N	135° 58.9' E	22km	M: 3.6
		1 志賀町香能*=1.4 穴水町大町*=0.5 1 福井坂井市三国町中央=0.7				
96	17 22 21	茨城県北部 茨城県	36° 40.9' N	140° 38.3' E	7km	M: 2.3
		1 日立市助川小学校*=0.5				
97	17 22 27	岩手県内陸北部 岩手県	40° 10.2' N	141° 10.1' E	8km	M: 1.8
		1 二戸市浄法寺町*=0.7				
98	18 00 28	青森県東方沖 青森県	41° 32.9' N	142° 03.8' E	65km	M: 3.8
		2 東通村砂子又沢内*=1.5 1 階上町道仏*=1.0 東通村砂子又蒲谷地=0.6				
99	18 06 17	熊本県熊本地方 熊本県	32° 38.0' N	130° 40.6' E	8km	M: 2.0
		1 宇城市不知火町*=0.6				
100	18 07 23	宮崎県南部平野部 宮崎県	31° 50.5' N	131° 15.5' E	63km	M: 3.4
		1 小林市真方=1.1 小林市野尻町東麓*=1.0 都城市姫城町*=0.9 国富町本庄*=0.9 宮崎市田野町体育館*=0.8 宮崎市松橋*=0.8 西都市上の宮*=0.7 都城市菖蒲原=0.7 宮崎市霧島=0.7 宮崎市橘通東*=0.5 鹿児島県 1 曽於市大隅町中之内*=1.2 鹿屋市札元*=0.7 大崎町仮宿*=0.6				
101	18 14 56	茨城県南部 栃木県	36° 08.0' N	139° 50.2' E	50km	M: 3.5
		2 下野市田中*=1.7 1 佐野市高砂町*=1.3 下野市笹原*=1.3 宇都宮市明保野町=1.1 小山市神鳥谷*=1.0 佐野市中町*=1.0 栃木市西方町本城*=0.9 宇都宮市旭*=0.9 小山市中央町*=0.9 宇都宮市中里町*=0.9 上三川町しらさぎ*=0.8 下野市石橋*=0.8 栃木市藤岡町藤岡*=0.8 栃木市岩舟町静*=0.7 栃木市旭町=0.7 茂木町茂木*=0.7 鹿沼市晃望台*=0.7 益子町益子=0.6 芳賀町祖母井*=0.6 佐野市田沼町*=0.5 佐野市葛生東*=0.5 宇都宮市塙田*=0.5 野木町丸林*=0.5 茨城県 1 筑西市舟生=1.2 筑西市門井*=1.1 桜川市羽田*=1.0 笠間市笠間*=0.9 常陸大宮市上小瀬*=0.9 土浦市常名=0.8 結城市結城*=0.8 桜川市岩瀬*=0.7 笠間市石井*=0.7 石岡市柿岡=0.6 水戸市内原町*=0.6 常陸大宮市山方*=0.6 筑西市下中山*=0.6 笠間市下郷*=0.5 常陸大宮市北町*=0.5 群馬県 1 桐生市元宿町*=0.7 館林市美園町*=0.6 埼玉県 1 加須市大利根*=0.6 久喜市下早見=0.6				
102	18 17 19	茨城県沖 茨城県	36° 25.7' N	140° 38.5' E	53km	M: 4.2
		4 東海村東海*=3.5 3 ひたちなか市南神敷台*=3.4 小美玉市堅倉*=3.4 水戸市金町=3.3 土浦市常名=3.3 笠間市石井*=3.0 水戸市内原町*=2.9 石岡市若宮*=2.9 かすみがうら市上土田*=2.9 鉾田市汲上*=2.9 ひたちなか市東石川*=2.8 小美玉市小川*=2.8 石岡市柿岡=2.8 城里町石塚*=2.7 水戸市千波町*=2.7 茨城町小堤*=2.7 桜川市羽田*=2.7 那珂市福田*=2.7 日立市助川小学校*=2.6 笠間市下郷*=2.6 城里町徳蔵*=2.6 筑西市門井*=2.5 日立市役所*=2.5 かすみがうら市大和田*=2.5 桜川市真壁*=2.5 那珂市瓜連*=2.5 常陸大宮市北町*=2.5 2 笠間市中央*=2.4 笠間市笠間*=2.4 大子町池田*=2.4 常陸大宮市野口*=2.4 稲敷市江戸崎甲*=2.4 桜川市岩瀬*=2.4 鉾田市造谷*=2.4 鉾田市鉾田=2.3 土浦市田中*=2.3 日立市十王町友部*=2.3 常陸太田市高柿町*=2.3 茨城鹿嶋市鉢形=2.2 大洗町磯浜町*=2.2 ひたちなか市山ノ上町=2.2 つくば市研究学園*=2.2 土浦市藤沢*=2.1 行方市玉造*=2.1 常陸太田市金井町*=2.1 取手市寺田*=2.1 牛久市城中町*=2.1 常陸大宮市中富町=2.1 常陸太田市町屋町=2.1 茨城鹿嶋市宮中*=2.1 美浦村受領*=2.1 常陸大宮市山方*=2.0 石岡市八郷*=2.0 行方市麻生*=2.0 城里町阿波山*=1.9 つくば市小釜*=1.9 つくば市天王台*=1.9 筑西市海老ヶ島*=1.9 常陸太田市町田町*=1.8 阿見町中央*=1.8 常陸大宮市上小瀬*=1.8 高萩市下手綱*=1.8 行方市山田*=1.7 筑西市下中山*=1.7 結城市結城*=1.7 下妻市本城町*=1.6 潮来市堀之内=1.6 潮来市辻*=1.6 常陸大宮市高部*=1.6 牛久市中央*=1.6 五霞町小福田*=1.6 龍ヶ崎市役所*=1.6 稲敷市柴崎*=1.6 筑西市舟生=1.6 境町旭町*=1.5 坂東市山*=1.5 神栖市溝口*=1.5 茨城古河市仁連*=1.5 稲敷市役所*=1.5 1 常陸太田市大中町*=1.4 八千代町菅谷*=1.4 守谷市大柏*=1.4 稲敷市結佐*=1.4 常総市新石下*=1.4 下妻市鬼怒*=1.3 茨城古河市下大野*=1.3 つくばみらい市福田*=1.3 常総市水海道諏訪町*=1.2 つくばみらい市加藤*=1.2 高萩市安良川*=1.2 取手市藤代*=1.1 取手市井野*=1.0 利根町布川=1.0 坂東市岩井=1.0 北茨城市磯原町*=0.8 河内町源清田*=0.7 茨城古河市長谷町*=0.5 神栖市波崎*=0.5 栃木県 3 茂木町茂木*=2.5 2 真岡市田町*=2.4 真岡市石島*=2.4 市貝町市塙*=2.3 益子町益子=2.2 小山市神鳥谷*=2.1 那須烏山市中央=1.8 下野市笹原*=1.8 佐野市高砂町*=1.8 下野市田中*=1.7 真岡市荒町*=1.7 大田原市湯津上*=1.7 芳賀町祖母井*=1.7 足利市大正町*=1.6 栃木那珂川町馬頭*=1.6 宇都宮市明保野町=1.5 宇都宮市中里町*=1.5 栃木市藤岡町藤岡*=1.5 栃木那珂川町小川*=1.5 1 日光市鉢石町*=1.4 栃木市岩舟町静*=1.4 栃木さくら市喜連川*=1.4 栃木市旭町=1.3 日光市鬼怒川温泉大原*=1.3 宇都宮市旭*=1.2 茂木町北高岡天矢場*=1.2 那須烏山市役所*=1.2 下野市石橋*=1.2 鹿沼市晃望台*=1.1 鹿沼市今宮町*=1.1 野木町丸林*=1.1 高根沢町石末*=1.1 那須烏山市大金*=1.1 栃木さくら市氏家*=1.0 小山市中央町*=1.0 日光市今市本町*=0.9 塩谷町玉生*=0.8 那須町寺子*=0.8 日光市足尾町中才*=0.8 日光市芹沼*=0.8 佐野市田沼町*=0.8				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		佐野市葛生東*＝0.8 鹿沼市口栗野*＝0.8 栃木市万町*＝0.7 上三川町しらさぎ*＝0.7 日光市瀬川＝0.7 那須塩原市あたご町*＝0.7 壬生町通町*＝0.6 日光市藤原*＝0.6 宇都宮市塙田*＝0.6 栃木市西方町本城*＝0.6 日光市日蔭*＝0.6 那須塩原市塩原庁舎*＝0.5 佐野市中町*＝0.5 日光市湯元*＝0.5 栃木市大平町富田*＝0.5 福島県 2 玉川村小高*＝1.8 浅川町浅川*＝1.8 白河市東*＝1.5 白河市表郷*＝1.5 1 矢祭町東館*＝1.4 中島村滑津*＝1.3 田村市滝根町*＝1.3 矢祭町戸塚*＝1.3 泉崎村泉崎*＝1.2 古殿町松川横川＝1.1 田村市都路町*＝1.1 鏡石町不時沼*＝1.1 棚倉町棚倉中居野＝1.1 石川町長久保*＝1.0 鮫川村赤坂中野*＝1.0 いわき市錦町*＝0.9 檜枝岐村上河原*＝0.9 古殿町松川新桑原*＝0.9 田村市大越町*＝0.9 白河市新白河*＝0.8 塙町塙*＝0.8 須賀川市八幡山*＝0.7 天栄村下松本*＝0.7 小野町中通*＝0.7 郡山市朝日＝0.6 郡山市開成*＝0.6 白河市郭内＝0.6 いわき市小名浜＝0.6 いわき市三和町＝0.6 棚倉町棚倉館ヶ丘*＝0.5 いわき市平四ツ波*＝0.5 群馬県 2 大泉町日の出*＝1.5 1 沼田市利根町*＝1.4 桐生市黒保根町*＝1.4 渋川市赤城町*＝1.4 千代田町赤岩*＝1.4 桐生市元宿町*＝1.3 太田市西本町*＝1.3 館林市美園町*＝1.3 前橋市粕川町*＝1.2 邑楽町中野*＝1.2 沼田市白沢町*＝1.1 桐生市新里町*＝1.1 伊勢崎市今泉町*＝1.1 太田市大原町*＝1.1 伊勢崎市西久保町*＝1.0 太田市浜町*＝1.0 板倉町板倉＝0.9 群馬明和町新里*＝0.9 東吾妻町原野＝0.9 伊勢崎市境*＝0.9 渋川市吹屋*＝0.8 沼田市西倉内町＝0.8 太田市粕川町*＝0.8 前橋市富士見町*＝0.7 桐生市織姫町＝0.7 伊勢崎市東町*＝0.7 みどり市笠懸町*＝0.7 東吾妻町本宿*＝0.7 みどり市大間々町*＝0.6 前橋市昭和町＝0.6 神流町生利*＝0.6 沼田市下久屋町*＝0.6 高崎市高松町*＝0.5 太田市新田金井町*＝0.5 みなかみ町鹿野沢*＝0.5 埼玉県 2 東松山市松葉町*＝1.5 嵐山町杉山*＝1.5 1 熊谷市江南*＝1.4 羽生市東*＝1.4 久喜市下早見＝1.4 春日部市粕壁*＝1.4 深谷市川本*＝1.3 深谷市花園*＝1.3 埼玉美里町木部*＝1.3 春日部市金崎*＝1.3 宮代町笠原*＝1.3 さいたま北区宮原*＝1.3 さいたま岩槻区本丸*＝1.3 加須市大利根*＝1.2 本庄市児玉町＝1.2 滑川町福田*＝1.2 長瀨町野上下郷*＝1.2 蓮田市黒浜*＝1.1 幸手市東*＝1.1 さいたま西区指扇*＝1.1 杉戸町清地*＝1.0 ときがわ町桃木*＝1.0 川口市中青木分室*＝1.0 北本市本町*＝1.0 三郷市中央*＝1.0 行田市本丸*＝0.9 桶川市上日出谷*＝0.9 東松山市市ノ川*＝0.9 久喜市青葉*＝0.9 さいたま見沼区堀崎*＝0.9 熊谷市桜町＝0.9 川越市新宿町*＝0.9 鴻巣市川里*＝0.8 埼玉三芳町藤久保*＝0.8 小川町大塚*＝0.8 白岡市千駄野*＝0.8 秩父市近戸町*＝0.8 熊谷市宮町*＝0.8 行田市南河原*＝0.8 上尾市本町*＝0.8 草加市高砂*＝0.8 新座市野火止*＝0.7 久喜市栗橋*＝0.7 坂戸市千代田*＝0.7 久喜市鷺宮*＝0.7 皆野町皆野*＝0.6 川島町下八ツ林*＝0.6 鴻巣市中央*＝0.6 さいたま浦和区高砂＝0.6 長瀨町本野上*＝0.5 加須市三俣*＝0.5 吉見町下細谷*＝0.5 東秩父村御堂*＝0.5 吉川市吉川*＝0.5 埼玉神川町植竹*＝0.5 寄居町寄居*＝0.5 川越市旭町＝0.5 深谷市仲町*＝0.5 春日部市谷原新田*＝0.5 秩父市上町＝0.5 千葉県 2 成田市花崎町＝2.1 八千代市大和田新田*＝2.0 野田市鶴奉*＝1.9 白井市復*＝1.9 成田市中台*＝1.8 香取市役所*＝1.7 千葉花見川区花島町*＝1.7 野田市東宝珠花*＝1.7 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*＝1.7 千葉中央区都町*＝1.6 栄町安食台*＝1.6 山武市埴谷*＝1.5 成田市松子*＝1.5 1 香取市佐原平田＝1.4 香取市佐原諏訪台*＝1.4 香取市仁良*＝1.4 千葉稲毛区園生町*＝1.4 成田国際空港＝1.4 柏市旭町＝1.4 印西市大森*＝1.4 芝山町小池*＝1.3 船橋市湊町*＝1.3 成田市猿山*＝1.3 柏市大島田*＝1.3 四街道市鹿渡*＝1.3 印西市笠神*＝1.3 富里市七栄*＝1.3 千葉若葉区小倉台*＝1.2 柏市柏*＝1.2 印西市美瀬*＝1.2 香取市羽根川*＝1.1 千葉美浜区稲毛海岸*＝1.1 習志野市鷺沼*＝1.1 八街市八街*＝1.1 東金市日吉台*＝1.1 神崎町神崎本宿*＝1.1 成田市役所*＝1.0 東金市東新宿＝1.0 我孫子市我孫子*＝1.0 酒々井町中央台*＝1.0 山武市松尾町富士見台＝1.0 千葉緑区おゆみ野*＝0.8 千葉美浜区ひび野＝0.8 旭市ニ*＝0.8 多古町多古＝0.8 匝瑳市八日市場ハ*＝0.8 香取市岩部*＝0.8 横芝光町宮川*＝0.8 千葉中央区千葉市役所*＝0.8 浦安市日の出＝0.7 銚子市若宮町*＝0.7 旭市高生*＝0.7 松戸市根本*＝0.7 千葉佐倉市海隣寺町*＝0.7 横芝光町栗山*＝0.6 東金市東岩崎*＝0.6 市川市八幡*＝0.6 旭市南堀之内*＝0.6 松戸市西馬橋*＝0.6 東庄町笹川*＝0.6 旭市萩園*＝0.5 浦安市猫実*＝0.5 山武市蓮沼ニ*＝0.5 東京都 2 東京江戸川区中央＝1.5 1 東京中野区江古田*＝1.2 調布市西つつじヶ丘*＝1.2 東京渋谷区本町*＝1.0 東京練馬区豊玉北*＝1.0 東京江戸川区船堀*＝1.0 東京千代田区大手町＝0.9 東京練馬区光が丘*＝0.9 東京足立区神明南*＝0.9 東京葛飾区立石*＝0.9 東京新宿区上落合*＝0.8 東京江東区森下*＝0.8 東京中野区中野*＝0.8 東京杉並区高井戸*＝0.8 三鷹市野崎*＝0.8 東京新宿区百人町*＝0.7 東京文京区大塚*＝0.7 東京足立区伊興*＝0.7 西東京市中町*＝0.7 東大和市中央*＝0.7 東京文京区スポーツセンタ*＝0.6 東京江東区東陽*＝0.6 東京千代田区富士見*＝0.5 東京中央区日本橋兜町*＝0.5 東京港区芝公園*＝0.5 東京北区西ヶ原*＝0.5 東京荒川区東尾久*＝0.5 神奈川県 1 川崎川崎区宮前町*＝0.6				
103	18 20 21	和歌山県北部 和歌山県	34° 16.8' N	135° 23.5' E	8km	M: 3.3
		2 紀の川市桃山町元*＝2.3 紀の川市粉河＝1.7 紀の川市那賀総合センター*＝1.6 紀の川市貴志川町神戸*＝1.6 1 かつらぎ町丁ノ町*＝1.2 海南市日方*＝1.0 紀美野町下佐々*＝1.0 岩出市西野*＝1.0 海南市下津*＝0.7 橋本市東家*＝0.5 湯浅町青木*＝0.5 1 熊取町野田*＝0.7 泉南市男里*＝0.6				
104	18 22 08	千葉県北西部 東京都	35° 45.0' N	139° 57.9' E	60km	M: 3.2
		1 東京渋谷区本町*＝0.7 東京千代田区大手町＝0.5				
105	18 22 12	福島県会津 福島県	37° 05.5' N	139° 19.0' E	7km	M: 3.2
		2 檜枝岐村上河原*＝1.7				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
106	19 06 42	熊本県阿蘇地方 熊本県	32° 56.8' N	131° 03.3' E	8km	M: 2.4
		1 南阿蘇村中松=0.9 阿蘇市一の宮町*=0.7 阿蘇市内牧*=0.6				
107	19 12 57	大阪府北部 大阪府 兵庫県	34° 57.9' N	135° 24.6' E	11km	M: 2.4
		1 能勢町今西*=0.7 1 三田市下里*=0.8				
108	19 14 13	新島・神津島近海 東京都	34° 32.9' N	139° 20.8' E	12km	M: 3.2
		1 東京利島村東山=1.1 伊豆大島町差木地=1.0 新島村大原=0.5				
109	19 19 36	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 15.5' N	130° 30.6' E	6km	M: 2.5
		1 水俣市陣内*=0.8 芦北町芦北=0.8 球磨村渡*=0.7 水俣市牧ノ内*=0.6				
110	19 21 17	岩手県沖 岩手県	40° 01.4' N	142° 16.1' E	20km	M: 4.2
		2 野田村野田*=1.7 1 久慈市長内町*=1.3 宮古市田老*=1.2 普代村銅屋*=1.2 久慈市川崎町=1.0 宮古市五月町*=0.9 盛岡市薮川*=0.9 八幡平市田頭*=0.9 久慈市枝成沢=0.8 山田町大沢*=0.8 田野畑村役場*=0.6 盛岡市渋民*=0.5 田野畑村田野畑=0.5 青森県 1 階上町道仏*=1.4 八戸市内丸*=1.0 七戸町森ノ上*=0.8				
111	20 07 59	岩手県沿岸北部 岩手県	39° 33.0' N	142° 02.1' E	61km	M: 3.5
		1 釜石市只越町=1.4 釜石市中妻町*=1.3 花巻市大迫総合支所*=1.1 宮古市鉾ヶ崎=0.9 宮古市川井*=0.6				
112	20 12 26	熊本県熊本地方 熊本県	32° 41.0' N	130° 43.5' E	9km	M: 2.2
		1 宇城市豊野町*=1.1 熊本南區城南町*=1.0 熊本南區富合町*=1.0 宇土市新小路町=0.7 嘉島町上島*=0.6 熊本美里町馬場*=0.5				
113	20 12 47	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 15.4' N	130° 30.6' E	7km	M: 3.0
		1 球磨村渡*=1.4 芦北町芦北=1.4 水俣市陣内*=1.2 八代市坂本町*=0.8 水俣市牧ノ内*=0.6				
114	20 18 03	種子島近海 鹿児島県	30° 27.5' N	130° 25.5' E	68km	M: 3.2
		1 屋久島町尾之間*=0.6 鹿児島十島村口之島出張所*=0.5				
115	20 23 18	父島近海 東京都	27° 06.3' N	142° 19.2' E	60km	M: 4.2
		1 小笠原村母島=0.6				
116	21 00 16	宮古島近海 沖縄県	24° 49.5' N	125° 22.7' E	50km	M: 3.9
		2 宮古島市下地*=1.7 1 宮古島市平良狩俣*=1.2 宮古島市平良西里*=1.2 宮古島市上野支所*=1.2 宮古島市城辺福北=1.1 宮古島市平良池間=0.9 宮古島市平良下里=0.9 宮古島市城辺福西*=0.7 宮古島市伊良部長浜*=0.6 宮古島市伊良部国仲=0.5				
117	21 13 55	福井県嶺北 福井県	36° 12.0' N	136° 12.2' E	14km	M: 2.1
		1 福井坂井市三国町中央=1.0				
118	21 17 39	熊本県熊本地方 熊本県	33° 00.2' N	130° 45.6' E	10km	M: 3.0
		2 山鹿市菊鹿町*=1.9 山鹿市鹿本町*=1.6 1 山鹿市鹿央町*=1.4 山鹿市老人福祉センター*=1.3 菊池市限府*=1.2 菊池市旭志*=1.0 熊本北區植木町*=1.0 菊池市七城町*=0.9 山鹿市山鹿*=0.8 山鹿市鹿北町*=0.6 玉東町木葉*=0.6 玉名市中尾*=0.6				
119	21 20 54	青森県東方沖 青森県	40° 33.4' N	142° 32.3' E	29km	M: 4.5
		2 階上町道仏*=1.9 青森南部町平*=1.8 八戸市内丸*=1.8 青森南部町苫米地*=1.7 五戸町古館=1.6 野辺地町田狭沢*=1.5 東通村砂子又沢内*=1.5 1 八戸市湊町=1.4 八戸市南郷*=1.4 三戸町在府小路町*=1.3 青森南部町沖田面*=1.3 野辺地町野辺地*=1.3 五戸町倉石中市*=1.2 十和田市奥瀬*=1.1 十和田市西十二番町*=1.1 東北町上北南*=1.1 おいらせ町中下田*=1.1 三沢市桜町*=1.0 平内町東田沢*=1.0 むつ市金谷*=1.0 七戸町森ノ上*=1.0 六戸町犬落瀬*=0.9 おいらせ町上明堂*=0.9 横浜町林ノ脇*=0.9 十和田市西二番町*=0.8 むつ市金曲=0.8 七戸町七戸*=0.8 むつ市川内町*=0.8 東通村白糠*=0.8 田子町田子*=0.8 八戸市島守=0.8 東北町塔ノ沢山*=0.8 東通村砂子又蒲谷地=0.7 横浜町寺下*=0.6 佐井村長後*=0.6 六ヶ所村尾駈=0.6 青森市中央*=0.5 岩手県 2 盛岡市薮川*=1.5 1 二戸市浄法寺町*=1.4 八幡平市田頭*=1.4 軽米町軽米*=1.4 九戸村伊保内*=1.4 盛岡市渋民*=1.1 一戸町高善寺*=1.1 岩手町五日市*=1.0 二戸市福岡=1.0 葛巻町葛巻元木=0.9 岩手洋野町種子=0.9 盛岡市山王町=0.9 八幡平市吠田*=0.9 久慈市枝成沢=0.8 八幡平市大更=0.7 岩手洋野町大野*=0.7 矢巾町南矢幅*=0.7 盛岡市馬場町*=0.6 二戸市石切所*=0.6 久慈市川崎町=0.5 北海道 1 函館市泊町*=1.2 宮城県 1 登米市迫町*=0.6 秋田県 1 小坂町小坂砂森*=0.7 北秋田市花園町=0.5				
120	22 03 11	青森県東方沖 北海道	41° 04.0' N	142° 26.5' E	37km	M: 4.5
		2 函館市泊町*=1.8 函館市新浜町*=1.7				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		青森県 1 函館市日ノ浜町*=0.9 千歳市北栄=0.6 厚真町鹿沼=0.6 浦河町潮見=0.5 浦河町築地*=0.5 苫小牧市旭町*=0.5 新千歳空港=0.5 安平町早来北進*=0.5 安平町追分柏が丘*=0.5 新ひだか町三石旭町*=0.5 2 野辺地町野辺地*=2.4 野辺地町田狭沢*=2.3 平内町小湊=2.1 八戸市湊町=2.0 八戸市南郷*=2.0 青森南部町平*=2.0 青森南部町沖田面*=1.9 七戸町森ノ上*=1.9 東北町塔ノ沢山*=1.8 五戸町古館=1.8 五戸町倉石中市*=1.8 八戸市内丸*=1.8 階上町道仏*=1.8 東通村砂子又沢内*=1.8 平内町東田沢*=1.7 青森南部町苦米地*=1.7 横浜町林ノ脇*=1.6 東北町上北南*=1.6 七戸町七戸*=1.5 東通村白糠*=1.5 外ヶ浜町蟹田*=1.5 岩手県 1 おいらせ町中下田*=1.4 むつ市金曲=1.4 むつ市金谷*=1.4 むつ市川内町*=1.4 三沢市桜町*=1.3 六ヶ所村尾駈=1.2 三戸町在府小路町*=1.2 青森市中央*=1.2 十和田市奥瀬*=1.2 青森市花園=1.2 むつ市大畑町中島*=1.2 横浜町寺下*=1.2 東通村砂子又蒲谷地=1.1 おいらせ町上明堂*=1.0 佐井村長後*=1.0 蓬田村蓬田*=0.9 むつ市脇野沢*=0.9 十和田市西二番町*=0.8 十和田市西十二番町*=0.8 六ヶ所村出戸=0.8 六戸町犬落瀬*=0.8 東通村尻屋*=0.8 むつ市大畑町奥薬研=0.7 つがる市市柏*=0.6 新郷村戸来*=0.6 2 二戸市浄法寺町*=1.5 軽米町軽米*=1.5 1 盛岡市薮川*=1.2 二戸市福岡=1.1 一戸町高善寺*=1.1 八幡平市田頭*=1.1 久慈市枝成沢=0.8 二戸市石切所*=0.8 岩手町五日市*=0.8 岩手洋野町種市=0.6 盛岡市山王町=0.5 葛巻町葛巻元木=0.5 九戸村伊保内*=0.5				
121	22 18 58	沖縄本島近海 沖縄県 1 国頭村奥=0.5	26° 46.7' N	128° 18.7' E	15km	M: 2.4
122	22 20 34	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本中央区大江*=1.1 熊本西区春日=1.0	32° 46.5' N	130° 43.4' E	6km	M: 2.1
123	22 21 13	浦河沖 北海道 2 新冠町北星町*=1.5 浦河町潮見=1.5 1 浦河町野深=1.4 浦河町築地*=1.4 新ひだか町三石旭町*=1.2 えりも町目黒*=1.1 様似町栄町*=0.9 新ひだか町静内山手町=0.9 えりも町えりも岬*=0.9 幕別町忠類錦町*=0.9 新ひだか町静内御幸町*=0.8 十勝大樹町生花*=0.8 広尾町白樺通=0.8 広尾町並木通=0.7 新ひだか町静内御園=0.6 函館市川汲町*=0.5	42° 01.7' N	142° 35.7' E	64km	M: 4.1
124	23 00 25	福島県沖 福島県 2 浪江町幾世橋=1.8 1 檜葉町北田*=1.4 いわき市三和町=1.2 川俣町樋ノ口*=1.2 双葉町両竹*=1.2 田村市都路町*=1.1 小野町小野新町*=1.1 国見町藤田*=1.0 川内村上川内早渡*=1.0 福島広野町下北迫大谷地原*=1.0 富岡町本岡*=0.9 川内村下川内=0.8 田村市船引町=0.8 須賀川市岩瀬支所*=0.8 大熊町野上*=0.7 南相馬市原町区高見町*=0.7 南相馬市鹿島区西町*=0.7 川内村上川内小山平*=0.6 宮城県 1 岩沼市桜*=0.6	37° 15.5' N	141° 32.3' E	30km	M: 4.2
125	23 15 11	宗谷東方沖 北海道 2 猿払村浅茅野*=1.7 1 猿払村浜鬼志別*=1.4	45° 23.1' N	142° 19.8' E	0km	M: 3.4
126	23 15 39	長野県南部 長野県 1 木曽町三岳*=1.3 王滝村役場*=0.9 王滝村鈴ヶ沢*=0.6	35° 52.9' N	137° 33.9' E	6km	M: 2.7
127	24 13 38	千葉県東方沖 千葉県 1 香取市仁良*=0.7	35° 29.0' N	140° 57.9' E	21km	M: 3.3
128	24 22 12	三陸沖 北海道 1 函館市泊町*=0.7 青森県 1 青森南部町平*=0.8 七戸町森ノ上*=0.7 八戸市南郷*=0.6 五戸町古館=0.5 岩手県 1 盛岡市薮川*=0.5	40° 18.2' N	143° 12.1' E	12km	M: 4.4
129	26 00 00	福島県沖 福島県 1 小野町小野新町*=1.2 双葉町両竹*=1.2 大熊町野上*=1.0 須賀川市八幡山*=0.9 浪江町幾世橋=0.9 川内村下川内=0.8 川内村上川内小山平*=0.8 田村市都路町*=0.8 檜葉町北田*=0.8 富岡町本岡*=0.8 田村市船引町=0.6 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5 天栄村下松本*=0.5	37° 21.2' N	141° 39.6' E	31km	M: 4.1
130	26 00 43	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本中央区大江*=0.6	32° 48.2' N	130° 45.5' E	5km	M: 1.4
131	26 07 36	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.9	32° 46.6' N	130° 40.4' E	10km	M: 2.0
132	26 11 52	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=0.7 大船渡市猪川町=0.5	38° 44.2' N	141° 48.6' E	67km	M: 3.5
133	26 14 45	宮城県沖 岩手県 1 大船渡市猪川町=1.1 一関市室根町*=1.1 大船渡市大船渡町=0.9 一関市千厩町*=0.8 釜石市中妻町*=0.8 釜石市只越町=0.7 陸前高田市高田町*=0.6 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*=1.1 気仙沼市赤岩=0.9 気仙沼市笹が陣*=0.7 登米市東和町*=0.5	38° 55.1' N	141° 55.9' E	51km	M: 3.6

地震番号	震源日時分	震央地名各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模		
134	26 17 06	南三陸町志津川=0.5						
		岩手県沖	40° 09.9' N	142° 27.3' E	36km	M: 5.2		
		岩手県						
		3 普代村銅屋*=3.1 盛岡市藪川*=2.5						
		2 野田村野田*=2.4 盛岡市渋民*=2.2 盛岡市山王町=2.0 矢巾町南矢幅*=2.0						
		紫波町紫波中央駅前*=1.9 滝沢市鶴飼*=1.8 一関市花泉町*=1.8 北上市相去町*=1.7						
		八幡平市田頭*=1.7 奥州市江刺区*=1.6 宮古市五月町*=1.6 八幡平市野駄*=1.6 宮古市川井*=1.6						
		宮古市田老*=1.6 久慈市川崎町=1.6 二戸市浄法寺町*=1.5 軽米町軽米*=1.5 奥州市胆沢区*=1.5						
		1 宮古市鉾ヶ崎=1.4 釜石市中妻町*=1.4 花巻市石鳥谷町*=1.4 花巻市材木町*=1.4						
		花巻市東和町*=1.4 遠野市青笹町*=1.4 一関市千厩町*=1.4 宮古市区界*=1.3 久慈市枝成沢=1.3						
135	26 23 18	北上市柳原町=1.3 山田町八幡町=1.3 山田町大沢*=1.3 一関市室根町*=1.3 金ヶ崎町西根*=1.3						
		平泉町平泉*=1.3 奥州市前沢区*=1.3 大船渡市大船渡町=1.3 住田町世田米*=1.3 雫石町千刈田=1.3						
		岩手町五日市*=1.3 八幡平市叭田*=1.3 盛岡市馬場町*=1.2 久慈市長内町*=1.2						
		一戸町高善寺*=1.2 八幡平市大更=1.2 奥州市水沢区佐倉河*=1.2 奥州市衣川区*=1.2						
		釜石市只越町=1.1 遠野市宮守町*=1.1 宮古市茂市*=1.1 奥州市水沢区大鐘町=1.1 花巻市大迫町=1.1						
		田野畑村田野畑=1.1 一関市竹山町*=1.0 岩泉町岩泉*=1.0 一関市藤沢町*=1.0 九戸村伊保内*=1.0						
		大槌町小鍬*=1.0 花巻市大迫総合支所*=1.0 田野畑村役場*=1.0 雫石町西根上駒木野=1.0						
		葛巻町葛巻元木=1.0 一関市大東町=0.9 岩手洋野町種市=0.9 西和賀町沢内川舟*=0.9						
		岩手洋野町大野*=0.9 一関市東山町*=0.9 大船渡市盛町*=0.8 二戸市福岡=0.8 二戸市石切所*=0.8						
		葛巻町消防分署*=0.7 葛巻町役場*=0.7 宮古市長沢=0.6 陸前高田市高田町*=0.6						
136	26 23 34	久慈市山形町*=0.6 岩泉町大川*=0.6 大船渡市猪川町=0.6						
		青森県						
		2 階上町道仏*=2.2 八戸市南郷*=2.0 青森南部町苦米地*=1.9 八戸市内丸*=1.9 五戸町古館=1.8						
		野辺地町田狭沢*=1.7 青森南部町平*=1.7 七戸町森ノ上*=1.6 東北町上北南*=1.6						
		おいらせ町中下田*=1.6 八戸市湊町=1.5 東通村砂子又沢内*=1.5 野辺地町野辺地*=1.5						
		1 三沢市桜町*=1.4 七戸町七戸*=1.4 六戸町犬落瀬*=1.4 三戸町在府小路町*=1.3						
		おいらせ町上明堂*=1.3 五戸町倉中市*=1.2 むつ市金曲=1.2 むつ市金谷*=1.2 青森市花園=1.2						
		東通村砂子又蒲谷地=1.1 横浜町林ノ脇*=1.1 十和田市西十二番町*=1.1 十和田市奥瀬*=1.1						
		青森市中央*=1.1 外ヶ浜町蟹田*=1.1 十和田市西二番町*=1.1 むつ市川内町*=1.1						
		青森南部町沖田面*=1.0 六ヶ所村出戸*=1.0 横浜町寺下*=1.0 六ヶ所村尾駈=1.0 田子町田子*=0.9						
137	26 23 34	東北町塔ノ沢山*=0.9 東通村白糠*=0.8 平内町東田沢*=0.8 八戸市島守=0.8 新郷村戸来*=0.7						
		佐井村長後*=0.5						
		宮城県						
		2 栗原市若柳*=1.9 登米市迫町*=1.8 涌谷町新町裏=1.7 登米市米山町*=1.7 登米市南方町*=1.7						
		石巻市桃生町*=1.7 登米市登米町*=1.5 宮城美里町木間塚*=1.5						
		1 栗原市志波姫*=1.4 栗原市金成*=1.4 大崎市古川三日町=1.4 丸森町鳥屋*=1.4 石巻市前谷地*=1.4						
		栗原市一迫*=1.3 登米市中田町=1.3 大崎市古川北町*=1.3 石巻市大街道南*=1.3						
		気仙沼市唐桑町*=1.2 栗原市築館*=1.2 大崎市松山*=1.2 大崎市田尻*=1.2 東松島市矢本*=1.2						
		松島町高城=1.2 気仙沼市赤岩=1.1 栗原市高清水*=1.0 岩沼市桜*=1.0 気仙沼市笹が陣*=1.0						
		栗原市栗駒=1.0 栗原市花山*=1.0 大河原町新南*=0.9 南三陸町志津川=0.9 利府町利府*=0.9						
138	26 23 34	栗原市鶯沢*=0.9 大崎市鹿島台*=0.9 石巻市相野谷*=0.8 大崎市古川大崎=0.8						
		宮城加美町中新田*=0.8 宮城美里町北浦*=0.8 色麻町四竈*=0.7 名取市増田*=0.7						
		蔵王町円田*=0.7 栗原市瀬峰*=0.6 登米市東和町*=0.5 宮城加美町小野田*=0.5						
		北海道						
		1 函館市泊町*=1.4 函館市新浜町*=1.2 様似町栄町*=0.7						
		秋田県						
		1 横手市大雄*=1.3 大仙市高梨*=1.1 大館市南城*=0.9 大仙市刈和野*=0.8 大館市比内町扇田*=0.7						
		北秋田市花園町=0.7 秋田市河辺和田*=0.6 横手市中央町*=0.5 由利本荘市西目町沼田*=0.5						
		羽後町西馬音内*=0.5 秋田美郷町土崎*=0.5 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*=0.5 大館市早口*=0.5						
		山形県						
1 中山町長崎*=1.4 酒田市飛鳥*=0.9								
139	26 23 34	茨城県南部	35° 53.7' N	140° 15.1' E	37km	M: 3.0		
		茨城県						
		1 笠間市石井*=0.8 桜川市岩瀬*=0.8 石岡市柿岡=0.6 小美玉市小川*=0.5 つくば市小茎*=0.5						
		筑西市舟生=0.5 小美玉市上玉里*=0.5						
		千葉県						
		1 野田市鶴奉*=0.5 八千代市大和田新田*=0.5						
		140	26 23 34	熊本県熊本地方	32° 29.1' N	130° 37.7' E	9km	M: 3.9
				熊本県				
				3 八代市坂本町*=2.5				
				2 八代市平山新町=2.2 八代市松江城町*=2.2 宇城市松橋町=2.1 上天草市大矢野町=2.1				
宇城市小川町*=2.0 宇城市豊野町*=2.0 氷川町島地*=2.0 八代市鏡町*=2.0 八代市千丁町*=1.9								
上天草市松島町*=1.9 宇城市不知火町*=1.8 宇城市三角町*=1.8 八代市東陽町*=1.7								
宇土市新小路町=1.7 熊本南区富合町*=1.6 山都町下馬尾*=1.6 熊本美里町永富*=1.6								
熊本西区春日=1.5								
1 八代市泉支所*=1.4 甲佐町豊内*=1.4 氷川町宮原*=1.4 上天草市姫戸町*=1.4 五木村甲*=1.3								
天草市五和町*=1.3 御船町御船*=1.1 湯前町役場*=1.1 熊本南区城南町*=1.0								
141	26 23 34	熊本北区植木町*=1.0 あさぎり町須恵*=1.0 水上村岩野*=1.0 熊本高森町高森*=1.0						
		熊本美里町馬場*=1.0 南阿蘇村河陽*=1.0 芦北町芦北=0.9 芦北町田浦町*=0.9 菊池市旭志*=0.9						
		八代市泉町=0.9 嘉島町上島*=0.9 天草市有明町*=0.8 あさぎり町岡原*=0.7 益城町木山=0.7						
		多良木町上球磨消防署*=0.7 あさぎり町免田東*=0.7 多良木町多良木=0.6 球磨村渡*=0.6						
		水俣市牧ノ内*=0.6 水俣市陣内*=0.6						
		福岡県						
		1 みやま市高田町*=0.6 八女市矢部村*=0.6						
		長崎県						
		1 雲仙市小浜町雲仙=1.2 南島原市北有馬町*=1.1 南島原市口之津町*=1.0 南島原市加津佐町*=1.0						
		雲仙市雲仙出張所*=0.9 南島原市南有馬町*=0.7 諫早市多良見町*=0.6 大村市玖島*=0.5						
142	26 23 34	宮崎県						
		1 椎葉村下福良*=1.1 延岡市北川町川内名白石*=0.9 椎葉村総合運動公園*=0.9 宮崎美郷町田代*=0.9						
		国富町本庄*=0.7 延岡市北方町卯*=0.6 西都市上の宮*=0.6 宮崎郡農町役場*=0.6						
		日之影町岩井川*=0.6 川南町川南*=0.5 小林市中原*=0.5						
		鹿児島県						
		1 伊佐市大口山野=0.5 伊佐市大口鳥巢*=0.5						

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
137	26 23 40	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市坂本町*=0.8	32° 29.0' N	130° 37.6' E	9km	M: 2.6
138	27 10 33	根室地方南部 北海道 1 根室市瑤瑤瑯*=1.2 根室市落石東*=0.6	43° 21.4' N	145° 47.0' E	68km	M: 3.6
139	27 12 35	静岡県中部 静岡県 1 浜松天竜区春野町*=0.9 島田市川根町家山=0.5	34° 59.2' N	138° 13.0' E	19km	M: 3.1
140	27 20 59	大阪湾 大阪府 1 泉大津市東雲町*=1.4 大阪堺市堺区山本町*=1.4 大阪堺市中区深井清水町=1.3 大阪堺市堺区大浜南町*=1.3 忠岡町忠岡東*=1.2 岸和田市役所*=1.1 大阪堺市西区鳳東町*=1.1 熊取町野田*=1.0 岸和田市畑町*=1.0 泉佐野市市場*=0.8 松原市阿保*=0.8 大阪和泉市府中町*=0.8 高石市加茂*=0.8 大阪城東区放出西*=0.8 大阪東成区東中本*=0.8 岸和田市岸城町=0.6 富田林市高辺台*=0.6 大阪東住吉区杭全*=0.6 貝塚市畠中*=0.5 千早赤阪村水分*=0.5 大阪堺市南区桃山台*=0.5 兵庫県 1 神戸兵庫区上沢通*=0.9 神戸長田区神楽町*=0.7 神戸北区藤原台南町*=0.6 三田市下深田=0.5 奈良県 1 斑鳩町法隆寺西*=1.1 奈良市半田開町=0.8 奈良川西町結崎*=0.6 上牧町上牧*=0.6 和歌山県 1 紀の川市粉河=0.5	34° 30.4' N	135° 19.7' E	11km	M: 3.4
141	28 04 05	宮城県沖 岩手県 1 大船渡市大船渡町=1.1 一関市千厩町*=0.7 一関市藤沢町*=0.6 住田町世田米*=0.6 一関市室根町*=0.6 一関市東山町*=0.5 一関市大東町=0.5 宮城県 1 仙台宮城野区苦竹*=0.8 石巻市泉町=0.7 石巻市大街道南*=0.6 東松島市矢本*=0.5 松島町高城=0.5	38° 21.1' N	141° 46.7' E	58km	M: 3.7
142	28 05 02	徳島県北部 高知県 3 土佐町土居*=3.1 2 大川村小松*=2.1 本山町本山*=2.0 大豊町高須*=1.8 いの町上八川*=1.6 いの町脇ノ山*=1.5 香美市物部町大栃*=1.5 1 安芸市西浜=1.4 馬路村馬路*=1.4 大豊町川口*=1.3 高知市高須東町*=1.2 香美市香北町美良布*=1.2 高知市丸ノ内*=1.1 高知香南市赤岡支所*=1.1 香美市物部町神池=1.1 安田町安田*=1.0 高知市池*=1.0 南国市オオソネ*=1.0 佐川町役場*=1.0 日高村本郷*=1.0 香美市土佐山田町岩積*=1.0 高知市土佐山*=0.9 いの町長沢*=0.9 高知市春野町芳原=0.9 土佐市蓮池*=0.8 高知香南市吉川町吉原*=0.8 安芸市矢ノ丸*=0.8 東洋町生見*=0.8 高知市本町=0.7 高知香南市野市町西野*=0.7 香美市土佐山田町宝町=0.7 中土佐町久礼*=0.7 奈半利町役場*=0.6 広島県 2 福山市東桜町*=1.7 福山市沼隈町*=1.6 1 福山市神辺町*=1.4 福山市駅家町*=1.3 尾道市向島町*=1.2 福山市松永町=1.2 尾道市瀬戸田町*=1.0 福山市内海町*=0.9 福山市新市町*=0.9 尾道市因島土生町*=0.9 尾道市久保*=0.9 神石高原町油木*=0.7 福山市鞆町*=0.7 広島府中市上下町上下*=0.6 尾道市御調町*=0.6 安芸高田市向原町長田*=0.5 三原市円一町=0.5 徳島県 2 徳島三好市池田総合体育館=2.3 徳島三好市西祖谷山村*=1.9 那賀町木頭和無田*=1.6 1 徳島三好市池田中学校*=1.2 那賀町上那賀*=1.2 牟岐町中村*=1.1 阿波市阿波町*=1.1 東みよし町屋間*=1.0 美波町奥河内*=1.0 海陽町大里*=1.0 海陽町奥浦*=1.0 美馬市穴吹ふれスポ公園=1.0 美馬市木屋平*=1.0 つるぎ町貞光*=1.0 つるぎ町半田*=1.0 阿南市山口町*=0.8 那賀町延野*=0.7 美波町西の地*=0.7 阿波市吉野町*=0.7 海陽町穴喰浦*=0.7 徳島三好市東祖谷*=0.7 徳島三好市山城町*=0.7 徳島三好市井川町*=0.7 那賀町和食*=0.7 美馬市穴吹町*=0.6 勝浦町久国*=0.6 吉野川市山川町*=0.6 美馬市脇町=0.6 美馬市美馬町*=0.6 徳島三好市三野町*=0.5 香川県 2 三豊市高瀬町*=2.1 三豊市三野町*=2.1 観音寺市瀬戸町*=2.0 三豊市豊中町*=1.9 観音寺市坂本町=1.8 綾川町山田下*=1.7 多度津町家中=1.7 琴平町榎井*=1.6 まんのう町生間*=1.6 三豊市山本町*=1.5 1 観音寺市豊浜町*=1.4 多度津町栄町*=1.4 三豊市財田町*=1.4 三豊市詫間町*=1.3 丸亀市新田町*=1.3 綾川町滝宮*=1.2 観音寺市大野原町*=1.2 丸亀市綾歌町*=1.1 まんのう町吉野下*=1.1 高松市香川町*=1.0 丸亀市飯山町*=1.0 高松市扇町*=0.9 高松市国分寺町*=0.9 小豆島町池田*=0.9 善通寺市文京町*=0.8 高松市伏石町=0.8 土庄町甲=0.8 丸亀市大手町*=0.7 三豊市仁尾町*=0.7 高松空港=0.7 高松市庵治町*=0.7 東かがわ市西村=0.7 さぬき市長尾総合公園*=0.7 小豆島町安田*=0.7 坂出市久米町*=0.6 直島町役場*=0.6 さぬき市長尾東*=0.6 さぬき市寒川町*=0.6 高松市香南町*=0.6 さぬき市大川町*=0.5 まんのう町造田*=0.5 愛媛県 2 新居浜市別子山*=1.9 1 今治市吉海町*=1.2 四国中央市新宮町*=1.1 四国中央市土居町*=1.1 今治市上浦町*=1.0 新居浜市中筋町*=1.0 四国中央市金生町*=1.0 上島町岩城*=1.0 今治市大三島町*=0.9 今治市宮窪町*=0.8 四国中央市三島宮川*=0.8 上島町魚島*=0.7 上島町弓削*=0.6 今治市南宝来町二丁目=0.6 西条市小松町*=0.5 久万高原町久万*=0.5 岡山県 1 里庄町里見*=1.2 倉敷市児島小川町*=1.1 玉野市宇野*=1.0 倉敷市下津井*=1.0 矢掛町矢掛*=1.0 浅口市天草公園=1.0 岡山南区片岡*=0.9 浅口市鴨方町*=0.8 岡山北区新屋敷*=0.8 岡山北区御津金川*=0.8 笠岡市笠岡*=0.8 笠岡市殿川*=0.8 浅口市寄島町*=0.8 浅口市金光町*=0.7 倉敷市白楽町*=0.7 岡山北区大供*=0.7 倉敷市沖*=0.7 岡山北区桑田町=0.6 倉敷市新田=0.6 総社市中央*=0.5	33° 55.4' N	133° 43.8' E	45km	M: 3.9

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
143	28 06 39	根室半島南東沖 北海道 1 浜中町霧多布＊=1.2	43° 03.0' N	145° 35.7' E	50km	M: 3.3
144	28 08 19	留萌地方南部 北海道 1 小平町達布＊=0.5	44° 02.0' N	141° 49.2' E	4km	M: 1.7
145	28 22 40	秋田県内陸南部 青森県 3 階上町道仏＊=3.0 青森南部町平＊=2.7 八戸市南郷＊=2.6 2 青森南部町苦米地＊=2.3 八戸市島守=2.1 八戸市内丸＊=2.1 八戸市湊町=2.0 五戸町古館=2.0 東通村砂子又沢内＊=1.7 東北町上北南＊=1.6 おいらせ町中下田＊=1.6 六戸町大落瀬＊=1.5 野辺地町田狭沢＊=1.5 1 七戸町森ノ上＊=1.4 おいらせ町上明堂＊=1.4 三戸町在府小路町＊=1.3 五戸町倉中市＊=1.3 三沢市桜町＊=1.3 むつ市金曲=1.3 むつ市金谷＊=1.2 七戸町七戸＊=1.2 野辺地町野辺地＊=1.1 東通村白糠＊=1.1 六ヶ所村尾駈=1.1 十和田市西二番町＊=1.0 横浜町林ノ脇＊=1.0 青森南部町沖田面＊=1.0 六ヶ所村出戸＊=1.0 十和田市西十二番町＊=0.9 東通村砂子又蒲谷地=0.9 東北町塔ノ沢山＊=0.8 十和田市奥瀬＊=0.8 田子町田子＊=0.8 むつ市川内町＊=0.8 大間町大間＊=0.7 横浜町寺下＊=0.7 外ヶ浜町蟹田＊=0.7 岩手県 3 釜石市中妻町＊=3.4 住田町世田米＊=3.2 大船渡市大船渡町=3.0 山田町大沢＊=2.9 普代村銅屋＊=2.8 久慈市川崎町=2.8 盛岡市薮川＊=2.8 野田村野田＊=2.7 久慈市枝成沢=2.7 遠野市青笹町＊=2.6 宮古市五月町＊=2.6 岩泉町岩泉＊=2.5 一関市室根町＊=2.5 久慈市長内町＊=2.5 宮古市川井＊=2.5 岩手野野町種市=2.5 2 宮古市鯉ヶ崎=2.4 宮古市田老＊=2.4 陸前高田市高田町＊=2.4 一関市千厩町＊=2.4 岩手野野町大野＊=2.3 矢巾町南矢幅＊=2.3 宮古市茂市＊=2.3 山田町八幡町=2.3 宮古市区界＊=2.2 大船渡市猪川町=2.2 一関市大東町=2.1 釜石市只越町=2.1 大槌町小鍬＊=2.1 遠野市宮守町＊=2.0 軽米町軽米＊=2.0 一関市藤沢町＊=2.0 一戸町高善寺＊=1.9 田野畑村田野畑=1.9 一関市東山町＊=1.9 盛岡市山王町=1.9 花巻市大迫町=1.9 花巻市東和町＊=1.9 岩手町五日市＊=1.9 盛岡市洪民＊=1.8 葛巻町役場＊=1.8 北上市相去町＊=1.8 宮古市長沢=1.8 奥州市江刺区＊=1.8 奥州市衣川区＊=1.8 奥州市前沢区＊=1.7 奥州市胆沢区＊=1.7 葛巻町消防分署＊=1.7 九戸村伊保内＊=1.7 八幡平市田頭＊=1.7 葛巻町葛巻元木=1.6 岩泉町大川＊=1.6 平泉町平泉＊=1.6 二戸市石切所＊=1.6 二戸市浄法寺町＊=1.5 田野畑村役場＊=1.5 花巻市石鳥谷町＊=1.5 花巻市大迫総合支所＊=1.5 花巻市材木町＊=1.5 金ヶ崎町西根＊=1.5 1 久慈市山形町＊=1.4 二戸市福岡=1.4 紫波町紫波中央駅前＊=1.4 滝沢市鶴飼＊=1.4 西和賀町沢内川舟＊=1.3 盛岡市馬場町＊=1.3 八幡平市大更=1.3 一関市花泉町＊=1.3 北上市柳原町=1.2 八幡平市野駄＊=1.2 奥州市水沢区大鐘町=1.2 奥州市水沢区佐倉河＊=1.2 西和賀町沢内太田＊=1.1 西和賀町川尻＊=1.0 一関市竹山町＊=1.0 雫石町千刈田=0.9 八幡平市叭田＊=0.9 一関市川崎町＊=0.9 宮城県 3 気仙沼市唐桑町＊=2.8 気仙沼市笹が陣＊=2.6 石巻市桃生町＊=2.6 2 気仙沼市赤岩=2.4 登米市豊里町＊=2.2 登米市南方町＊=2.2 南三陸町志津川=2.2 涌谷町新町裏=2.0 登米市中田町=2.0 石巻市大街道南＊=1.9 石巻市北上町＊=1.9 女川町女川浜＊=1.8 登米市石越町＊=1.8 大崎市田尻＊=1.8 登米市米山町＊=1.7 登米市迫町＊=1.7 栗原市若柳＊=1.7 登米市東和町＊=1.7 気仙沼市本吉町西川内=1.6 気仙沼市本吉町津谷＊=1.6 南三陸町歌津＊=1.6 宮城美里町北浦＊=1.6 大崎市古川北町＊=1.6 大崎市松山＊=1.6 大崎市古川三日町=1.5 登米市登米町＊=1.5 色麻町四竈＊=1.5 登米市津山町＊=1.5 栗原市築館＊=1.5 1 栗原市栗駒=1.4 栗原市一迫＊=1.4 石巻市泉町=1.4 東松島市矢本＊=1.4 宮城加美町中新田＊=1.3 大崎市鹿島台＊=1.3 石巻市前谷地＊=1.3 石巻市雄勝町＊=1.3 塩竈市旭町＊=1.3 東松島市小野＊=1.2 栗原市志波姫＊=1.2 栗原市金成＊=1.2 大崎市古川大崎=1.2 石巻市相野谷＊=1.2 沼沢市桜＊=1.1 栗原市瀬峰＊=1.1 宮城美里町木間塚＊=1.1 大衡村大衡＊=1.0 名取市増田＊=1.0 栗原市花山＊=1.0 栗原市高清水＊=1.0 栗原市鶯沢＊=0.9 石巻市鮎川浜＊=0.9 大郷町粕川＊=0.8 亘理町下小路＊=0.8 仙台宮城野区苦竹＊=0.8 松島町高城=0.8 石巻市大瓜=0.7 角田市角田＊=0.5 北海道 2 浦幌町桜町＊=1.6 1 標津町北2条＊=1.1 別海町西春別＊=1.0 別海町常盤=0.9 標茶町塘路＊=0.8 函館市泊町＊=0.7 様似町栄町＊=0.7 浦河町潮見=0.5 えりも町えりも岬＊=0.5 別海町本別海＊=0.5 秋田県 2 由利本荘市前郷＊=2.3 大仙市刈和野＊=2.3 秋田市雄和妙法＊=2.2 大仙市高梨＊=2.2 由利本荘市桜小路＊=1.9 由利本荘市尾崎＊=1.9 横手市雄物川町今宿=1.8 横手市大雄＊=1.8 東成瀬村田子内＊=1.8 秋田美郷町六郷東根=1.8 秋田市河辺和田＊=1.7 男鹿市角間崎＊=1.6 由利本荘市東由利老方＊=1.6 由利本荘市島海町伏見＊=1.6 横手市平鹿町浅舞＊=1.6 湯沢市寺沢＊=1.6 大仙市大曲花園町＊=1.6 由利本荘市西目町沼田＊=1.5 由利本荘市矢島町矢島町＊=1.5 1 三種町鶴川＊=1.4 秋田市雄和女米木=1.4 由利本荘市石脇=1.4 大潟村中央＊=1.3 大館市早口＊=1.3 湯沢市佐竹町＊=1.3 能代市追分町＊=1.2 井川町北川尻＊=1.2 三種町豊岡＊=1.2 秋田市山王=1.2 由利本荘市岩谷町＊=1.2 横手市大森町＊=1.2 湯沢市沖鶴=1.2 湯沢市皆瀬＊=1.2 羽後町西馬音内＊=1.2 仙北市西木町上桧木内＊=1.2 大館市桜町＊=1.1 北秋田市新田目＊=1.1 横手市増田町増田＊=1.1 三種町鹿渡＊=1.1 大仙市北長野＊=1.1 にかほ市象潟町浜ノ田＊=1.0 大館市中城＊=1.0 能代市緑町=1.0 北秋田市米内沢＊=1.0 横手市中央町＊=1.0 横手市十文字町＊=1.0 東成瀬村椿川＊=1.0 仙北市角館町東勝楽丁=1.0 仙北市角館町小勝田＊=1.0 能代市二ツ井町上台＊=0.9 横手市山内土沢＊=0.9 にかほ市平沢＊=0.9 八郎潟町大道＊=0.9 湯沢市横堀＊=0.9 秋田美郷町土崎＊=0.9 小坂町小坂上谷地＊=0.9 北秋田市阿仁銀山＊=0.9 小坂町小坂砂森＊=0.8 北秋田市花園町=0.8 大仙市神宮寺＊=0.8 大仙市協和境野田＊=0.8 大仙市太田町太田＊=0.8 五城目町西磯ノ目=0.8 湯上市天王＊=0.8 湯沢市川連町＊=0.8 大仙市南外＊=0.7 大館市比内町扇田＊=0.7 秋田市八橋運動公園＊=0.7 大館市比内町味噌内=0.6 横手市安田柳堤地内＊=0.6 仙北市西木町上荒井＊=0.6 三種町ことおか中央公園＊=0.6 にかほ市金浦＊=0.5 山形県 2 酒田市亀ヶ崎=1.6 1 三川町横山＊=1.3 山辺町緑ヶ丘＊=1.0 鶴岡市藤島＊=0.9 遊佐町遊佐=0.9 中山町長崎＊=0.9				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
146	29 02 43	福島県 茨城県 茨城県北部 茨城県 栃木県	酒田市山田*=-0.8 遊佐町舞鶴*=-0.7 庄内町狩川*=-0.6 庄内町余目*=-0.6 酒田市飛鳥*=-0.6 1 玉川村小高*=-0.8 田村市都路町*=-0.7 檜葉町北田*=-0.7 相馬市中村*=-0.6 南相馬市鹿島区西町*=-0.6 いわき市三和町=-0.5 南相馬市原町区高見町*=-0.5 1 笠間市石井*=-0.6 36° 46.5' N 140° 34.0' E 9km M: 3.4 2 日立市助川小学校*=-2.2 常陸太田市大中町*=-1.7 日立市十王町友部*=-1.5 高萩市下手綱*=-1.5 1 常陸大宮市山方*=-1.3 高萩市安良川*=-1.2 常陸大宮市野口*=-1.2 日立市役所*=-1.1 笠間市石井*=-1.1 笠間市笠間*=-1.0 常陸大宮市上小瀬*=-1.0 ひたちなか市南神敷台*=-1.0 ひたちなか市東石川*=-0.8 桜川市羽田*=-0.8 東海村東海*=-0.7 土浦市常名*=-0.7 笠間市下郷*=-0.7 常陸太田市町田町*=-0.7 城里町徳蔵*=-0.6 城里町石塚*=-0.6 常陸太田市高柿町*=-0.6 桜川市岩瀬*=-0.6 常陸太田市町屋町=-0.6 常陸大宮市北町*=-0.6 1 宇都宮市明保野町=0.8			
147	29 03 01	茨城県北部 茨城県	36° 45.6' N 140° 34.1' E 9km M: 3.1 2 高萩市下手綱*=-1.8 1 日立市助川小学校*=-1.4 日立市十王町友部*=-1.3 常陸太田市大中町*=-1.3 高萩市安良川*=-1.3 常陸太田市町田町*=-1.1 笠間市石井*=-0.9 城里町石塚*=-0.9 常陸大宮市山方*=-0.8 土浦市常名=0.8 常陸太田市高柿町*=-0.7 日立市役所*=-0.7 水戸市内原町*=-0.6 笠間市下郷*=-0.6 ひたちなか市東石川*=-0.6 常陸大宮市北町*=-0.5 笠間市笠間*=-0.5			
148	29 03 27	岩手県沖 青森県 岩手県 北海道 宮城県	40° 13.5' N 142° 20.7' E 36km M: 4.2 2 階上町道仏*=-1.9 八戸市南郷*=-1.6 八戸市湊町=1.5 八戸市内丸*=-1.5 1 五戸町古館=1.4 青森南部町平*=-1.4 三沢市桜町*=-1.3 野辺地町田狭沢*=-1.2 青森南部町苦米地*=-1.2 三戸町在府小路町*=-1.2 東通村砂子又沢内*=-1.1 東北町上北南*=-1.0 野辺地町野辺地*=-1.0 おいらせ町中下田*=-1.0 七戸町森ノ上*=-1.0 青森南部町沖田面*=-1.0 七戸町七戸*=-0.9 六戸町大落瀬*=-0.8 おいらせ町上明堂*=-0.8 五戸町倉石中市*=-0.7 横浜町林ノ脇*=-0.5 十和田市西二番町*=-0.5 2 盛岡市薮川*=-2.1 盛岡市洪民*=-1.9 普代村銅屋*=-1.8 八幡平市田頭*=-1.6 二戸市浄法寺町*=-1.5 1 八幡平市叭田*=-1.4 宮古市五月町*=-1.3 滝沢市鶴飼*=-1.3 盛岡市山王町=1.2 軽米町軽米*=-1.2 田野畑村役場*=-1.1 盛岡市馬場町*=-1.1 宮古市区界*=-1.1 八幡平市野駄*=-1.1 宮古市田老*=-1.1 九戸村伊保内*=-1.1 田野畑村田野畑=1.1 遠野市青笹町*=-1.1 宮古市川井*=-1.0 葛巻町葛巻元木=1.0 矢巾町南矢幅*=-1.0 野田村野田*=-1.0 宮古市鉾ヶ崎=0.9 岩泉町岩泉*=-0.9 釜石市中妻町*=-0.9 住田町世田米*=-0.9 一関市千厩町*=-0.9 岩手町五日市*=-0.8 八幡平市大更=0.8 紫波町紫波中央駅前*=-0.8 花巻市大迫総合支所*=-0.8 久慈市川崎町=0.8 一関市室根町*=-0.8 一関市藤沢町*=-0.8 奥州市胆沢区*=-0.8 葛巻町役場*=-0.7 北上市相去町*=-0.7 久慈市枝成沢=0.7 岩手洋野町種市=0.7 岩手洋野町大野*=-0.7 花巻市大迫町=0.7 大船渡市大船渡町=0.6 遠野市宮守町*=-0.6 釜石市只越町=0.6 二戸市福岡=0.6 西和賀町沢内川舟*=-0.6 葛巻町消防分署*=-0.6 宮古市茂市*=-0.6 雫石町千刈田=0.5 一関市東山町*=-0.5 花巻市石鳥谷町*=-0.5 山田町八幡町=0.5 山田町大沢*=-0.5 二戸市石切所*=-0.5 1 函館市泊町*=-0.6 1 気仙沼市赤岩=0.7 気仙沼市笹が陣*=-0.6			
149	29 05 25	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 19.5' N 141° 37.3' E 54km M: 3.9 1 一関市室根町*=-1.0 一関市千厩町*=-0.9 一関市花泉町*=-0.7 住田町世田米*=-0.7 一関市東山町*=-0.7 一関市藤沢町*=-0.6 大船渡市大船渡町=0.6 1 石巻市大街道南*=-1.4 女川町女川浜*=-1.4 石巻市泉町=1.3 塩竈市旭町*=-1.2 石巻市桃生町*=-1.2 仙台宮城野区苦竹*=-1.1 東松島市矢本*=-1.0 東松島市小野*=-1.0 気仙沼市唐桑町*=-0.9 涌谷町新町裏=0.9 登米市東和町*=-0.9 利府町利府*=-0.8 大衡村大衡*=-0.8 松島町高城=0.8 大崎市田尻*=-0.7 名取市増田*=-0.7 岩沼市桜*=-0.7 登米市中田町=0.7 石巻市北上町*=-0.7 気仙沼市赤岩=0.6 登米市南方町*=-0.6 南三陸町志津川=0.6 登米市石越町*=-0.5 登米市津山町*=-0.5 栗原市栗駒=0.5			
150	29 16 20	熊本県熊本地方 熊本県	32° 26.9' N 130° 40.7' E 6km M: 1.6 1 八代市坂本町*=-0.6			
151	30 12 19	熊本県熊本地方 熊本県	32° 37.8' N 130° 41.3' E 12km M: 2.7 1 宇土市新小路町=1.0 宇城市不知火町*=-1.0 宇城市松橋町=0.5			
152	30 15 49	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 38.8' N 141° 55.1' E 58km M: 3.9 2 一関市室根町*=-2.4 一関市千厩町*=-1.7 1 大船渡市猪川町=1.2 住田町世田米*=-1.1 一関市藤沢町*=-1.0 釜石市中妻町*=-0.9 北上市相去町*=-0.8 大船渡市大船渡町=0.6 一関市東山町*=-0.6 陸前高田市高田町*=-0.6 一関市花泉町*=-0.5 釜石市只越町=0.5 1 気仙沼市唐桑町*=-1.4 登米市東和町*=-0.9 涌谷町新町裏=0.8 大崎市田尻*=-0.8 石巻市北上町*=-0.8 大崎市古川大崎=0.7 気仙沼市笹が陣*=-0.7 登米市石越町*=-0.7 登米市中田町=0.6 気仙沼市本吉町西川内=0.6 栗原市若柳*=-0.6 栗原市栗駒=0.5 気仙沼市赤岩=0.5 岩沼市桜*=-0.5			
153	31 09 30	茨城県北部 茨城県	36° 48.5' N 140° 34.3' E 7km M: 3.2 1 日立市助川小学校*=-0.9 高萩市安良川*=-0.6			

●付録 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数 ＜平成28年（2016年）2月～平成29年（2017年）1月＞

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成28年（2016年）											
2月	92	36	9	4						141	トカラ列島近海の地震活動 （震度 3：1 回、震度 2：5 回、震度 1：15 回）
3月	74	29	10	2						115	
4月	1798	891	335	100	10	5	3	2	2	3146	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動 （震度 7：2 回、震度 6 強：2 回、震度 6 弱：3 回、 震度 5 強：5 回、震度 5 弱：10 回、震度 1 以上合計：3024 回） トカラ列島近海の地震活動 （震度 4：1 回、震度 2：1 回、震度 1：11 回）
5月	417	183	54	9	1					664	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動 （震度 1 以上合計：529 回） 薩摩半島西方沖の地震活動（6 日～） （震度 2：10 回、震度 1：4 回） 16 日 茨城県南部（震度 5 弱）
6月	247	86	27	7	1		1			369	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動 （震度 5 弱：1 回、震度 1 以上合計：217 回） 16 日 内浦湾（震度 6 弱） 地震活動（震度 6 弱：1 回、震度 4：1 回、震度 3：1 回、震度 2：11 回、震度 1：22 回） 新潟県上越地方（新潟・長野県境付近）の地震活動 （震度 4：1 回、震度 3：1 回、震度 2：5 回、震度 1：4 回）
7月	174	71	33	5	1					284	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動 （震度 1 以上合計：113 回） トカラ列島近海の地震活動（震度 3：6 回、震度 2：6 回、震度 1：9 回） 伊豆大島近海の地震活動（震度 3：3 回、震度 2：8 回、震度 1：7 回） 27 日 茨城県北部（震度 5 弱）
8月	155	66	12	4	1					238	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動 （震度 5 弱：1 回、震度 1 以上合計：111 回）
9月	125	57	24	4	1					211	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動 （震度 1 以上合計：74 回） 26 日 沖縄本島近海の地震（震度 5 弱）
10月	378	136	44	12			1			571	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動 （震度 1 以上合計：55 回） 21 日 鳥取県中部（震度 6 弱） 地震活動（震度 6 弱：1 回、震度 4：7 回、震度 3：26 回、震度 2：71 回、震度 1：175 回）
11月	237	114	19	6	1					377	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動 （震度 1 以上合計：42 回） 鳥取県中部の地震活動 （震度 3：1 回、震度 2：8 回、震度 1：24 回） 22 日 福島県沖（震度 5 弱） 地震活動（震度 5 弱：1 回、震度 4：2 回、震度 3：9 回、震度 2：55 回、震度 1：120 回）
12月	204	74	21	4			1			304	平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動 （震度 1 以上合計：44 回） 鳥取県中部の地震活動 （震度 1 以上合計：18 回） 福島県沖の地震活動 （震度 4：1 回、震度 3：5 回、震度 2：7 回、震度 1：21 回） トカラ列島近海の地震活動 （震度 4：2 回、震度 3：5 回、震度 2：12 回、震度 1：36 回） 28 日 茨城県北部（震度 6 弱） 地震活動（震度 6 弱：1 回、震度 4：1 回、震度 3：1 回、震度 2：8 回、震度 1：18 回）
平成29年（2017年）											
1月	98	42	9	4						153	平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動 （震度 1 以上合計：32 回） 福島県沖の地震活動 （震度 4：1 回、震度 2：3 回、震度 1：6 回） 茨城県北部の地震活動 （震度 2：4 回、震度 1：9 回）
平成29年計	98	42	9	4	0	0	0	0	0	153	
過去 1 年計	3999	1785	597	161	16	5	6	2	2	6573	（平成28年 2 月～平成29年 1 月）

注）「記事」の欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、または震度 1 以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。

●付録 3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M 別）の月別地震回数 ＜平成 28 年（2016 年）2 月～平成 29 年（2017 年）1 月＞

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成 28 年（2016 年）								
2 月	357	59	6	2		424	67	6 日 台湾付近（M6.4） 15 日 鳥島近海（M6.0）
3 月	335	65	4			404	69	
4 月	1244	161	21	3	1	1430	186	1 日 三重県南東沖（M6.5） 「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動 14 日 M6.5 15 日 M6.4 16 日 M7.3 （いずれも熊本県熊本地方）
5 月	579	111	17	4		711	132	12 日 台湾付近（M6.5, M6.4） 31 日 石垣島北西沖（M6.2） 31 日 北西太平洋（M6.1）
6 月	448	86	10	1		545	97	24 日 与那国島近海（M6.2）
7 月	451	88	12			551	100	
8 月	401	59	12	4		476	75	5 日 硫黄島近海（M6.4） 20 日 三陸沖（M6.4） 21 日 三陸沖（M6.2） 26 日 鳥島近海（M6.1）
9 月	468	81	19	2		570	102	21 日 鳥島近海（M6.5） 23 日 関東東方沖（M6.7）
10 月	522	79	15	2		618	96	21 日 鳥取県中部（M6.6） 24 日 北海道東方沖（M6.0）
11 月	817	172	18	1	1	1009	192	22 日 福島県沖（M7.4） 24 日 福島県沖（M6.2）
12 月	497	84	12	3		596	99	14 日 マリアナ諸島（M6.3） 22 日 マリアナ諸島（M6.5） 28 日 茨城県北部（M6.3）
平成 29 年（2017 年）								
1 月	414	66	10			490	76	
平成 29 年計	414	66	10	0	0	490	76	
過去 1 年計	6533	1111	156	22	2	7824	1291	（平成 28 年 2 月～平成 29 年 1 月）

注）日本及びその周辺：原則、北緯 20～49 度、東経 120～154 度の範囲。「記事」の欄には主に M6.0 以上の地震を記載した。

● 付録 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 29 年 1 月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は 77 回であった。

平成 19 年 10 月～平成 29 年 1 月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 19 年 (2007 年)										0 (48)	0 (33)	0 (39)	0 (120)
平成 20 年 (2008 年)	0 (35)	0 (41)	0 (48)	1 (42)	1 (70)	3 (75)	2 (63)	0 (47)	1 (58)	0 (46)	1 (40)	0 (57)	9 (622)
平成 21 年 (2009 年)	0 (44)	0 (39)	0 (34)	0 (34)	0 (24)	0 (54)	0 (36)	2 (65)	0 (47)	1 (44)	0 (39)	0 (47)	3 (507)
平成 22 年 (2010 年)	0 (53)	1 (44)	1 (50)	0 (36)	0 (27)	0 (35)	0 (47)	0 (51)	1 (40)	1 (50)	0 (40)	1 (34)	5 (507)
平成 23 年 (2011 年)	0 (50)	0 (74)	45 (1191)	26 (770)	5 (425)	5 (304)	5 (248)	3 (239)	4 (188)	1 (163)	2 (135)	1 (136)	97 (3923)
平成 24 年 (2012 年)	2 (149)	3 (141)	3 (142)	2 (128)	1 (129)	3 (118)	0 (102)	1 (107)	0 (70)	0 (109)	0 (77)	1 (134)	16 (1406)
平成 25 年 (2013 年)	0 (81)	2 (99)	0 (53)	3 (103)	0 (91)	0 (83)	0 (102)	2 (97)	1 (61)	0 (80)	0 (93)	1 (67)	9 (1010)
平成 26 年 (2014 年)	0 (70)	0 (70)	1 (68)	0 (62)	0 (53)	0 (57)	2 (97)	1 (96)	1 (68)	0 (84)	1 (87)	0 (75)	6 (887)
平成 27 年 (2015 年)	0 (67)	1 (88)	0 (90)	1 (77)	3 (71)	0 (84)	1 (74)	0 (88)	0 (81)	0 (92)	1 (86)	0 (75)	7 (973)
平成 28 年 (2016 年)	1 (76)	0 (71)	0 (65)	20 (228)	1 (101)	2 (89)	0 (95)	0 (71)	1 (80)	3 (92)	2 (124)	1 (86)	31 (1178)
平成 29 年 (2017 年)	0 (77)												0 (77)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、() 内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

● 付録 5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

平成 29 年 1 月に、長周期地震動階級※ 1 以上を観測した地震は 1 回であった。

平成 25 年 3 月～平成 29 年 1 月に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震の月別回数
（平成 25 年 3 月 28 日の長周期地震動に関する観測情報（試行）※※の提供開始以降）

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成 26 年 (2014 年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成 27 年 (2015 年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成 28 年 (2016 年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成 29 年 (2017 年)	1												1

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動 階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動 階級 1	室内にいたほとんどの 人が揺れを感じる。驚 く人もいる。	ブラインドなど吊り下げ ものが大きく揺れる。	—
長周期地震動 階級 2	室内で大きな揺れを感じ、 物に掴まりたいと感じる。 物につかまらな いと歩くことが難 しいなど、行動に支障を 感じる。	キャスター付き什器がわ ずかに動く。棚にある食 器類、書棚の本が落ちる ことがある。	—
長周期地震動 階級 3	立っていることが困難 になる。	キャスター付き什器が大 きく動く。固定してい ない家具が移動するこ とがあり、不安定なものは倒 れることがある。	間仕切壁など にひび割れ・ 亀裂が入るこ とがある。
長周期地震動 階級 4	立っていることができ ず、はわないと動くこ とができない。揺れに ほんろうされる。	キャスター付き什器が大 きく動き、転倒するもの がある。固定していない 家具の大半が移動し、倒 れるものもある。	間仕切壁など にひび割れ・ 亀裂が多くな る。

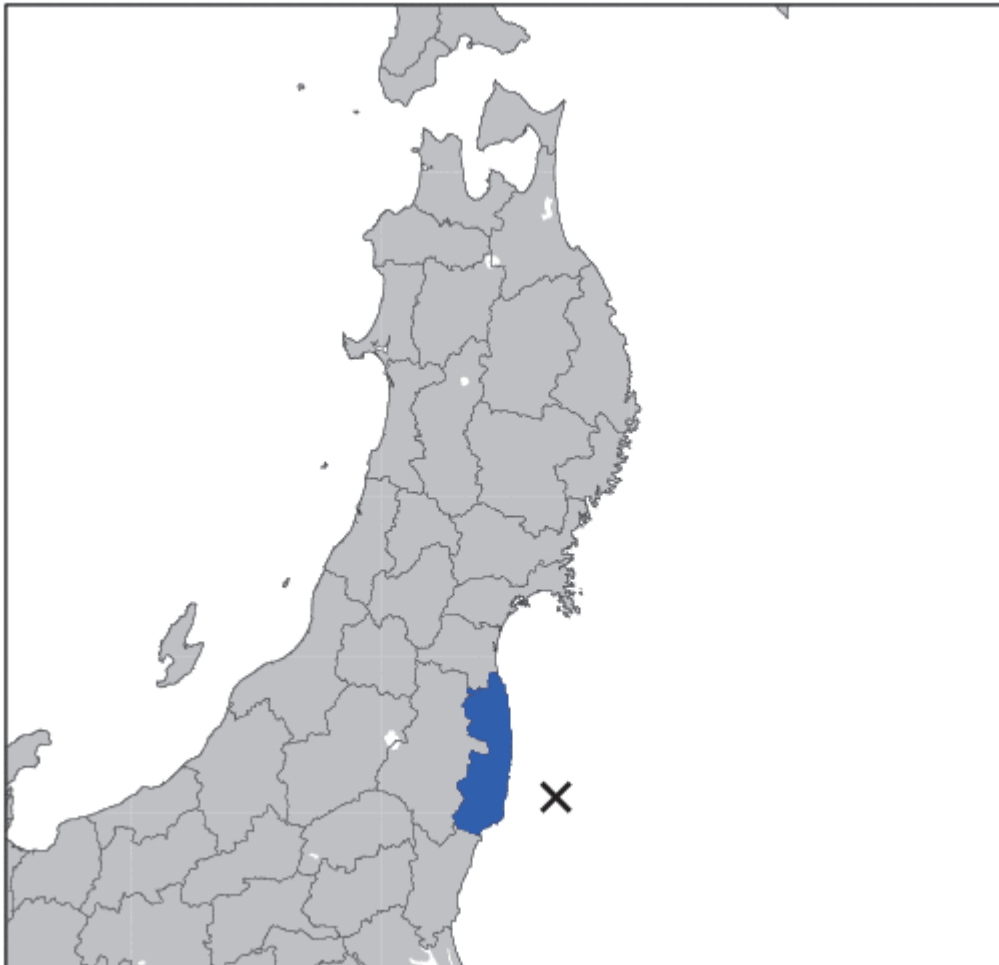
- ※ 長周期地震動階級に関する詳細は、平成 28 年 12 月号「付録 10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。
 ※※ 長周期地震動に関する観測情報（試行）に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 4 月号「特集 3. 長周期地震動に関する観測情報（試行）について」を参照。

1. 平成 29 年 1 月 5 日 02 時 53 分 福島県沖の地震

長周期地震動階級 1 以上を観測した地域・観測点

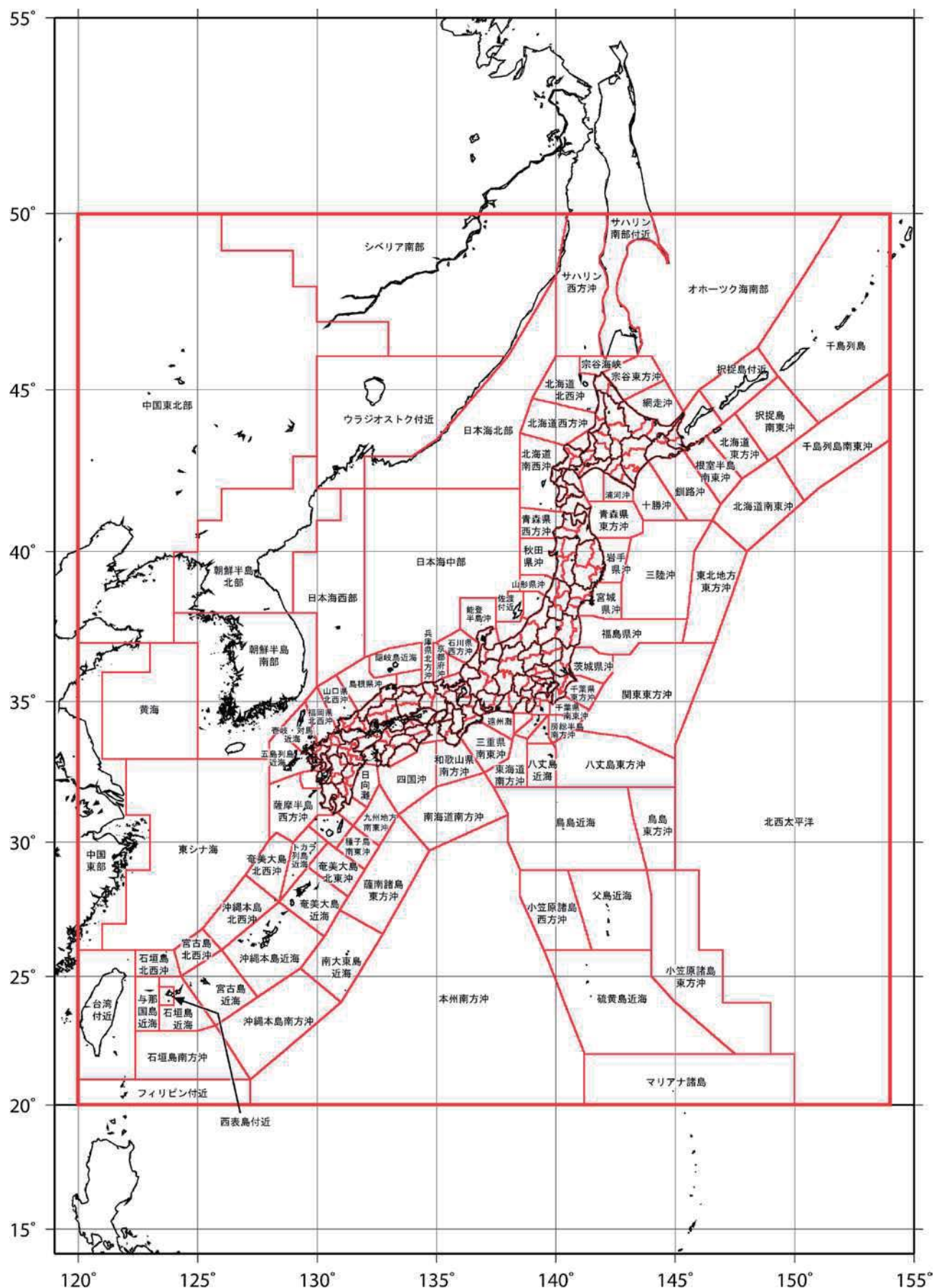
2017 年 1 月 5 日 02 時 53 分 福島県沖 北緯 37 度 07.3 分 東経 141 度 21.5 分 深さ 26km M5.6			
都道府県	地域	地点	長周期地震動階級
福島県	福島県浜通り	いわき市小名浜	1

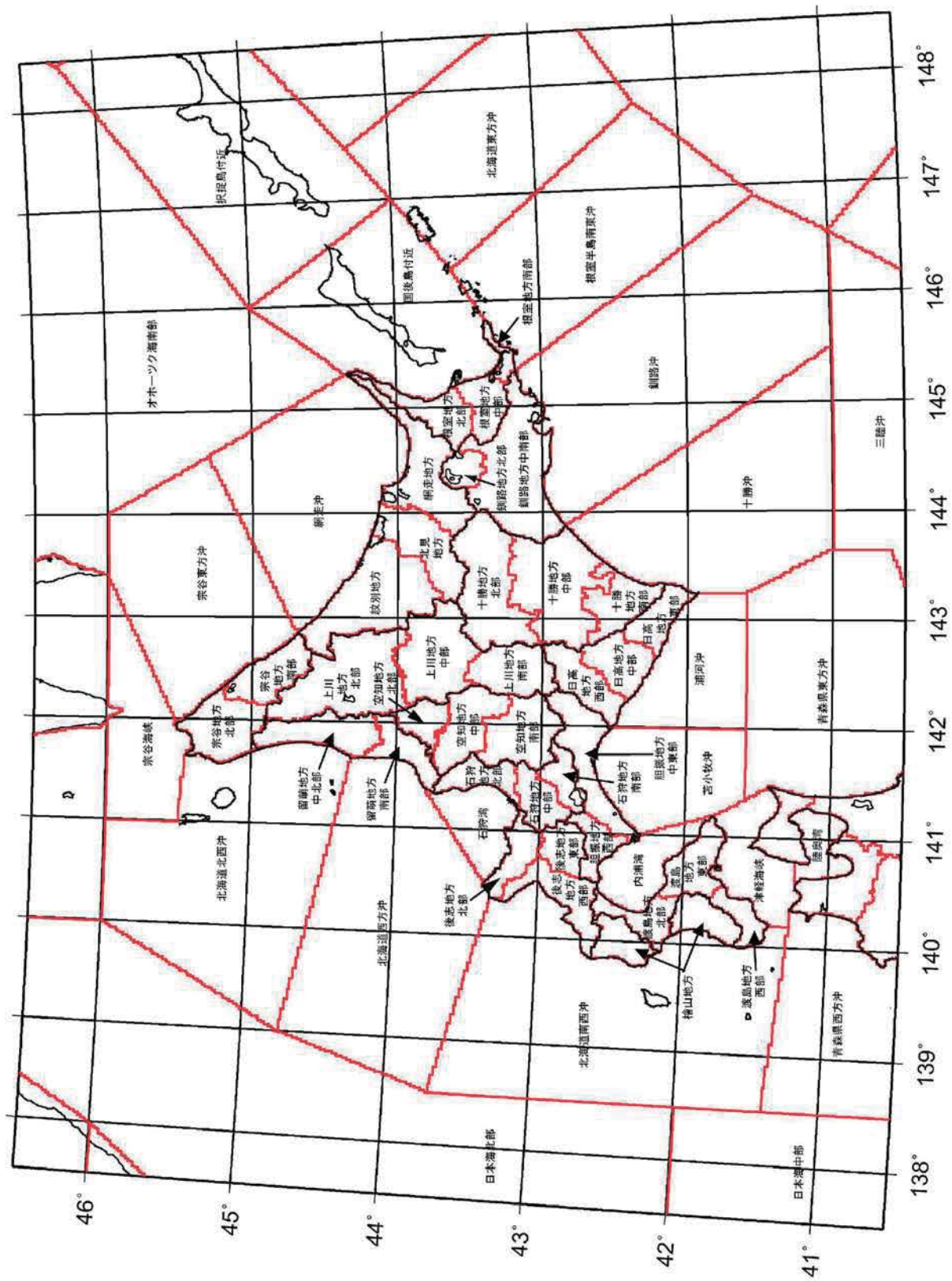
長周期地震動階級 1 以上が観測された地域

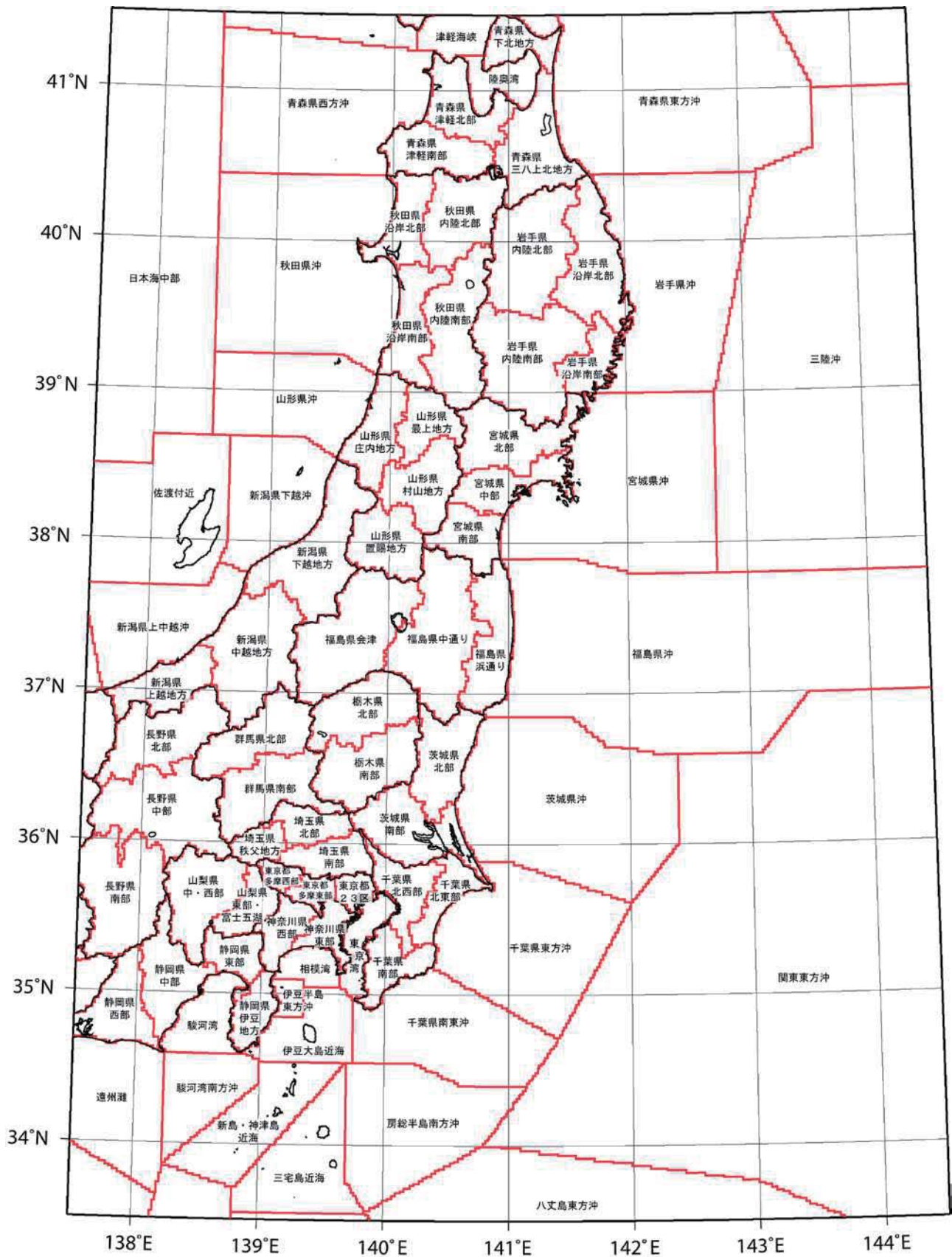


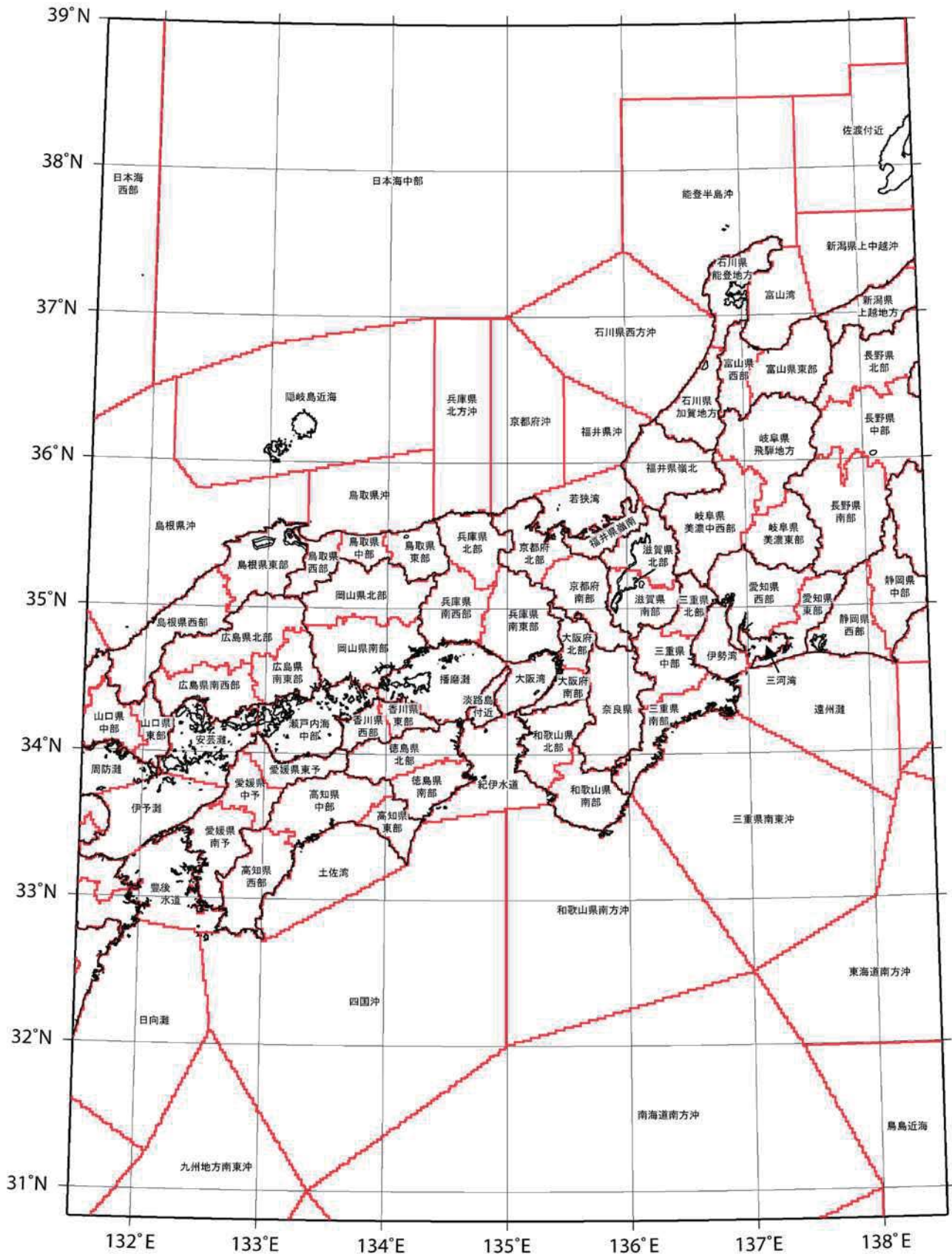
長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

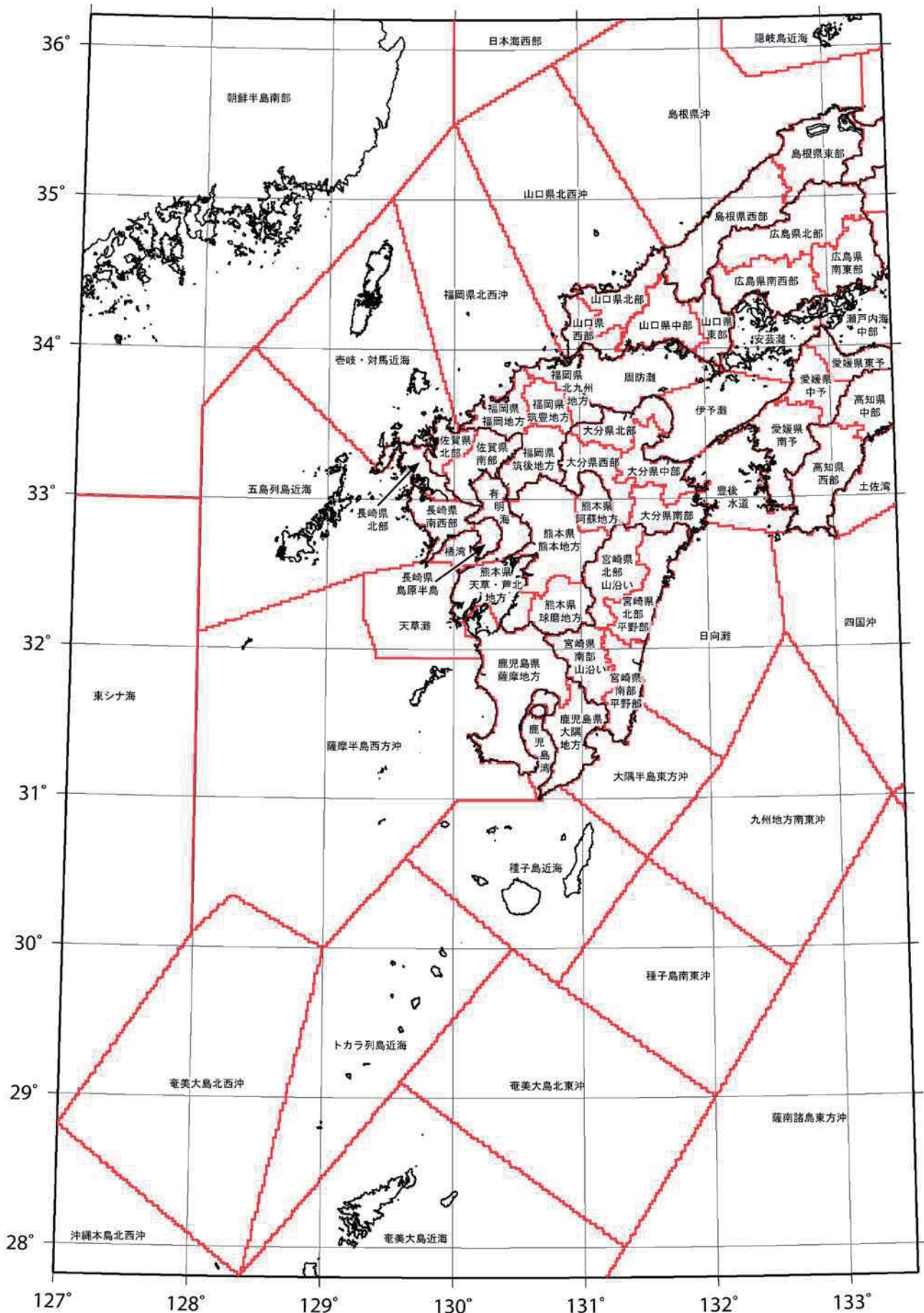
● 付録6. 地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名











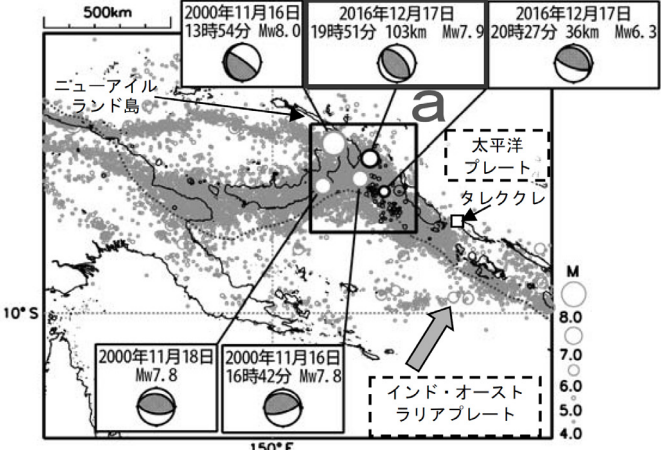
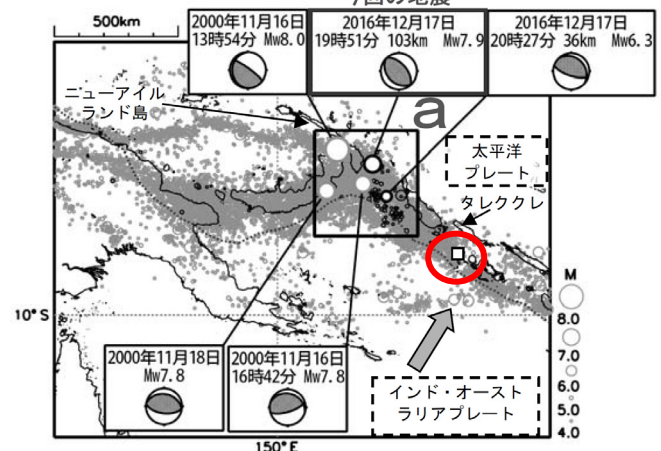
● 正誤表

平成 28 年 12 月の地震・火山月報（防災編）に誤りがありましたので、正誤表を掲載します。

平成 28 年 12 月地震・火山月報（防災編）

55 ページ 12 月 17 日 パプアニューギニア、ニューアイルランドの地震

震央分布図 赤枠内の津波観測点（ソロモン諸島のタレククレ）の位置（□）を修正

修正後	震央分布図 (2000 年 1 月 1 日～2016 年 12 月 31 日、 深さ 0～200km、$M \geq 4.0$) 2016 年 12 月の地震を濃く表示 今回の地震 
修正前	震央分布図 (2000 年 1 月 1 日～2016 年 12 月 31 日、 深さ 0～200km、$M \geq 4.0$) 2016 年 12 月の地震を濃く表示 今回の地震 

平成 28 年 12 月 地震・火山月報（防災編）

53 ページ 12 月 7 日 インドネシア、スマトラ北部の地震

注釈 下部注釈中の用いたデータの引用元を修正

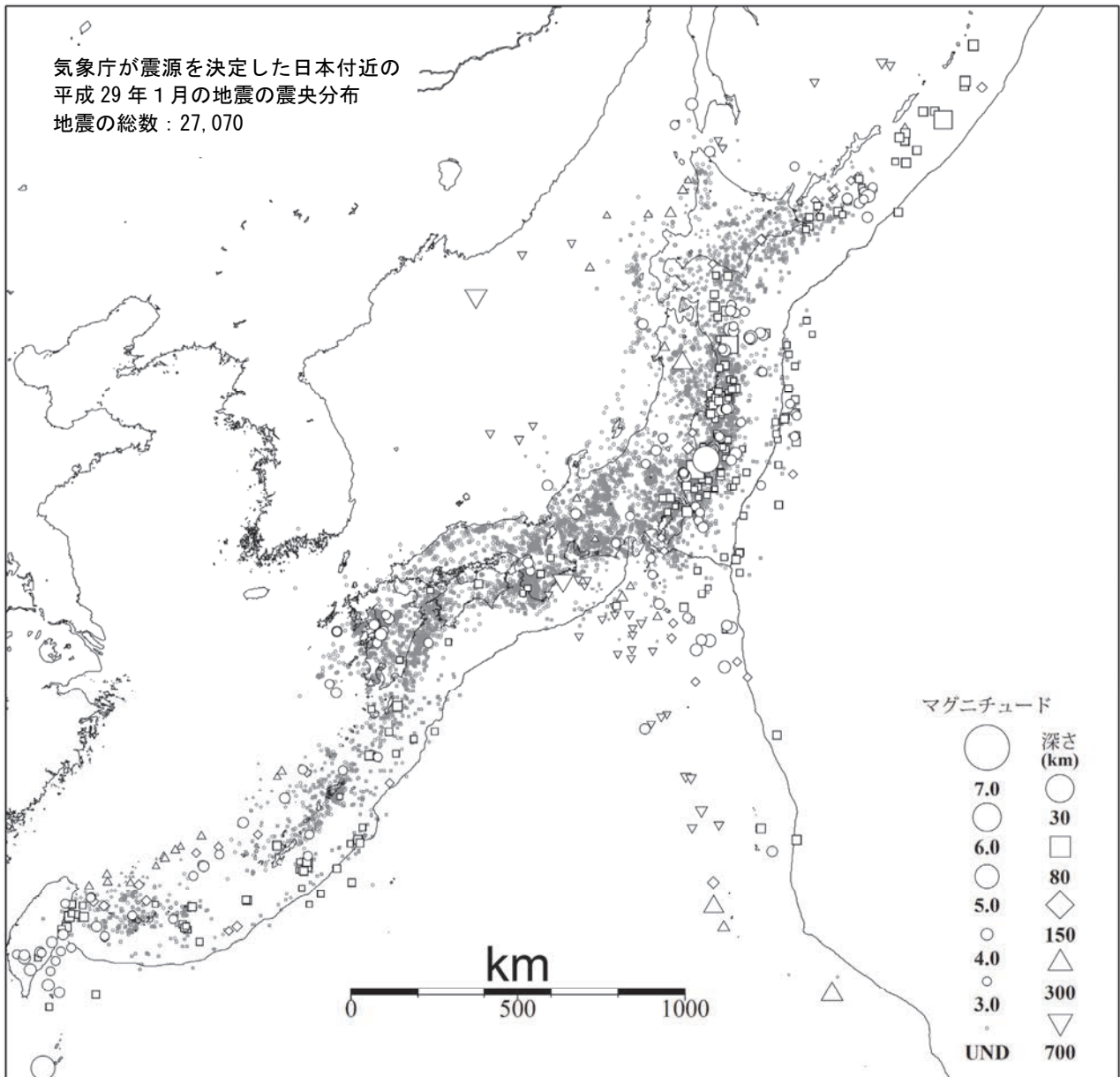
修正後	※本資料中、震源要素及び今回の地震の Mw 及び発震機構は USGS による。2012 年 4 月 11 日の地震（Mw8.6）の Mw 及び発震機構は気象庁、2004 年 12 月 26 日の地震（Mw9.1）の M は理科年表、その他の地震の吹き出しの Mw 及び発震機構は GlobalCMT による。
修正前	※本資料中、今回の地震と 2012 年 4 月 11 日の地震（Mw8.6）の Mw は気象庁、2004 年 12 月 26 日の地震（Mw9.1）の M は理科年表、その他の地震の吹き出しの Mw は GlobalCMT による。震源要素及び今回の地震の発震機構は USGS による。その他の地震の発震機構は GlobalCMT による。

149 ページ ● 平成 28 年（2016 年）の世界の主な地震

本文 本文中の回数及び表現を修正（下線部を修正）

修正後	2016 年（以下、日本時間を基準とする）に人的被害^注を伴った地震は <u>12</u> 回（2015 年は 28 回）であり、<u>Mj</u>（気象庁マグニチュード）もしくは Mw（モーメントマグニチュード）7.0 以上の地震は 18 回（2015 年は 17 回）であった。また、<u>Mj</u> もしくは Mw8.0 以上の地震の発生はなかった（2015 年は 2 回）（図 1 及び表 1 参照）。 2016 年に世界で発生した地震のうち、最も規模の大きかった地震は、12 月 17 日にパプアニューギニア、<u>ニューアイルランド</u>で発生した Mw7.9 の地震（図 1 中の 26）であった。 USGS の統計によると、M8.0 以上の地震の年間発生回数の平均は 1 回、M7.0～M7.9 の地震の年間発生回数の平均は 15 回であり、2016 年の地震発生回数は平年並であった。 以下、死者が 100 人を超える海外の地震について記述する。
修正前	2016 年（以下、日本時間を基準とする）に人的被害^注を伴った地震は 11 回（2015 年は 28 回）であり、M（気象庁マグニチュード）もしくは Mw（モーメントマグニチュード）7.0 以上の地震は 18 回（2015 年は 17 回）であった。また、M もしくは Mw8.0 以上の地震の発生はなかった（2015 年は 2 回）（図 1 及び表 1 参照）。 2016 年に世界で発生した地震のうち、最も規模の大きかった地震は、12 月 17 日にパプアニューギニアニューアイルランドで発生した Mw7.9 の地震（図 1 中の 26）であった。 USGS の統計によると、M8.0 以上の地震の年間発生回数の平均は 1 回、M7.0～M7.9 の地震の年間発生回数の平均は 15 回であり、2016 年の地震発生回数は平年並であった。 以下、死者が 100 人を超える海外の地震について記述する。

気象庁が震源を決定した日本付近の
平成 29 年 1 月の地震の震央分布
地震の総数 : 27,070



(M3.0 以上の地震については白抜きで示す)